



LP-S8180シリーズ LP-S7180シリーズ ユーザーズガイド

最新の情報はこちら



[LP-S8180](#)

[LP-S7180](#)

印刷

プリンターのお手入れ

困ったときは

目次

マニュアルのご案内	6
マニュアルの種類と内容	7
情報の探し方	7
ページを指定して印刷する方法	8
マニュアルの見方	8
記号の意味	8
画面とイラストの前提	9
OS表記の仕方	9
商標	10
マニュアルのご注意	11
製品のご注意	12
本製品の不具合に起因する付隨的損害	13
インターネットへの接続に関するご注意	13
電波に関するご注意	13
無線LAN（Wi-Fi）機能に関するご注意	14
セキュリティーに関するご注意	14
本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意	14
本製品の使用限定	15
本製品の譲渡と廃棄	15
各部の名称と働き	16
前面	17
内部	18
背面	20
操作パネルの見方と使い方	21
操作パネル	22
ホーム画面の見方	23
ネットワークアイコンの見方	24
メニュー画面の見方	24
文字入力の仕方	25
操作手順を動画で見る	25

用紙のセット	27
用紙取り扱い上のご注意	28
用紙サイズと種類の登録	29
用紙のセット	29
封筒のセット	30
ハガキのセット方法	32
排紙の設定	32
排紙方向を指定する	32
1部ずつ縦横交互に排紙する	33
印刷	34
文書を印刷する	35
コンピューターから文書を印刷する（Windows）	35
コンピューターから文書を印刷する（Mac OS）	61
コンピューターから文書を印刷する（PostScriptプリンタードライバー）	80
スマートデバイスから文書を印刷する（iOS）	80
スマートデバイスから文書を印刷する（Android）	81
ハガキ、年賀状、封筒に印刷する	83
コンピューターからハガキや封筒に印刷する	83
ウェブページを印刷する	85
スマートデバイスからウェブページを印刷する	85
クラウドサービスで印刷する	86
操作パネルからEpson Connectサービスを登録する	86
プリンターのお手入れ	88
消耗品の状態を確認する	89
給紙不良を改善する	89
手差しトレイの給紙ローラーの紙粉を取る	89
用紙カセットの給紙ローラーの紙粉を取る	90
プリンター内部の汚れを拭き取る	90
プリンターの表面の汚れを拭き取る	91
ソフトウェアを個別にインストールまたはアンインストールする	92
ソフトウェアを個別にインストールする	92
プリンターを追加する（Mac OSのみ）	95
ソフトウェアをアンインストール（削除）する	95
ソフトウェアやファームウェアを更新する	97

プリンターの持ち運びや輸送	100
近くへの移動	100
プリンターを輸送する	101

困ったときは 102

うまく動かない	103
電源が入らない、切れない	103
給紙や排紙が正しくできない	103
印刷できない	107
思い通りに操作できない	129
プリンター画面にメッセージが表示された	131
用紙が詰まった	132
紙詰まりを防ぐには	132
消耗品の交換が必要になった	133
消耗品取り扱い上のご注意	133
トナーカートリッジと廃トナーボックスの交換 が必要になった	133
感光体ユニットの交換が必要になった	135
きれいに印刷できない	137
印刷結果が薄い、濃い、かすれる、汚い	137
印刷位置、サイズ、余白が思い通りにならない	139
文字が正しく印刷されない、文字化けする	139
バーコードが読み取れない	140
カラー印刷できない	141
部単位印刷できない	141
両面印刷の最終ページが意図した面とは反対の 面に印刷される	141
フォントが印刷されない	142
解決できないときは	142

コンピューターや機器の追加や交換を したときは 143

ネットワーク接続済みのプリンターに接続す る方法	144
2台目のコンピューターからネットワークプリ ンターを使う	144
スマートデバイスからネットワークプリンター を使う	145
ネットワークを再設定する方法	145
無線LANルーターを交換したとき	145
コンピューターを買い替えたとき	146
コンピューターとの接続形態を変更する	147
操作パネルから無線LAN (Wi-Fi) 接続する	149
スマートデバイスとプリンターを直接接続す る方法 (Wi-Fi Direct)	153
Wi-Fi Direct (シンプルAP) とは	153

iPhone、iPad、iPod touchでWi-Fi Direct接 続する	153
AndroidデバイスでWi-Fi Direct接続する	156
iOS、Android以外のデバイスとWi-Fi Direct接 続する	159
Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続を切断する	161
Wi-Fi Direct (シンプルAP) のSSIDなどを変 更する	161
ネットワーク接続状態の確認	162
操作パネルでのネットワーク接続状態の確認	162
ネットワーク接続診断レポートを印刷する	163
ネットワークステータスシートを印刷する	169
コンピューターのネットワークを確認する (Windowsのみ)	170

オプションの使い方 172

オプション一覧	173
オプションを取り付けるときのご注意	175
オプションの取り付け状態を確認する	175
専用プリンタ一台	175
プリンタ一台に増設カセットユニットを取り付 ける	176
プリンタ一台付きのプリンターの移動	176
専用プリンタ一台の仕様	176
増設カセットユニット	176
増設カセットユニットにプリンターを取り付け る	176
プリンタードライバーで増設カセットユニット を設定する	176
増設カセットユニット付きのプリンターの移動	177
増設カセットユニット使用時のトラブル	178
増設カセットユニットの仕様	178
HDD (LP-S8180シリーズのみ)	178
HDDを取り付ける	178
プリンタードライバーでHDDを設定する	179
保存データの処理設定	179
プリンタードライバーメニューの説明 (HDD装 着時)	180
設定メニュー一覧 (HDD装着時)	180
PS3対応ROM (LP-S8180シリーズのみ)	181
PS3対応ROMを取り付ける	181
PostScriptプリンタードライバーをインス トールする	181
PostScriptプリンタードライバーを使って文 書を印刷する (Windows)	182
Mac OSからPostScriptプリンタードライ バーを使って印刷する	191
PostScriptフォントなどが印刷できるsoft ware (Windows PostScript プリンタードラ イバー)	198

PostScriptフォントなどが印刷できるソフトウェア (Mac OS PostScript プリンタードライバー)	199
PostScriptプリンタードライバー使用時のトラブル	200
設定メニュー一覧 (PS3対応ROM装着時)	201
PostScript Level 3との互換性	202
対応フォント (PostScript 3対応)	203
増設ネットワークインターフェイスボード (LP-S8180シリーズのみ)	204
ネットワーク増設時の機能一覧	204
増設ネットワークインターフェイスボードを取り付ける	205
ネットワーク増設時の設定	205
ネットワーク増設時のトラブル	209
ネットワーク設定メニューの説明 (ネットワーク増設時)	209

製品情報	211
用紙情報	212
印刷できる用紙とセット枚数	212
印刷できない用紙	216
消耗品/定期交換部品の一覧	217
トナーカートリッジ	217
共通消耗品	218
定期交換部品	218
ソフトウェア情報	219
印刷用ソフトウェア	219
パッケージ作成用ソフトウェア	223
更新用ソフトウェア	223
設定メニュー一覧	224
本体設定	224
[印刷ページ数の確認] メニュー	231
[交換品情報] メニュー	231
言語選択/Language	231
情報確認/印刷	231
[認証装置ステータス] メニュー	232
[Epson Open Platform情報] メニュー	232
製品仕様	232
プリンター機能	232
プリンターが使用するポート	234
インターフェイスの仕様	235
ネットワークの仕様	235
対応している他社サービス	238
外形寸法と質量の仕様	238
電気的仕様	238
動作時と保管時の環境仕様	238
設置場所と設置スペース	239
対応OS	241
プリンター調整機能	241
フォントの仕様	244

Epsonバーコードフォント	244
Epson TrueType フォント	253
OCR-B TrueType フォント	253
規格と規制	254
電源高調波	254
電波障害自主規制	254
著作権	254
複製が禁止されている印刷物	254
オゾン	254
揮発性物質の放散	255
レーザー製品の表示	255
内部のレーザー放射ユニット	255

管理者向け情報	256
管理者向けソフトウェア情報	257
ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア (Web Config)	257
ネットワーク上のデバイスを設定するソフトウェア (EpsonNet Config)	258
ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア (Epson Device Admin)	259
プリンターをネットワークに接続する	259
ネットワーク接続の前に	259
操作パネルでネットワークに接続する	261
プリンターを使うための設定	264
印刷できるようにする	264
AirPrintを使えるようにする	271
メールサーバーを設定する	272
プリンターの基本動作を設定する	275
設定時のトラブルを解決する	278
プリンターの管理	279
本体のセキュリティー機能の紹介	279
管理者設定	280
利用できる機能を制限する	285
外部インターフェイスを無効にする	287
遠隔地にあるプリンターを監視する	288
設定のバックアップ	290
高度なセキュリティー設定	291
セキュリティー設定と防止できる脅威	291
利用するプロトコルを制御する	292
電子証明書を使う	298
プリンターとのSSL/TLS通信	303
IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する	304
IEEE802.1X環境にプリンターを接続する	315
トラブルを解決する	318
サービスとサポートのご案内	325
エプソンサービスパック	326

保守サービスのご案内	326
保証書について	326
補修用性能部品および消耗品の保有期間	326
保守サービスの受付窓口	327
保守サービスの種類	327
アフターサポート・サービスのご案内	328

マニュアルのご案内

マニュアルの種類と内容	7
情報の探し方	7
ページを指定して印刷する方法	8
マニュアルの見方	8
商標	10
マニュアルのご注意	11

マニュアルの種類と内容

プリンターには以下のマニュアルが用意されています。マニュアル以外にも、いろいろなヘルプがプリンタ一本体やソフトウェアに組み込まれているのでご活用ください。

- ・ セットアップガイド（紙マニュアル）

プリンターの開梱から、本体のセットアップ、オプションの取り付けやコンピューターとの接続までの手順を説明しています。

- ・ 使い方ガイド（紙マニュアル）

基本的な使い方や困ったときの解決方法などを説明しています。

- ・ ユーザーズガイド（電子マニュアル）

本書です。WebマニュアルとPDFマニュアルがあります。プリンターの使い方全般、お手入れの仕方、プリンターをネットワークで使用するときの設定方法やトラブルへの対処方法を説明しています。

本書はLP-S8180シリーズとLP-S7180シリーズの共通マニュアルです。機種によって、使用できるオプションや設定などが異なります。

最新のマニュアルを閲覧するには、以下のウェブサイトにアクセスし、製品名を入力して [サポート] をクリックしてください。

<http://epson.sn>

情報の探し方

PDFマニュアルでは、探したい情報のキーワードから該当箇所を検索したり、しおりから直接ジャンプしたりすることができます。ここでは、コンピューターでAdobe Acrobat Reader DCを使用してPDFマニュアルを開いた場合の使い方を説明します。

キーワードで検索する

[メニュー] - [検索] - [高度な検索] の順にクリックします。検索ボックスに探したい情報のキーワード（語句）を入力して、[検索] をクリックします。キーワードの該当箇所が一覧で表示されます。表示された文字列をクリックすると、該当ページにジャンプします。

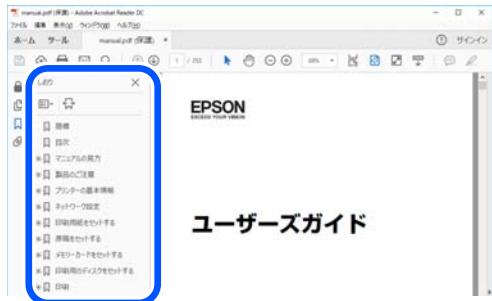


しおりから直接ジャンプする

タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。[+] または [>] をクリックすると下の階層のタイトルが表示されます。ジャンプ前のページに戻りたいときは、キーボードで以下の操作をします。

- ・ Windows : [Alt] キーを押したまま←キーを押します。

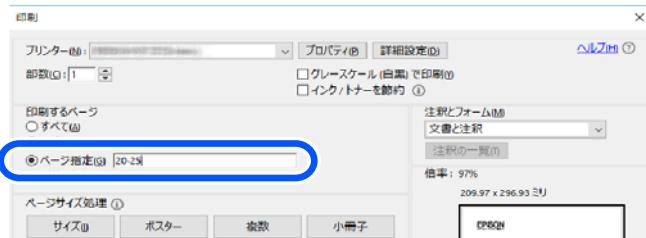
- Mac OS : commandキーを押したまま←キーを押します。



ページを指定して印刷する方法

紙で読みたいページだけを抜き出して印刷できます。[ファイル] メニューの [印刷] または [プリント] をクリックし、[印刷するページ] の [ページ指定] で、印刷したいページを指定します。

- 連続したページの指定は、開始ページと終了ページの間にハイフンを入れます。
例：20-25
- 連続していない複数ページの指定は、ページをカンマで区ります。
例：5,10,15



マニュアルの見方

マニュアルに記載されている記号の意味やマニュアル記載の前提、OS表記について説明します。

記号の意味

△ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

△ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

！重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

 **参考** 補足情報や参考情報を記載しています。

関連情報

➔ 関連したページにジャンプします。

画面とイラストの前提

- ・ プリンタードライバーの画面は、Windows 10またはmacOS High Sierra (10.13) での表示画面を使用しています。表示内容は機種や状況によって異なります。
- ・ イラストは一例です。機種によって多少異なりますが操作方法は同じです。
- ・ プリンター画面の設定項目は機種や設定状況によって異なります。
- ・ QRコードは専用アプリで読み取れます。

OS表記の仕方

Windows

本書では、以下のOS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 10」「Windows 8.1」「Windows 8」「Windows 7」「Windows Vista」「Windows XP」「Windows Server 2019」「Windows Server 2016」「Windows Server 2012 R2」「Windows Server 2012」「Windows Server 2008 R2」「Windows Server 2008」「Windows Server 2003 R2」「Windows Server 2003」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- ・ Microsoft® Windows® 10 operating system日本語版
- ・ Microsoft® Windows® 8.1 operating system日本語版
- ・ Microsoft® Windows® 8 operating system日本語版
- ・ Microsoft® Windows® 7 operating system日本語版
- ・ Microsoft® Windows Vista® operating system日本語版
- ・ Microsoft® Windows® XP operating system日本語版
- ・ Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system日本語版
- ・ Microsoft® Windows Server® 2019 operating system日本語版
- ・ Microsoft® Windows Server® 2016 operating system日本語版
- ・ Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system日本語版
- ・ Microsoft® Windows Server® 2012 operating system日本語版
- ・ Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system日本語版
- ・ Microsoft® Windows Server® 2008 operating system日本語版
- ・ Microsoft® Windows Server® 2003 R2 operating system日本語版
- ・ Microsoft® Windows Server® 2003 operating system日本語版

Mac OS

本書では、「Mac OS X v10.6.8」以降の総称として「Mac OS」を使用しています。

商標

- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、Mac、macOS、OS X、Bonjour、ColorSync、Safari、AirPrint、iPad、iPhone、iPod touch、iTunes、TrueType、iBeaconは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。“iPhone”の商標は日本国内においてアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
- Chrome、Google Play、AndroidはGoogle LLCの商標です。
- Albertus, Arial, Coronet, Gill Sans, Joanna and Times New Roman are trademarks of The Monotype Corporation registered in the United States Patent and Trademark Office and may be registered in certain jurisdictions.
- ITC Avant Garde Gothic, ITC Bookman, Lubalin Graph, Mona Lisa, ITC Symbol, Zapf Chancery and ZapfDingbats are trademarks of International Typeface Corporation registered in the U.S. Patent and Trademark Office and may be registered in certain other jurisdictions.
- Clarendon, Eurostile and New Century Schoolbook are trademarks of Linotype GmbH registered in the U.S. Patent and Trademark Office and may be registered in certain other jurisdictions.
- Wingdings is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and other countries.
- CG Omega, CG Times, Garamond Antiqua, Garamond Halbfett, Garamond Kursiv, Garamond Halbfett Kursiv are trademarks of Monotype Imaging, Inc. and may be registered in certain jurisdictions.
- Antique Olive is a trademark of M. Olive.
- Marigold and Oxford are trademarks of AlphaOmega Typography.
- Helvetica, Optima, Palatino, Times and Univers are trademarks of Linotype Corp. registered in the U.S. Patent and Trademark Office and may be registered in certain other jurisdictions in the name of Linotype Corp. or its licensee Linotype GmbH.
- ITC Avant Garde Gothic, Bookman, Zapf Chancery and Zapf Dingbats are trademarks of International Typeface Corporation registered in the United States Patent and Trademark Office and may be registered in certain jurisdictions.
- QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- Adobe、Acrobat、Photoshop、PostScript®3™、ReaderはAdobe（アドビ）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- SuperSpeed USB Tridentロゴは、USB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。

- Arcfour

This code illustrates a sample implementation of the Arcfour algorithm.

Copyright © April 29, 1997 Kalle Kaukonen. All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that this copyright notice and disclaimer are retained.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY KALLE KAUKONEN AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL KALLE KAUKONEN OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- Firefox is a trademark of the Mozilla Foundation in the U.S. and other countries.
- Mopria®、Mopria®ロゴは、Mopria Alliance, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標かつサービスマークです。許可無く使用することは固く禁じられております。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

マニュアルのご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

©2020-2025 Seiko Epson Corporation

製品のご注意

本製品の不具合に起因する付隨的損害	13
インターネットへの接続に関するご注意	13
電波に関するご注意	13
無線LAN（Wi-Fi）機能に関するご注意	14
セキュリティーに関するご注意	14
本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意	14
本製品の使用限定	15
本製品の譲渡と廃棄	15

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含む。以下同じ。）の不具合によって所期の結果が得られなかつたとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償いたしかねます。

インターネットへの接続に関するご注意

本製品のネットワークインターフェイスは、電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットサービスプロバイダ等）の通信回線に直接接続することができません。本製品をインターネットへ接続する際は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

セキュリティーの観点から、本製品はインターネットに直接接続せず、ルーターやファイアウォールなどで保護されたネットワーク内に設置してください。

電波に関するご注意

機器認定

本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けている無線設備が内蔵されています。

- ・ 設備名：J26H005
- ・ 認証番号：003-170261

周波数

本製品は2.4GHz帯の2.400GHzから2.4835GHzまでを使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意して使用してください。

本製品の使用上の注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ・ この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・ 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、販売店にご連絡頂き、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- ・ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、エプソンのインフォメーションセンターまでお問合せください。

参考 この無線機器は2.4GHz帯を使用します。採用している変調方式はDS-SS変調方式(与干渉距離40m)、OFDM変調方式(与干渉距離40m)、FHSS変調方式(与干渉距離20m)です。全帯域を使用し周波数変更が可能です。

2.4 DS4/OF4/FH2


無線LAN (Wi-Fi) 機能に関するご注意

- 本製品からの電波は、医療用機器に影響を及ぼすおそれがあります。医療機関の中や、医療用機器の近くで本製品を使用する場合は、医療機関の管理者、医療用機器側の指示や注意に従ってご使用ください。
- 本製品からの電波は、自動ドアや火災報知機などの自動制御機器に影響を及ぼすおそれがあります。自動制御機器の近くで本製品を使用する場合は、自動制御機器側の指示や注意に従ってご使用ください。

セキュリティに関するご注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。

本製品などの無線LAN製品では、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューターなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えて全ての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下のような行為をされてしまう可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合は、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理、保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります、弊社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の使用限定

本製品を航空機、列車、船舶、自動車などの運行に直接関わる装置、防災防犯装置、各種安全装置など機能、精度などにおいて高い信頼性、安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で弊社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性、安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本製品の譲渡と廃棄

本製品を譲渡もしくは廃棄する際は、本製品のメモリーに保存されているお客様固有の情報の流出による、不測の事態を回避するために、ネットワーク設定などの情報を消去してください。操作パネルで以下のメニューを選択して情報を消去します。

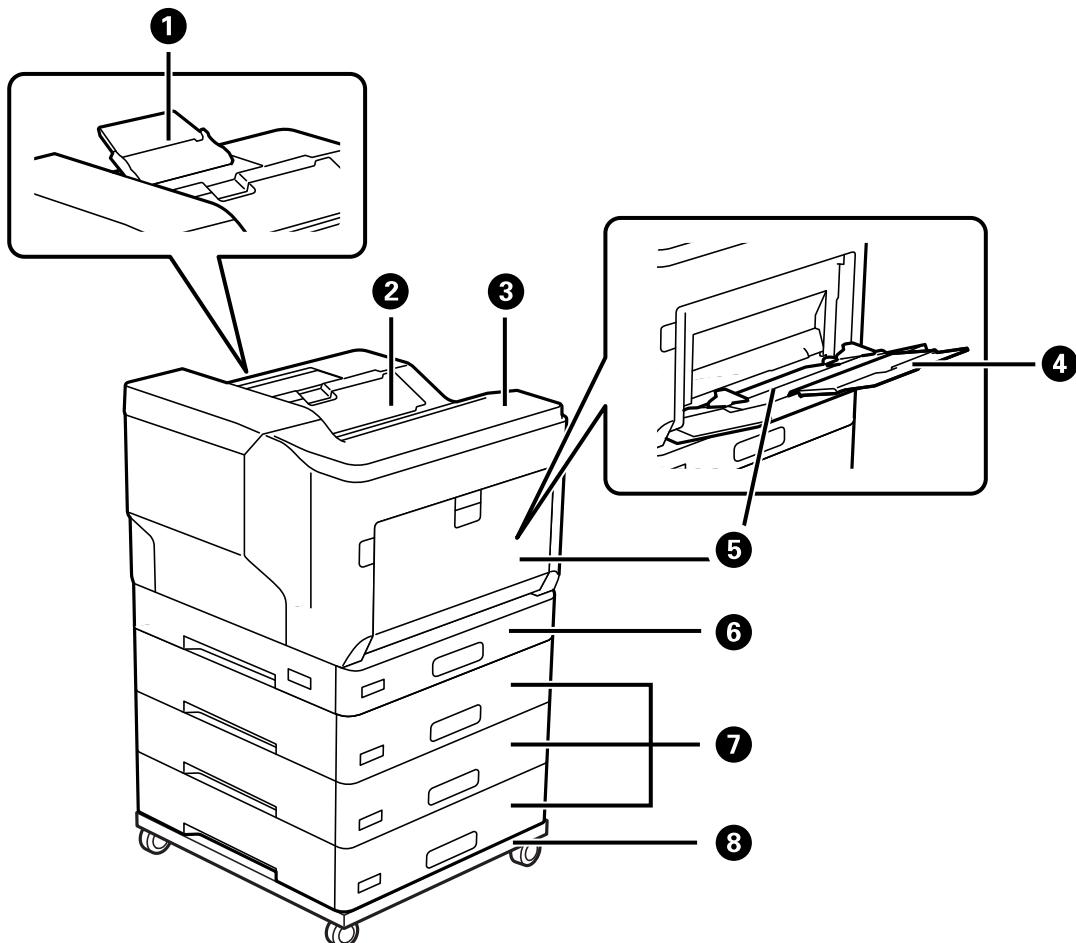
- [設定] - [本体設定] - [管理者用設定] - [初期設定に戻す] - [全て初期化]
- [設定] - [本体設定] - [管理者用設定] - [内部メモリーデータ削除] (LP-S8180シリーズのみ)

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

各部の名称と働き

前面	17
内部	18
背面	20

前面



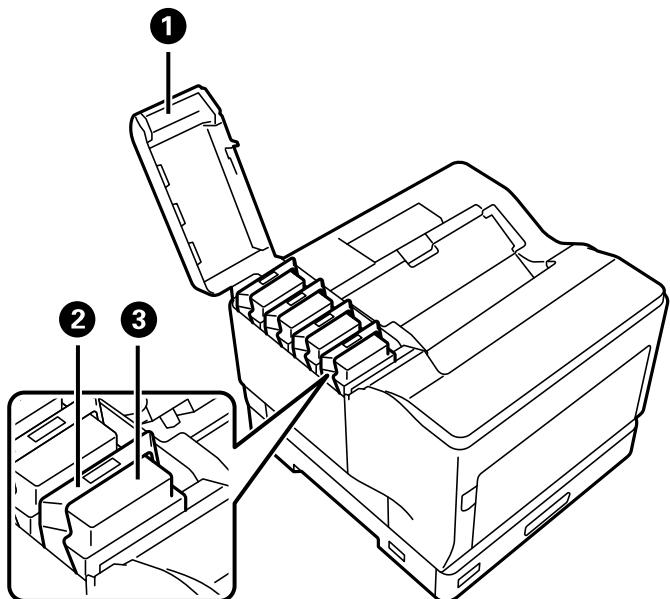
①	用紙サポート	A4よりも大きい用紙を支えます。
②	排紙トレイ	印刷された用紙を保持します。
③	操作パネル	プリンターの操作や設定をします。また、プリンターの状態を表示します。
④	用紙サポート	セットした用紙を支えます。
⑤	手差しトレイ(MP)	対応している全ての用紙をセットします。
⑥	用紙カセット1 (C1)	用紙をセットします。 増設1段カセットユニットは3段まで増設できます。増設3段カセットユニットはLP-S8180シリーズのみ使用できます。
⑦	用紙カセット2、3、4(C2、C3、C4)*	用紙をセットします。 増設1段カセットユニットは3段まで増設できます。増設3段カセットユニットはLP-S8180シリーズのみ使用できます。
⑧	専用プリンターベース	キャスター付きでプリンターの移動ができます。

* オプション 詳しくは関連情報をご覧ください。

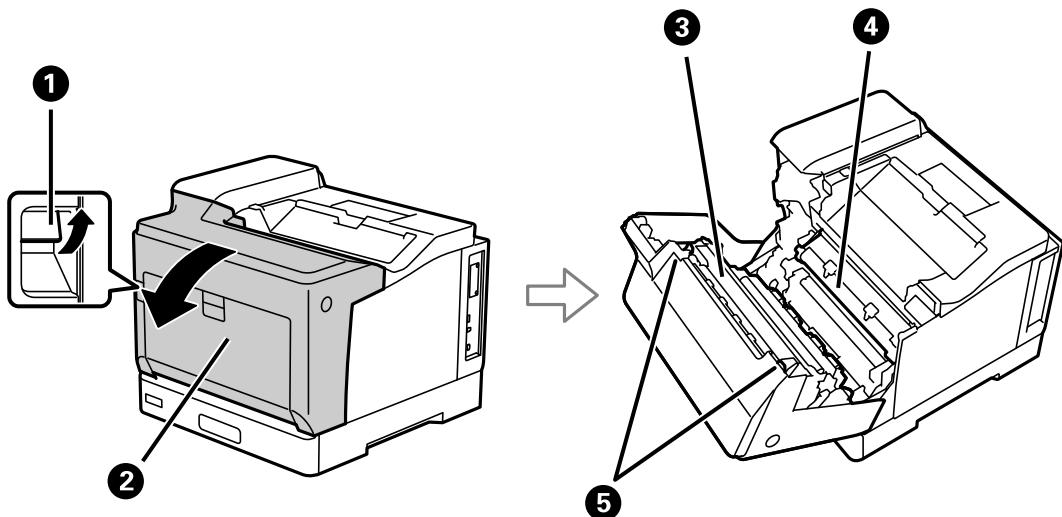
関連情報

➔ 「オプション一覧」 173ページ

内部

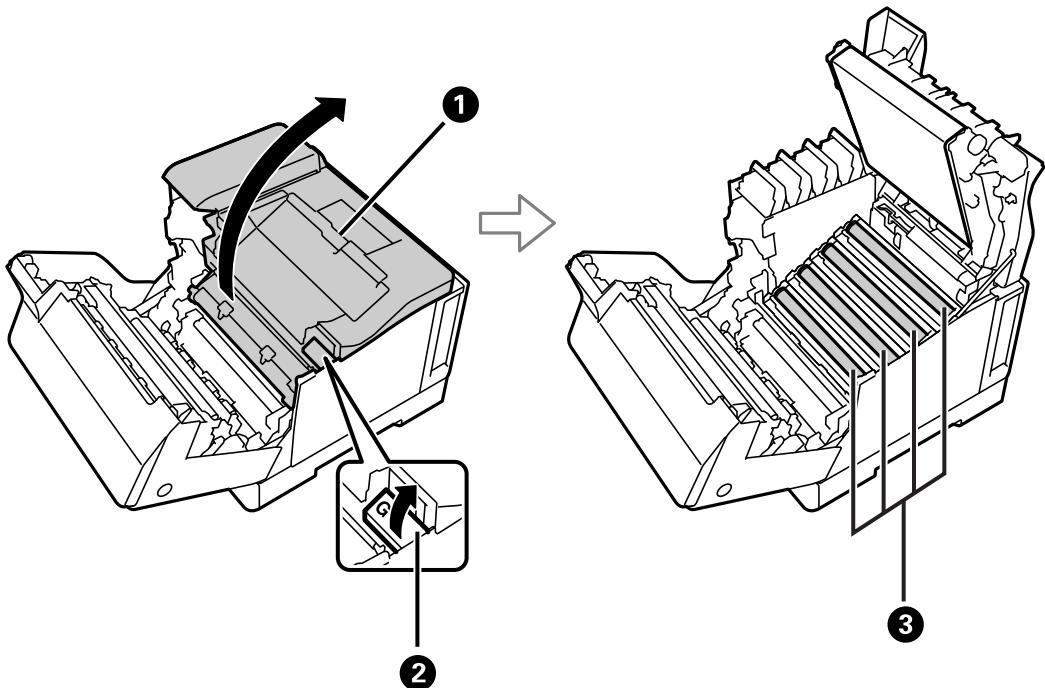


①	トナーカートリッジカバー(D)	トナーカートリッジを交換するときに開けます。
②	ロックレバー	トナーカートリッジを固定するために引き上げます。
③	トナーカートリッジ	印刷用のトナーが含まれています。

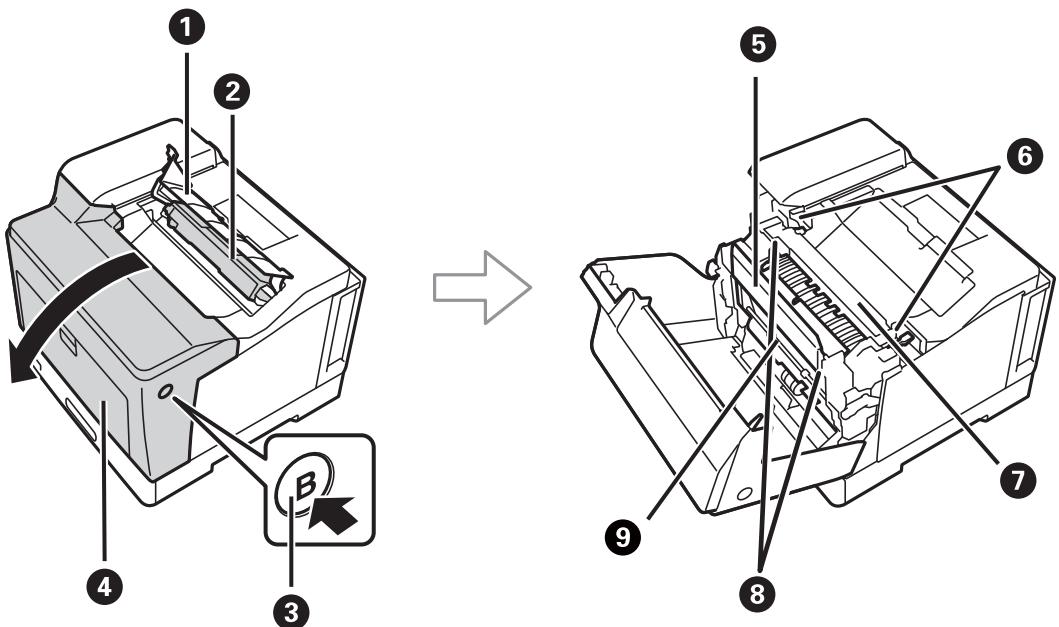


①	Aレバー	前面カバーを開けて、詰まった用紙を取り除くときや感光体ユニットを交換するときに引き上げます。
②	前面カバー (A)	消耗品を交換するときや、内部に詰まった用紙を取り除くときに開けます。
③	定着ユニット	トナーを紙に定着させます。
④	転写ユニット	感光体に載ったトナーを紙に転写します。

⑤	リリースレバー	詰まった用紙を取り除くときに引き下げます。
---	---------	-----------------------



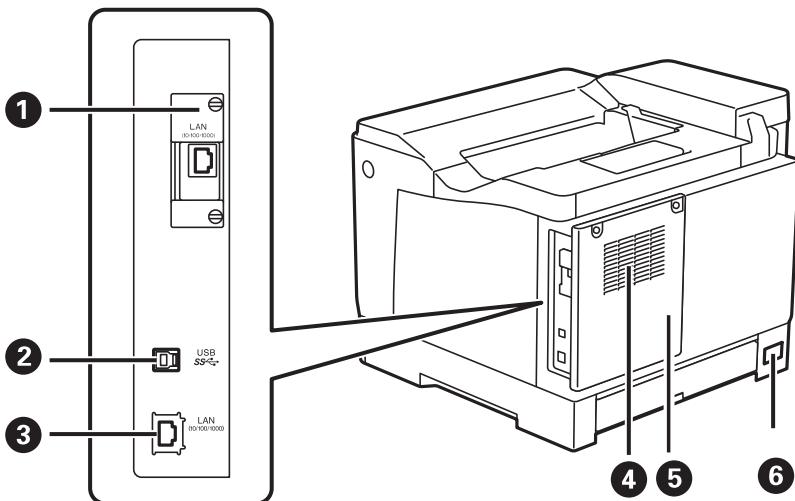
①	上カバー(G)	露光窓を清掃するときや感光体ユニットを交換するときに開けます。
②	Gレバー	上カバーを開けるときに引き上げます。
③	感光体ユニット	印刷される画像を形成します。



①	廃トナーボックスカバー(H)	廃トナーボックスを交換するときに開けます。
②	廃トナーボックス	印刷中に排出される廃トナーを溜めます。

③	Bボタン	前面カバーを開けるときに押します。
④	前面カバー (A)	消耗品を交換するときや、内部に詰まった用紙を取り除くときに開けます。
⑤	両面印刷ユニットカバー (E)	内部に詰まった用紙を取り除くときに開けます。
⑥	リリースレバー	詰まった用紙を取り除くときに引き上げます。
⑦	定着ユニット	トナーを紙に定着させます。
⑧	リリースレバー(E)	両面印刷ユニットカバーを開けて、詰まった用紙を取り除くときに引き上げます。
⑨	両面印刷ユニット	用紙の両面を自動で印刷します。

背面

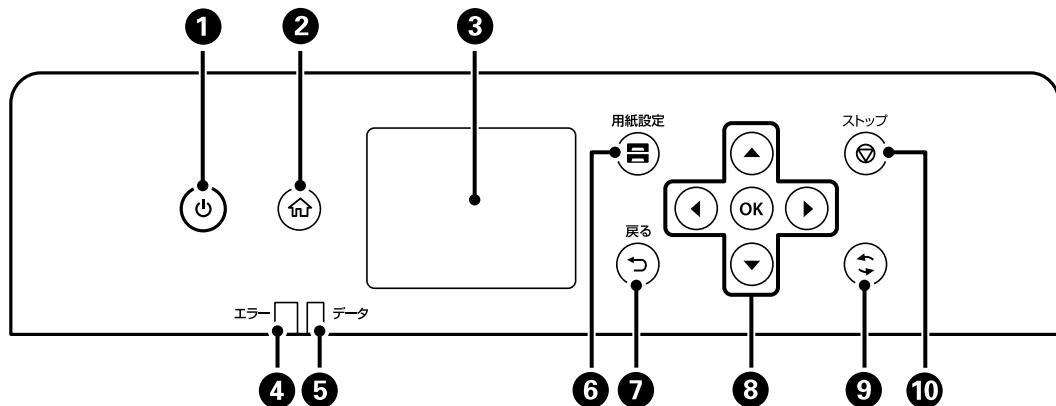


①	増設用スロット	オプションのインターフェイスボードを挿入します。 イラストはオプションを装着した状態を示しています。 LP-S8180シリーズのみ対応
②	USBポート	コンピューターと接続するためのUSBケーブルを接続します。
③	LANポート	LANケーブルを接続します。
④	通風口	内部で発生する熱を放出します。通風口は、プリンターの両側面に付いています。通風口をふさがないように設置してください。
⑤	背面カバー	オプションのPS3対応ROMやオプションのHDDを取り付けるときに開けます。 LP-S8180シリーズのみ対応
⑥	電源コネクター	電源コードを接続します。

操作パネルの見方と使い方

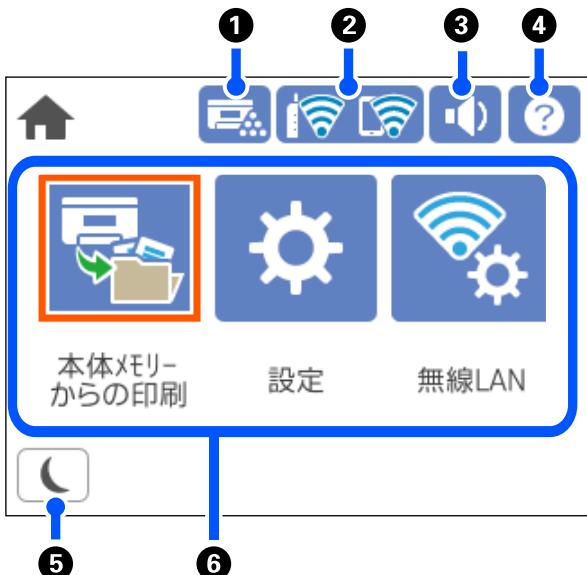
操作パネル	22
ホーム画面の見方	23
メニュー画面の見方	24
文字入力の仕方	25
操作手順を動画で見る	25

操作パネル



①	電源を入/切します。 電源コードを抜くときは、電源ランプが消灯していることを確認してから抜いてください。
②	ホーム画面を表示します。
③	項目やメッセージを表示します。 画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがあります。故障ではありません。
④	エラー発生時に点滅または点灯します。
⑤	データ処理中に点滅します。 待機中のジョブがあると点灯します。
⑥	用紙設定画面を表示します。給紙装置ごとに用紙のサイズと用紙の種類が設定できます。
⑦	前の画面に戻ります。
⑧	◀▲▶▼ボタンでフォーカスを動かして、OKボタンで項目の確定や機能を実行します。
⑨	状況に応じて様々な機能に変化します。
⑩	現在実行中の動作を中止します。

ホーム画面の見方

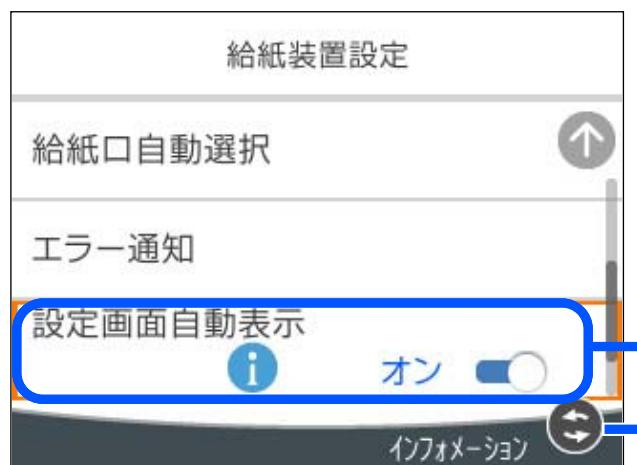


①		プリンターの状態や消耗品の確認ができます。
②		ネットワークの接続状態を表示します。詳しくは以下を参照してください。 「ネットワークアイコンの見方」24ページ
③		音の設定画面を表示します。 [ミュート] と [通常時] を設定できます。 [設定] メニューからも同じ設定ができます。 [設定] - [本体設定] - [基本設定] - [音の設定]
		[ミュート] になっていることを示しています。
④		ヘルプ画面を表示します。困ったときの対処方法やプリンターの基本操作手順が確認できます。
⑤		アイコンを選択すると、スリープモードに移行します。アイコンがグレーアウトしているときは、スリープモードにできません。
⑥	各メニューが表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> 本体メモリーからの印刷 プリンタードライバーから送信したジョブを一旦プリンター本体に保存してから印刷します。パスワード印刷や複数部印刷するときの試し印刷ができます。 本体情報を送信 プリンター情報（個人情報は除く）を送信します。コールセンターに電話をかけたときに、オペレーターの指示に従って選択してください。 設定 プリンターの動作に関する設定ができます。 無線LAN 無線LANに接続するためのメニューを表示します。 [設定] メニューからも同じ設定ができます。 [設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [無線LAN接続設定]

ネットワークアイコンの見方

	有線LAN非接続または無線LAN非接続
	有線LAN接続中
	SSID検索中、IPアドレス未設定、電波強度が0または弱い
	無線LAN（Wi-Fi）接続中 線の数は電波の状態を示します。線の数が多いほど、電波の状態は良好です。
	Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続無効
	Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続有効

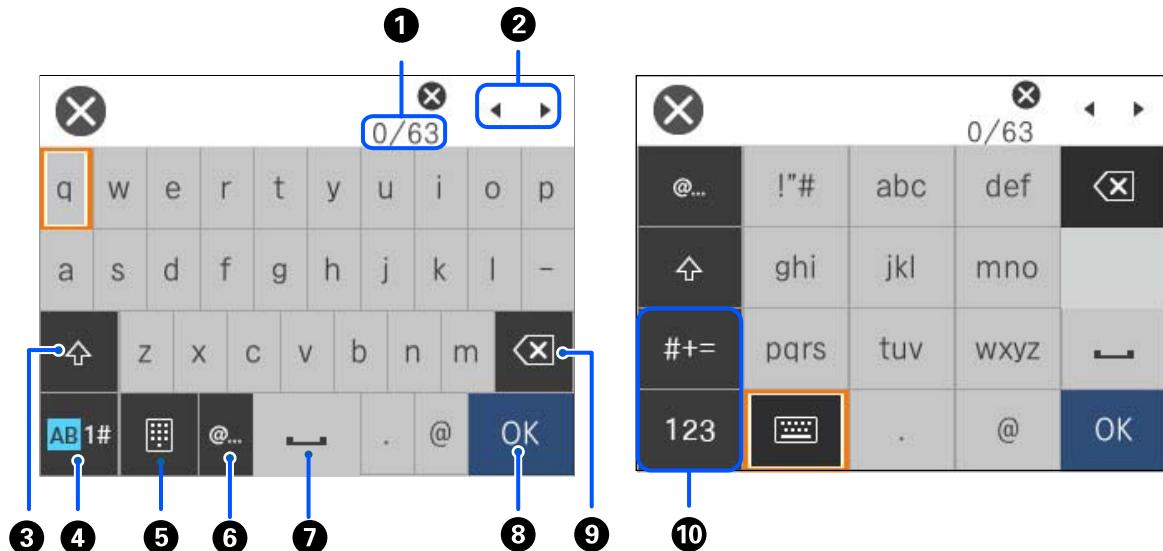
メニュー画面の見方



①	が表示されているときは、ボタンを押すと補足情報を確認できます。
②	操作できるボタンがアイコン表示されます。

文字入力の仕方

ネットワーク設定のパスワード入力などでは、キーボード画面で文字を入力します。

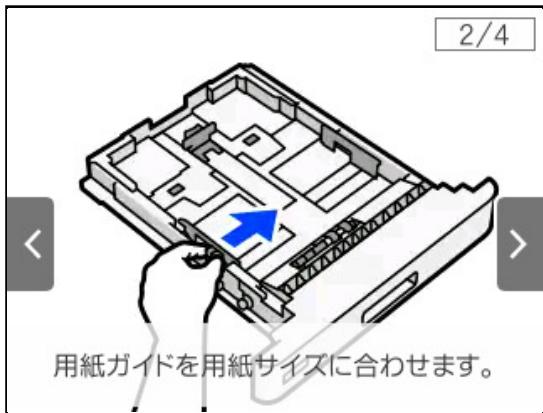


①	入力済みの文字数/入力可能な最大文字数
②	カーソル（入力位置を示す縦棒）を移動します。
③	アルファベットの大文字と小文字を切り替えます。
④	文字種を切り替えます。 AB: アルファベット 1#: 数字と記号
⑤	キーボードの種類を切り替えます。
⑥	メールアドレスやURLでよく使われるドメイン名（@やwww.の後）を表示します。ドメイン名を選択するだけで簡単に入力できます。
⑦	スペースを入力します。
⑧	入力した文字を確定します。
⑨	カーソル（入力位置を示す縦棒）の左側の1文字を削除します。カーソルが先頭にある場合（左側に文字がない場合）は、右側の1文字を削除します。
⑩	文字種を切り替えます。 abc : アルファベット 123 : 数字 #+=: 記号

操作手順を動画で見る

印刷用紙のセットや詰まった用紙の取り除き方は、操作パネルの画面で表示される動画で確認できます。

- ⑦を選択する: ヘルプ画面が表示されます。【操作方法が知りたい】を選択して、見たい項目を選択します。
- 操作中の画面下部に表示される【操作方法を見る】を選択する: 状況に応じた動画が表示されます。



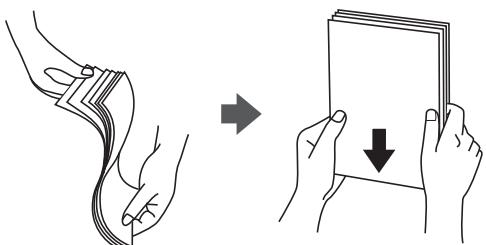
用紙のセット

用紙取り扱い上のご注意	28
用紙サイズと種類の登録	29
用紙のセット	29
排紙の設定	32

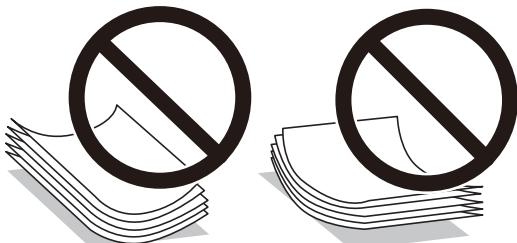
用紙取り扱い上のご注意

用紙

- 印刷できる用紙とセット枚数を確認してください。
- 用紙を複数枚セットするときは、よくさばいて紙粉を落とし、上下左右の端をそろえてください。



- 用紙が反っているときは、反りと反対に丸めるなどして平らにしてください。



- 給紙不良が発生する場合、セット面を上下逆にしてください。

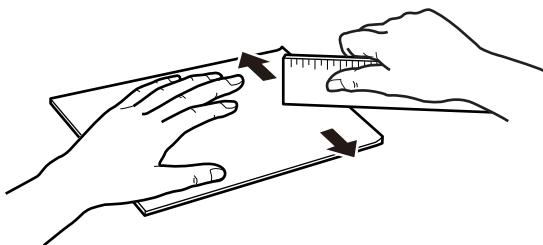
封筒

- 封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つことがありますので、事前に試し印刷することをお勧めします。
- 封筒が正しく給紙されない場合は、セット枚数を減らすと正しく給紙されることがあります。
- 封筒の先端を手差しトレイの奥までしっかりセットしても給紙されないときは、封筒の先端が下向きに反っていないか確認してください。反っているときは、反りを直してからセットしてください。

ハガキ

- 大きく反っているハガキは、反りを修正してからお使いください。
- 絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラーに付着して給紙できなくなることがあります。
- 両面に印刷するときは、良好な印刷結果を得るために、きれいに印刷したい面を先に印刷してください。
- 設定した位置に印刷されなかったり、用紙が二重送りされてしまうときは、用紙を1枚ずつセットして印刷してください。
- ハガキの先端を手差しトレイの奥までしっかりセットしても給紙されないときは、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。

- ハガキの断面に、裁断時にできた「バリ」があるときは、除去してください。ハガキを水平な場所に置き、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に1~2回こすると除去できます。また、バリを除去した後は、紙粉をよく払ってから給紙してください。紙粉は給紙不良の原因となります。

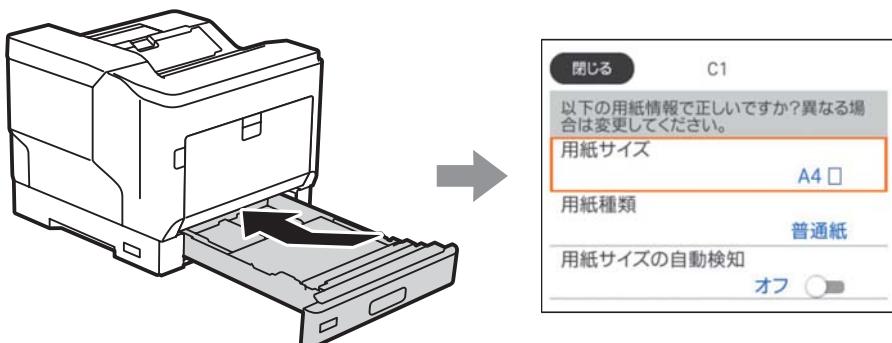


関連情報

→ 「印刷できない用紙」 216ページ

用紙サイズと種類の登録

用紙カセット挿入時にプリンターに表示される画面で、用紙サイズと種類を登録しておくと、登録情報と印刷設定が異なるときにプリンターがお知らせします。用紙種類に合った印刷ができずに定着不良、給紙不良が起きることを防ぎ、用紙やトナーを無駄にせずに済みます。



表示された用紙サイズや種類がセットした用紙と異なる場合は、項目を選択して変更してください。このままでいい場合は画面を閉じてください。

参考 用紙サイズと用紙種類の設定画面は、操作パネルの  ボタンを押しても表示できます。

用紙のセット

プリンターの画面に表示される動画を見ながら、用紙をセットできます。



を選択して、[操作方法が知りたい] - [印刷用紙のセット] を選択します。使用したい用紙の種類や給紙装置を選択して、動画を表示します。画面を閉じるときは、[終了する] を選択します。



!重要

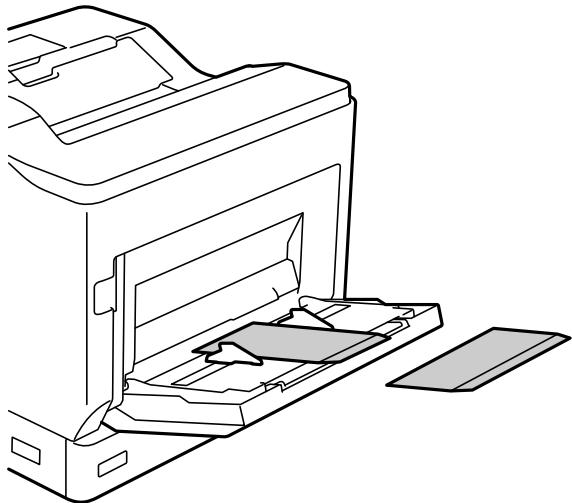
- 用紙カセットは、2段以上同時に引き出さないでください。不安定な状態になって本体が倒れるなどの可能性があります。
- 印刷中は、用紙カセットを引き出さないでください。
- 用紙カセットを勢いよく押し込まないでください。用紙がずれて、斜め送りや紙詰まりになるおそれがあります。
- 最大セット容量を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できないことがあります。
- コート紙は手差しトレイに1枚ずつセットして印刷してください。
- 用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズが合っていないと、給紙不良や紙詰まり、エラーの原因となります。
- 用紙種類が正しく設定されていないと、印刷不良の原因になります。
- 定形紙以外の用紙に印刷するときは、必ずプリンタードライバーの [ユーザー定義サイズ (Windows)] / [カスタムサイズを管理 (Mac OS)] で用紙サイズを指定してください。サイズの異なる用紙を選択し続けると、プリンター内部の定着器が損傷することがあります。

封筒のセット

印刷する面を下にして封筒をセットします。

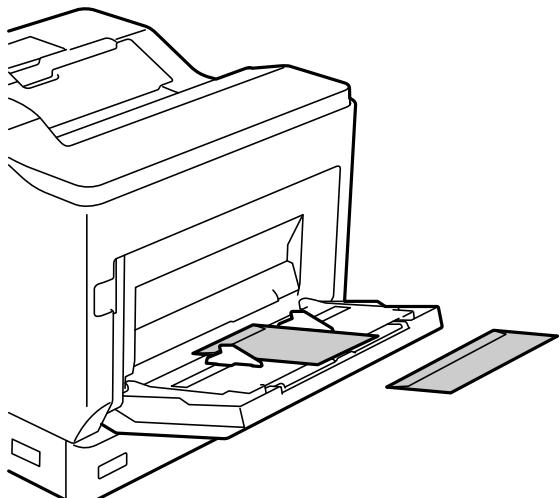
- 封筒のふたを開いた場合

プリンターに向かって、ふた部が手前側になるようにセットします。このセット方法を推奨します。
封筒のふたを開いた状態で後端をセットする場合、プリンタードライバーの【応用設定】タブで【180度回転】を選択します。(Windows)



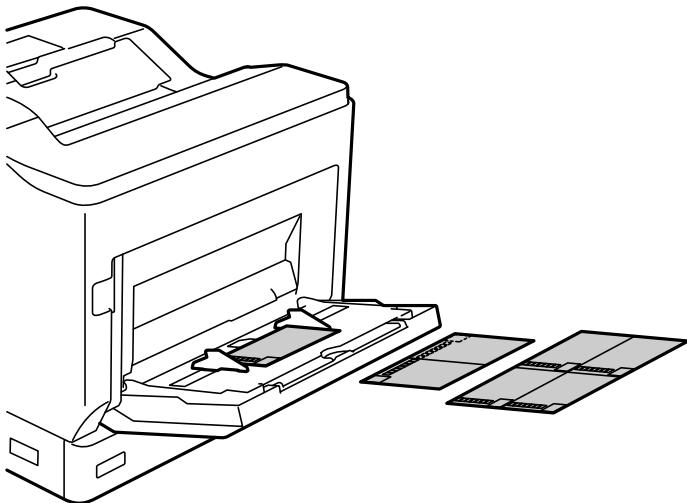
- 封筒のふたを閉じた場合

プリンターに向かって、ふた部が奥側になるようにセットします。



ハガキのセット方法

印刷する面を下にして手差しトレイの中央にセットし、用紙ガイドをハガキに合わせてください。



参考 両面に印刷するときは、良好な印刷結果を得るために、きれいに印刷したい面を先に印刷してください。

排紙の設定

印刷済みの面を下（フェイスダウン）にして排紙します。A4サイズ普通紙で250枚まで排出できます。縦置きと横置きができる用紙（A4/Letter）は、排紙方向が変えられます。また、部単位印刷時には1部ずつ縦横交互に排紙することもでき、束ねる作業が楽になります。

排紙方向を指定する

1. 手差しトレイに用紙をセットした場合は、操作パネルで用紙のサイズ（向き）を設定します。

設定項目：用紙サイズ

設定値：A4 A4 Letter Letter

2. プリンタードライバーで排紙方向を指定します。

Windows：[基本設定] - [排紙設定]

Mac OS: [印刷設定] - 排紙方向

[方向を変えて排紙] を選択すると、標準（A4 横／Letter 横）とは異なる向きでセットしてある給紙装置の用紙に印刷して排紙します。

1部ずつ縦横交互に排紙する

1. A4 (またはLetter) サイズの用紙を、給紙方法紙装置の1つに横置き、もう1つの装置に縦置きでセットします。

2. 手差しトレイに用紙をセットした場合は、操作パネルで用紙のサイズ（向き）を設定します。

設定項目：用紙サイズ

設定値：A4 A4 Letter Letter

3. プリンタードライバーの [部単位で印刷] をチェックし、給紙方法を [自動選択] に設定します。

Windows： [基本設定] - [給紙方法]

Mac OS: [印刷設定] - [給紙方法]

4. 排紙設定で [1部ずつ縦横交互に排紙] を選択します。

Windows： [基本設定] - [排紙設定]

Mac OS: [印刷設定] - [排紙方向]

5. 部数を指定して印刷します。

印刷

文書を印刷する	35
ハガキ、年賀状、封筒に印刷する	83
ウェブページを印刷する	85
クラウドサービスで印刷する	86

文書を印刷する

コンピューターから文書を印刷する (Windows)

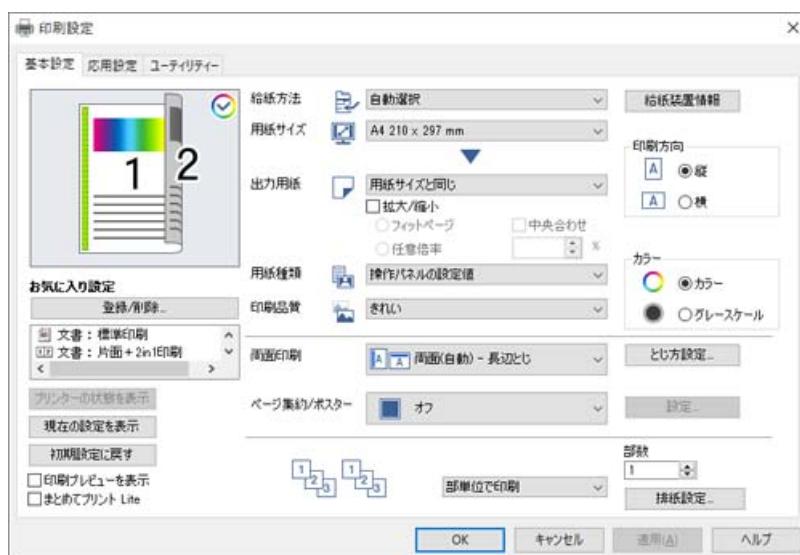
プリンタードライバーの設定が変更できないときは、管理者によって使用できる機能が制限されている可能性があります。管理者に問い合わせてください。

簡単な設定で印刷する



参考 アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. プリンターに用紙をセットします。
[「用紙のセット」 29ページ](#)
2. 印刷するファイルを開きます。
3. [ファイル] メニューの [印刷] (または [プリント] など) を選択します。
4. プリンターを選択します。
5. [プロパティ] (または [詳細設定] など) をクリックして、プリンタードライバー (詳細な印刷設定) の画面を表示させます。



6. 必要に応じて設定を変更します。

各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

参考

- 各項目の説明は、プリンタードライバーのヘルプでも確認できます。項目上で右クリックすると [ヘルプ] が表示されます。
- 自動で両面印刷できない用紙の裏面印刷は手動で行います（ラベル紙への裏面印刷は不可）。裏面印刷時は、[用紙種類] で（裏面）を選択してください。
- 片面印刷する場合は [両面印刷] の項目を [オフ] にします。
- [印刷プレビューを表示] にチェックすると、印刷を開始する前に印刷イメージを確認できます。

7. [OK] をクリックしてプリンタードライバーの画面を閉じます。

8. [印刷] をクリックします。

参考

コンピューターから印刷を中止したい場合は、[デバイスとプリンター]（または [プリンタ]、[プリンタとfax]）で、お使いのプリンターを右クリックします。[印刷ジョブの表示] をクリックし、中止するジョブ上で右クリックして、[キャンセル] を選択します。ただし、送信終了した印刷ジョブはコンピューターからは中止できません。プリンターの操作パネルから中止してください。

関連情報

- 「印刷できる用紙とセット枚数」 212ページ
- 「プリンタードライバーのメニュー説明」 36ページ

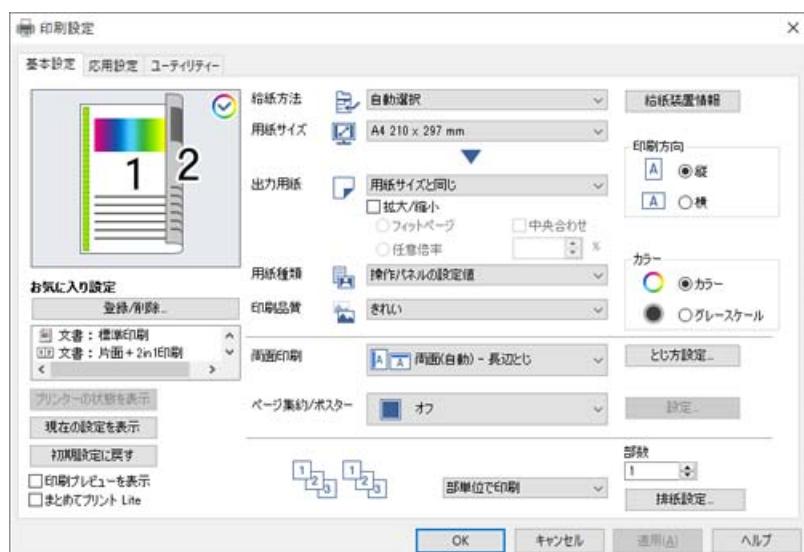
プリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考

項目は選択した内容によって異なります。

基本設定タブ



お気に入り設定：

登録/削除：

多用する設定の登録や削除ができます。登録した設定は、リストから選択することで使用できます。

プリンターの状態を表示：

EPSON ステータスマニタが起動して、プリンターの状態を表示します。この機能を有効にするには EPSON ステータスマニタをインストールする必要があります。エプソンのウェブサイトからダウンロードできます。

www.epson.jp/support/

現在の設定を表示/現在の設定を非表示：

[基本設定] タブや [応用設定] タブで設定されている項目を一覧で表示します。現在の設定一覧画面を表示、または非表示にすることができます。

初期設定に戻す：

設定を初期状態に戻します。初期化は、[応用設定] タブにも適用されます。

印刷プレビューを表示：

印刷を開始する前に印刷イメージを表示します。

まとめてプリント Lite：

異なるアプリケーションソフトで作成した複数の文書を1つの印刷ジョブにまとめて印刷します。

給紙方法：

どの給紙装置から給紙するかを選択します。[自動選択]にしておくと、プリンターの用紙設定と一致する給紙装置を自動で選択します。

用紙サイズ：

出力する用紙サイズを選択します。[ユーザー定義サイズ]は、用紙の幅と長さを入力し、任意のサイズを登録することができます。

出力用紙：

出力する用紙サイズを選択します。[用紙サイズ]と[出力用紙]のサイズが異なるときは、[拡大/縮小]が自動で選択されます。拡大、縮小印刷をしないときは、選択する必要はありません。

拡大/縮小：

拡大、縮小印刷を有効にします。

フィットページ：

[出力用紙]のサイズに合わせて自動で拡大、縮小印刷します。

任意倍率：

任意の倍率で拡大、縮小印刷します。

中央合わせ：

用紙の中央にデータを印刷します。

用紙種類：

印刷する用紙の種類を選択します。【操作パネルの設定値】を選択すると、プリンターの給紙装置設定で用紙種類を以下に設定した給紙装置から印刷されます。

普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、プレプリント、上質紙、厚紙1、厚紙2、ラベル、ユーザー専用紙

ただし、プリンターの【給紙口自動選択】で給紙装置がオフになっている給紙装置からは給紙されません。

印刷品質：

印刷したい品質を選択します。用紙の種類によって選択肢が異なります。【詳細設定】は、任意で品質を設定できます。

給紙装置情報：

プリンターの各給紙装置に設定された用紙情報を表示します。

印刷方向：

印刷の向きを選択します。

カラー：

カラー印刷かモノクロ印刷かを選択します。

両面印刷：

両面印刷を有効にします。

とじ方設定：

出力紙をとじるときの位置や、とじしろの幅を設定します。複数ページを印刷するときは、1ページ目を裏面（片面）から印刷するかを選択できます。

ページ集約/ポスター：

割り付け印刷やポスター印刷を有効にします。【設定】では、ページの配置順などが設定できます。

部単位で印刷/ページ単位で印刷：

複数ページの文書を部単位で印刷するには【部単位で印刷】を選択します。

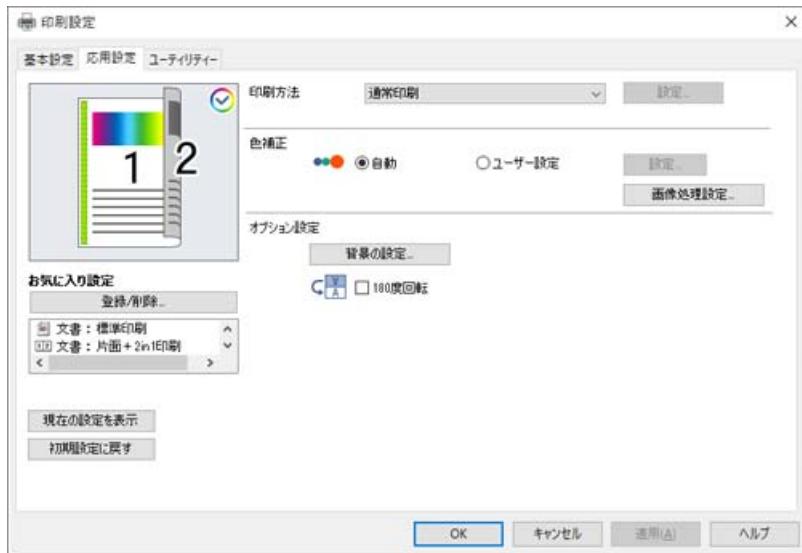
部数：

印刷する部数を設定します。

排紙設定：

横置きと縦置きができる用紙の排紙方向が指定できます。

応用設定タブ



お気に入り設定 :

登録/削除 :

多用する設定の登録や削除ができます。登録した設定は、リストから選択することで使用できます。

現在の設定を表示/現在の設定を非表示 :

[Basic Settings] タブや [Advanced Settings] タブで設定されている項目を一覧で表示します。現在の設定一覧画面を表示、または非表示にすることができます。

初期設定に戻す :

設定を初期状態に戻します。初期化は、[Basic Settings] タブにも適用されます。

印刷方法 :

[Password Print] を選択してパスワードを設定すると、プリンターでパスワードを入力するまで印刷されません。[Password Setting] で、入力した内容の変更ができます。

色補正 :

自動 :

画像などの色を自動で補正して印刷します。

ユーザー設定 :

画像などの色を手動で補正して印刷します。[Setting] をクリックすると色補正画面が開き、色補正の詳細な方法が選択できます。[Image Processing Setting] をクリックするとカラーユニバーサルプリント、Web Smoothing、細い線を鮮明に印刷する設定を有効にできます。

オプション設定 :

背景の設定 :

透かし印刷やスタンプマーク、ヘッダー/フッターの設定をします。

追加/削除：

任意の透かし印刷やスタンプマークを追加または削除できます。

設定：

透かしやスタンプマークのサイズ、濃度、位置などを設定します。

ヘッダー/フッター：

ヘッダーやフッターにユーザー名や日付などを入れて印刷できます。

180度回転：

データを180度回転して印刷します。用紙の向きを変えられないハガキや封筒に印刷するときに有効です。

ユーティリティタブ



ステータスシート印刷：

プリンター情報、消耗品情報、使用履歴のステータスシートを印刷します。

まとめてプリント Lite：

まとめてプリント Liteの画面を表示します。作業中のデータの保存や編集ができます。

EPSON ステータスモニタ：

EPSON ステータスモニタの画面を表示します。プリンターや消耗品の状態が確認できます。この機能を有効にするにはEPSON ステータスモニタをインストールする必要があります。エプソンのウェブサイトからダウンロードできます。

www.epson.jp/support/

通知の設定：

EPSON ステータスモニタの監視条件などを設定します。この機能を有効にするにはEPSON ステータスモニタをインストールする必要があります。エプソンのウェブサイトからダウンロードできます。

www.epson.jp/support/

拡張設定：

より詳細な印刷設定ができます。設定項目の詳細は、項目上で右クリックしてヘルプをご覧ください。

印刷待ち状態表示：

印刷を待っているジョブを表示します。ジョブの状況の確認や一時停止、再開などが操作できます。

プリンター情報：

プリンターやオプションの設定を確認できます。

言語選択：

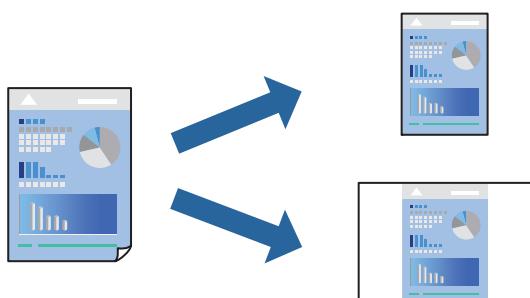
プリンタードライバーの言語を変更します。画面を開き直すと言語が変更されます。

困ったときは：

お使いのコンピューターにマニュアルがインストールされている場合は、マニュアルを表示します。インストールされていない場合は、エプソンのウェブサイトに接続してマニュアルやサポート内容が確認できます。

よく使う設定を登録して簡単に印刷する

よく使う印刷設定をプリンタードライバーに登録しておくと、リストから選択するだけで印刷できます。



1. プリンタードライバーの [基本設定] または [応用設定] タブの各項目（[用紙サイズ] や [用紙種類] など）を設定します。
2. [お気に入り設定] の [登録/削除] をクリックします。
3. [設定名] を入力し、必要に応じてコメントを入力します。
4. [登録] をクリックします。



登録した印刷設定を削除するには、[登録/削除] をクリックし、リストから削除する設定名を選択して削除します。

[「基本設定タブ」 36ページ](#)
[「応用設定タブ」 39ページ](#)

5. [印刷] をクリックします。

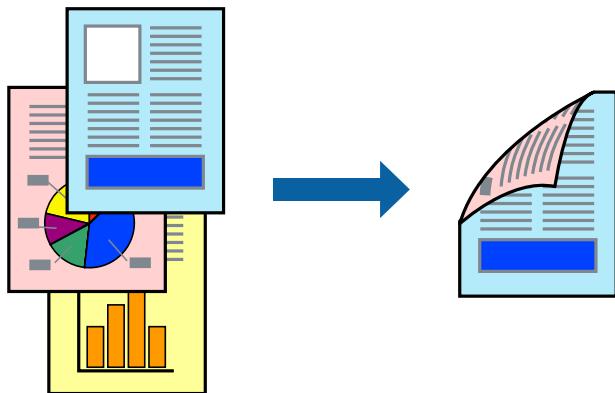
次回同じ設定で印刷するときは、[お気に入り設定] から登録した設定名を選択して、[OK] をクリックします。

関連情報

- ➔ [「用紙のセット」27ページ](#)
- ➔ [「簡単な設定で印刷する」35ページ](#)

両面に印刷する

用紙の両面に印刷できます。



参考

- 両面印刷に対応していない用紙は、印刷品質の低下や紙詰まりの原因になります。
[「自動両面印刷ができる用紙」215ページ](#)
- EPSON ステータスマニタで印刷状況を確認する場合は、EPSON ステータスマニタをインストールする必要があります。エプソンのウェブサイトからダウンロードできます。
www.epson.jp/support/

1. プリンタードライバーの [基本設定] タブの両面印刷でとじ方を選択します。
2. [とじ方設定] をクリックし、文書タイプを設定して [OK] をクリックします。

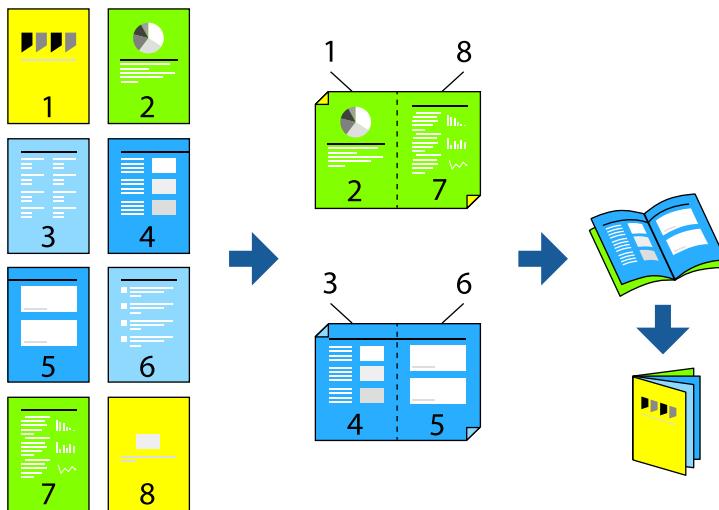
参考 自動で両面印刷できない用紙の裏面印刷は手動で行います（ラベル紙への裏面印刷は不可）。裏面印刷時は、[用紙種類] で（裏面）を選択してください。
3. [基本設定] タブと [応用設定] タブの各項目を設定して [OK] をクリックします。
[「基本設定タブ」36ページ](#)
[「応用設定タブ」39ページ](#)
4. [印刷] をクリックします。

関連情報

- ➔ [「印刷できる用紙とセット枚数」212ページ](#)
- ➔ [「用紙のセット」27ページ](#)
- ➔ [「簡単な設定で印刷する」35ページ](#)

冊子になるように印刷する

用紙を折ったときに冊子になるように、ページを並べ替えて両面印刷できます。



参考

- 両面印刷に対応していない用紙を使用すると、印刷品質の低下や紙詰まりの原因になります。
[「自動両面印刷ができる用紙」215ページ](#)
- EPSON ステータスマニタで印刷状況を確認する場合は、EPSON ステータスマニタをインストールする必要があります。エプソンのウェブサイトからダウンロードできます。
www.epson.jp/support/

1. プリンタードライバーの [基本設定] タブの [両面印刷] で長辺とじを選択します。
2. [とじ方設定] をクリックし、[製本] にチェックして [全ページ] または [分割する] を選択します。
 - 全ページ：ページ数が少なく、全ページを重ねて二つ折りできるときの方法です。
 - 分割する：1枚（4ページ）分ずつ印刷し、それぞれを二つ折りしてから1冊にまとめます。
3. [OK] をクリックします。
4. [基本設定] タブと [応用設定] タブの各項目を設定して [OK] をクリックします。
[「基本設定タブ」36ページ](#)
[「応用設定タブ」39ページ](#)
5. [印刷] をクリックします。

関連情報

- [「印刷できる用紙とセット枚数」212ページ](#)
- [「用紙のセット」27ページ](#)
- [「簡単な設定で印刷する」35ページ](#)

複数ページを1枚の用紙に印刷する

1枚の用紙に複数ページのデータを割り付けて印刷できます。



1. プリンタードライバーの [基本設定] タブの [ページ集約/ポスター] で [2in1] 、 [4in1] 、 [6in1] 、 [8in1] 、 [9in1] 、 [16in1] から割り付け方法を選択します。
2. [設定] をクリックし、各項目を設定して [OK] をクリックします。
3. [基本設定] タブと [応用設定] タブの各項目を設定して [OK] をクリックします。
[「基本設定タブ」 36ページ](#)
[「応用設定タブ」 39ページ](#)
4. [印刷] をクリックします。

関連情報

- ➔ [「用紙のセット」 27ページ](#)
- ➔ [「簡単な設定で印刷する」 35ページ](#)

用紙サイズに合わせて印刷する

プリンターにセットした用紙のサイズに合わせて印刷できます。



1. プリンタードライバーの [基本設定] タブで以下の設定をします。

- 用紙サイズ：アプリケーションソフトで設定した用紙サイズを選択
- 出力用紙：プリンターにセットした印刷用紙のサイズを選択
[フィットページ] が自動的に選択されます。

参考

縮小した画像を用紙の真ん中に印刷するときは、[中央合わせ] をチェックします。

2. [基本設定] タブと [応用設定] タブの各項目を設定して [OK] をクリックします。

[「基本設定タブ」36ページ](#)

[「応用設定タブ」39ページ](#)

3. [印刷] をクリックします。

関連情報

- [「用紙のセット」27ページ](#)
- [「簡単な設定で印刷する」35ページ](#)

任意の倍率で拡大または縮小して印刷する

任意の倍率で、拡大または縮小して印刷できます。



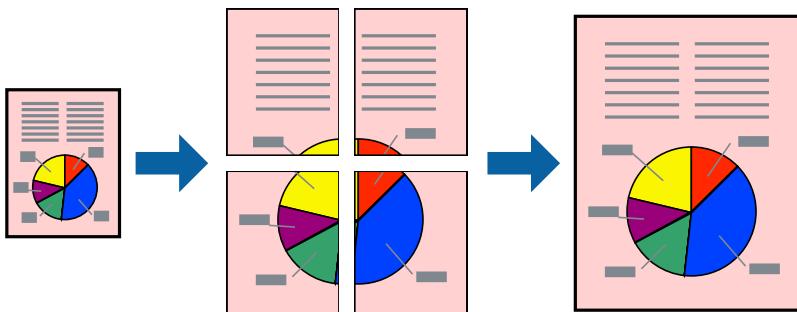
1. [基本設定] タブの [用紙サイズ] から、印刷データのサイズを選択します。
2. [出力用紙] で印刷したい用紙サイズを選択します。
3. [任意倍率] を選択して、倍率を入力します。 [出力用紙] が [用紙サイズと同じ] の場合は、先に [拡大/縮小] をチェックします。
4. [基本設定] タブと [応用設定] タブの各項目を設定して [OK] をクリックします。
[「基本設定タブ」36ページ](#)
[「応用設定タブ」39ページ](#)
5. [印刷] をクリックします。

関連情報

- ➔ [「用紙のセット」27ページ](#)
- ➔ [「簡単な設定で印刷する」35ページ](#)

1ページのデータを複数の用紙に分割して印刷する (ポスター印刷)

1ページのデータを複数の用紙に分割して印刷します。印刷した用紙を貼り合わせるとポスターのような大きな印刷物になります。



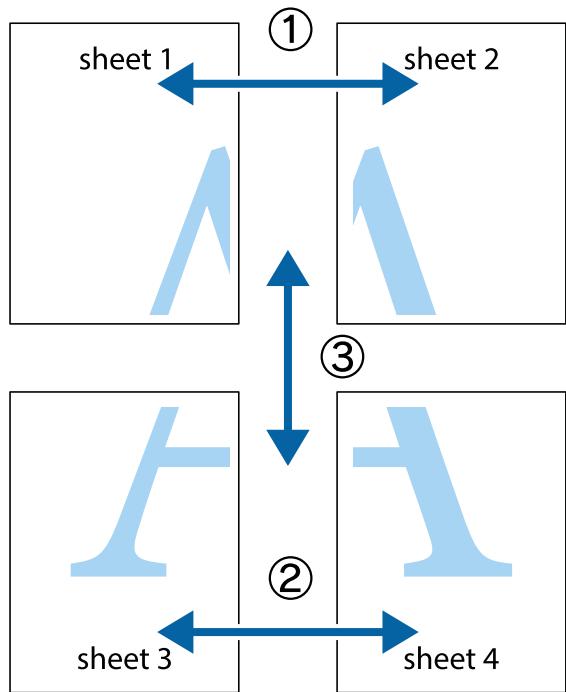
1. プリンタードライバーの [基本設定] タブの [両面印刷] から [オフ] を選択します。
2. [ページ集約/ポスター] から [2×1 ポスター] 、 [2×2 ポスター] 、 [3×3 ポスター] 、 [4×4 ポスター] のいずれかを選択します。
3. [設定] をクリックし、各項目を設定して [OK] をクリックします。
参考 [ガイド印刷] をチェックすると、貼り合わせガイドが印刷できます。
4. [基本設定] タブと [応用設定] タブの各項目を設定して [OK] をクリックします。
[「基本設定タブ」 36ページ](#)
[「応用設定タブ」 39ページ](#)
5. [印刷] をクリックします。

関連情報

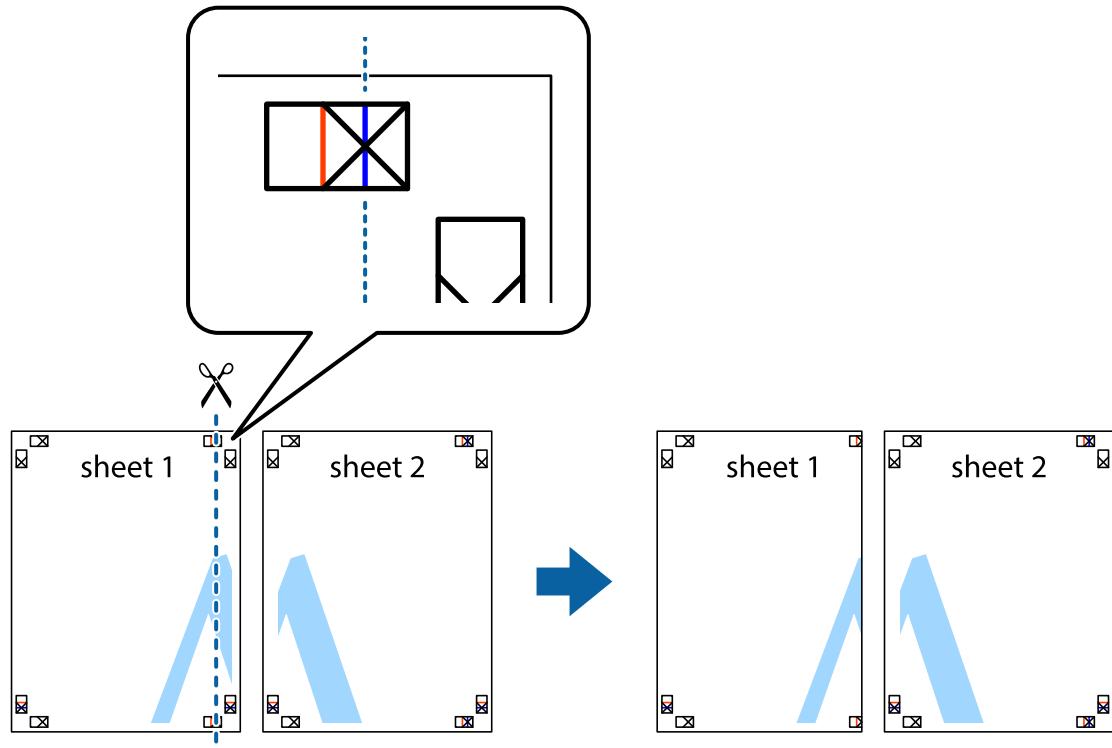
- [「用紙のセット」 27ページ](#)
- [「簡単な設定で印刷する」 35ページ](#)

用紙を貼り合わせてポスターを作る

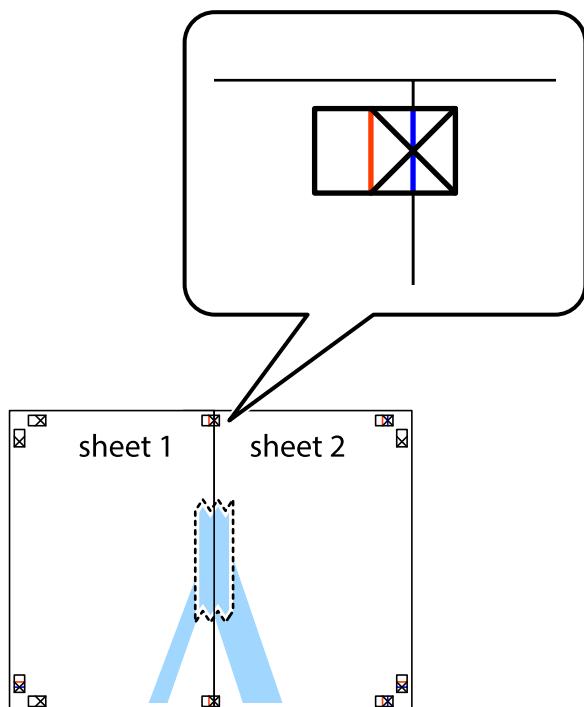
ここでは [2×2 ポスター] を選択して、[ガイド印刷] を [貼り合わせガイドを印刷] にしたときの用紙の貼り合わせ方を例に説明します。



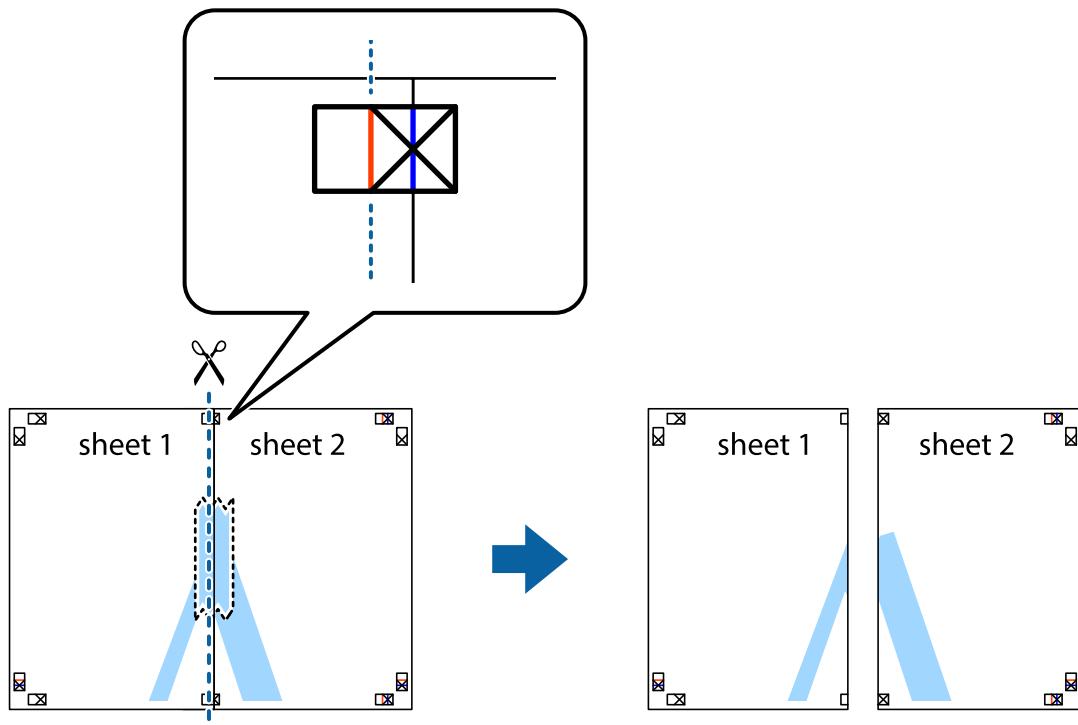
1. Sheet 1とSheet 2を用意します。Sheet 1を、×印と交わっている縦線（青色）を結ぶ線で切れます。



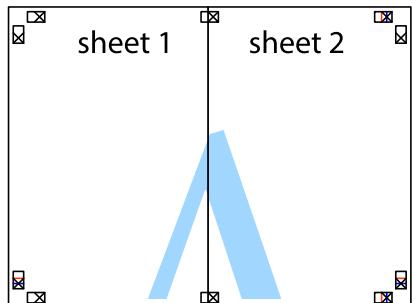
2. Sheet 1をSheet 2の上に重ね、×印が合うようにして、裏面にテープを貼って仮留めします。



3. ×印の左側の縦線（赤色）を結ぶ線で切れます。

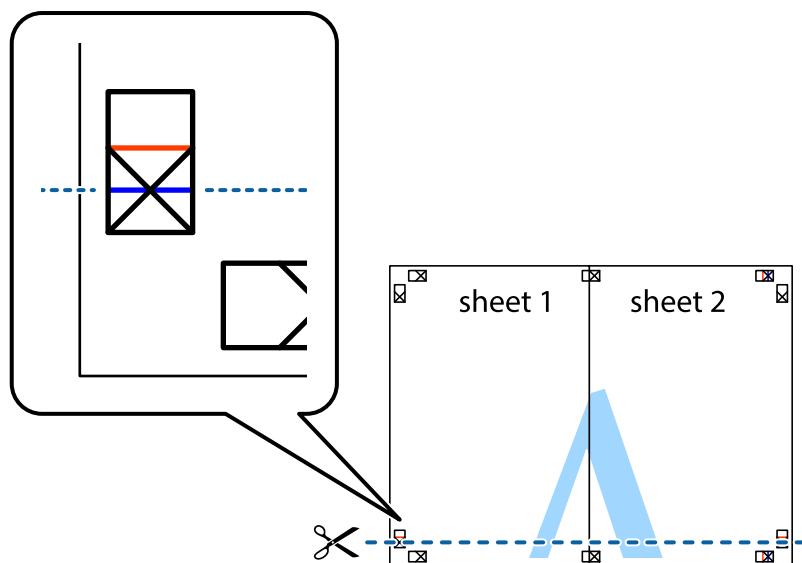


4. 裏面にテープを貼って合わせます。

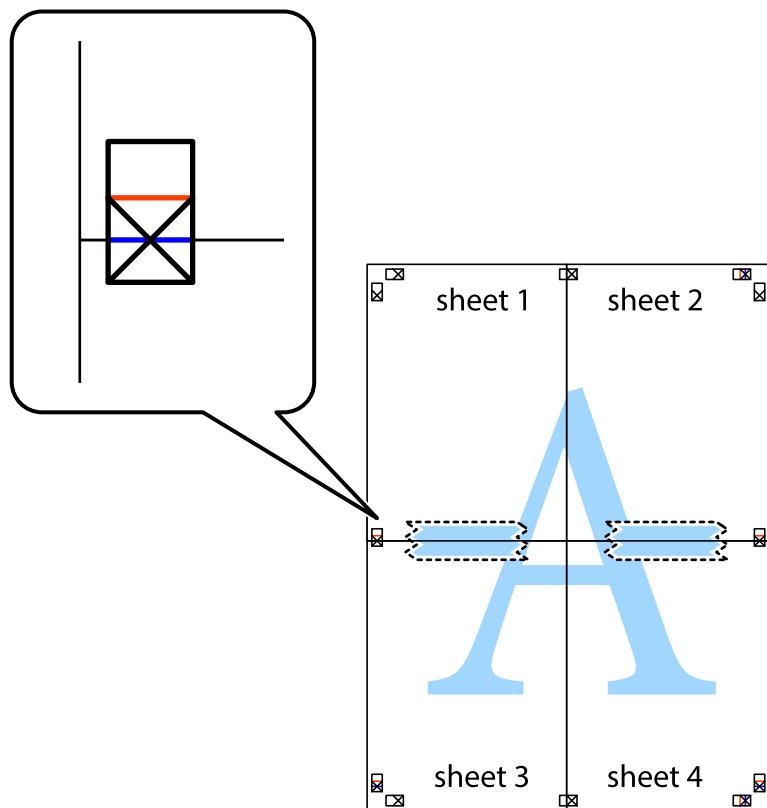


5. Sheet 3とSheet 4も手順1～4と同じように貼り合わせます。

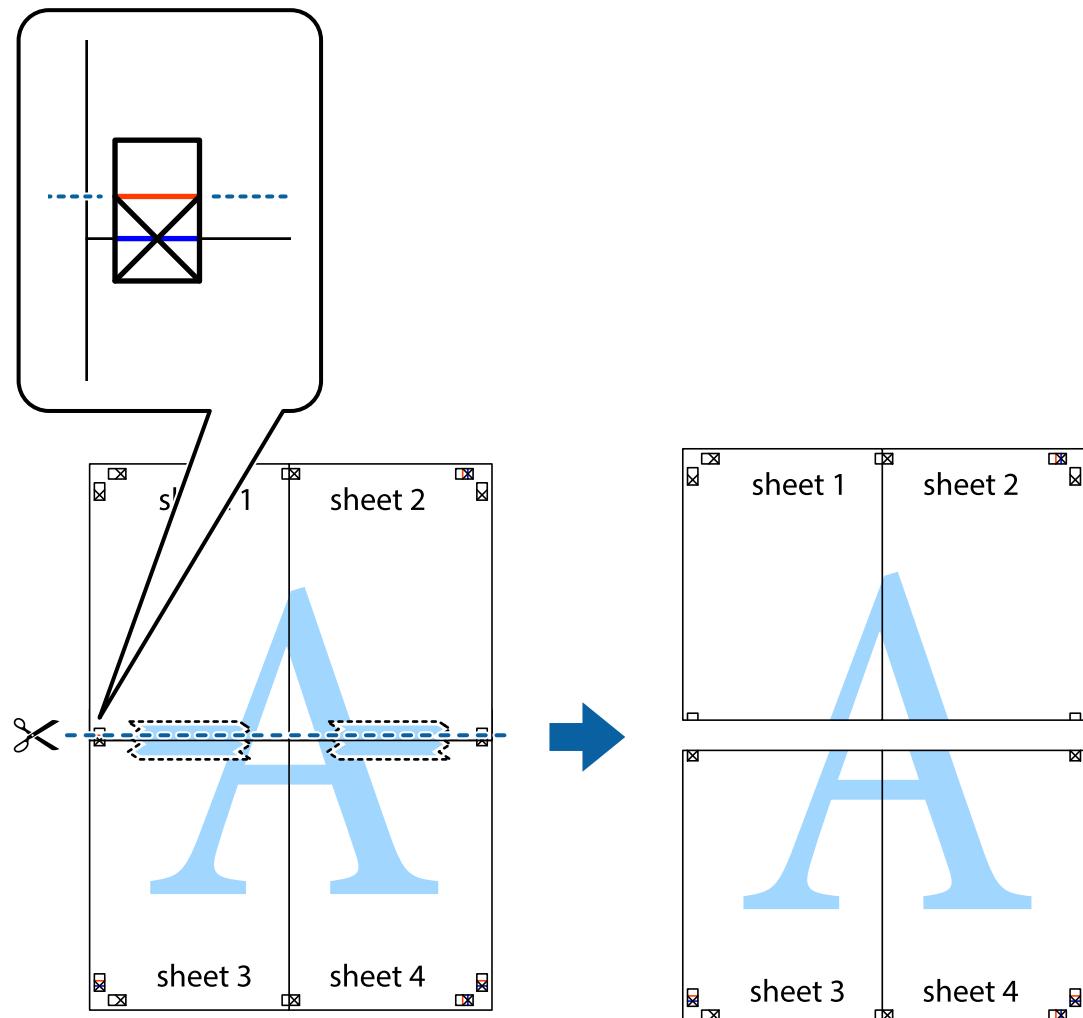
6. Sheet 1とSheet 2を、×印に交わった横線（青色）を結ぶ線で切れます。



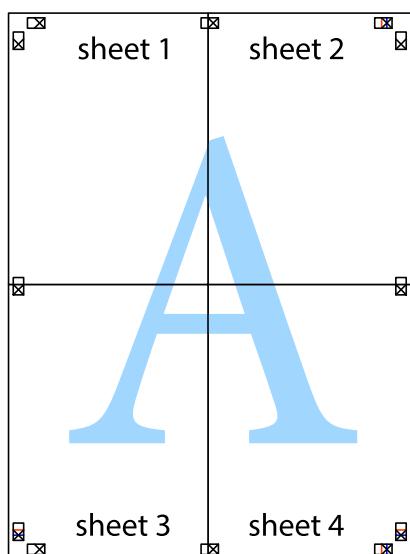
7. Sheet 1とSheet 2をSheet 3とSheet 4の上に重ね、×印が合うようにして、裏面にテープを貼って仮留めします。



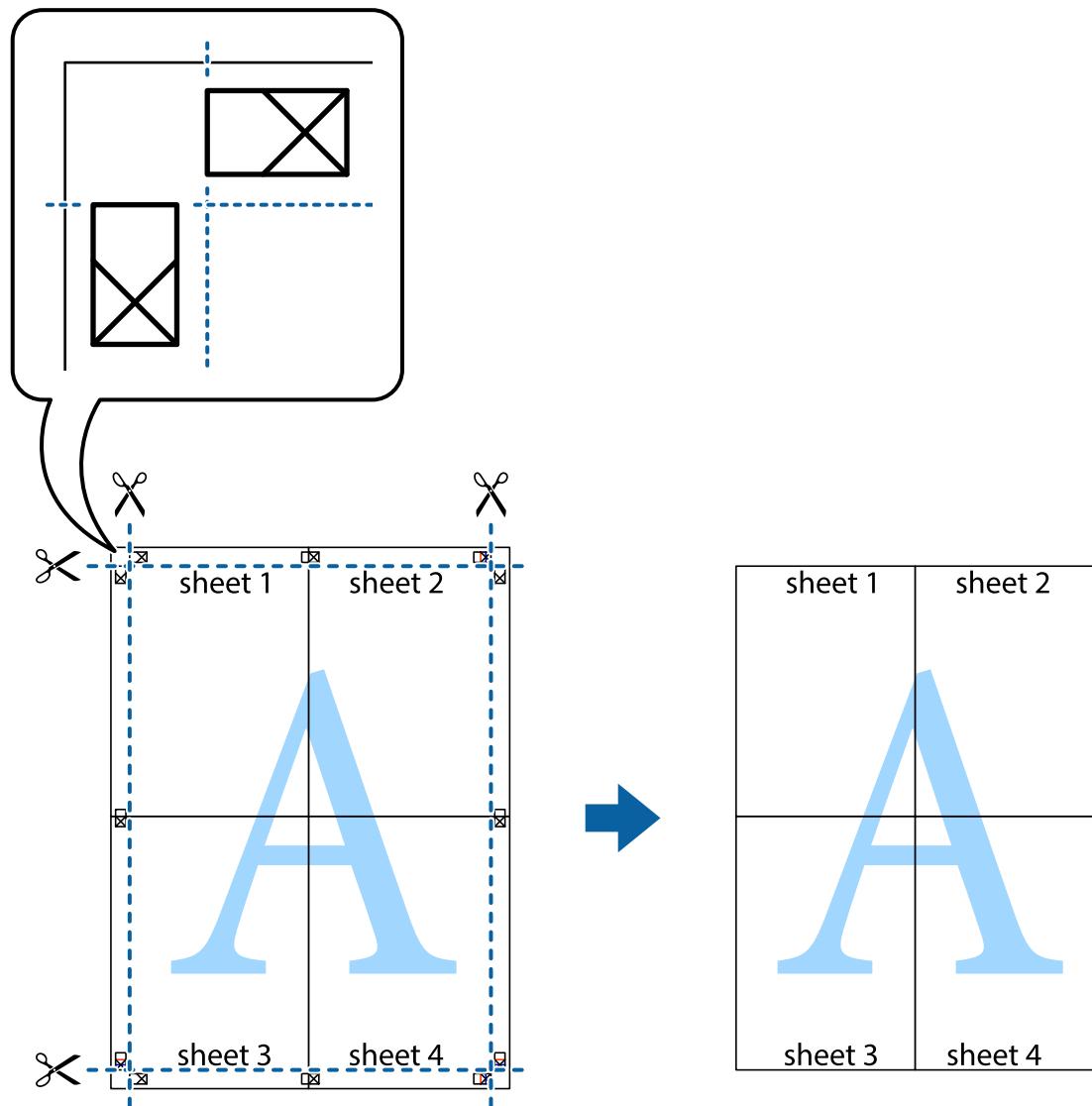
8. ×印上側の横線（赤色）を結ぶ線で切れます。



9. 裏面にテープを貼って合わせます。

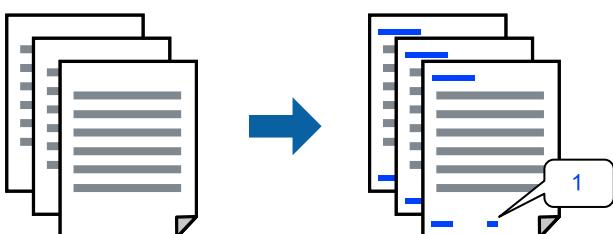


10. 外側のガイドに沿って余白を切り取ります。



ヘッダーやフッターを入れて印刷する

ヘッダーやフッターにユーザー名や日付などを入れて印刷できます。



1. プリンタードライバーの [応用設定] タブで [背景の設定] をクリックして、[ヘッダー/フッター] にチェックします。

2. [設定] をクリックして印刷したい項目を選択し、OKをクリックします。

参考

- ページ番号の最初の数字を指定する場合は、ヘッダーやフッターに印刷したい位置から [ページ番号] を選択し、その後 [開始番号] で数字を選択します。
- ヘッダーまたはフッターに文字を印刷する場合は、印刷する位置を選択して [テキスト] を選択します。そしてテキスト欄に任意の文字を入力します。

3. [基本設定] タブと [応用設定] タブの各項目を設定して [OK] をクリックします。

[「基本設定タブ」36ページ](#)

[「応用設定タブ」39ページ](#)

4. [印刷] をクリックします。

関連情報

- [「用紙のセット」27ページ](#)
- [「簡単な設定で印刷する」35ページ](#)

透かしを入れて印刷する (透かし印刷)

印刷データに「マル秘」などのマークや、「コピー」などの透かし文字を入れて印刷できます。原本をコピーしたときに文字が浮き上がるよう印刷されて、原本とコピーを区別できます。



透かし印刷は、以下の条件でのみ有効にできます。

- 用紙種類：普通紙、レター／ヘッド、再生紙、色つき、プレプリント、上質紙、厚紙1(106～163g/m²)、厚紙2(164～216g/m²)、ラベル、ユーザー専用紙
- 印刷品質：きれい

参考

任意のマークや透かし文字も登録できます。

1. プリンタードライバーの [応用設定] タブで [背景の設定] をクリックして、透かし印刷やスタンプマークの種類を選択します。

2. [設定] をクリックして、透かしやスタンプマークのサイズ、濃度、位置などを変更します。

3. [基本設定] タブと [応用設定] タブの各項目を設定して [OK] をクリックします。

[「基本設定タブ」36ページ](#)

[「応用設定タブ」39ページ](#)

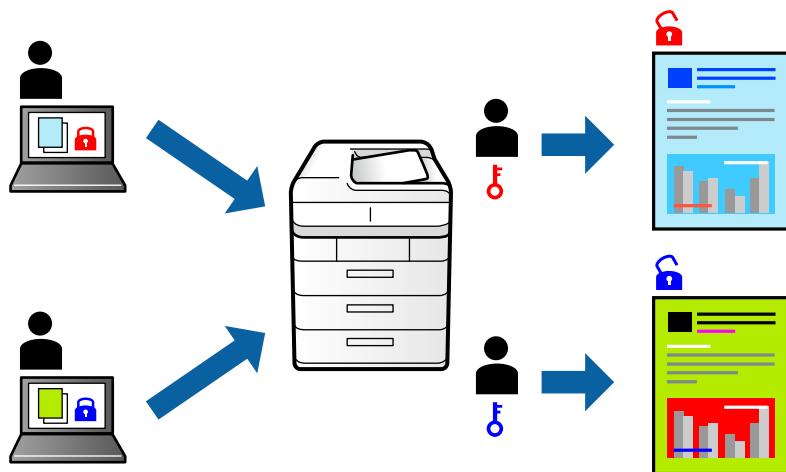
4. [印刷] をクリックします。

関連情報

- 「用紙のセット」 27ページ
- 「簡単な設定で印刷する」 35ページ

パスワードを設定して印刷する

印刷ジョブにパスワードを設定して、プリンターの操作パネルからパスワードが入力されるまで印刷できないようにします。



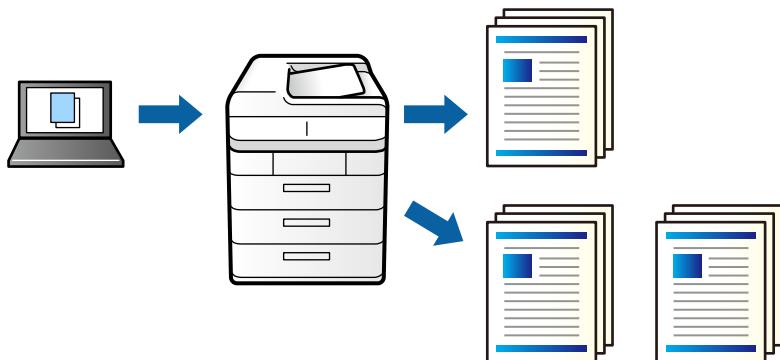
1. プリンタードライバーの [応用設定] タブの [印刷方法] から [パスワード印刷] を選択して、パスワードを入力します。
2. [基本設定] タブと [応用設定] タブの各項目を設定して [OK] をクリックします。
「基本設定タブ」 36ページ
「応用設定タブ」 39ページ
3. [印刷] をクリックします。
4. 印刷するには、プリンターのホーム画面で [本体メモリーからの印刷] を選択します。印刷するジョブを選択してパスワードを入力します。

関連情報

- 「用紙のセット」 27ページ
- 「簡単な設定で印刷する」 35ページ

1部だけ印刷してから2部目以降を印刷する

大量の文書を印刷する前に、1部だけ印刷して内容を確認することができます。2部目以降はプリンターの操作パネルを操作して印刷します。この機能はオプションのHDDが取り付けられている場合に使用できます。



1. プリンタードライバーの [応用設定] タブの [印刷方法] 設定で [試し印刷] を選択します。
2. [設定] をクリックし、[ユーザー名] と [ジョブ名] を入力して、[OK] をクリックします。
ジョブ名を設定することで、プリンターの操作パネル上でジョブが識別できます。
3. [基本設定] タブと [応用設定] タブの各項目を設定して [OK] をクリックします。
[「基本設定タブ」36ページ](#)
[「応用設定タブ」39ページ](#)
4. [印刷] をクリックします。
1部だけ印刷され、2部目以降はプリンターのメモリーに保存されます。
保存されたデータは、プリンターの電源を切ると削除されます。
5. 印刷するには、プリンターのホーム画面で [本体メモリーからの印刷] を選択します。
6. 印刷するジョブを選択します。
一覧からユーザーを選択して、印刷したいジョブを選びます。パスワードの入力を要求されたら、プリンタードライバーで設定したパスワードを入力します。
7. もしジョブ詳細情報が表示されたら、その画面を閉じて [印刷] を選択します。

参考

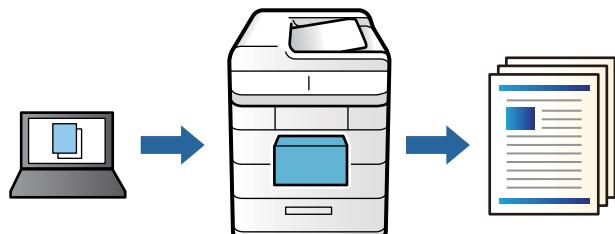
メモリーから削除したい場合は、[削除] を選択します。

関連情報

- [「用紙のセット」27ページ](#)
- [「簡単な設定で印刷する」35ページ](#)
- [「HDD \(LP-S8180シリーズのみ\)」178ページ](#)

プリンターのメモリーに印刷ジョブを保存して印刷する

印刷したデータをプリンターのメモリーに保存できます。プリンターの操作パネルを操作して再印刷します。この機能はオプションのHDDが取り付けられている場合に使用できます。



1. プリンタードライバーの【応用設定】タブの【印刷方法】設定で【プリンターに保存して印刷】を選択します。
2. 【設定】をクリックし、【ユーザー名】と【ジョブ名】を入力して、【OK】をクリックします。
ジョブ名を設定することで、プリンターの操作パネル上でジョブが識別できます。
3. 【基本設定】タブと【応用設定】タブの各項目を設定して【OK】をクリックします。
[「基本設定タブ」36ページ](#)
[「応用設定タブ」39ページ](#)
4. 【印刷】をクリックします。
5. 印刷するには、プリンターのホーム画面で【本体メモリーからの印刷】を選択します。
6. 印刷するジョブを選択します。
一覧からユーザーを選択して、印刷したいジョブを選びます。パスワードの入力を要求されたら、プリンタードライバーで設定したパスワードを入力します。
7. もしジョブ詳細情報が表示されたら、その画面を閉じて【印刷】を選択します。



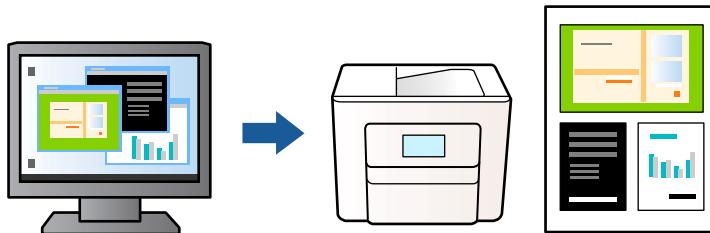
メモリーから削除したい場合は、【削除】を選択します。

関連情報

- [「用紙のセット」27ページ](#)
- [「簡単な設定で印刷する」35ページ](#)
- [「HDD \(LP-S8180シリーズのみ\)」178ページ](#)

複数ファイルを1つにまとめて印刷する (まとめてプリント)

まとめてプリント Liteを使うと、異なるアプリケーションソフトで作成したファイルを1つにまとめて印刷できます。複数ページのレイアウトや両面印刷など、結合されたファイルの印刷設定を指定できます。



1. プリンタードライバーの [基本設定] タブをクリックして [まとめてプリント Lite] にチェックします。
[「基本設定タブ」36ページ](#)
2. [印刷] をクリックします。
印刷を開始するとまとめてプリント Lite画面が表示されます。
3. まとめてプリント Lite画面を表示したまま1つにまとめたい他のファイルを開き、作業を繰り返します。
4. まとめてプリント Lite画面の印刷プロジェクトに追加された印刷データを選択すると、割り付け順序などが編集できます。
5. [ファイル] メニューの [印刷] をクリックして印刷を開始します。

参考

全ての印刷データを印刷プロジェクトに追加する前にまとめてプリント Lite画面を閉じると、それまでの作業が取り消されます。 [ファイル] メニューの [保存] をクリックして現在の作業が保存できます。保存したファイルの拡張子は"ecl"です。

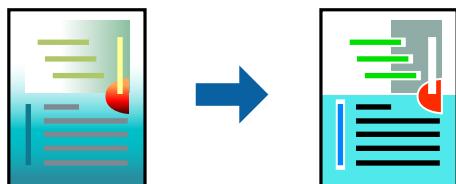
保存したファイルを開くには、プリンタードライバーの [ユーティリティー] タブで [まとめてプリント Lite] をクリックして、まとめてプリント Lite画面を開きます。その後 [ファイル] メニューの [開く] から、対象のファイルを選択します。

関連情報

- [「用紙のセット」27ページ](#)
- [「簡単な設定で印刷する」35ページ](#)

カラーユニバーサルプリントで印刷する

文字や画像の視認性を向上させて印刷できます。



カラーユニバーサルプリントは、以下の条件でのみ有効にできます。

- 用紙種類：普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、プレプリント、上質紙、厚紙1(106~163g/m²)、厚紙2(164~216g/m²)、ラベル、ユーザー専用紙
- 印刷品質：きれい
- カラー：カラー
- アプリケーションソフト：Microsoft® Office 2007以降
- 文字サイズ：96ポイント以下

1. プリンタードライバーで [応用設定] タブの [色補正] から [画像処理設定] をクリックします。
2. [カラーユニバーサルプリント] の種類を選択します。
3. [装飾の設定] をクリックすると、詳細な装飾の方法を設定できます。
4. [基本設定] タブと [応用設定] タブの各項目を設定して [OK] をクリックします。
「基本設定タブ」36ページ
「応用設定タブ」39ページ
5. [印刷] をクリックします。

参考

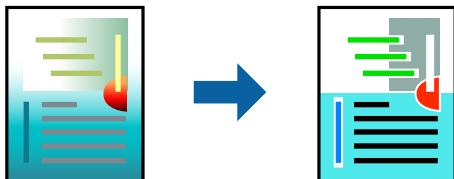
- 装飾すると文字の意味が変わってしまうことがあります（「+」が「土」に見えるなど）。
- アプリケーションソフトの機能で装飾した文字やグラフなどは、正常に印刷されないことがあります。
- 写真などの画像はカラーユニバーサルプリントで印刷すると、画質が低下することがあります。
- カラーユニバーサルプリントを有効にすると、印刷速度が遅くなります。

関連情報

- 「用紙のセット」27ページ
- 「簡単な設定で印刷する」35ページ

色補正をして印刷する

画質などの色を補正して印刷できます。元データは補正しません。



[オートフォトファイン!EX] はエプソン独自の画像解析、処理技術を用いて自動的に画像を高画質にして印刷します。

参考

[オートフォトファイン!EX] は、被写体の配置などを解析して補正します。このため、被写体の配置を変えた（回転、拡大縮小、トリミングなど）画像では色合いが変わることがあります。また、画像内のピントが合っていない箇所では不自然な階調が生じることがあります。色合いが変わったり不自然な階調が発生したりするときは、[オートフォトファイン!EX] 以外のモードで印刷してください。

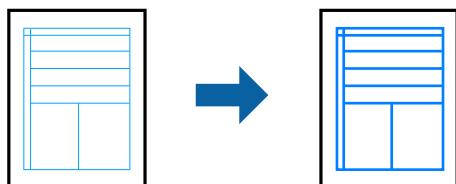
1. プリンタードライバーで、[応用設定] タブの [色補正] から、色補正の方法を選択します。
 - ・自動：用紙種類と印刷品質の設定に合わせて、最適な色合いに自動補正されます。
 - ・ユーザー設定：[設定] をクリックすると、任意に設定できます。
2. [基本設定] タブと [応用設定] タブの各項目を設定して [OK] をクリックします。
[「基本設定タブ」36ページ](#)
[「応用設定タブ」39ページ](#)
3. [印刷] をクリックします。

関連情報

- [「用紙のセット」27ページ](#)
- [「簡単な設定で印刷する」35ページ](#)

細い線を鮮明に印刷する

印刷すると消えてしまう細い線を太くして印刷できます。



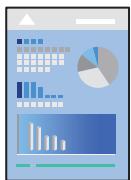
1. プリンタードライバーで [応用設定] タブの [色補正] から [画像処理設定] をクリックします。
2. [細線を鮮明にする] を選択します。
3. [基本設定] タブと [応用設定] タブの各項目を設定して [OK] をクリックします。
[「基本設定タブ」36ページ](#)
[「応用設定タブ」39ページ](#)
4. [印刷] をクリックします。

関連情報

- [「用紙のセット」27ページ](#)
- [「簡単な設定で印刷する」35ページ](#)

コンピューターから文書を印刷する (Mac OS)

簡単な設定で印刷する



参考 アプリケーションソフトによって操作や画面が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. プリンターに用紙をセットします。
[「用紙のセット」29ページ](#)
2. 印刷するファイルを開きます。
3. [ファイル] メニューの [プリント] (または [印刷] など) を選択してプリント画面を表示させます。
必要であれば [詳細を表示] (または▼) をクリックして詳細設定画面を開きます。
4. お使いのプリンターを選択します。

5. ポップアップメニューの [印刷設定] を選択します。



macOS Catalina (10.15)以降、macOS High Sierra (10.13)、macOS Sierra (10.12)、OS X El Capitan (10.11)、OS X Yosemite (10.10)、OS X Mavericks (10.9)、OS X Mountain Lion (10.8)で [印刷設定] メニューが表示されないときは、エプソンのプリンタードライバーが設定できていません。以下の方法で設定してください。

アップルメニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン] 、 [プリントとファックス]) の順に選択して、一旦プリンターを削除してから、プリンターの追加をやり直してください。追加方法は以下をご覧ください。

[「プリンターを追加する \(Mac OSのみ\) 」95ページ](#)

macOS Mojave (10.14)はテキストエディットなどアップル社製アプリケーションソフトで [印刷設定] ができません。

6. 必要に応じて設定を変更します。

各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

7. [プリント] をクリックします。

参考

コンピューターから印刷を中止したい場合は、[Dock] 内のプリンターのアイコンをクリックします。中止するジョブを選択し、以下のいずれかを行います。ただし、送信終了した印刷ジョブはコンピューターからは中止できません。プリンターの操作パネルから中止してください。

- OS X Mountain Lion (10.8)以降
プログレスメーター横の  をクリックします。
- Mac OS X v10.6.8~v10.7.x
[削除] をクリックします。

関連情報

- 「印刷できる用紙とセット枚数」 212ページ
- 「印刷設定メニュー」 67ページ

プリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考

項目は選択した内容によって異なります。

レイアウトメニュー



ページ数/枚：

1枚の用紙に複数のページを印刷するときのページ数を選択します。

レイアウト方向：

ページの並べ方を選択します。

境界線：

ページを区切る境界線の設定をします。

ページの方向を反転：

データを180度回転して印刷します。用紙の向きを変えられないハガキや封筒に印刷するときに設定してください。

左右反転：

データの左右を反転して印刷します。

カラー・マッチングメニュー



ColorSync/EPSON Color Controls:

色補正の方法を選択します。プリンターで色の調整を行い、異なるデバイス間の色合いを近づけることができます。

用紙処理メニュー



丁合い：

複数ページのデータを部ごとに印刷します。ページごとに印刷する場合はチェックを外します。

プリントするページ：

印刷するページを、奇数ページごとか偶数ページごとかを選択できます。

ページの順序：

複数ページのデータを、最初のページか最後のページから印刷するかを選択します。

用紙サイズに合わせる：

出力用紙サイズに合わせて自動で拡大縮小印刷します。

- **出力用紙サイズ：**

出力する用紙サイズを選択します。

- **縮小のみ：**

プリンターの用紙サイズに対して印刷データが大きすぎる場合のみ縮小します。

表紙メニュー



表紙をプリント :

表紙を印刷するかどうかを選択します。裏表紙を付けるときは、[書類の後] を選択します。

表紙のタイプ :

表紙に印刷される内容を選択します。

印刷設定メニュー



給紙方法 :

どの給紙装置から給紙するかを選択します。 [自動選択] にしておくと、プリンターの用紙設定と一致する給紙装置を自動で選択します。

用紙種類 :

印刷する用紙の種類を選択します。 [指定しない] を選択すると、プリンターの給紙装置設定で用紙種類を以下に設定した給紙装置から印刷されます。

普通紙、プレプリント、レターヘッド、色つき、再生紙、上質紙、厚紙1、厚紙2、ラベル、コート紙、ハガキ、封筒、ユーザー専用紙

ただし、プリンターの [給紙口自動選択] で給紙装置がオフになっている給紙装置からは給紙されません。

用紙の裏面を使用する :

自動で両面印刷できない用紙の裏面印刷は手動で行います（ラベル紙への裏面印刷は不可）。

グレースケール :

白黒で印刷したいときに選択します。

印刷品質：

印刷したい品質を選択します。用紙の種類によって選択肢が異なります。

スクリーン：

階調の再現性を優先するか、または解像度を上げることを優先するか選択します。

排紙方向：

給紙装置にセットした用紙の向きに合わせて、排紙方向を設定します。

自動両面印刷：

用紙の両面に印刷します。製本するときは [ブックレット] を選択します。

とじる位置：

出力紙をとじるときの位置や、とじしろの幅を設定します。

▼をクリックして、とじしろの幅を設定します。複数ページを印刷するときは、1ページ目を裏面から印刷するかを選択できます。 [自動両面印刷] で [ブックレット] を選択しているときに▼をクリックすると、ブックレットのとじ方を選択できます。

カラーオプションメニュー



手動設定：

画像などの色を手動で補正して印刷します。 [詳細設定] では、色補正の詳細な方法が選択できます。

オートフォトファイン！EX：

エプソン独自の画像解析、処理技術を使って自動で画像を高画質にして印刷します。

色補正なし：

色補正せずに印刷します。

透かし設定メニュー

プリンターで印刷した印刷物（原本）とコピーを区別するために指定したテキストを浮かび上がらせます。



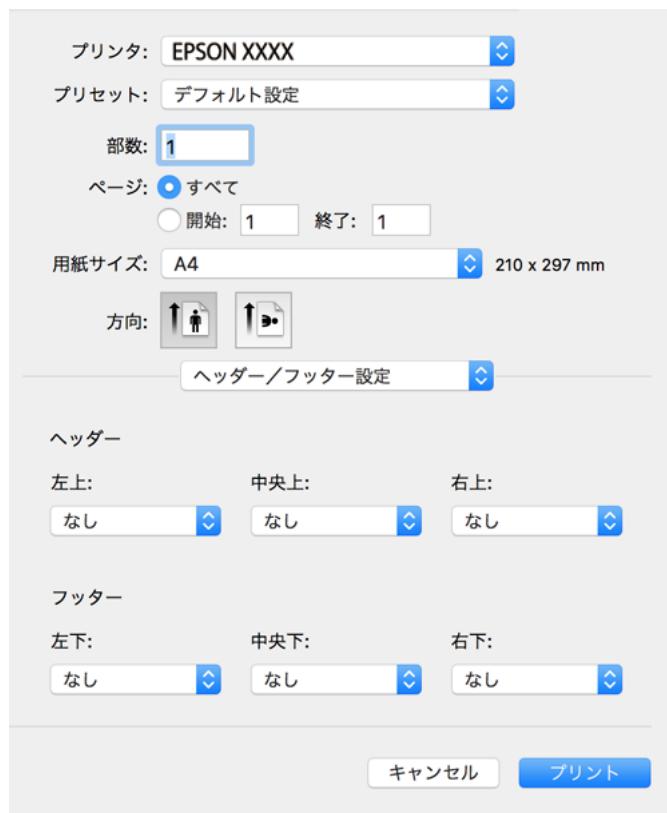
スタンプマーク設定メニュー

日付やConfidentialなどのスタンプマークを選択し、レイアウトやフォントを編集して印刷できます。



ヘッダー／フッターフォントメニュー

ヘッダーやフッターにユーザー名や日付などを入れて印刷できます。



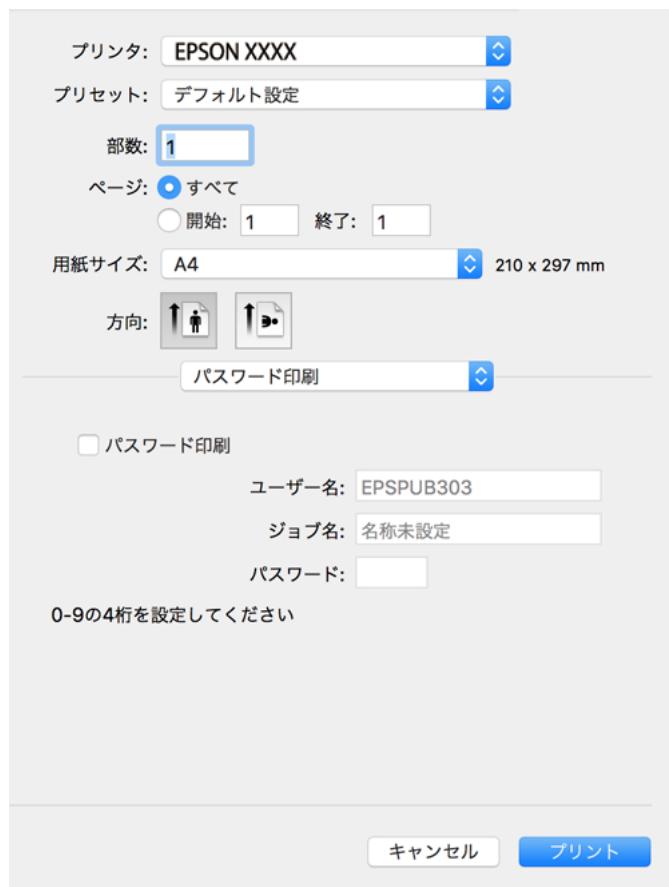
拡張設定メニュー

細い線や文字を太くすることができます。



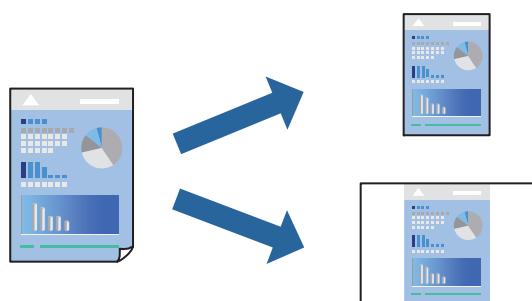
パスワード設定メニュー

印刷ジョブにパスワードを設定して、プリンターの操作パネルからパスワードが入力されるまで印刷できないようにします。



よく使う設定を登録して簡単に印刷する

よく使う印刷設定をプリンタードライバーに登録しておくと、リストから選択するだけで印刷できます。



1. [印刷設定] や [レイアウト] などの各項目（[用紙サイズ] や [用紙種類] など）を設定します。
2. [プリセット] をクリックし、現在の設定をプリセットとして保存します。

3. [OK] をクリックします。



登録した印刷設定を削除するには、[プリセット] - [プリセットを表示] の順にクリックし、リストから削除するプリセット名を選択して削除します。

4. [プリント] をクリックします。

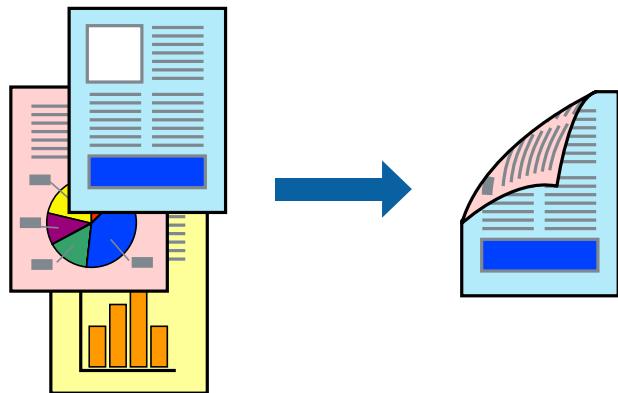
次回同じ設定で印刷するときは、[プリセット] から登録した登録名を選択して、OKをクリックします。

関連情報

- 「用紙のセット」 27ページ
- 「簡単な設定で印刷する」 61ページ

両面に印刷する

用紙の両面に印刷できます。



両面印刷に対応していない用紙は、印刷品質の低下や紙詰まりの原因になります。
「自動両面印刷ができる用紙」 215ページ

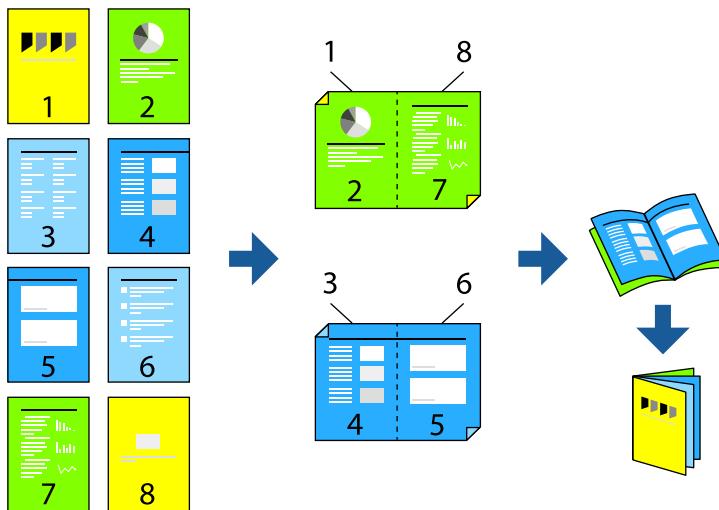
1. ポップアップメニューの [印刷設定] を選択します。
2. [自動両面印刷] から [オン] を選択します。
3. 必要に応じてその他の項目を設定します。
4. [プリント] をクリックします。

関連情報

- 「印刷できる用紙とセット枚数」 212ページ
- 「用紙のセット」 27ページ
- 「簡単な設定で印刷する」 61ページ

冊子になるように印刷する

用紙を折ったときに冊子になるように、ページを並べ替えて両面印刷できます。



参考 両面印刷に対応していない用紙は、印刷品質の低下や紙詰まりの原因になります。
[「自動両面印刷ができる用紙」215ページ](#)

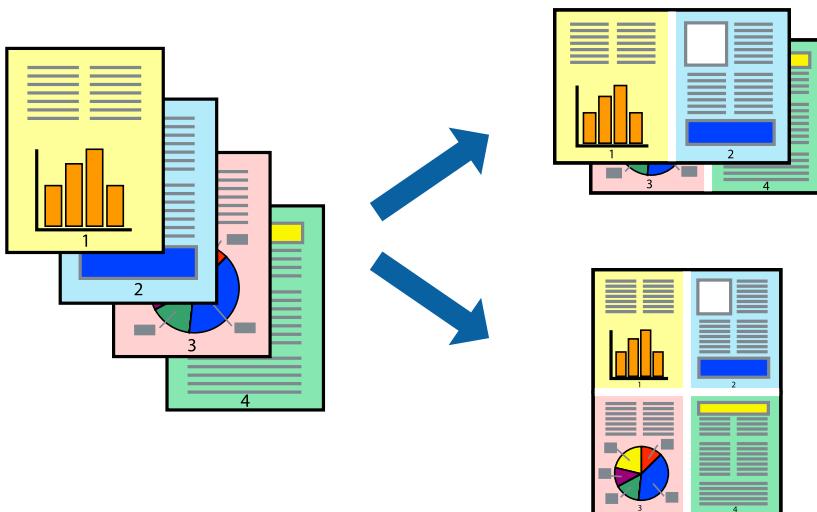
1. ポップアップメニューの [印刷設定] を選択します。
2. [自動両面印刷] から [ブックレット] を選択します。
3. とじる位置を設定し、▼をクリックしてブックレットのとじ方を設定します。
 - ・ 全ページ：ページ数が少なく、全ページを重ねて二つ折りできるときの方法です。
 - ・ 分割する：1枚（4ページ）分ずつ印刷し、それぞれを二つ折りしてから1冊にまとめる方法です。
4. 必要に応じてその他の項目を設定します。
5. [プリント] をクリックします。

関連情報

- [「印刷できる用紙とセット枚数」212ページ](#)
- [「用紙のセット」27ページ](#)
- [「簡単な設定で印刷する」61ページ](#)

複数ページを1枚の用紙に印刷する

1枚の用紙に複数ページのデータを割り付けて印刷できます。



1. ポップアップメニューの [レイアウト] を選択します。
2. [ページ数/枚] 、 [レイアウト方向] 、 [境界線] を設定します。
[「レイアウトメニュー」 63ページ](#)
3. 必要に応じてその他の項目を設定します。
4. [プリント] をクリックします。

関連情報

- [「用紙のセット」 27ページ](#)
- [「簡単な設定で印刷する」 61ページ](#)

用紙サイズに合わせて印刷する

プリンターにセットした用紙のサイズに合わせて印刷できます。



1. [用紙サイズ] はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズを選択します。
2. ポップアップメニューの [用紙処理] を選択します。
3. [用紙サイズに合わせる] をチェックします。
4. [出力用紙サイズ] でプリンターにセットした印刷用紙のサイズを選択します。
5. 必要に応じてその他の項目を設定します。
6. [プリント] をクリックします。

関連情報

- ➔ 「用紙のセット」 27ページ
- ➔ 「簡単な設定で印刷する」 61ページ

任意の倍率で拡大または縮小して印刷する

任意の倍率で、拡大または縮小して印刷できます。



1. [ファイル] メニューの [プリント] (または [印刷] など) を選択してプリント画面を表示させます。
2. アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから、[ページ設定] を選択します。
3. [対象プリンタ] と [用紙サイズ] を設定し、[拡大縮小] に倍率を入力して [OK] をクリックします。
参考 [用紙サイズ] は、印刷するデータのサイズを選択します。
4. 必要に応じてその他の項目を設定します。
5. [プリント] をクリックします。

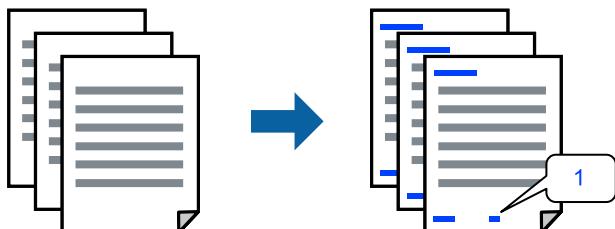
関連情報

- ➔ 「用紙のセット」 27ページ

→ 「簡単な設定で印刷する」 61ページ

ヘッダーやフッターを入れて印刷する

ヘッダーやフッターにユーザー名や日付などを入れて印刷できます。



1. ポップアップメニューの [ヘッダー／フッター設定] を選択します。
2. 印刷したい位置から項目を選択します。
3. 必要に応じてその他の項目を設定します。
4. [プリント] をクリックします。

関連情報

→ 「用紙のセット」 27ページ
→ 「簡単な設定で印刷する」 61ページ

透かしを入れて印刷する (透かし印刷)

印刷データに「マル秘」などのマークや、「コピー」などの透かし文字を入れて印刷できます。原本をコピーしたときに文字が浮き上がるよう印刷されて、原本とコピーを区別できます。



透かし印刷は、以下の条件でのみ有効にできます。

- 用紙種類：普通紙、プレプリント、レターヘッド、色つき、再生紙、上質紙、厚紙1、厚紙2、ラベル、コート紙、ハガキ、封筒、ユーザー専用紙
- 印刷品質：きれい

 任意の透かし文字やマークも登録できます。

1. ポップアップメニューから [透かし設定] または [スタンプマーク設定] を選択し、透かしやスタンプマークの種類を選択します。

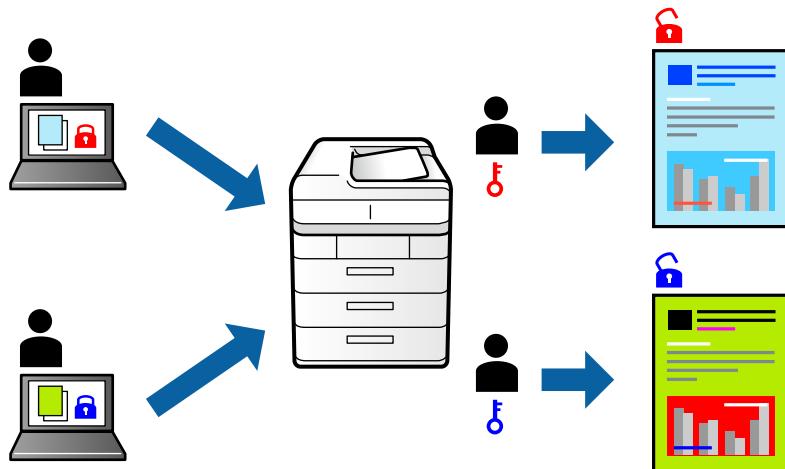
2. レイアウトとフォントを設定します。
3. 必要に応じてその他の項目を設定します。
4. [プリント] をクリックします。

関連情報

- ➔ [「用紙のセット」 27ページ](#)
- ➔ [「簡単な設定で印刷する」 61ページ](#)

パスワードを設定して印刷する

印刷ジョブにパスワードを設定して、プリンターの操作パネルからパスワードが入力されるまで印刷できないようにします。



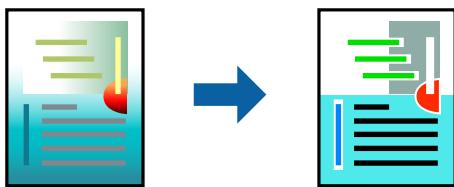
1. ポップアップメニューの [パスワード設定] を選択します。
2. [パスワード印刷] にチェックして、ユーザー名、ジョブ名、パスワードを入力します。
3. 必要に応じてその他の項目を設定します。
4. [プリント] をクリックします。
5. 印刷するには、プリンターのホーム画面で [本体メモリーからの印刷] を選択します。印刷するジョブを選択してパスワードを入力します。

関連情報

- ➔ [「用紙のセット」 27ページ](#)
- ➔ [「簡単な設定で印刷する」 61ページ](#)

色補正をして印刷する

画質などの色を補正して印刷できます。元データは補正しません。



[オートフォトファイン!EX] はエプソン独自の画像解析、処理技術を用いて自動的に画像を高画質にして印刷します。

参考 [オートフォトファイン!EX] は、被写体の配置などを解析して補正します。このため、被写体の配置を変えた（回転、拡大縮小、トリミングなど）画像では色合いが変わることがあります。また、画像内のピントが合っていない箇所では不自然な階調が生じることがあります。色合いが変わったり不自然な階調が発生したりするときは、[オートフォトファイン!EX] 以外のモードで印刷してください。

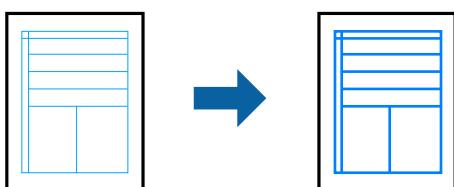
1. ポップアップメニューの [カラー・マッチング] を選択し、[EPSON Color Controls] を選択します。
2. ポップアップメニューの [カラーオプション] を選択して、色補正の種類を選択します。
3. [詳細設定] 横の矢印をクリックして、各項目を設定します。
4. 必要に応じてその他の項目を設定します。
5. [プリント] をクリックします。

関連情報

- 「用紙のセット」 27ページ
- 「簡単な設定で印刷する」 61ページ

細い線を鮮明に印刷する

印刷すると消えてしまう細い線を太くして印刷できます。



1. ポップアップメニューの [拡張設定] を選択します。
2. [細線を鮮明にする] を有効にします。
3. 必要に応じてその他の項目を設定します。
4. [プリント] をクリックします。

関連情報

- ➔ [「用紙のセット」27ページ](#)
- ➔ [「簡単な設定で印刷する」61ページ](#)

コンピューターから文書を印刷する(PostScriptプリンタードライバー)

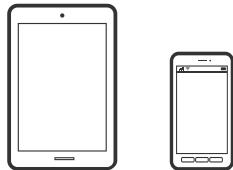
PostScriptプリンタードライバーで印刷するには、オプションのPS3対応ROMをプリンター本体に取り付けてドライバーをインストールする必要があります。このオプションはLP-S8180シリーズのみ対応です。

関連情報

- ➔ [「PostScriptプリンタードライバーを使って文書を印刷する \(Windows\)」182ページ](#)
- ➔ [「Mac OSからPostScriptプリンタードライバーを使って印刷する」191ページ](#)

スマートデバイスから文書を印刷する (iOS)

スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスから文書を印刷できます。



Epson iPrintで文書を印刷する

 **参考** デバイスによって操作が異なります。

1. プリンターとスマートデバイスをWi-Fi Directで接続します。
[「スマートデバイスとプリンターを直接接続する方法 \(Wi-Fi Direct\)」153ページ](#)
2. Epson iPrintをインストールしていない場合はインストールします。
[「Epson iPrintをインストールする」222ページ](#)
3. Epson iPrintを起動します。
4. ホーム画面で【文書印刷】をタップします。
5. 印刷したい文書がある場所をタップします。
6. 文書を選択し、【次へ】をタップします。
7. 【印刷】ボタンをタップします。

AirPrintで文書を印刷する

AirPrintを使うと、ドライバーのインストールやソフトウェアのダウンロードをしなくてもiPhone、iPad、iPod touchやMacから簡単に無線で印刷できます。



参考 操作パネルでプリンター設定メニューの給紙装置設定の情報表示を無効にしていると、AirPrintは使えません。給紙装置設定の情報表示を有効にするには以下の関連情報をご覧ください。

1. プリンターを無線LANに接続します。以下のリンクをご覧ください。
<http://epson.sn>
2. お使いの機器をプリンターと同じ無線LANに接続します。
3. 機器からプリンターに印刷します。

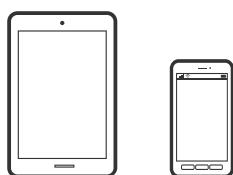
参考 詳しくはアップル社ウェブサイトのAirPrintのページをご覧ください。

関連情報

→ 「接続できているのに印刷できない (iOS) 」 127ページ

スマートデバイスから文書を印刷する (Android)

スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスから文書を印刷できます。



Epson iPrintで文書を印刷する

参考 デバイスによって操作が異なります。

1. プリンターとスマートデバイスをWi-Fi Directで接続します。
[「スマートデバイスとプリンターを直接接続する方法 \(Wi-Fi Direct\) 」 153ページ](#)
2. Epson iPrintをインストールしていない場合はインストールします。
[「Epson iPrintをインストールする」 222ページ](#)
3. Epson iPrintを起動します。

4. ホーム画面で【文書印刷】をタップします。
5. 印刷したい文書がある場所をタップします。
6. 文書を選択し、【次へ】をタップします。
7. 【印刷】ボタンをタップします。

Epson印刷サービスプラグインで文書を印刷する

Epson印刷サービスプラグインを使うと、文書やメール、写真、ウェブページなどを、Android 4.4以降のスマートデバイスからWi-Fiで印刷できます。プリンターとデバイスが同じネットワークにつながっている場合は、このプラグインをインストールしておくと便利です。

 デバイスによって操作が異なります。

1. プリンターとスマートデバイスをWi-Fi Directで接続します。
[「スマートデバイスとプリンターを直接接続する方法 \(Wi-Fi Direct\)」153ページ](#)
2. Google Playから、スマートデバイスにEpson印刷サービスプラグインをダウンロードします。
3. お使いのスマートデバイスの【設定】から【印刷】を選択して、Epson印刷サービスプラグインを有効にします。
4. ChromeなどのAndroidアプリケーションで、メニューアイコンをタップして印刷します。

 プリンターが見つからないときは、【すべてのプリンター】をタップして、お使いのプリンターを選択してください。

Mopria Print Serviceで印刷する

Mopria Print Serviceを使うと、Androidスマートフォンやタブレットから簡単に無線で印刷できます。



1. Google PlayからMopria Print Serviceをインストールします。
2. プリンターに用紙をセットします。
3. プリンターを無線LANに接続します。以下のリンクをご覧ください。
<https://epson.sn>
4. お使いの機器をプリンターと同じ無線LANに接続します。

5. 機器からプリンターに印刷します。



詳しくは<https://mopria.org>の使い方のページをご覧ください。

関連情報

→ 「用紙のセット」 29ページ

ハガキ、年賀状、封筒に印刷する

ハガキ印刷のポイントは以下の通りです。

- 宛名（住所録）を印刷するときは、市販のアプリケーションソフトなどをご利用ください。
- 用紙設定では、【用紙サイズ】を【ハガキ】、【用紙種類】をハガキの種類に合わせて設定してください。
- ハガキをセットするときは、宛名面と通信面、郵便番号枠の向きに注意してください。

コンピューターからハガキや封筒に印刷する

コンピューターからハガキに印刷する（Windows）

ここではプリンタードライバーを使って印刷する手順を説明します。

1. プリンターにハガキをセットします。
「ハガキのセット方法」 32ページ
2. エプソン純正プリンタードライバーをインストールしていない場合は、インストールします。
「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Windows）」 93ページ
3. 印刷するファイルを開きます。
4. プリンタードライバーの画面を表示させます。
5. 【基本設定】タブの【用紙サイズ】で【ハガキ】を選択して、【用紙種類】でハガキの種類を選択します。
6. 【基本設定】タブと【応用設定】タブの各項目を設定して【OK】をクリックします。
7. 【印刷】をクリックします。

コンピューターからハガキに印刷する（Mac OS）

ここではプリンタードライバーを使って印刷する手順を説明します。

1. プリンターにハガキをセットします。
[「ハガキのセット方法」32ページ](#)
2. エプソン純正プリンタードライバーをインストールしていない場合は、インストールします。
[「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Mac OS）」94ページ](#)
3. 印刷するファイルを開きます。
4. [ファイル] メニューの [プリント]（または [印刷] など）を選択してプリント画面を表示させます。
5. [用紙サイズ] 設定で [はがき] を選択します。
6. ポップアップメニューの [印刷設定] を選択します。
7. [用紙種類] 設定でハガキの種類を選択します。
8. 必要に応じてその他の項目を設定します。
9. [プリント] をクリックします。

コンピューターから封筒に印刷する（Windows）

1. プリンターに封筒をセットします。
[「封筒のセット」30ページ](#)
2. 印刷するファイルを開きます。
3. プリンタードライバーの画面を表示します。
4. [基本設定] タブの [用紙サイズ] で封筒のサイズを選択して、[用紙種類] で [封筒] を選択します。
5. [基本設定] タブと [応用設定] タブの各項目を設定して [OK] をクリックします。
6. [印刷] をクリックします。

コンピューターから封筒に印刷する（Mac OS）

1. プリンターに封筒をセットします。
[「封筒のセット」30ページ](#)
2. 印刷するファイルを開きます。
3. [ファイル] メニューの [プリント]（または [印刷] など）を選択してプリント画面を表示させます。
4. [用紙サイズ] 設定でサイズを選択します。

5. ポップアップメニューの [印刷設定] を選択します。
6. [用紙種類] 設定で [封筒] を選択します。
7. 必要に応じてその他の項目を設定します。
8. [印刷] をクリックします。

ウェブページを印刷する

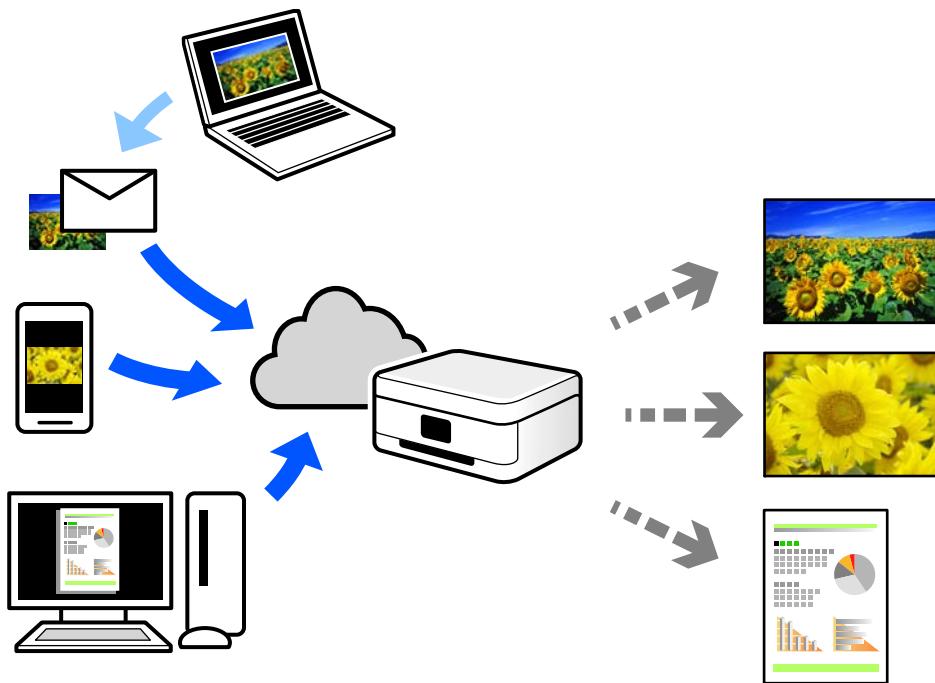
スマートデバイスからウェブページを印刷する

 デバイスによって操作が異なります。

1. プリンターとスマートデバイスをWi-Fi Directで接続します。
[「スマートデバイスとプリンターを直接接続する方法 \(Wi-Fi Direct\) 」 153ページ](#)
2. Epson iPrintをインストールしていない場合はインストールします。
[「Epson iPrintをインストールする」 222ページ](#)
3. ウェブブラウザーアプリで印刷したいウェブページを開きます。
4. ウェブブラウザーアプリのメニューから [共有] をタップします。
5. [iPrint] を選択します。
6. [印刷] ボタンをタップします。

クラウドサービスで印刷する

インターネットを利用したEpson Connect（エプソン コネクト）サービスを使うと、コンピューターやスマートデバイスからいつでもどこからでも印刷できます。このサービスの利用には、Epson Connectのセットアップ（ユーザー登録、プリンター登録）が必要です。



インターネットを利用したサービスは以下の通りです。

- メールプリント
プリンターに割り当てられたメールアドレスに、印刷したい写真や文書を添付してメールを送ると、メールの本文や添付ファイルの印刷ができます。離れた場所から、自宅やオフィスのプリンターに印刷できます。
- Epson iPrint
スマートフォンやタブレット端末から印刷、またはスキャンするためのiOS、Android専用のアプリケーションです。同じ無線LAN内にあるプリンターに写真や文書、ウェブサイトなどを直接印刷できます。
- リモートプリントドライバー
リモートプリントドライバー対応の共有ドライバーです。いつものアプリケーションの印刷画面からプリンターを切り替えるだけで、離れたプリンターに印刷できます。

Epson Connectのセットアップ方法や印刷方法など、詳しくはEpson Connectのポータルサイトをご覧ください。

<https://www.epsonconnect.com/>

操作パネルからEpson Connectサービスを登録する

以下の手順でプリンターを登録してください。

1. 操作パネルで [設定] を選択します。

2. [本体設定] - [Webサービス設定] - [Epson Connect設定] - [登録削除] を選択して、登録シートを印刷します。
3. 登録シートの説明に従って、プリンターを登録します。

プリンターのお手入れ

消耗品の状態を確認する	89
給紙不良を改善する	89
プリンター内部の汚れを拭き取る	90
プリンターの表面の汚れを拭き取る	91
ソフトウェアを個別にインストールまたはアンインストールする	92
プリンターの持ち運びや輸送	100

消耗品の状態を確認する

プリンターの操作パネルから消耗品の状態を確認することができます。ホーム画面で  - [交換品情報] の順に選択します。

項目を選択するには、▲▼◀▶ボタンで動かして、OKボタンを押してください。

参考

- Epson Status Monitor (インストールしている場合) でも消耗品の状態を確認することができます。
- 消耗品の寿命が近づくと  のアイコンが表示されます。印刷は継続できますが、新しい消耗品を用意してください。

給紙不良を改善する

本製品を良好な状態で使用するために、ときどきクリーニング（清掃）をしてください。

△警告

- プリンター内部にはマニュアルで指示されている箇所以外触れないでください。感電や火傷のおそれがあります。
- 本製品の内部や周囲でエアダスター やダストスプレーなど、可燃性ガスを使用しないでください。引火による爆発・火災のおそれがあります。

!重要

- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。プリンターの外装ケースや部品が変色、変形するおそれがあります。
- プリンターを水に濡らさないでください。
- 固いブラシや布などを使用しないでください。プリンターが傷付くおそれがあります。

手差しトレイの給紙ローラーの紙粉を取る

プリンターの操作パネルに表示される動画を見ながら手差しトレイの給紙ローラーの紙粉を取ることができます。

?

を選択して、[困ったときは] - [正しく給紙されない] - [手差しトレイ] を選択します。
画面を閉じるときは、[終了する] を選択します。



用紙カセットの給紙ローラーの紙粉を取る

プリンターの操作パネルに表示される動画を見ながら用紙カセットの給紙ローラーの紙粉を取ることができます。



を選択して、 [困ったときは] - [正しく給紙されない] - [用紙カセット] を選択します。
画面を閉じるときは、 [終了する] を選択します。



プリンター内部の汚れを拭き取る

プリンターの操作パネルに表示される動画を見ながら内部の汚れを拭き取ることができます。



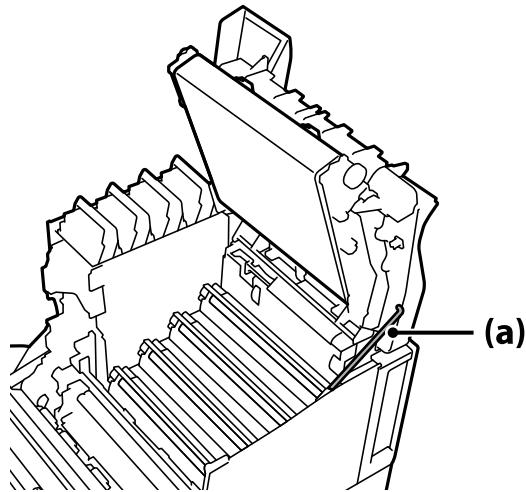
を選択して、 いずれかの方法で露光窓を清掃するを選択してください。

- [困ったときは] - [印刷結果がおかしい] - [スジ、線が入る] - [露光窓を清掃する]
- [困ったときは] - [印刷結果がおかしい] - [色がおかしい] - [露光窓を清掃する]
- [困ったときは] - [印刷結果がおかしい] - [用紙が汚れる] - [露光窓を清掃する]

画面を閉じるときは、 [終了する] を選択します。



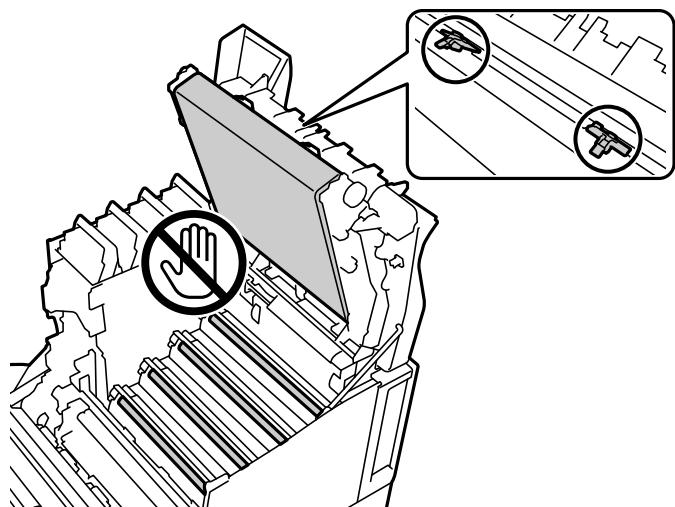
⚠ 注意 • 上カバーは必ず支え棒 (a) で固定してください。突然閉まり、指や手を挟んだけがをするおそれがあります。



- 上カバーを閉めるときは、必ずG レバーを持ちながら下げてください。トナーカートリッジカバーを持って閉めると、上カバーが突然閉まり、指や手を挟んだけがをするおそれがあります。

! 重要

- イラストで示した箇所には、手を触れたり、こすったり、物をぶつけたりしないでください。手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと印刷品質が低下します。



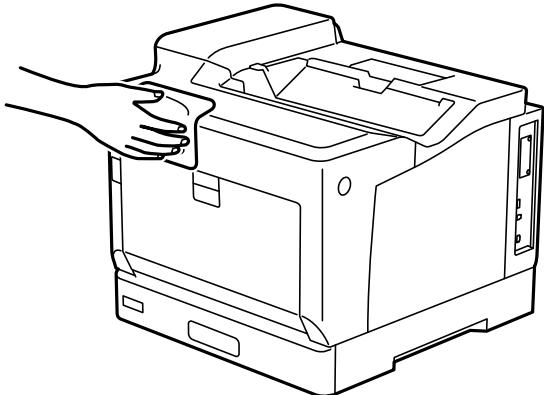
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも3分以上放置しないでください。強い光や長時間光が当たると印刷品質が低下します。
- 感光体の表面に傷が付かないよう平らな台の上に置いてください。

プリンターの表面の汚れを拭き取る

プリンターの外装ケースの汚れやホコリが気になるときは、プリンターの電源を切って電源コードを抜き、柔らかくてきれいな布を水に浸し固く絞ってから拭いてください。汚れが落ちないときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸して、固く絞ってから拭いてみてください。

！重要

- ・ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。プリンターの外装ケースや部品が変色、変形するおそれがあります。
- ・プリンターを水に濡らさないでください。
- ・固いブラシや布などを使用しないでください。プリンターが傷付くおそれがあります。



ソフトウェアを個別にインストールまたはアンインストールする

ネットワークに接続されているコンピューターでWeb上の最新版をインストールします。管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログオンしてください。また、管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

ソフトウェアを個別にインストールする

参考

再インストール時は、インストール済みの古いソフトウェアをアンインストールしてください。

1. プリンターとコンピューターが通信可能な状態で、コンピューターがインターネットに接続されていることを確認します。

2. EPSON Software Updaterを起動します。

画面はWindowsでの一例です。



- Windowsの場合は、お使いのプリンターを選択し、をクリックして最新のソフトウェアの有無を調べます。
- インストールや更新が必要なソフトウェアにチェックを入れて、画面右下のインストールをクリックします。

!重要 更新中はプリンターの電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。プリンターが故障するおそれがあります。

参考

- 最新版のソフトウェアはエプソンのウェブサイトからもダウンロードできます。
www.epson.jp/support/
- Windows Server OSをお使いの場合、Epson Software Updaterではインストールができません。エプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。

関連情報

- 「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア (Epson Software Updater)」 223ページ
- 「ソフトウェアをアンインストール (削除) する」 95ページ

エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する (Windows)

エプソン純正プリンタードライバーがコンピューターにインストールされているか、以下の方法で確認できます。

[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンターの表示] (または [プリンタ]、[プリンタとFAX]) の順に選択して、以下の方法でプリントサーバーのプロパティ画面を表示します。

- Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2
プリンターアイコンをクリックして、画面上部の【プリントサーバープロパティ】をクリックします。
- Windows Vista/Windows Server 2008
【プリント】フォルダー上で右クリックして、【管理者として実行】 - 【サーバーのプロパティ】の順にクリックします。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
【ファイル】メニューから【サーバーのプロパティ】を選択します。

【ドライバー】タブをクリックします。お使いのプリンターナーが一覧に表示された場合、エプソン純正プリンタードライバーがインストールされています。



関連情報

→ 「ソフトウェアを個別にインストールする」92ページ

エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する (Mac OS)

エプソン純正プリンタードライバーがコンピューターにインストールされているか、以下の方法で確認できます。

アップルメニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン] 、 [プリントとファックス]) の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。 [オプションとサプライ] をクリックして [オプション] タブと [ユーティリティ] タブが表示された場合、エプソン純正プリンタードライバーがインストールされています。



関連情報

➔ 「ソフトウェアを個別にインストールする」92ページ

プリンターを追加する (Mac OSのみ)

1. アップルメニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン] 、 [プリントとファックス]) の順に選択します。
2. [+] をクリックして、 [プリンタまたはスキャナを追加] を選択します。
3. 表示された画面でお使いのプリンターを選択して、さらに [ドライバ] からお使いのプリンターを選択します。
4. [追加] をクリックします。

参考

- プリンタ名がリストに表示されないときは、コンピューターとプリンターの接続状態が正しいか、プリンターの電源が入っているかを確認してください。
- USB接続やIP接続、Bonjour接続では、プリンタードライバーの追加後に増設カセットユニットの設定を手動で行ってください。

ソフトウェアをアンインストール (削除) する

管理者権限のあるアカウント (ユーザー) でコンピューターにログオンしてください。また、管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

ソフトウェアをアンインストール (削除) する - Windows

1. ⌂ボタンを押してプリンターの電源を切ります。
2. 起動している全てのアプリケーションソフトを終了させます。
3. [コントロールパネル] を表示させます。
 - Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックし、[Windows システムツール] - [コントロールパネル] を選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] の順に選択します。
 - Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして、[コントロールパネル] を選択します。
4. [プログラムのアンインストール] (または [プログラムの追加と削除]) を表示します。
 - Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008
[プログラム] の [プログラムのアンインストール] を選択します。
 - Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
[プログラムの追加と削除] をクリックします。
5. 削除するソフトウェアを選択します
印刷ジョブが残っていると、プリンタードライバーをアンインストールできません。印刷ジョブを削除するか、印刷が終わるのを待ってからアンインストールをしてください。
6. ソフトウェアをアンインストールします。
 - Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008
[アンインストールと変更] または [アンインストール] をクリックします。
 - Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
[変更と削除] または [削除] をクリックします。
7. 画面の指示に従って操作します。



[ユーザーアカウント制御画面] が表示されたら、[続行] をクリックします。

ソフトウェアをアンインストール (削除) する - Mac OS

1. EPSON Software Updaterを使ってUninstallerをダウンロードします。
一度ダウンロードすれば、アンインストールのたびにダウンロードする必要はありません。
2. ⌂ボタンを押してプリンターの電源を切ります。

3. プリンタードライバーを削除するときは、アップルメニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン] 、 [プリントとファクス]) の順に選択し、使用できるプリンターのリストからプリンターを削除します。
4. 起動している全てのアプリケーションソフトを終了させます。
5. [移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Uninstaller] の順に選択します。
6. 削除するソフトウェアをチェックして、 [アンインストール] をクリックします。

!重要

Uninstallerは、コンピューターにインストールされているエプソン製プリンターのドライバーを全て削除します。複数のエプソン製プリンターをご使用の方で、一部のプリンタードライバーのみを削除したい場合は、一旦全てのプリンタードライバーを削除した後、使いたいプリンターのドライバーを再インストールしてください。

参考

一覧に表示されないソフトウェアはUninstallerでは削除できません。 [移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] の順に選択し、削除するソフトウェアを選択して、ゴミ箱アイコンにドラッグ&ドロップしてください。

関連情報

→ 「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア (Epson Software Updater) 」 223ページ

ソフトウェアやファームウェアを更新する

ソフトウェアやファームウェアを更新すると、今まで起こっていたトラブルの解消、機能の改善や追加などができます。最新版のソフトウェアやファームウェアをお使いください。

1. プリンターとコンピューターが通信可能な状態で、コンピューターがインターネットに接続されていることを確認します。
2. EPSON Software Updaterを起動して、ソフトウェアまたはファームウェアを更新します。

!重要

更新中は、コンピューターとプリンターの電源を切らないでください。プリンターが故障するおそれがあります。

参考

一覧に表示されないソフトウェアはEPSON Software Updaterでは更新できません。エプソンのウェブサイトで最新版のソフトウェアを確認してください。

www.epson.jp/support/

関連情報

→ 「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア (Epson Software Updater) 」 223ページ

操作パネルを使ってプリンターのファームウェアを更新する

プリンターがインターネットに接続されていると、操作パネルでプリンターのファームウェアが更新できます。新しいファームウェアがあるかどうかを定期的に確認して、ある場合には通知するようにも設定できます。管理者によってロックされているメニューは、管理者以外は設定を変更できません。

1. ホーム画面で【設定】を選択します。

項目を選択するには、▲▼◀▶ボタンで動かして、OKボタンを押してください。

2. 【本体設定】-【管理者用設定】-【ファームウェアのアップデート】-【アップデート】の順に選択します。

参考 新しいファームウェアがあるかどうか定期的に確認したいときは、【定期通知設定】-【オン】の順に選択します。

3. 【確認開始】を選択します。

新しいファームウェアがあるかどうかの確認が始まります。

4. 新しいファームウェアが見つかったというメッセージが表示されたら、画面の指示に従ってファームウェアを更新します。

！重要

- 更新中はプリンターの電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。プリンターが故障するおそれがあります。
 - ファームウェアの更新に失敗すると、次回電源を入れたときに「Recovery Mode」（リカバリーモード）と表示され、プリンターが動かなくなります。コンピューターでファームウェアの更新をし直してください。
- リカバリーモードになるとネットワーク接続での更新ができないため、以下の手順で作業してください。
- 1.エプソンのウェブサイトからファームウェアをコンピューターにダウンロードする
 - 2.コンピューターとプリンターをUSBケーブルで接続する
 - 3.ファームウェアを更新する

<http://www.epson.jp/support/>

詳しくはダウンロードページの「ファームウェアのアップデート方法」をご覧ください。

Web Configでファームウェアをアップデートする

プリンターがインターネットに接続できると、Web Configからファームウェアをアップデートできます。

1. Web Configで【デバイス管理】タブ-【ファームウェアアップデート】を選択します。

2. 【確認開始】をクリックします。

ファームウェアの確認が始まり、更新されたファームウェアがあるとファームの情報が表示されます。

参考 Epson Device Adminを使ってもファームウェアをアップデートできます。デバイス一覧でファームウェアの情報が確認ができます。この方法は、複数のデバイスのファームウェアをアップデートするのに便利です。詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。

関連情報

→ 「[ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）](#)」257ページ

プリンターをインターネットに接続しないでファームウェアをアップデートする

コンピューターでエプソンのウェブサイトから機種用のファームウェアをダウンロードし、USBケーブルで接続してアップデートすることもできます。ネットワーク経由でアップアップデートができない場合に、この方法をお使いください。

1. エプソンのウェブサイトにアクセスして、ファームウェアをダウンロードします。

www.epson.jp/support/

2. ファームウェアをダウンロードしたコンピューターと、プリンターをUSBケーブルで接続します。

3. ダウンロードしたexeファイルをダブルクリックします。

Epson Firmware Updaterが起動します。

4. この後は、画面の指示に従って操作します。

プリンターの持ち運びや輸送

△注意

- プリンターを持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- 本製品は重いので、1人で運ばないでください。開梱や移動の際は2人以上で運んでください。
- プリンターを持ち上げる際は、下図で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンターが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。



- プリンターを移動する際は、前後左右に10度以上傾けないでください。転倒などによる事故のおそれがあります。
- プリンターを、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。

近くへの移動

プリンターの電源を切り、以下の付属品を取り外してください。

- 電源コード
- インターフェイスケーブル
- 用紙
- オプションの増設力セットユニット

！重要

振動を与えないように水平に丁寧に移動させてください。

持ち上げて移動する場合

増設力セットユニットとプリンター本体を分けて運んでください。

キャスターで移動する場合

キャスターのストッパーを解除してください。プリンターに衝撃を与えるような段差のある場所を避けて移動してください。

プリンターを輸送する

プリンターを輸送するときは、以下の準備をしてください。振動や衝撃からプリンターを守るために購入時と同等の状態に梱包する必要があります。

1. ⏪ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. セットされている全ての印刷用紙を取り除きます。
3. 電源コードやUSBケーブルなどのケーブル類を取り外します。増設カセットユニットなどのオプションを取り外してください。
「セットアップガイド」（冊子） - 「組み立て」を参照して逆の手順で取り外してください。
4. 保護材を取り付けた後、箱に入れます。

困ったときは

うまく動かない	103
プリンター画面にメッセージが表示された	131
用紙が詰まつた	132
消耗品の交換が必要になった	133
きれいに印刷できない	137
解決できないときは	142

うまく動かない

電源が入らない、切れない

電源が入らない

以下の原因が考えられます。

- 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていません。

対処方法

電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。

- ⏪ボタンを押している時間が不十分です。

対処方法

⏪ボタンを少し長めに押してください。

電源が切れない

- ⏪ボタンを押している時間が不十分です。

対処方法

⏪ボタンを少し長めに押してください。それでも切れないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

紙や排紙が正しくできない

紙ができない

以下の原因が考えられます。

- 印刷できない用紙を使用しています。

対処方法

本製品で印刷できる用紙を使用してください。

- ➔ 「印刷できる用紙とセット枚数」212ページ
- ➔ 「印刷できない用紙」216ページ

■ 用紙の取り扱いに問題があります。

対処方法

用紙取り扱い上のご注意に従ってください。

→ [「用紙取り扱い上のご注意」28ページ](#)

■ 用紙のセット枚数が多すぎます。

対処方法

セット可能枚数を超えてセットしないでください。

→ [「印刷できる用紙とセット枚数」212ページ](#)

■ 用紙力セットが正しくセットされていません。

対処方法

標準の用紙力セットやオプションの増設力セットを正しくセットしてください。また用紙ガイドの位置が正しいか確認してください。セットした後は [設定] - [情報確認/印刷] - [本体ステータスシートの印刷] - [プリンター情報シート] を選択してプリンター情報シートを印刷し、用紙力セットと用紙サイズが正しく認識されているか確認してください。

■ プリンターに登録した用紙情報が間違っています。

対処方法

プリンターの用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。

→ [「用紙サイズと種類の登録」29ページ](#)

■ 紙装置の選択が間違っています。

対処方法

プリンタードライバーの紙装置を正しく設定してください。

■ 紙ローラーに紙粉が付いて、用紙が滑って紙できません。

対処方法

紙ローラーをクリーニングしてください。

→ [「紙不良を改善する」89ページ](#)

斜めに紙される

以下の原因が考えられます。

■ 印刷できない用紙を使用しています。

対処方法

本製品で印刷できる用紙を使用してください。

→ [「印刷できる用紙とセット枚数」212ページ](#)

→ [「印刷できない用紙」216ページ](#)

■ 用紙の取り扱いに問題があります。

対処方法

用紙取り扱い上のご注意に従ってください。

→ [「用紙取り扱い上のご注意」28ページ](#)

■ 用紙が正しくセットされていません。

対処方法

用紙を正しい方向でセットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

→ [「用紙のセット」29ページ](#)

■ 用紙のセット枚数が多すぎます。

対処方法

セット可能枚数を超えてセットしないでください。

→ [「印刷できる用紙とセット枚数」212ページ](#)

■ 用紙力セットが正しくセットされていません。

対処方法

標準の用紙力セットやオプションの増設力セットを正しくセットしてください。また用紙ガイドの位置が正しいか確認してください。セットした後は [設定] - [情報確認/印刷] - [本体ステータスシートの印刷] - [プリンター情報シート] を選択してプリンター情報シートを印刷し、用紙力セットと用紙サイズが正しく認識されているか確認してください。

■ プリンターに登録した用紙情報が間違っています。

対処方法

プリンターの用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。

→ [「用紙サイズと種類の登録」29ページ](#)

■ 紙装置の選択が間違っています。

対処方法

プリンタードライバーの紙装置を正しく設定してください。

■ 紙ローラーに紙粉が付いて、用紙が滑って給紙できません。

対処方法

紙ローラーをクリーニングしてください。

→ [「給紙不良を改善する」89ページ](#)

重なって給紙される

以下の原因が考えられます。

■ 印刷できない用紙を使用しています。

対処方法

本製品で印刷できる用紙を使用してください。

- ➔ [「印刷できる用紙とセット枚数」212ページ](#)
- ➔ [「印刷できない用紙」216ページ](#)

■ 用紙の取り扱いに問題があります。

対処方法

用紙取り扱い上のご注意に従ってください。

- ➔ [「用紙取り扱い上のご注意」28ページ](#)

■ 用紙が正しくセットされません。

対処方法

用紙を正しい方向でセットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

- ➔ [「用紙のセット」29ページ](#)

■ 用紙が湿っています。

対処方法

新しい用紙をセットしてください。

■ 静電気で用紙がくっついています。

対処方法

印刷用紙をさばいてからセットしてください。特殊紙は1枚ずつセットしてください。

■ 用紙のセット枚数が多すぎます。

対処方法

セット可能枚数を超えてセットしないでください。

- ➔ [「印刷できる用紙とセット枚数」212ページ](#)

■ 用紙力セットが正しくセットされません。

対処方法

標準の用紙力セットやオプションの増設力セットを正しくセットしてください。また用紙ガイドの位置が正しいか確認してください。セットした後は【設定】 - 【情報確認/印刷】 - 【本体ステータスシートの印刷】 - 【プリンター情報シート】を選択してプリンター情報シートを印刷し、用紙力セットと用紙サイズが正しく認識されているか確認してください。

■ プリンターに登録した用紙情報が間違っています。

対処方法

プリンターの用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。

- ➔ [「用紙サイズと種類の登録」29ページ](#)

■ 紙給装置の選択が間違っています。

対処方法

プリンタードライバーの給紙装置を正しく設定してください。

縦横交互排紙ができない

■ 用紙のセットや設定が間違っています。

対処方法

交互排紙では、2つの給紙装置から交互に用紙を給紙して印刷します。そのため、横置きと縦置きできる用紙（A4、Letter）以外ではできません。セットした用紙のサイズと向きを操作パネルで設定し、プリンタードライバーで交互排紙を指定してください。

⇒ [「1部ずつ縦横交互に排紙する」33ページ](#)

印刷できない

Windowsから印刷できない

コンピューターとプリンターを接続できているか確認してください。
接続している場合としている場合で原因と対処方法が異なります。

接続状態を確認する

EPSONステータスマニタを使って、コンピューターとプリンターの接続状態を確認してください。

[EPSONステータスマニタ]の利用にはあらかじめインストールされている必要があります。エプソンのウェブサイトよりダウンロードしてください。

1. プリンタードライバーを表示します。

- Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックし、[Windowsシステムツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして [印刷設定] を選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして [印刷設定] を選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [プリンター] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。

- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックし、コントロールパネル- [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。

2. [ユーティリティ] タブをクリックします。
3. [EPSON ステータスモニタ] をクリックします。

消耗品の状態が表示されればコンピューターとプリンターは接続しています。
接続できていない場合は、以下を確認してください。

- ネットワーク接続でプリンターが認識されていない
[「ネットワークに接続できない」108ページ](#)
- USB接続でプリンターが認識されていない
[「USB接続できない \(Windows\)」111ページ](#)

接続できている場合は、以下を確認してください。

- プリンターは認識されているが印刷できない
[「接続できているのに印刷できない \(Windows\)」112ページ](#)

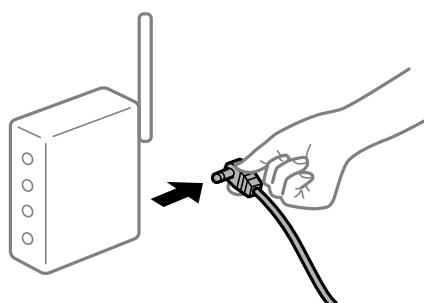
ネットワークに接続できない

以下の原因が考えられます。

■ 無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

ネットワークに接続する全ての機器の電源を切ります。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



■ 機器と無線LANルーターが離れていて電波が届いていません。

対処方法

コンピューターまたはスマートデバイスとプリンターを無線LANルーターの近くに移動して、無線LANルーターの電源を入れ直してください。

■ 無線LANルーターを交換した場合、設定が新しいルーターに合っていません。

対処方法

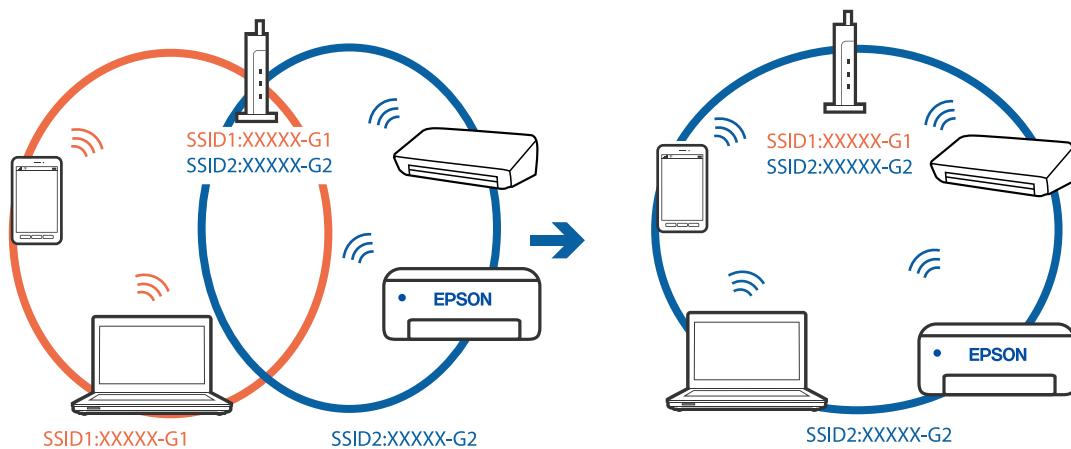
新しい無線LANルーターに合うように、接続設定をやり直してください。

→ 「無線LANルーターを交換したとき」 145ページ

■ 接続しているSSIDがコンピューターやスマートデバイスとプリンターで異なっています。

対処方法

複数の無線LANルーターを使用している場合や、1台で複数のSSIDを使用できる無線LANルーターの場合、コンピューターやスマートデバイスが接続しているSSIDとプリンターが接続しているSSIDが異なっていると接続できません。



コンピューターやスマートデバイスを同じSSIDに接続してください。

- プリンターが接続しているSSIDを、ネットワーク接続診断レポートを印刷して確認してください。
- プリンターと接続したい全てのコンピューターやスマートデバイスで、接続しているWi-Fiまたはネットワークの名前を確認してください。
- プリンターとコンピューターやスマートデバイスでネットワークの接続先が異なる場合は、プリンターが接続している接続先（SSID）に機器を接続し直してください。

■ 無線LANルーターのプライバシーセパレーター機能が有効になっています。

対処方法

ほとんどのワイヤレスルーターには、同じSSID内のデバイス間の通信をブロックするセパレーター機能があります。プリンターとコンピューターまたはスマートデバイスが同じネットワークに接続されていても通信できない場合は、無線ルーターのセパレーター機能を無効にしてください。詳しくは無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。

■ IPアドレスが正しく割り当てられていません。

対処方法

IPアドレスが「169.254.XXX.XXX」、サブネットマスクが「255.255.0.0」の場合は、IPアドレスが正しく割り当てられていない可能性があります。

プリンターの操作パネルで【設定】 - 【本体設定】 - 【ネットワーク設定】 - 【詳細設定】 - 【TCP/IP】の順に選択して、プリンターに割り当てられているIPアドレスとサブネットマスクを確認してください。

無線LANルーターの電源を入れ直すか、プリンターのネットワークを再設定してください。

プリンターのネットワーク設定が間違っている場合は、ネットワーク環境に合わせてプリンターのネットワークを再設定してください。

⇒ [「ネットワークを再設定する方法」145ページ](#)

■ コンピューターのネットワーク設定に問題があります。

対処方法

コンピューターからウェブサイトを閲覧できるか確認してください。閲覧できない場合はコンピューターのネットワーク設定に問題があります。

コンピューターのネットワーク接続を確認してください。詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

■ IEEE802.3az（省電力イーサネット）に対応した機器を使って有線LAN接続しています。

対処方法

IEEE802.3az（Energy Efficient Ethernet、省電力イーサネット）に対応した機器を使って有線LAN接続する場合、一部のハブやルーターを使用したときに以下の現象が発生することがあります。

- 接続したりしなかったりして不安定になる
- 接続できなくなる
- 通信速度が遅くなる

以下の手順で、コンピューターとプリンターのIEEE802.3azを無効にして接続してください。

1. コンピューターとプリンターそれぞれにつながっているLANケーブルを外します。

2. コンピューターのIEEE802.3azが有効になっている場合は、無効にします。

詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

3. LANケーブルでコンピューターとプリンターを直接接続します。

4. プリンターで、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。

[「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」163ページ](#)

5. ネットワーク接続診断レポートで、プリンターのIPアドレスを確認します。

6. コンピューターで、Web Configを起動します。

Webブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを入力してください。

[「WebブラウザーからWeb Configを起動する」257ページ](#)

7. [ネットワーク] タブ - [有線LAN] の順に選択します。

8. [IEEE 802.3az] を [オフ] にします。

9. [次へ] をクリックします。

10. [設定] をクリックします。

11. コンピューターとプリンターにつながっているLANケーブルを外します。

12. 手順2でコンピューターのIEEE802.3azを無効にした場合は、有効にします。

13. 手順1で外したLANケーブルをコンピューターとプリンターにつなぎます。

上記の手順をしてもこの現象が発生する場合は、プリンター以外の機器が原因となっている可能性があります。

➔ [「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」257ページ](#)

USB接続できない（Windows）

以下の原因が考えられます。

■ USBケーブルがしっかりと差し込まれていません。

対処方法

プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルを、しっかりと差し込んでください。

■ USBハブに問題があります。

対処方法

USBハブ使用時は、プリンターとコンピューターを直接接続してみてください。

■ USBケーブルか差し込み口に問題があります。

対処方法

USBケーブルの差し込み口を変えてみてください。それでも解決しないときはUSBケーブルを変えてみてください。

■ プリンターをSuperSpeed USBポートに接続しています。

対処方法

一部のコンピューターのSuperSpeed USBポートにUSB2.0ケーブルを使ってプリンターを接続すると、通信不良が発生することがあります。その場合は次のいずれかの方法で接続し直してください。

- USB3.0ケーブルを使用する
- コンピューターのHi-Speed USBポートに接続する
- 通信不良が発生する以外のSuperSpeed USBポートに接続する

接続できているのに印刷できない (Windows)

以下の原因が考えられます。

■ ソフトウェアやデータに問題があります。

対処方法

- エプソン純正プリンタードライバー (EPSON XXXXX) がインストールされているか確認してください。インストールされていないと使用できる機能が限られるため、インストールすることをお勧めします。
- データサイズが大きい画像を印刷しようとすると、コンピューターのメモリーが足りなくなることがあります。解像度を下げたり、サイズを小さくしたりして印刷してください。
- 容量の大きなデータを印刷しようとすると、コンピューターのCPUやメモリーの容量によって、データを処理できないことがあります。以下の対処をしてください。
 - コンピューターのメモリーを増設する
 - プリンタードライバーの [印刷品質] の設定を [はやい] (300dpi) にする
 - 使用していないインターフェイスを使わない設定にする
- 全ての対処方法を試してもトラブルを解決できないときは、プリンタードライバーをアンインストールして、再インストールしてみてください。
 - ➡ 「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する (Windows)」93ページ
 - ➡ 「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する (Mac OS)」94ページ
 - ➡ 「ソフトウェアを個別にインストールまたはアンインストールする」92ページ

■ プリンターの状態に問題があります。

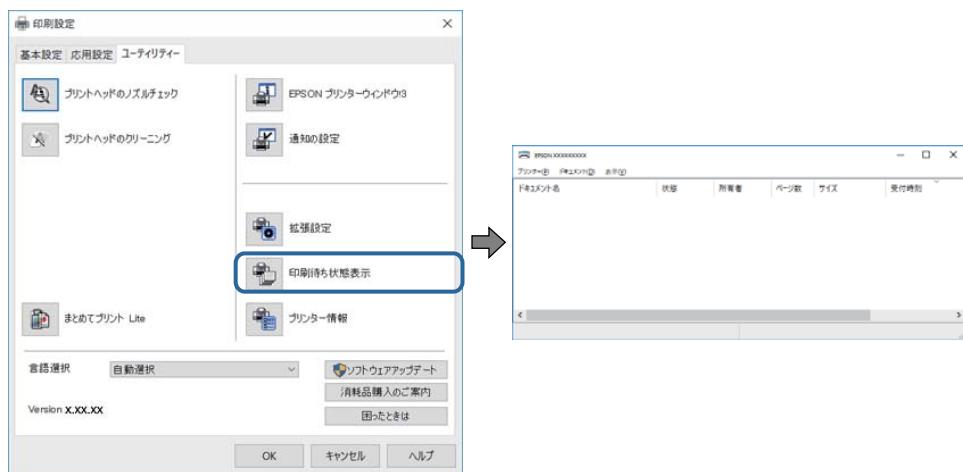
対処方法

プリンタードライバーで [ユーティリティー] タブの [EPSONステータスモニタ] をクリックしてプリンターの状態を確認してください。この機能を使うにはEPSONステータスモニタのインストールが必要です。エプソンのウェブサイトからダウンロードできます。

■ 印刷待ちのジョブが残っています。

対処方法

プリンタードライバーの [ユーティリティー] タブで [印刷待ち状態表示] をクリックします。不要な印刷データが残っている場合は、 [プリンター] メニューで [すべてのドキュメントの取り消し] を選択してください。



■ プリンターが一時停止やオフラインになっています。

対処方法

プリンタードライバーの [ユーティリティー] タブで [印刷待ち状態表示] をクリックします。 [プリンター] メニューで一時停止またはオフラインのチェックを外してください。



■ 通常使うプリンターに設定されていません。

対処方法

[コントロールパネル] - [デバイスとプリンター]（または [プリント]、[プリントとFAX]）でお使いになるプリンターアイコンを右クリックして [通常使うプリンターに設定] をクリックします。

参考 複数プリンターアイコンがある場合は、以下を参考にして選んでください。

例)

USB ケーブルで接続：EPSON XXXX Series

ネットワークで接続：EPSON XXXX Series (ネットワーク)

何度もプリンタードライバーをインストールするとプリンタードライバーのコピーが作成されることがあります。「EPSON XXXX Series (コピー1)」などのコピーができてしまっている場合は、コピーされたドライバーのアイコン上で右クリックし、[デバイスの削除] をクリックしてください。

■ 正しいポートが選択されていません。

対処方法

プリンタードライバーの [ユーティリティー] タブで [印刷待ち状態表示] をクリックします。

[プリンター] メニューの [プロパティ] - [ポート] で、以下の正しいポートを選択してください。

USB ケーブルで接続：[USBXXX]、ネットワーク接続：[EpsonNet Print Port]

ポートを変更できないときは、[プリンター] メニューの [管理者として実行] を選択してください。 [管理者として実行] が表示されないときは、システム管理者に問い合わせてください。

■ プリンターの選択が間違っています。

対処方法

プリンターナー名が変更されている可能性があります。システム管理者などに正しいプリンターナー名を尋ね、その名称のプリンターを選択してください。

ネットワーク接続のプリンターから突然印刷できなくなった

以下の原因が考えられます。

■ ネットワーク環境が変更されています。

対処方法

無線LANルーター（アクセスポイント）やプロバイダーなど、ネットワーク環境を変更したときは、プリンターのネットワーク設定をやり直してください。

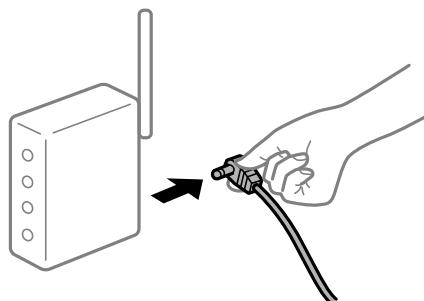
コンピューターやスマートデバイスをプリンターと同じSSIDに接続してください。

→ [「ネットワークを再設定する方法」145ページ](#)

■ 無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

ネットワークに接続する全ての機器の電源を切れます。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



■ プリンターがネットワークに接続していません。

対処方法

プリンターの操作パネルで【設定】 - 【本体設定】 - 【ネットワーク設定】 - 【接続診断】の順に選択して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。ネットワーク接続診断レポートの結果が失敗だった場合は、接続診断の内容を確認して対処方法をお試しください。

→ [「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」163ページ](#)

■ コンピューターのネットワーク設定に問題があります。

対処方法

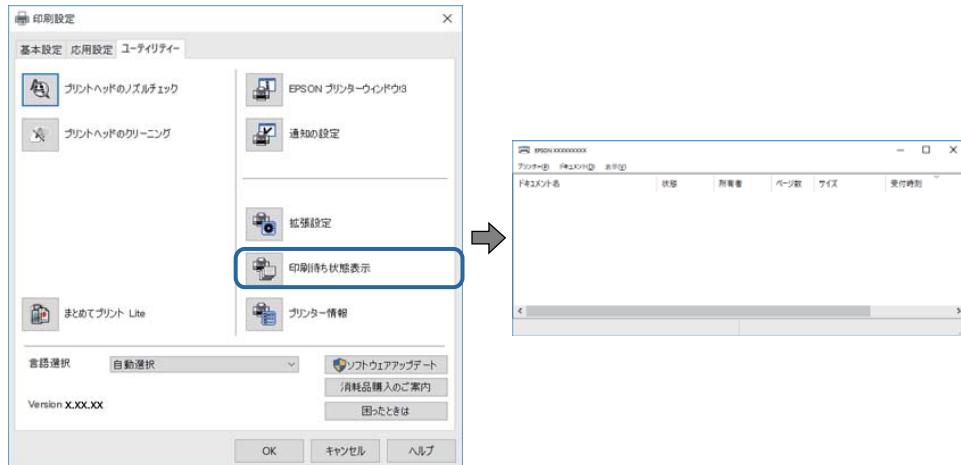
コンピューターからウェブサイトを閲覧できるか確認してください。閲覧できない場合はコンピューターのネットワーク設定に問題があります。

コンピューターのネットワーク接続を確認してください。詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

■ 印刷待ちのジョブが残っています。

対処方法

プリンタードライバーの [ユーティリティー] タブで [印刷待ち状態表示] をクリックします。不要な印刷データが残っている場合は、 [プリンター] メニューで [すべてのドキュメントの取り消し] を選択してください。



■ プリンターが一時停止やオフラインになっています。

対処方法

プリンタードライバーの [ユーティリティー] タブで [印刷待ち状態表示] をクリックします。
[プリンター] メニューで一時停止またはオフラインのチェックを外してください。



■ 通常使うプリンターに設定されていません。

対処方法

[コントロールパネル] - [デバイスとプリンター] (または [プリンタ] 、 [プリンタとFAX]) でお使いになるプリンターアイコンを右クリックして [通常使うプリンターに設定] をクリックします。

参考 複数プリンターアイコンがある場合は、以下を参考にして選んでください。

例)

USB ケーブルで接続 : EPSON XXXX Series

ネットワークで接続 : EPSON XXXX Series (ネットワーク)

何度もプリンタードライバーをインストールするとプリンタードライバーのコピーが作成されることがあります。「EPSON XXXX Series (コピー1)」などのコピーができてしまっている場合は、コピーされたドライバーのアイコン上で右クリックし、 [デバイスの削除] をクリックしてください。

■ 正しいポートが選択されていません。

対処方法

プリンタードライバーの「ユーティリティー」タブで「印刷待ち状態表示」をクリックします。

【プリンター】メニューの「プロパティ」-「ポート」で、以下の正しいポートを選択してください。

USB ケーブルで接続：【USBXXX】、ネットワーク接続：【EpsonNet Print Port】

ポートを変更できないときは、【プリンター】メニューの「管理者として実行」を選択してください。【管理者として実行】が表示されないときは、システム管理者に問い合わせてください。

■ 全ての対処方法を試しても解決しないとき

対処方法

全ての対処方法を試してもうまくいかない場合は、セキュリティーソフトなどの影響が考えられます。エプソンのウェブサイトでFAQをご覧ください。

<http://www.epson.jp/support/faq/>

製品カテゴリーからお使いの製品を選択して、「無線LAN 接続」などのキーワード入力で検索できます。

Mac OSから印刷できない

コンピューターとプリンターを接続できているか確認してください。

接続している場合としている場合で原因と対処方法が異なります。

接続状態を確認する

EPSON ステータスモニタを使って、コンピューターとプリンターの接続状態を確認してください。

1. アップルメニューの「システム環境設定」-「プリンタとスキャナ」（または「プリントとスキャン」、「プリントとファクス」）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。
2. 「オプションとサプライ」-「ユーティリティ」-「プリンタユーティリティを開く」の順にクリックします。
3. 「EPSON ステータスモニタ」をクリックします。

消耗品の状態が表示されればコンピューターとプリンターは接続しています。

接続できていない場合は、以下を確認してください。

- ネットワーク接続でプリンターが認識されていない
[「ネットワークに接続できない」 118ページ](#)
- USB接続でプリンターが認識されていない
[「USB接続できない \(Mac OS\)」 121ページ](#)

接続できている場合は、以下を確認してください。

- プリンターは認識されているが印刷できない
[「接続できているのに印刷できない \(Mac OS\)」 122ページ](#)

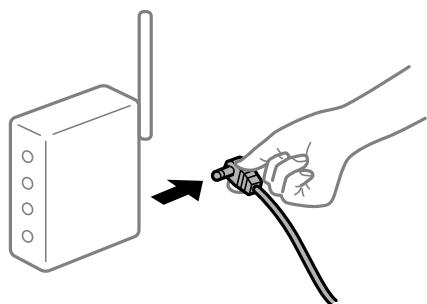
ネットワークに接続できない

以下の原因が考えられます。

■ 無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

ネットワークに接続する全ての機器の電源を切れます。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



■ 機器と無線LANルーターが離れていて電波が届いていません。

対処方法

コンピューターまたはスマートデバイスとプリンターを無線LANルーターの近くに移動して、無線LANルーターの電源を入れ直してください。

■ 無線LANルーターを交換した場合、設定が新しいルーターに合っていません。

対処方法

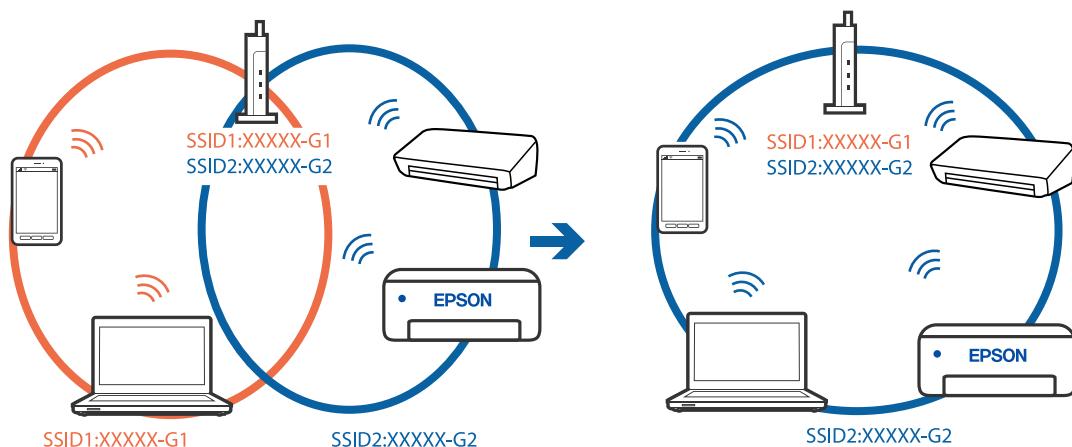
新しい無線LANルーターに合うように、接続設定をやり直してください。

➔ 「無線LANルーターを交換したとき」 145ページ

■ 接続しているSSIDがコンピューターやスマートデバイスとプリンターで異なっています。

対処方法

複数の無線LANルーターを使用している場合や、1台で複数のSSIDを使用できる無線LANルーターの場合、コンピューターやスマートデバイスが接続しているSSIDとプリンターが接続しているSSIDが異なっていると接続できません。



コンピューターやスマートデバイスを同じSSIDに接続してください。

- プリンターが接続しているSSIDを、ネットワーク接続診断レポートを印刷して確認してください。
- プリンターと接続したい全てのコンピューターやスマートデバイスで、接続しているWi-Fiまたはネットワークの名前を確認してください。
- プリンターとコンピューターやスマートデバイスでネットワークの接続先が異なる場合は、プリンターが接続している接続先（SSID）に機器を接続し直してください。

■ 無線LANルーターのプライバシーセパレーター機能が有効になっています。

対処方法

ほとんどのワイヤレスルーターには、同じSSID内のデバイス間の通信をブロックするセパレーター機能があります。プリンターとコンピューターまたはスマートデバイスが同じネットワークに接続されても通信できない場合は、無線ルーターのセパレーター機能を無効にしてください。詳しくは無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。

■ IPアドレスが正しく割り当てられていません。

対処方法

IPアドレスが「169.254.XXX.XXX」、サブネットマスクが「255.255.0.0」の場合は、IPアドレスが正しく割り当てられていない可能性があります。

プリンターの操作パネルで【設定】 - 【本体設定】 - 【ネットワーク設定】 - 【詳細設定】 - 【TCP/IP】の順に選択して、プリンターに割り当てられているIPアドレスとサブネットマスクを確認してください。

無線LANルーターの電源を入れ直すか、プリンターのネットワークを再設定してください。

プリンターのネットワーク設定が間違っている場合は、ネットワーク環境に合わせてプリンターのネットワークを再設定してください。

⇒ 「ネットワークを再設定する方法」 145ページ

■ コンピューターのネットワーク設定に問題があります。

対処方法

コンピューターからウェブサイトを閲覧できるか確認してください。閲覧できない場合はコンピューターのネットワーク設定に問題があります。

コンピューターのネットワーク接続を確認してください。詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

■ USB 3.0ポートに接続している機器によって無線周波数干渉が起こっています。

対処方法

MacのUSB 3.0ポートに機器を接続して使用していると、無線周波数干渉が起こることがあります。無線LAN (Wi-Fi) に接続できない、または動作が不安定になる場合は以下をお試しください。

- USB 3.0ポートに接続している機器をコンピューターから離す
- 5 GHzのSSIDに接続する

接続するには、以下を参照してください。

⇒ 「プリンターにSSIDとパスワードを入力して設定する」 150ページ

■ IEEE802.3az（省電力イーサネット）に対応した機器を使って有線LAN接続しています。

対処方法

IEEE802.3az（Energy Efficient Ethernet、省電力イーサネット）に対応した機器を使って有線LAN接続する場合、一部のハブやルーターを使用したときに以下の現象が発生することがあります。

- 接続したりしなかったりして不安定になる
- 接続できなくなる
- 通信速度が遅くなる

以下の手順で、コンピューターとプリンターのIEEE802.3azを無効にして接続してください。

1. コンピューターとプリンターそれぞれにつながっているLANケーブルを外します。
2. コンピューターのIEEE802.3azが有効になっている場合は、無効にします。
詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。
3. LANケーブルでコンピューターとプリンターを直接接続します。
4. プリンターで、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。
[「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」163ページ](#)
5. ネットワーク接続診断レポートで、プリンターのIPアドレスを確認します。
6. コンピューターで、Web Configを起動します。
Webブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを入力してください。
[「WebブラウザーからWeb Configを起動する」257ページ](#)
7. [ネットワーク] タブ - [有線LAN] の順に選択します。
8. [IEEE 802.3az] を [オフ] にします。
9. [次へ] をクリックします。
10. [設定] をクリックします。
11. コンピューターとプリンターにつながっているLANケーブルを外します。
12. 手順2でコンピューターのIEEE802.3azを無効にした場合は、有効にします。
13. 手順1で外したLANケーブルをコンピューターとプリンターにつなぎます。

上記の手順をしてもこの現象が発生する場合は、プリンター以外の機器が原因となっている可能性があります。

⇒ [「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」257ページ](#)

USB接続できない（Mac OS）

以下の原因が考えられます。

■ USBケーブルがしっかりと差し込まれていません。

対処方法

プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルを、しっかりと差し込んでください。

■ USBハブに問題があります。

対処方法

USBハブ使用時は、プリンターとコンピューターを直接接続してみてください。

■ USBケーブルか差し込み口に問題があります。

対処方法

USBケーブルの差し込み口を変えてみてください。それでも解決しないときはUSBケーブルを変えてみてください。

■ プリンターをSuperSpeed USBポートに接続しています。

対処方法

一部のコンピューターのSuperSpeed USBポートにUSB2.0ケーブルを使ってプリンターを接続すると、通信不良が発生することがあります。その場合は次のいずれかの方法で接続し直してください。

- USB3.0ケーブルを使用する
- コンピューターのHi-Speed USBポートに接続する
- 通信不良が発生する以外のSuperSpeed USBポートに接続する

接続できているのに印刷できない (Mac OS)

以下の原因が考えられます。

■ ソフトウェアやデータに問題があります。

対処方法

- エプソン純正プリンタードライバー (EPSON XXXXX) がインストールされているか確認してください。インストールされていないと使用できる機能が限られるため、インストールすることをお勧めします。
- データサイズが大きい画像を印刷しようとすると、コンピューターのメモリーが足りなくなることがあります。解像度を下げたり、サイズを小さくしたりして印刷してください。
- 容量の大きなデータを印刷しようとすると、コンピューターのCPUやメモリーの容量によって、データを処理できないことがあります。以下の対処をしてください。
 - コンピューターのメモリーを増設する
 - プリンタードライバーの [印刷品質] の設定を [はやい] (300dpi) にする
 - 使用していないインターフェイスを使わない設定にする
- 全ての対処方法を試してもトラブルを解決できないときは、プリンタードライバーをアンインストールして、再インストールしてみてください。
 - ⇒ 「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する (Windows)」 93ページ
 - ⇒ 「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する (Mac OS)」 94ページ
 - ⇒ 「ソフトウェアを個別にインストールまたはアンインストールする」 92ページ

■ プリンターの状態に問題があります。

対処方法

プリンターのステータスが「一時停止」になっていないか確認してください。

アップルメニューの「システム環境設定」-「プリンタとスキャナ」（または「プリントとスキャン」、「プリントとファックス」）の順に選択し、お使いのプリンターをダブルクリックします。「一時停止」になっているときは、「再開」をクリックしてください。

■ プリンターの利用者制限が有効になっています。

対処方法

利用者制限されたプリンターでは印刷できないことがあります。プリンターの管理者に問い合わせてください。

■ プリンターの選択が間違っています。

対処方法

プリンタ名が変更されている可能性があります。システム管理者などに正しいプリンタ名を尋ね、その名称のプリンターを選択してください。

ネットワーク接続のプリンターから突然印刷できなくなった

以下の原因が考えられます。

■ ネットワーク環境が変更されています。

対処方法

無線LANルーター（アクセスポイント）やプロバイダーなど、ネットワーク環境を変更したときは、プリンターのネットワーク設定をやり直してください。

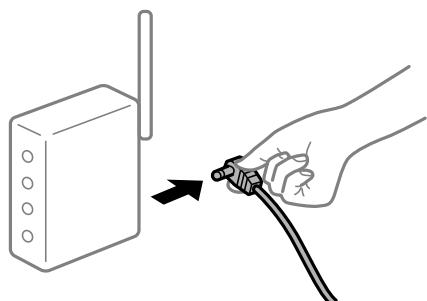
コンピューターやスマートデバイスをプリンターと同じSSIDに接続してください。

⇒ [「ネットワークを再設定する方法」145ページ](#)

■ 無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

ネットワークに接続する全ての機器の電源を切ります。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



■ プリンターがネットワークに接続していません。

対処方法

プリンターの操作パネルで【設定】 - 【本体設定】 - 【ネットワーク設定】 - 【接続診断】の順に選択して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。ネットワーク接続診断レポートの結果が失敗だった場合は、接続診断の内容を確認して対処方法をお試しください。

⇒ 「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」 163ページ

■ コンピューターのネットワーク設定に問題があります。

対処方法

コンピューターからウェブサイトを閲覧できるか確認してください。閲覧できない場合はコンピューターのネットワーク設定に問題があります。

コンピューターのネットワーク接続を確認してください。詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

■ 全ての対処方法を試しても解決しないとき

対処方法

全ての対処方法を試してもうまくいかない場合は、セキュリティーソフトなどの影響が考えられます。エプソンのウェブサイトでFAQをご覧ください。

<http://www.epson.jp/support/faq/>

製品カテゴリーからお使いの製品を選択して、「無線LAN 接続」などのキーワード入力で検索できます。

スマートデバイスから印刷できない

スマートデバイスとプリンターを接続できているか確認してください。
接続している場合としている場合で原因と対処方法が異なります。

接続状態を確認する

Epsonの印刷用アプリを使って、スマートデバイスとプリンターの接続状態を確認してください。
エプソンの印刷用アプリの例



Epson iPrint

App StoreまたはGoogle Playから、Epsonの印刷用アプリを検索してインストールしてください。

1. スマートデバイスで印刷用アプリを開きます。
2. 使用するプリンター名が表示されているか確認します。

プリンター名が表示されている場合は、スマートデバイスとプリンターは接続しています。

以下が表示されている場合は、スマートデバイスとプリンターは接続していません。

- プリンター未設定
- 通信エラーが発生しました。

接続できていない場合は、以下を確認してください。

- ネットワーク接続でプリンターが認識されていない
[「ネットワークに接続できない」125ページ](#)

接続できている場合は、以下を確認してください。

- プリンターは認識されているが印刷できない
[「接続できているのに印刷できない \(iOS\)」127ページ](#)

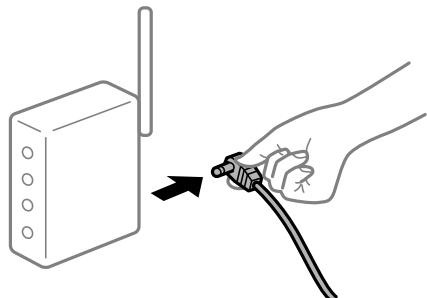
ネットワークに接続できない

以下の原因が考えられます。

■ 無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

ネットワークに接続する全ての機器の電源を切れます。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



■ 機器と無線LANルーターが離れていて電波が届いていません。

対処方法

コンピューターまたはスマートデバイスとプリンターを無線LANルーターの近くに移動して、無線LANルーターの電源を入れ直してください。

■ 無線LANルーターを交換した場合、設定が新しいルーターに合っていません。

対処方法

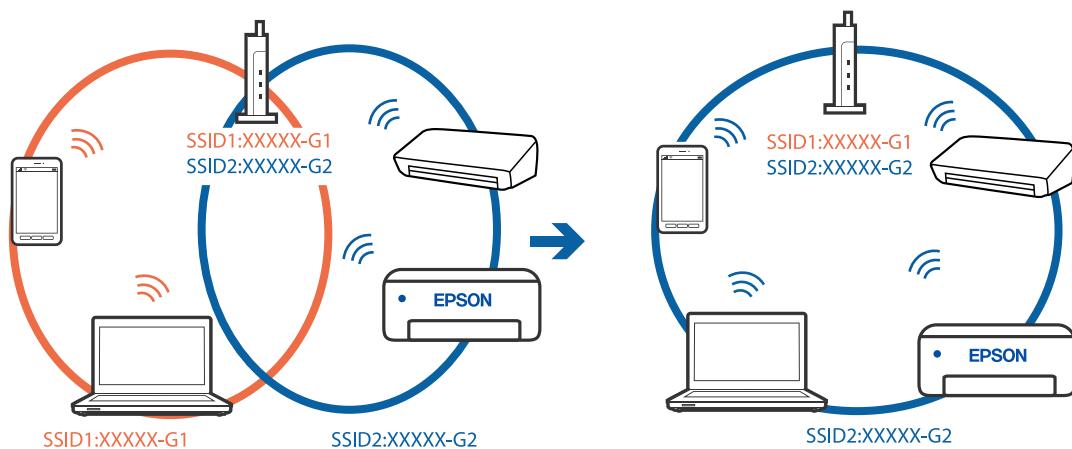
新しい無線LANルーターに合うように、接続設定をやり直してください。

➔ [「無線LANルーターを交換したとき」145ページ](#)

■ 接続しているSSIDがコンピューターやスマートデバイスとプリンターで異なっています。

対処方法

複数の無線LANルーターを使用している場合や、1台で複数のSSIDを使用できる無線LANルーターの場合、コンピューターやスマートデバイスが接続しているSSIDとプリンターが接続しているSSIDが異なっていると接続できません。



コンピューターやスマートデバイスを同じSSIDに接続してください。

- プリンターが接続しているSSIDを、ネットワーク接続診断レポートを印刷して確認してください。
- プリンターと接続したい全てのコンピューターやスマートデバイスで、接続しているWi-Fiまたはネットワークの名前を確認してください。
- プリンターとコンピューターやスマートデバイスでネットワークの接続先が異なる場合は、プリンターが接続している接続先（SSID）に機器を接続し直してください。

■ 無線LANルーターのプライバシーセパレーター機能が有効になっています。

対処方法

ほとんどのワイヤレスルーターには、同じSSID内のデバイス間の通信をブロックするセパレーター機能があります。プリンターとコンピューターまたはスマートデバイスが同じネットワークに接続されても通信できない場合は、無線ルーターのセパレーター機能を無効にしてください。詳しくは無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。

■ IPアドレスが正しく割り当てられていません。

対処方法

IPアドレスが「169.254.XXX.XXX」、サブネットマスクが「255.255.0.0」の場合は、IPアドレスが正しく割り当てられていない可能性があります。

プリンターの操作パネルで【設定】 - 【本体設定】 - 【ネットワーク設定】 - 【詳細設定】 - 【TCP/IP】の順に選択して、プリンターに割り当てられているIPアドレスとサブネットマスクを確認してください。

無線LANルーターの電源を入れ直すか、プリンターのネットワークを再設定してください。

プリンターのネットワーク設定が間違っている場合は、ネットワーク環境に合わせてプリンターのネットワークを再設定してください。

⇒ 「ネットワークを再設定する方法」 145ページ

■ スマートデバイスのネットワーク設定に問題があります。

対処方法

スマートデバイスからウェブサイトを閲覧できるか確認してください。閲覧できない場合はスマートデバイスのネットワーク設定に問題があります。

スマートデバイスのネットワーク接続を確認してください。詳しくはスマートデバイスのマニュアルをご覧ください。

接続できているのに印刷できない (iOS)

以下の原因が考えられます。

■ 設定画面自動表示が無効になっています。

対処方法

操作パネルの以下のメニューで【設定画面自動表示】を有効にしてください。

【設定】 - 【本体設定】 - 【プリンター設定】 - 【給紙装置設定】 - 【設定画面自動表示】

■ AirPrintの設定が無効になっています。

対処方法

Web ConfigでAirPrintの設定を有効にしてください。

➔ [「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア \(Web Config\)」257ページ](#)

ネットワーク接続のプリンターから突然印刷できなくなった

以下の原因が考えられます。

■ ネットワーク環境が変更されています。

対処方法

無線LANルーター（アクセスポイント）やプロバイダーなど、ネットワーク環境を変更したときは、プリンターのネットワーク設定をやり直してください。

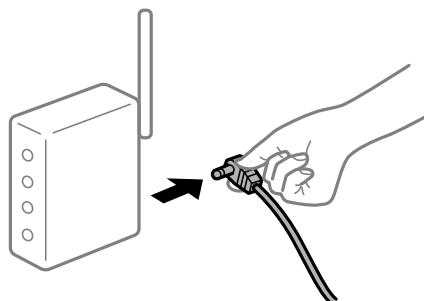
コンピューターやスマートデバイスをプリンターと同じSSIDに接続してください。

➔ [「ネットワークを再設定する方法」145ページ](#)

■ 無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

ネットワークに接続する全ての機器の電源を切れます。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



■ プリンターがネットワークに接続していません。

対処方法

プリンターの操作パネルで【設定】 - 【本体設定】 - 【ネットワーク設定】 - 【接続診断】の順に選択して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。ネットワーク接続診断レポートの結果が失敗だった場合は、接続診断の内容を確認して対処方法をお試しください。

→ 「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」 163ページ

■ スマートデバイスのネットワーク設定に問題があります。

対処方法

スマートデバイスからウェブサイトを閲覧できるか確認してください。閲覧できない場合はスマートデバイスのネットワーク設定に問題があります。

スマートデバイスのネットワーク接続を確認してください。詳しくはスマートデバイスのマニュアルをご覧ください。

■ 全ての対処方法を試しても解決しないとき

対処方法

全ての対処方法を試してもうまくいかない場合は、セキュリティーソフトなどの影響が考えられます。エプソンのウェブサイトでFAQをご覧ください。

<http://www.epson.jp/support/faq/>

製品カテゴリーからお使いの製品を選択して、「無線LAN接続」などのキーワード入力で検索できます。

思い通りに操作できない

動作が遅い

印刷速度が遅い

以下の原因が考えられます。

■ 不要なアプリケーションソフトを起動しています。

対処方法

コンピューターやスマートデバイスで、不要なアプリケーションソフトを終了してください。

■ スリープモードになっています。

対処方法

ウォームアップしてから印刷を開始するため、排紙までに時間がかかることがあります。そのままお待ちください。

■ プリンターを調整中です。

対処方法

良好な印刷品質を保つために、印刷中に一時停止してプリンター内部機能の自動調整を行うことがあります。調整が完了すると自動的に印刷を再開します。そのままお待ちください。

■ 印刷に時間がかかる設定（厚紙など）になっています。

対処方法

普通紙への印刷は、用紙種類の設定を【普通紙】にしてください。

■ 定着ユニットの冷却中です。

対処方法

ハガキなど幅の狭い用紙に連続印刷すると、定着ユニットの過熱防止のための冷却が必要になり、印刷速度が低下することがあります。印刷が終わるまでお待ちください。

■ 印刷データの容量が大きすぎます。

対処方法

容量の大きなデータを印刷しようとするとき、コンピューターのCPUやメモリーの容量によって、データを処理できないことがあります。以下の対処をしてください。

- コンピューターのメモリーを増設する
- プリンタードライバーの【印刷品質】の設定を【はやい】（300dpi）にする
- 使用していないインターフェイスを使わない設定にする

プリンターの画面が暗くなつた

- スリープモードになっています。

対処方法

操作パネルのいずれかのボタンを押すと元の明るさに戻ります。

ルート証明書の更新が必要になつた

- ルート証明書の有効期限が切れています。

対処方法

Web Configを起動してルート証明書を更新してください。

Mac OS X v10.6.8から印刷を中止できない

- AirPrintの設定に問題があります。

対処方法

Web Configを起動して [AirPrint設定] で [最優先プロトコル] を [Port9100] にします。その後、アップルメニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン] 、 [プリントとファックス]) の順に選択し、お使いのプリンターを削除してから、再度同じプリンターを追加します。

→ 「[ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）](#)」257ページ

パスワードを忘れた

- サービスマンによる対応が必要です。

対処方法

管理者のパスワードを忘れたときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。

EPSONステータスマニタ使用時に通信エラーが発生する

以下の原因が考えられます。

- 通信プロトコルにIPPを使用しています。

対処方法

ネットワークプリンターを監視できないために通信エラーになることがあります、印刷は正常に終了します。
[通知の設定] 画面内の [印刷中プリンターを監視する] のチェックを外すとエラー表示されなくなります。

- リモートデスクトップ機能で、リダイレクトプリントを実行した（Windows XP/Windows Vista）

対処方法

通信エラーは表示されますが印刷は正常に終了します。

プリンター画面にメッセージが表示された

プリンターの画面にメッセージが表示されたら、画面の指示または以下の対処方法に従ってトラブルを解決してください。

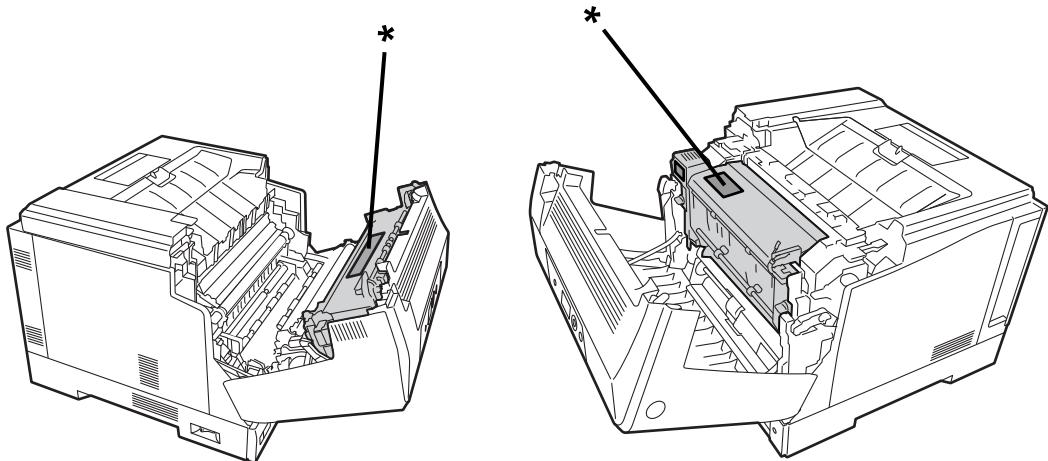
メッセージ	対処方法
アドレスとサブネットマスクの組み合わせが有効ではありません。詳しくはマニュアルをご覧ください。	IPアドレス、またはデフォルトゲートウェイに正しい値を入力してください。正しい値がわからない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
このサービスを利用するには、ルート証明書のアップデートが必要です。	Web Configを起動してルート証明書を更新してください。
コンピューターでプリンターのポート設定(IPアドレスなど)やドライバーの状態が正しいか確認してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	[プリンター] メニューの [プロパティ] - [ポート] で、以下の正しいポートが選択されていることを確認してください。 USB接続： [USBXXX] 、ネットワーク接続： [EpsonNet Print Port]
コンピューターで、印刷ポートの設定や、ドライバーの状態などを確認してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	
設定画面自動表示をオフにします。一部の機能が使えなくなります。詳しくはマニュアルをご覧ください。	[設定画面自動表示] を無効にすると、AirPrintが使用できません。
プリンターエラー 電源を入れ直してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。 エラーコード：XXXXXX	電源を入れ直しても同じメッセージが表示されるときは、エラーコードを控えてからエプソンの修理窓口にご連絡ください。
XXの用紙がなくなりました。	用紙を補充して、用紙カセットを奥までセットしてください。
増設カセットユニットの接続可能数を超えています。電源を切ってから接続数を減らしてください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	増設できるカセットユニットは3段までです。それ以上の増設カセットユニットは取り付けの逆の手順で取り外してください。
非対応の増設カセットユニットを接続しています。電源を切ってから取り外してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	非対応の増設カセットユニットを接続しています。取り付けの逆の手順で取り外してください。
XXが故障したため、印刷できません。別の給紙装置からは印刷できます。	電源を入れ直して、用紙カセットをセットし直してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、エプソンの修理窓口に修理を依頼してください。
XXの給紙ローラーが交換時期に近付いています。	給紙ローラーは定期交換部品です。交換時期に達すると、この用紙カセットから正しく給紙できなくなります。エプソンの修理窓口に給紙ローラーの交換を依頼してください。
XXの給紙ローラーが交換時期に達しました。詳しくはマニュアルをご覧ください。	エプソンの修理窓口に給紙ローラーの用紙カセットの交換を依頼してください。

メッセージ	対処方法
Recovery Mode Update Firmware	ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 1.コンピューターとプリンターをUSB接続します(リカバリーモード中のアップデートは、ネットワーク接続ではできません)。 2.お住まいの地域のエプソンのウェブサイトで詳細をご確認ください。

用紙が詰まつた

操作パネルのエラー表示を確認し、用紙が詰まっている（ちぎれた紙片が残っている）箇所を順番に確認して取り除いてください。プリンターの画面に、詰まつた用紙を取り除く方法の動画が表示されます。【OK】を選択してエラーを解除してください。

△注意 使用中にプリンターの前面カバーを開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットと両面印刷ユニットカバーに触れないでください。内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。
アスタリスク (*) が注意ラベルの位置を示します。



詰まつた用紙を取り除く際は、以下の点に注意してください。

- 詰まつた用紙は、破れないように両手でゆっくり引き抜いてください。無理に引き抜くと、用紙が破れて取り除くことが困難になり、さらに別の用紙詰まりを引き起します。
- 用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないよう全て取り除いてください。
- 破れた用紙が取り除けない場合や、本書で説明している場所以外に用紙が詰まつて取り除けない場合は、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。

紙詰まりを防ぐには

紙詰まりが頻繁に起こる場合は、以下を確認してください。

- 本製品で印刷できる用紙を使用してください。
[「印刷できる用紙とセット枚数」212ページ](#)

- 用紙取り扱い上のご注意に従ってください。
[「用紙取り扱い上のご注意」28ページ](#)
- 用紙を正しい方向でセットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。
[「用紙のセット」29ページ](#)
- 用紙はセット可能枚数を超えてセットしないでください。
- 複数枚セットしてうまく給紙できないときは、1枚ずつセットしてください。
- プリンターの用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。

消耗品の交換が必要になった

消耗品取り扱い上のご注意

消耗品や定期交換部品を交換する際は、以下の取り扱い上の注意を必ず守ってください。

⚠ 警告

- 消耗品を、火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷するおそれがあります。
- 製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。感電や火傷のおそれがあります。
- こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。こぼれたトナーを掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより、内部に吸い込まれたトナーが粉じん発火するおそれがあります。床などにこぼれてしまったトナーは、ほうきで掃除するか中性洗剤を含ませた布などで拭き取ってください。

⚠ 注意

消耗品を交換するときは、周囲に紙などを敷いてください。トナーがこぼれて、プリンターの周囲や衣服などに付いて汚れるおそれがあります。

! 重要

本製品はエプソン製のトナーカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。エプソン製以外のものをご使用になると、本製品の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、本製品の性能が発揮できない場合があります。エプソン製以外のものをご使用したことにより発生した不具合については保証いたしませんのでご了承ください。

参考

消耗品の保管は以下のようにしてください。

- 直射日光を避け、梱包された状態で、温度0~35°C、湿度15~80%の結露しない場所に保管
- 立てたり傾けたりしない状態で保管

トナーカートリッジと廃トナーボックスの交換が必要になった

トナーカートリッジ取り扱い上のご注意

トナーカートリッジを交換するときは、以下のことに注意してください。

！重要

- カートリッジにトナーを補充しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。
- 寒い場所から暖かい場所にトナーカートリッジを移したときは、室温に慣らすため未開封のまま1時間以上待ってから使用してください。

廃トナーボックス取り扱い上のご注意

廃トナーボックスを交換するときは、以下のことに注意してください。

- 廃トナーボックスに入っているトナーは再利用しないでください。
- トナーがこぼれないよう、注意して作業してください。トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。本製品内部にトナーがこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。

トナーカートリッジと廃トナーボックスを交換する

トナーカートリッジ/廃トナーボックス交換のメッセージが表示されたら、【対応方法へ】または【操作方法を見る】を選択して操作パネルに表示される動画を見ながら交換できます。

関連情報

- 「トナーカートリッジ」217ページ
- 「共通消耗品」218ページ
- 「消耗品取り扱い上のご注意」133ページ
- 「トナーカートリッジ取り扱い上のご注意」133ページ
- 「廃トナーボックス取り扱い上のご注意」134ページ
- 「トナーカートリッジの回収」134ページ
- 「使用済みトナーカートリッジの廃棄」135ページ
- 「使用済み廃トナーボックスの廃棄」135ページ

トナーカートリッジの回収

エプソンでは、トナーカートリッジ本体だけでなく、その梱包材など全てを再利用できるリサイクル体制を整え、資源の有効利用と廃棄物ゼロの実現を目指しています。環境保全のため、使用済みトナーカートリッジの回収にご協力いただきますようお願いいたします。

エプソンでは、宅配便などを利用した回収を進めています。詳細は、エプソンのウェブサイトで確認してください。

<http://www.epson.jp/recycle/>

参考

使用済みトナーカートリッジの梱包には、新しいトナーカートリッジの梱包箱を使用してください。

また、弊社は使用済みトナーカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。学校単位で使用済みトナーカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。この活動により資源の有効活用と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会貢献活動を行っております。詳細はエプソンのホームページをご覧ください。

<http://www.epson.jp/bellmark/>

使用済みトナーカートリッジの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

使用済み廃トナーボックスの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

感光体ユニットの交換が必要になった

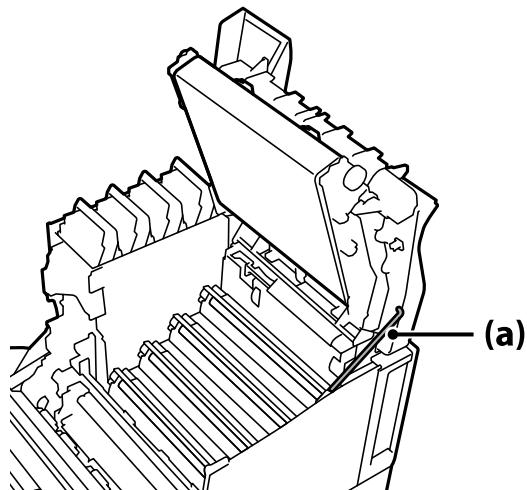
感光体ユニットには以下の物が同梱されています。

- 回収用ポリ袋
- 感光体ユニット
- 交換用パッド

感光体ユニット取り扱い上のご注意

感光体ユニットを交換するときは、以下のことに注意してください。

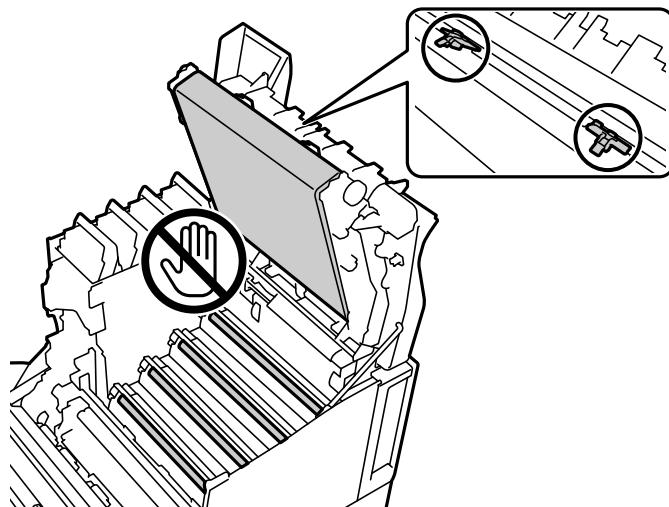
△注意 • 上カバーは必ず支え棒 (a) で固定してください。突然閉まり、指や手を挟んだけがをするおそれがあります。



- 上カバーを閉めるときは、必ずGレバーを持ちながら下げてください。トナーカートリッジカバーを持って閉めると、上カバーが突然閉まり、指や手を挟んだけがをするおそれがあります。

！重要

- イラストで示した箇所には、手を触れたり、こすったり、物をぶつけたりしないでください。手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと印刷品質が低下します。



- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも3分以上放置しないでください。強い光や長時間光が当たると印刷品質が低下します。
- 寒い場所から暖かい場所に感光体ユニットを移したときは、室温に慣らすため未開封のまま1時間以上待ってから使用してください。
- 感光体の表面に傷が付かないよう平らな台の上に置いてください。

感光体ユニットを交換する

感光体ユニット交換のメッセージが表示されたら、[対応方法へ] を選択して操作パネルに表示される動画を見ながら交換できます。

関連情報

- 「共通消耗品」 218ページ
- 「消耗品取り扱い上のご注意」 133ページ
- 「感光体ユニット取り扱い上のご注意」 135ページ
- 「使用済み感光体ユニットの廃棄」 136ページ

使用済み感光体ユニットの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

きれいに印刷できない

印刷結果が薄い、濃い、かずれる、汚い



以下の原因が考えられます。

■ 印刷できない用紙を使用しています。

対処方法

本製品で印刷できる用紙を使用してください。

- ➔ [「印刷できる用紙とセット枚数」212ページ](#)
- ➔ [「印刷できない用紙」216ページ](#)

■ 用紙が湿っています。

対処方法

新しい用紙をセットしてください。

■ プリンターに登録した用紙情報が間違っています。

対処方法

プリンターの用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。

- ➔ [「用紙サイズと種類の登録」29ページ](#)

■ トナーセーブ状態になっています。

対処方法

トナーセーブは、トナーを節約して印刷するため、通常の印刷に比べ品質が低下します。試し印刷など、印刷品質を問わない印刷に適しています。操作パネルまたはプリンタードライバーでトナーセーブモードを解除してください。

- 操作パネル
[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [PDL印刷設定] - [共通設定] の順に選択して、[トナーセーブモード] を [オフ] にします。
- Windows
プリンタードライバーの [応用設定] タブで [画像処理設定] を選択して、[トナーセーブ] のチェックを外します。
- Mac OS
アップルメニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン] 、 [プリントとファックス]) の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。 [オプションとサプライ] - [オプション] (または [ドライバ]) の順にクリックします。 [トナーセーブ] で [オフ] を選択します。

■ プリンタードライバーの印刷品質の設定がはやい（300dpi）になっています。

対処方法

きれいに印刷したいときは、[印刷品質] を [きれい]（600dpi）に設定してください。線描画をより精細にしたいときは、[印刷品質] - [詳細設定] で [品質優先] の度合いを上げてください。ただし、複雑な印刷データではメモリー不足で印刷できない場合があります。このようなときは、[印刷品質] を [はやい]（300dpi）に戻してください。

線描画をより精細にしたいときは、[応用設定] タブ- [画像処理設定] を選択して、[細線を鮮明にする] を無効にしてください。

■ 給紙経路が汚れています。

対処方法

プリンターの画面に表示される動画を見て給紙ローラーをクリーニングしてください。②を選択して、[困ったときは] - [印刷結果がおかしい] - [用紙が汚れる] - [給紙ローラーのクリーニングをする] の順に選択します。

■ 高地で使っています。

対処方法

標高が高い場所でのご使用時は、[設定] - [本体設定] - [管理者用設定] - [プリンター調整機能] の順に選択して、[高地設定] の値を変更してください。

■ エプソン製以外の消耗品を使っています。

対処方法

本製品はエプソン製のトナーカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されています。エプソン製品以外のものをご使用になると、プリンター本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、プリンター本体の性能が発揮できないことがあります。トナーカートリッジはエプソン製品のご使用をお勧めします。また、必ず本製品に合った型番のものをお使いください。

■ プリンター内部が結露しています。

対処方法

プリンターと空気の温度差で結露が発生します。冬の低温環境で暖房を入れると、暖った空気がプリンターに触れて水蒸気が付着して結露します。[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [予熱モード] の順に選択して、[予熱モード移行時間] を60分に設定して電源を入れたまま放置し、プリンターが十分に温まってから印刷してみてください。

■ 感光体ユニットが劣化または損傷しています。または寿命が近づいています。

対処方法

数ページ印刷しても改善されないときは、新しいものと交換してみてください。

黒い線が印刷結果の上下に印刷されるときは、露光窓を清掃すると改善することがあります。

➔ 「感光体ユニットを交換する」 136ページ

➔ 「プリンター内部の汚れを拭き取る」 90ページ

印刷位置、サイズ、余白が思い通りにならない



以下の原因が考えられます。

■ 用紙が正しくセットされていません。

対処方法

用紙を正しい方向でセットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

→ [「用紙のセット」29ページ](#)

■ 用紙のサイズが正しく設定されていません。

対処方法

用紙のサイズを正しく設定してください。

■ アプリケーションソフトの余白設定が印刷領域内になっています。

対処方法

アプリケーションソフトの余白設定を印刷領域内にしてください。

→ [「プリンター機能」232ページ](#)

■ 印刷開始位置が変更されています。

対処方法

アプリケーションソフトによっては印刷開始位置（オフセット）の設定が必要です。以下を参照して設定してください。

→ [「プリンター調整機能」241ページ](#)

文字が正しく印刷されない、文字化けする

以下は、文字化けした例です。このように、文字が正しく印刷されない場合、以下の原因が考えられます。

→ [「文字化けの原因と対処方法」242ページ](#)

以下の原因が考えられます。

■ 使用できない文字が使われています。

対処方法

Windowsの制限事項により、JIS X 0213：2004で追加された以下の文字が一部の機能では使えません。

俱叱嘘屏瘦剝呑妍糸繫

上記の文字が使えない機能は以下です。

- 透かし印刷
- スタンプマーク
- プリンターフレンドリーネーム
- ヘッダー/フッター設定で印字する際のユーザー名
- パスワード印刷のユーザー名やジョブ名
- EPSONステータスモニタのジョブ情報表示

■ 使用環境に問題があります。

対処方法

プリンターのテスト印刷やステータス印刷が正常にできる場合は使用環境に問題がある可能性があります。以下を確認してください。

- 適切なケーブルで、正しく接続されているか
- コンピューターの仕様がプリンターのシステム条件を満たしているか

バーコードが読み取れない



01234

■ プリンタードライバーの印刷品質の設定がはやい（300dpi）になっています。

対処方法

【きれい】（600dpi）を選択するか、または【詳細設定】をクリックし、【品質優先】の度合いを上げて印刷してください。

カラー印刷できない



以下の原因が考えられます。

- プリンタードライバーのカラーの設定がグレースケールになっています。

対処方法

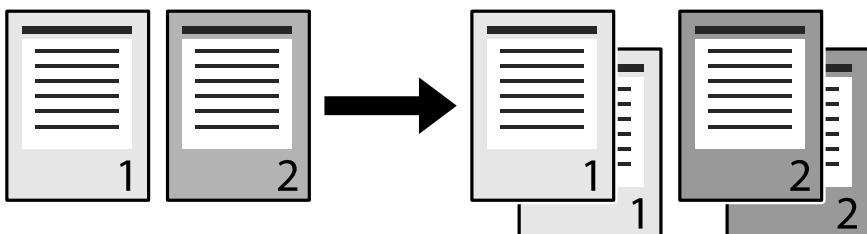
[カラー]にしてください。

- アプリケーションソフトの設定がカラーデータになっていません。

対処方法

カラー印刷できるようにアプリケーションソフト側で設定してください。

部単位印刷できない

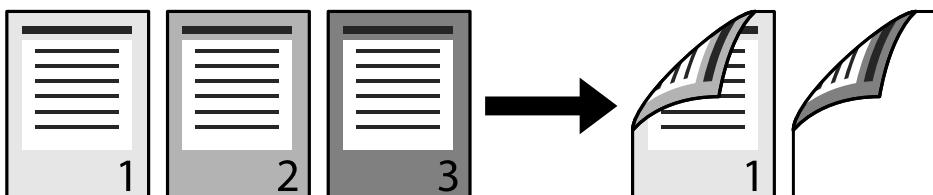


- プリンタードライバーとアプリケーションソフトの両方で部単位印刷する設定になっています。(Windows)

対処方法

両方で設定すると、正しく部単位印刷できないことがあります。アプリケーションソフト側で設定したときはプリンタードライバーでは設定しないでください。

両面印刷の最終ページが意図した面とは反対の面に印刷される

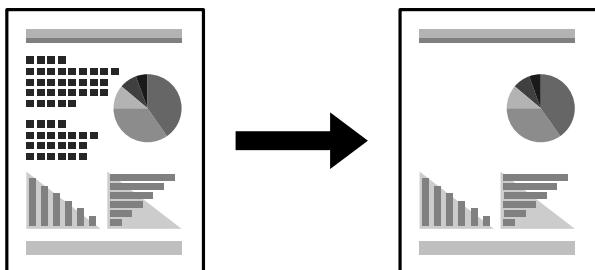


■ 両面片面変換の設定が間違っています。

対処方法

[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [PDL印刷設定] - [共通設定] の順に選択して、[両面片面変換]を[しない]に設定して印刷してください。

フォントが印刷されない



以下の原因が考えられます。

■ TrueTypeフォントをプリンターフォントに置き換えて印刷しています（Windows）。

対処方法

プリンタードライバーの[ユーティリティー]タブで[拡張設定]を選択して、[指定したフォントのみプリンターフォントで印刷]を無効にしてください。

■ サポートしていないフォントが指定されています。

対処方法

プリンターがサポートしているフォントをアプリケーションソフト側で指定して印刷してください。

解決できないときは

全ての対処方法を試しても問題が解決できないときは、エプソンのウェブサイトで「よくあるご質問（FAQ）」をご覧ください。

www.epson.jp/support/faq/

それでも解決できないときは、エプソンのインフォメーションセンターまたは修理窓口にお問い合わせください。

関連情報

➔ [「アフターサポート・サービスのご案内」328ページ](#)

コンピューターや機器の追加や交換をしたときは

ネットワーク接続済みのプリンターに接続する方法	144
ネットワークを再設定する方法	145
スマートデバイスとプリンターを直接接続する方法（Wi-Fi Direct）	153
ネットワーク接続状態の確認	162

ネットワーク接続済みのプリンターに接続する方法

すでにプリンターがネットワークに接続していれば、コンピューターやスマートデバイスからネットワーク経由でプリンターに接続できます。

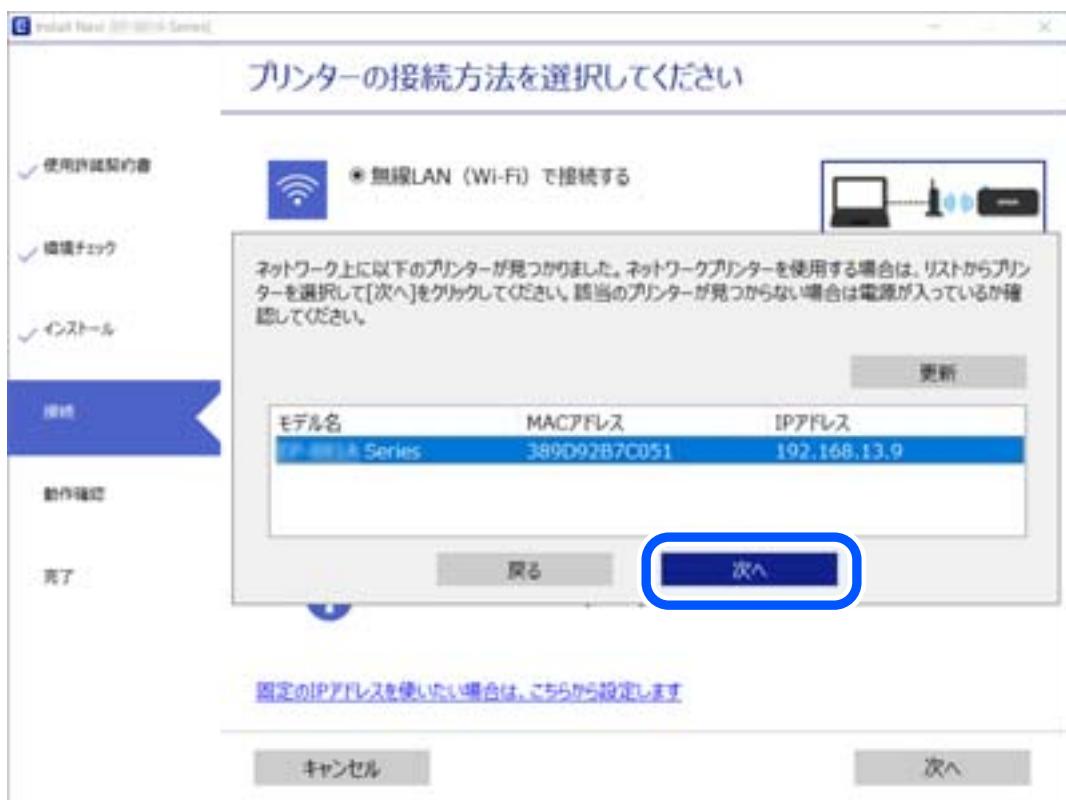
2台目のコンピューターからネットワークプリンターを使う

プリンターとコンピューターを接続設定するにはインストーラーを使うと便利です。インストーラーは以下のいずれかの方法で起動できます。

- ウェブサイトから
以下のウェブサイトにアクセスして、製品名を入力します。 [セットアップ] に進んで作業を開始します。
<https://epson.sn>
- ソフトウェアディスクから（製品にソフトウェアディスクが同梱されていて、それを使用できる場合）
ソフトウェアディスクをコンピューターにセットして、画面の指示に従って操作します。

プリンターを選択する

以下の画面が表示されるまで、画面の指示に従って操作し、接続したいプリンターを選択して [次へ] をクリックします。



この後は、画面の指示に従って操作します。

スマートデバイスからネットワークプリンターを使う

スマートデバイスからプリンターに接続するには、以下のいずれかの方法があります。

無線LANルーター経由で接続

無線LANルーターを介して、プリンターが接続しているネットワークに接続します。

詳しくは以下を参照してください。

[「スマートデバイスとの接続設定をする」146ページ](#)

Wi-Fi Directで接続

無線LANルーター（アクセスポイント）を介さず、直接プリンターと接続します。

詳しくは以下を参照してください。

[「スマートデバイスとプリンターを直接接続する方法（Wi-Fi Direct）」153ページ](#)

ネットワークを再設定する方法

無線LANルーターを交換したときやコンピューターを買い替えたときなどの接続設定や、接続方法の変更などについて説明します。

無線LANルーターを交換したとき

無線LANルーターを交換したときは、コンピューターとスマートデバイスとプリンターとの接続設定をします。プロバイダーを変更した場合などでこの設定が必要です。

コンピューターとの接続設定をする

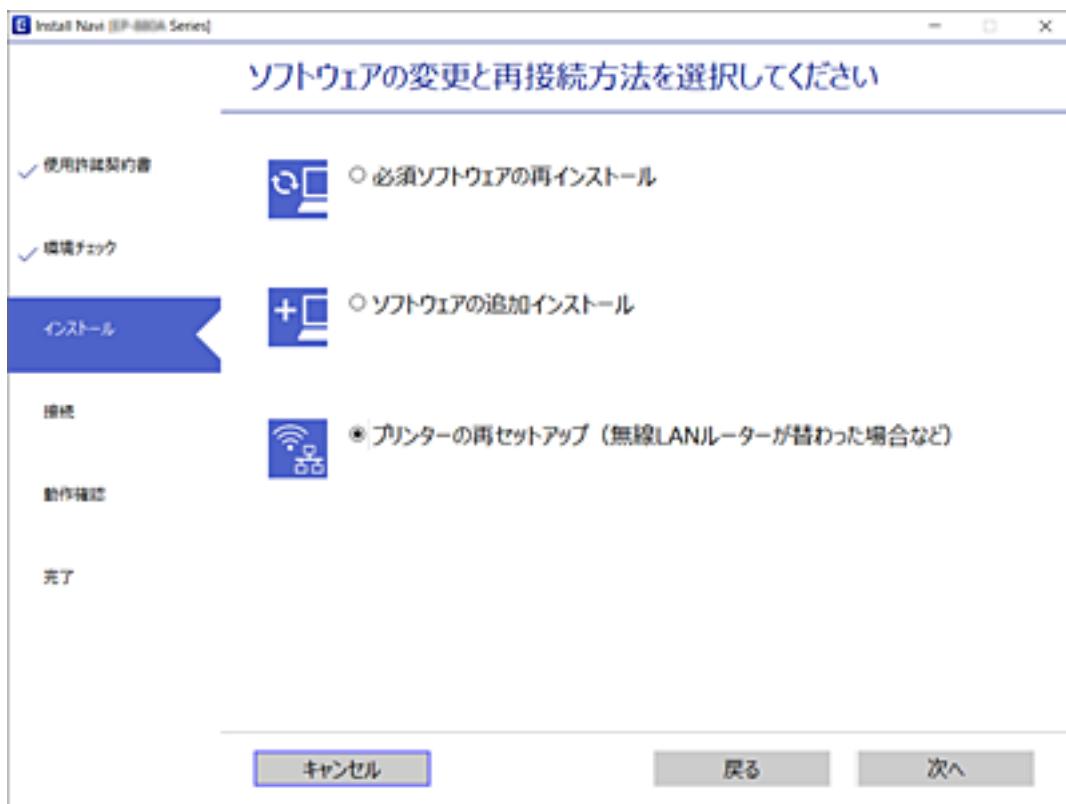
プリンターとコンピューターを接続設定するにはインストーラーを使うと便利です。インストーラーは以下のいずれかの方法で起動できます。

- ウェブサイトから
以下のウェブサイトにアクセスして、製品名を入力します。 [セットアップ] に進んで作業を開始します。
<http://epson.sn>
- ソフトウェアディスクから（製品にソフトウェアディスクが同梱されていて、それを使用できる場合）
ソフトウェアディスクをコンピューターにセットして、画面の指示に従って操作します。

接続方法を選択する

以下の画面が表示されるまで、画面の指示に従って操作します。

ソフトウェアの変更と再接続方法を選択してください画面で [プリンターの再セットアップ (無線LANルーターが替わった場合など)] を選択して、 [次へ] をクリックします。



この後は、画面の指示に従って操作します。

接続できない場合は、以下を参照してください。

- Windows : 「ネットワークに接続できない」 108ページ
- Mac OS : 「ネットワークに接続できない」 118ページ

スマートデバイスとの接続設定をする

スマートデバイスが接続しているWi-Fiと同じネットワーク (SSID) にプリンターを接続すると、スマートデバイスからプリンターを使えるようになります。スマートデバイスからプリンターを利用するには、以下のウェブサイトから設定をしてください。なお、ウェブサイトにはプリンターに接続したい機器からアクセスしてください。

<http://epson.sn> - [セットアップ]

コンピューターを買い替えたとき

コンピューターを買い替えたときは、コンピューターとプリンターとの接続設定をします。

コンピューターとの接続設定をする

プリンターとコンピューターを接続設定するにはインストーラーを使うと便利です。インストーラーは以下のいずれかの方法で起動できます。

- ウェブサイトから
以下のウェブサイトにアクセスして、製品名を入力します。 [セットアップ] に進んで作業を開始します。
<https://epson.sn>
- ソフトウェアディスクから (製品にソフトウェアディスクが同梱されていて、それを使用できる場合)
ソフトウェアディスクをコンピューターにセットして、画面の指示に従って操作します。

この後は、画面の指示に従って操作します。

コンピューターとの接続形態を変更する

すでにコンピューターとプリンターが接続されている場合に、接続形態を変更する方法について説明します。

有線LAN接続から無線LAN接続に変更する

プリンターの操作パネルで有線LAN接続から無線LAN接続に変更します。変更方法は操作パネルを使った無線LAN接続設定と同じです。

関連情報

➔ 「操作パネルから無線LAN (Wi-Fi) 接続する」 149ページ

無線LAN接続から有線LAN接続に変更する

無線LAN (Wi-Fi) 接続時に有線LAN接続に変更するには以下の手順で操作します。

1. プリンターのホーム画面で [設定] を選択します。
項目を選択するには、▲▼◀▶ボタンで動かして、OKボタンを押してください。
2. [本体設定] - [ネットワーク設定] - [有線LAN接続設定] を選択します。
3. この後は、画面の指示に従って操作します。

USB接続からネットワーク接続に変更する

インストーラーを使って別の接続形態に設定し直します。

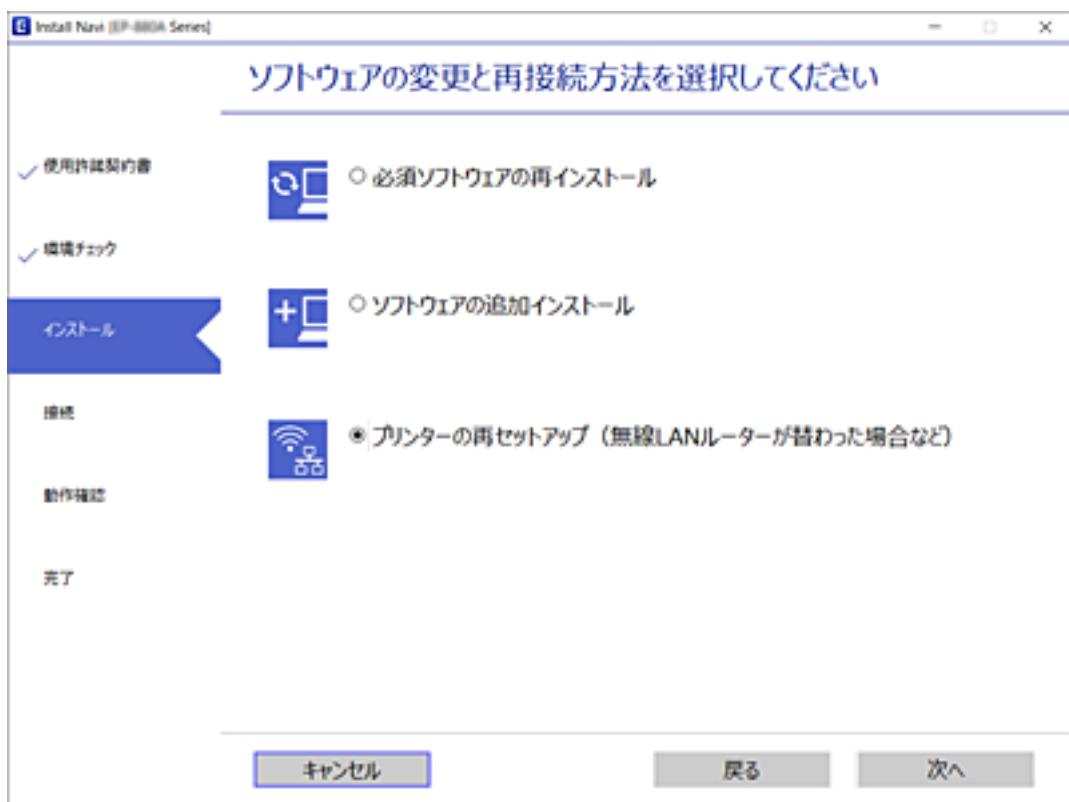
- ウェブサイトから設定
以下のウェブサイトにアクセスして、製品名を入力します。 [セットアップ] に進んで作業を開始します。
<http://epson.sn>

- ・ ソフトウェアディスクから設定（製品にソフトウェアディスクが同梱されていて、それを使用できる場合）
ソフトウェアディスクをコンピューターにセットして、画面の指示に従って操作します。

接続方法を選択する

以下の画面が表示されるまで、画面の指示に従って操作します。

ソフトウェアの変更と再接続方法を選択してください画面で [プリンターの再セットアップ（無線LANルーターが替わった場合など）] を選択して、 [次へ] をクリックします。



【無線LAN（Wi-Fi）で接続する】または【有線LAN（Ethernet）で接続する】から使用する接続方法を選択して、【次へ】をクリックします。



この後は、画面の指示に従って操作します。

操作パネルから無線LAN（Wi-Fi）接続する

プリンターの操作パネルからネットワーク設定する方法はいくつかあります。お使いの環境や条件に合わせて接続方法を選択してください。

無線LANルーター（アクセスポイント）の情報（SSID、パスワード）がわかれれば、手動で設定するのが確実です。

AOSSやWPS対応の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、プッシュボタンで自動設定ができます。

プリンターがネットワークに接続できたら、使用する機器（コンピューターやスマートデバイスなど）をプリンターに接続してください。

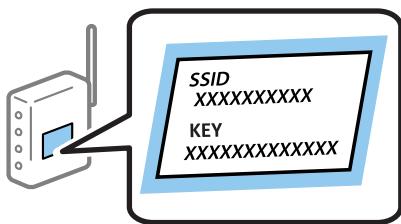
関連情報

- 「プリンターにSSIDとパスワードを入力して設定する」 150ページ
- 「プッシュボタンで自動設定する（AOSS/WPS）」 151ページ
- 「PINコードで設定する（WPS）」 152ページ

プリンターにSSIDとパスワードを入力して設定する

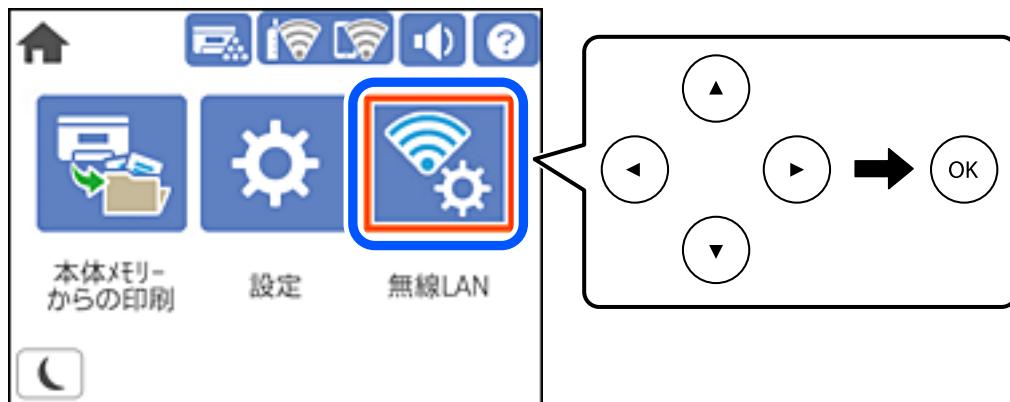
無線LANルーター（アクセスポイント）に接続するための情報をプリンターの操作パネルから入力して設定する方法です。手動で設定するには、無線LANルーター（アクセスポイント）のSSIDとパスワードの情報が必要です。

参考 無線LANルーター（アクセスポイント）をメーカー設定値のまま利用している場合は、ラベルなどに書かれているSSIDとパスワードが設定されています。SSIDとパスワードがわからない場合は、無線LANルーターを設定した人に確認するか、無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。



1. ホーム画面で【無線LAN】を選択します。

項目を選択するには、▲▼◀▶ボタンで動かして、OKボタンを押してください。



2. [ルーター]を選択します。

3. OKボタンを押します。

すでにネットワーク接続している場合は、接続状態の詳細が表示されます。設定を変更する場合は【無線LAN接続に変更する】または【設定を変更する】を選択します。

4. 【無線LANルーターを検索】を選択します。

5. この後は、画面の指示に従って、SSIDを選択し、パスワードを入力して、設定を開始します。

設定完了後に接続状態を確認したい場合は、「関連情報」をご覧ください。

参考

- SSIDがわからない場合は無線LANルーターのラベルに書かれていなかを確認してください。無線LANルーター（アクセスポイント）をメーカー設定値のまま利用している場合は、ラベルに書かれているSSIDを使用します。情報が見つからない場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。
- パスワードは大文字と小文字を区別して入力してください。
- SSIDがわからない場合は無線LANルーター（アクセスポイント）本体のラベルに書かれていなかを確認してください。ラベルには、「暗号化キー」「XXXX Key」などと書かれています。無線LANルーター（アクセスポイント）をメーカー設定値のまま利用している場合は、ラベルに書かれているパスワードを使用します。

関連情報

- 「文字入力の仕方」 25ページ
 → 「ネットワーク接続状態の確認」 162ページ

プッシュボタンで自動設定する (AOSS/WPS)

無線LANルーター（アクセスポイント）のプッシュボタンで無線LAN（Wi-Fi）を自動設定する方法です。以下の条件に当てはまる場合は、この方法で設定できます。

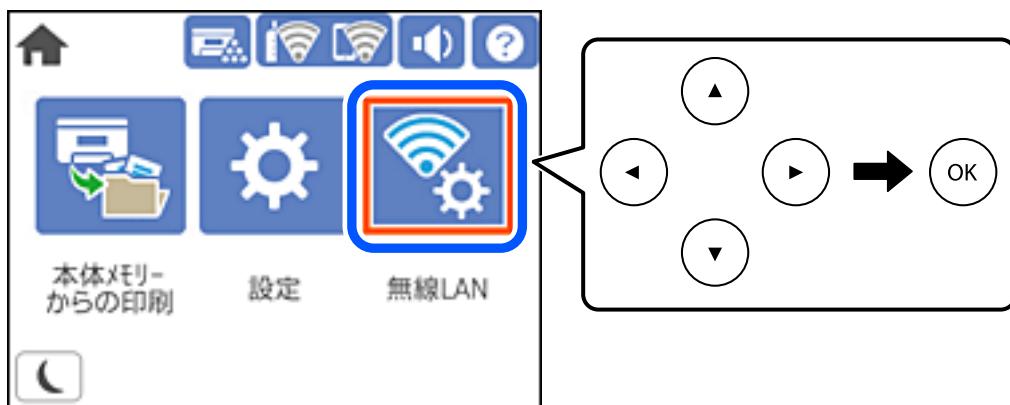
- 無線LANルーター（アクセスポイント）がAOSSやWPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応している
- 既存の無線LAN（Wi-Fi）をプッシュボタンで設定している

参考

プッシュボタンの位置がわからない、またはプッシュボタンがなくソフトウェアで操作する場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。

1. ホーム画面で【無線LAN】を選択します。

項目を選択するには、▲▼◀▶ボタンで動かして、OKボタンを押してください。



2. [ルーター]を選択します。

3. OKボタンを押します。

すでにネットワーク接続している場合は、接続状態の詳細が表示されます。設定を変更する場合は【無線LAN接続に変更する】または【設定を変更する】を選択します。

4. [プッシュボタンで設定(AOSS/WPS)]を選択します。

5. この後は、画面の指示に従って操作します。

設定完了後に接続状態を確認したい場合は、「関連情報」をご覧ください。



接続に失敗した場合は無線LANルーター（アクセスポイント）を再起動し、無線LANルーター（アクセスポイント）とプリンターを近づけてから再度設定してください。それでも解決しないときは、ネットワーク接続診断レポートを印刷して対処方法を確認してください。

関連情報

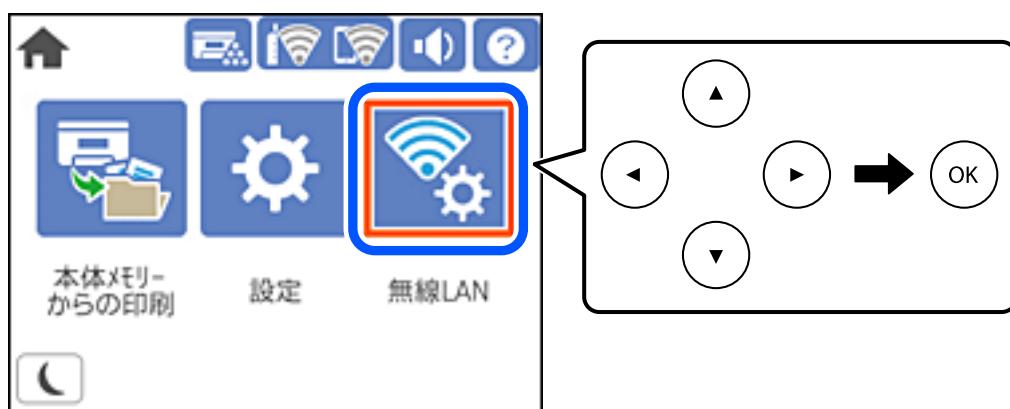
→ 「ネットワーク接続状態の確認」 162ページ

PINコードで設定する (WPS)

PINコードを使って無線LANルーター（アクセスポイント）に接続する方法です。無線LANルーター（アクセスポイント）がWPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応している場合は、この方法で設定できます。PINコードを無線LANルーター（アクセスポイント）に入力するときに、コンピューターを使います。

1. ホーム画面で [無線LAN] を選択します。

項目を選択するには、▲▼◀▶ボタンで動かして、OKボタンを押してください。



2. [ルーター] を選択します。

3. OKボタンを押します。

すでにネットワーク接続している場合は、接続状態の詳細が表示されます。設定を変更する場合は [無線LAN接続に変更する] または [設定を変更する] を選択します。

4. [その他] - [PINコード自動設定(WPS)] の順に選択します。

5. この後は、画面の指示に従って操作します。

設定完了後に接続状態を確認したい場合は、「関連情報」をご覧ください。



PINコードの入力方法は、無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。

関連情報

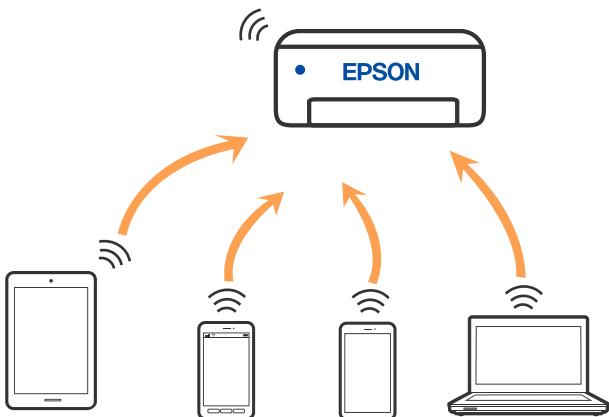
→ 「ネットワーク接続状態の確認」 162ページ

スマートデバイスとプリンターを直接接続する方法 (Wi-Fi Direct)

Wi-Fi Direct (シンプルAP) を使うと、無線LANルーターを使わずにスマートデバイスとプリンターを直接接続して印刷できます。

Wi-Fi Direct (シンプルAP) とは

家庭またはオフィスで無線LAN (Wi-Fi) を利用していない、無線LANルーター (アクセスポイント) がない場合や、プリンターとコンピューターやスマートデバイスを直接接続したい場合の接続方法です。この接続方法はプリンターが無線LANルーター (アクセスポイント) として動作し、複数台の機器と接続できます。ただし、プリンターに直接接続された機器の間では、プリンター経由での通信はできません。



プリンターは無線LAN (Wi-Fi) または有線LANと、Wi-Fi Direct (シンプルAP) の同時接続ができます。ただし、無線LAN (Wi-Fi) で接続中にWi-Fi Direct (シンプルAP) 設定を開始すると、無線LAN (Wi-Fi) 接続は一時切断されます。

iPhone、iPad、iPod touchでWi-Fi Direct接続する

無線LANルーター (アクセスポイント) を介さず、直接プリンターとiPhone、iPad、iPod touchを接続する方法です。この接続をする場合は、以下の条件が必要です。条件に合致しない場合は、[その他スマートデバイスとつなぐ] から接続してください。詳しくは「関連情報」をご覧ください。

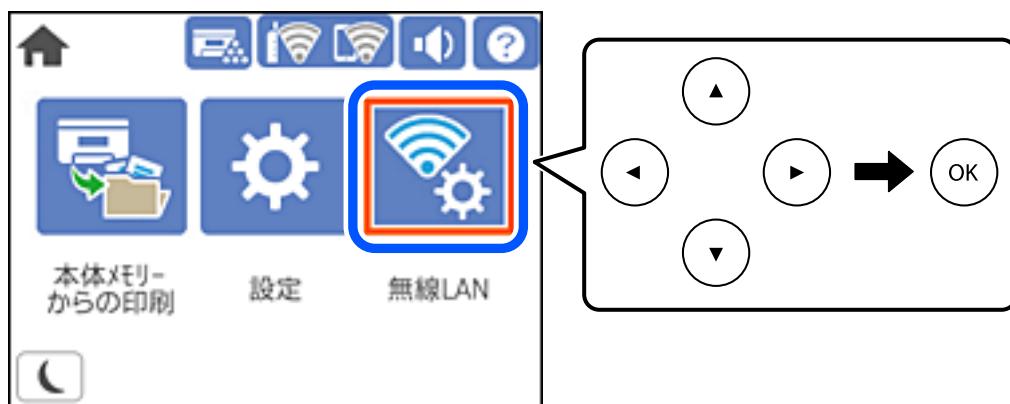
- iOS11以降
- QRコード読み取り時に標準カメラアプリを使用
- Epson iPrintバージョン 7.0以降

スマートデバイスからはEpson iPrintなどを使って印刷します。あらかじめ、スマートデバイスにEpson iPrintなどエプソンの印刷用アプリをインストールしてください。

参考 以下の作業はプリンターと接続したいデバイスで、1回だけ設定してください。Wi-Fi Directを無効にしたり、ネットワーク設定を初期の状態に戻したりしない限り、設定をし直す必要はありません。

1. プリンターのホーム画面で [無線LAN] を選択します。

項目を選択するには、▲▼◀▶ボタンで動かして、OKボタンを押してください。



2. [Wi-Fi Direct] を選択します。

3. OKボタンを押します。

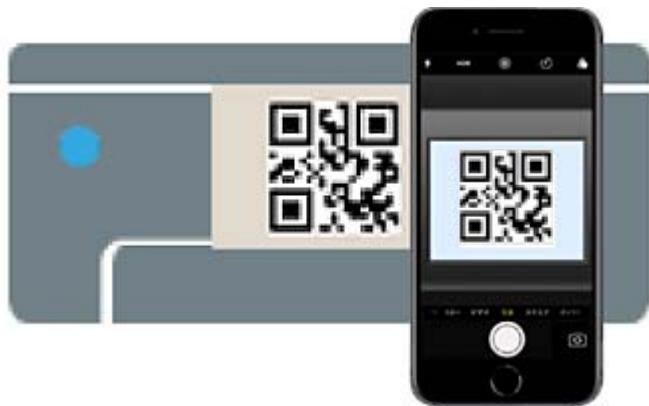
4. [iOSデバイスとつなぐ] を選択します。



プリンターの画面上にQRコードが表示されます。

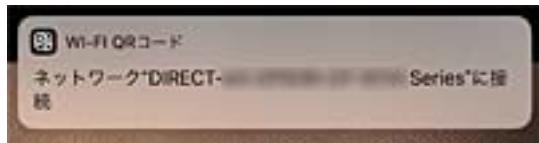


5. iPhone、iPad、iPod touchの標準カメラアプリを開き、プリンターの画面上のQRコードを写真モードで読み取ります。

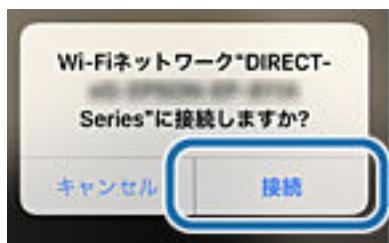


iOS11以降の標準カメラアプリを使ってください。iOS10以前の標準カメラアプリでは、プリンターの接続はできません。コード読み取り用のアプリを使っても、プリンターの接続はできません。接続できない場合は、[別の方法でつなぐ]を選択してください。詳しくは「関連情報」をご覧ください。

6. iPhone、iPad、iPod touchの画面に表示される通知をタップします。



7. [接続] をタップします。



8. プリンターの画面で [次へ] を選択します。

9. iPhone、iPad、iPod touchでエプソンの印刷用アプリを開きます。

エプソンの印刷用アプリの例



Epson iPrint

10. エプソンの印刷用アプリの画面で [プリンター未設定] をタップします。

11. 接続するプリンターを選択します。



プリンターの画面に表示されている情報を参考にプリンターを選択してください。



12. プリンターの画面で [完了] を選択します。

一度接続設定をしたスマートデバイスから再度プリンターに接続する場合は、スマートデバイスのWi-Fi接続画面から、プリンターの接続名を選択して接続してください。

関連情報

- 「スマートデバイスから簡単に印刷するアプリ (Epson iPrint) 」 222ページ
- 「iOS、Android以外のデバイスとWi-Fi Direct接続する」 159ページ

AndroidデバイスでWi-Fi Direct接続する

無線LANルーター（アクセスポイント）を介さず、直接プリンターとAndroidデバイスを接続する方法です。この接続をする場合は、以下の条件が必要です。

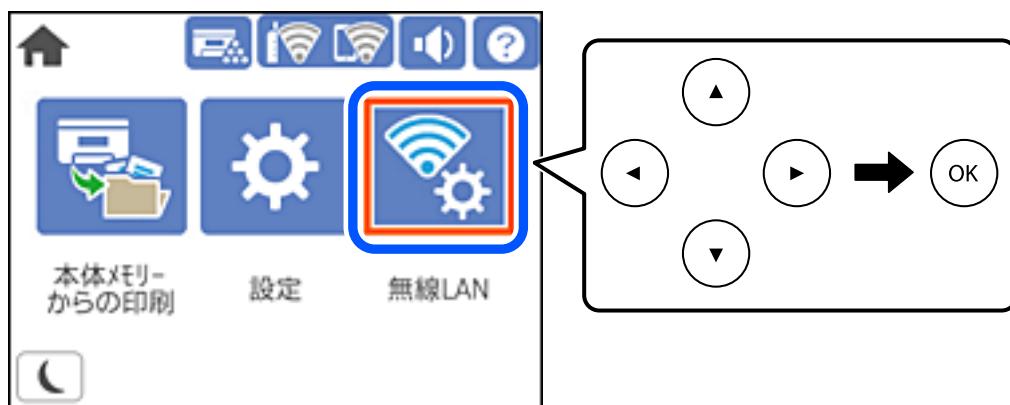
- Android 4.4以上
- Epson iPrintバージョン 7.0以降

スマートデバイスからはEpson iPrintを使って印刷します。あらかじめ、スマートデバイスにEpson iPrintをインストールしてください。

参考 以下の作業はプリンターと接続したいデバイスで、1回だけ設定してください。Wi-Fi Directを無効にしたり、ネットワーク設定を初期の状態に戻したりしない限り、設定をし直す必要はありません。

1. プリンターのホーム画面で [無線LAN] を選択します。

項目を選択するには、▲▼◀▶ボタンで動かして、OKボタンを押してください。



2. [Wi-Fi Direct] を選択します。

3. OKボタンを押します。

4. [Androidデバイスとつなぐ] を選択します。



5. スマートデバイスでEpson iPrintを開きます。



6. Epson iPrintの画面で [プリンター未設定] をタップします。

7. Epson iPrintの画面で、接続するプリンターを選択します。



プリンターの画面に表示されている情報を参考にプリンターを選択してください。



参考 一部のAndroidデバイスではプリンターが表示されない場合があります。プリンターが表示されないときは、[その他スマートデバイスとつなぐ] から接続してください。詳しくは「関連情報」をご覧ください。

8. プリンターにデバイスの接続許可の画面が表示されたら [接続を許可] を選択します。
9. 続いて表示されるデバイス登録の確認画面で、許可するデバイスをプリンターに登録するか選択します。
10. プリンターの画面で [完了] を選択します。
- 一度接続設定をしたスマートデバイスから再度プリンターに接続する場合は、スマートデバイスのWi-Fi接続画面から、プリンターの接続名を選択して接続してください。

関連情報

- 「スマートデバイスから簡単に印刷するアプリ (Epson iPrint)」 222ページ
- 「iOS、Android以外のデバイスとWi-Fi Direct接続する」 159ページ

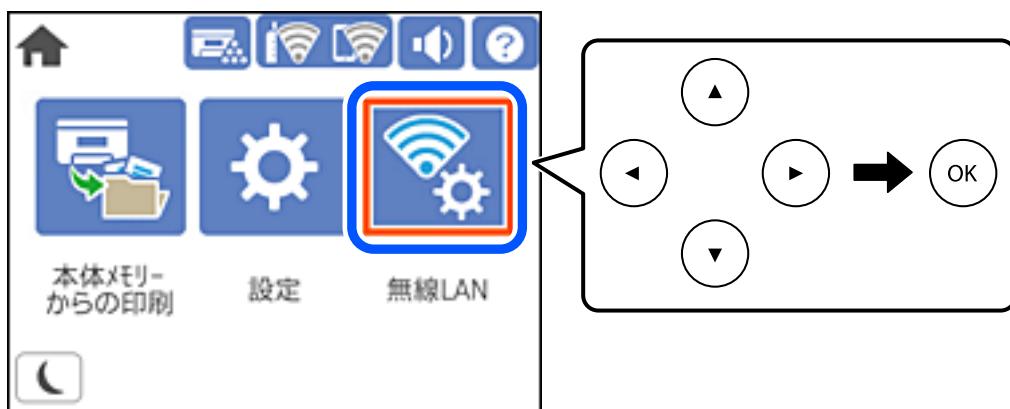
iOS、Android以外のデバイスとWi-Fi Direct接続する

無線LANルーター（アクセスポイント）を介さず、直接プリンターと機器を接続する方法です。

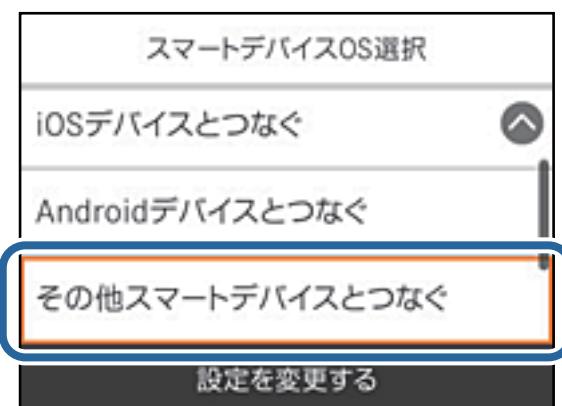
参考 以下の作業はプリンターと接続したいデバイスで、1回だけ設定してください。Wi-Fi Directを無効にしたり、ネットワーク設定を初期の状態に戻したりしない限り、設定をし直す必要はありません。

1. プリンターのホーム画面で [無線LAN] を選択します。

項目を選択するには、▲▼◀▶ボタンで動かして、OKボタンを押してください。



2. [Wi-Fi Direct] を選択します。
3. OKボタンを押します。
4. [その他スマートデバイスとつなぐ] を選択します。



プリンターの画面にはWi-Fi Directの接続名(SSID)とパスワードが表示されます。

5. スマートデバイスのWi-Fi接続画面を表示し、プリンターの操作パネルに表示されたSSIDを選択して、パスワードを入力します。



6. プリンターの画面で【次へ】を選択します。

7. 印刷用アプリの画面で、接続するプリンターを選択します。

プリンターの画面に表示されている情報を参考にプリンターを選択してください。



8. プリンターの画面で [完了] を選択します。

一度接続設定をしたスマートデバイスから再度プリンターに接続する場合は、スマートデバイスのWi-Fi接続画面から、プリンターの接続名を選択して接続してください。

関連情報

→ 「スマートデバイスから簡単に印刷するアプリ (Epson iPrint)」222ページ

Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続を切断する

Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続を無効にする方法は、操作パネルから全ての接続を無効にする方法と、コンピューター やスマートデバイスからそれぞれの接続を無効にする方法があります。全ての接続を無効にしたい場合は、「関連情報」をご覧ください。

!重要 Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続で複数のコンピューターやスマートデバイスがプリンターと接続されていた場合、Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続を無効にすると、全ての接続が切断されます。

参考 特定の機器だけを切断したいときは、スマートデバイス側から接続を切断してください。以下の方法で、スマートデバイスからプリンターへのWi-Fi Direct接続を切断します。

- プリンターの接続名 (SSID) とのWi-Fi接続を切断
- 他のネットワーク (SSID) に接続

関連情報

→ 「Wi-Fi Direct (シンプルAP) のSSIDなどを変更する」161ページ

Wi-Fi Direct (シンプルAP) のSSIDなどを変更する

Wi-Fi Direct (シンプルAP) が有効なとき、 - [Wi-Fi Direct] - [設定に進む] - [設定を変更する] を選択すると、以下のメニューが表示され設定を変更できます。

接続名を変更する

プリンターに接続するWi-Fi Direct（シンプルAP）の接続名（SSID）を任意の値に変更します。接続名（SSID）に設定できるのは、操作パネルのソフトキーボードに表示されたASCII文字です。22文字以内で入力してください。

接続名（SSID）を変更すると接続しているデバイスは全て切断されます。接続名を変更した場合は、接続する機器から新しい接続名（SSID）で接続し直してください。

パスワードを変更する

プリンターに接続するWi-Fi Direct（シンプルAP）のパスワードを変更します。パスワードに設定できるのは、操作パネルのソフトキーボードに表示されたASCII文字です。8~22文字以内で入力してください。

パスワードを変更すると接続しているデバイスは全て切断されます。パスワードを変更した場合は、接続する機器から新しいパスワードで接続し直してください。

周波数帯を変更する

プリンターに接続するWi-Fi Direct（シンプルAP）の周波数帯を変更します。2.4GHzまたは5GHzに設定できます。

周波数帯を変更すると接続しているデバイスは全て切断されます。再度接続してください。

周波数帯を5GHzに設定した場合、5GHz非対応のデバイスからは再接続できなくなります。

Wi-Fi Directを無効にする

Wi-Fi Direct（シンプルAP）を無効にします。無効にすると接続しているデバイスは全て切断されます。

初期設定に戻す

Wi-Fi Direct（シンプルAP）設定の全てを購入時の設定に戻します。

また、プリンターが保持しているスマートデバイスのWi-Fi Direct機能を使った接続情報の登録を削除します。

 以下の設定項目は、Web Configの【ネットワーク】タブ - 【Wi-Fi Direct】からも設定できます。

- Wi-Fi Direct（シンプルAP）を有効または無効にする
- ネットワーク名（SSID）を変更する
- パスワードを変更する
- 周波数帯を変更する
- Wi-Fi Direct（シンプルAP）の設定を初期の状態に戻す

ネットワーク接続状態の確認

ネットワーク接続状態を確認するには、いくつかの方法があります。

関連情報

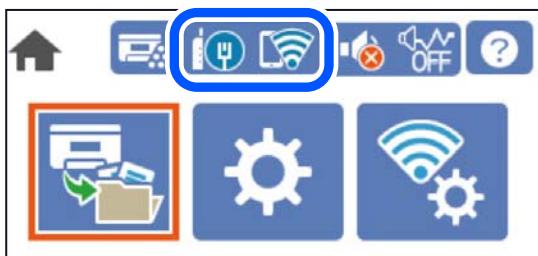
- ▶ 「操作パネルでのネットワーク接続状態の確認」 162ページ
- ▶ 「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」 163ページ

操作パネルでのネットワーク接続状態の確認

操作パネルに表示されるネットワークアイコンやネットワーク情報で接続状態を確認できます。

ネットワークアイコンで接続状態を確認する

プリンターのホーム画面にあるネットワークアイコンでネットワークの接続状態と電波強度を確認できます。



関連情報

→ 「ネットワークアイコンの見方」 24ページ

操作パネルにネットワーク状態を表示する

プリンターがネットワーク接続されていると、確認したい項目を選択することでその他ネットワーク関連の情報も確認できます。

1. ホーム画面で [設定] を選択します。
2. [本体設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク情報] を選択します。
3. 確認したいメニューを選択します。
 - 有線・無線接続状態
有線または無線接続時のネットワーク情報（デバイス名、接続状態、電波状態など）が表示されます。
 - Wi-Fi Direct接続状態
Wi-Fi Directの有効状態、SSID、パスワードなどが表示されます。
 - ステータスシート印刷
ネットワークステータスシートを印刷します。有線、無線、Wi-Fi Directの情報が複数枚印刷されます。

ネットワーク接続診断レポートを印刷する

プリンターと無線LANルーター（アクセスポイント）の接続状態を確認するために、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。

1. ホーム画面で [設定] を選択します。
項目を選択するには、▲▼◀▶ボタンで動かして、OKボタンを押してください。
2. [本体設定] - [ネットワーク設定] - [接続診断] を選択します。
診断が始まります。
3. [接続診断結果を印刷する] を選択します。

4. ネットワーク接続診断レポートを印刷します。

エラーがある場合はネットワーク接続診断レポートの内容を確認して対処してください。

関連情報

→ 「ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法」 164ページ

ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法

ネットワーク接続診断レポートのメッセージとエラー番号を確認して対処してください。

ネットワーク接続診断レポート	
診断結果	NG
エラー番号	(E-7)
以下のネットワーク設定情報を確認し、"ネットワーク (SSID)" が無線接続したいSSIDかを確認してください。 正しければパスワードを確認し、設定し直してください。	
何らかのトラブルが発生したときは、マニュアル等をご覧の上、対処してください。	
診断項目	
指定のネットワーク (SSID) の有無の確認	OK
無線モードの確認	OK
セキュリティ方式の確認	OK
MACアドレスフィルタリング設定の確認	OK
パスワードの確認	NG
IPアドレスの確認	未診断
IP詳細設定の確認	未診断
ネットワーク設定情報	
プリンター名	EPSON XXXXXX
プリンター型番	XX-XXX Series
IPアドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	
ネットワーク (SSID)	
無線セキュリティ設定	WPA2-PSK (AES)
電波状態	悪い
MACアドレス	00-0C-29-00-00-00

a. エラー番号

b. ネットワーク環境に関するメッセージ

関連情報

- 「E-1」 165ページ
- 「E-2, E-3, E-7」 165ページ
- 「E-5」 166ページ
- 「E-6」 166ページ
- 「E-8」 166ページ
- 「E-9」 167ページ
- 「E-10」 167ページ

- 「E-11」 167ページ
- 「E-12」 168ページ
- 「E-13」 168ページ
- 「ネットワーク環境に関するメッセージ」 169ページ

E-1

対処方法：

- LAN ケーブルがプリンターやハブなどのネットワーク機器にしっかりと差し込まれているか確認してください。
- ハブなどのネットワーク機器の電源が入っているか確認してください。
- プリンターを無線LAN (Wi-Fi) で使用したい場合は、プリンターの無線LANが有効になっていないため、無線LAN 接続設定をやり直してください。

E-2, E-3, E-7

対処方法：

- 無線LANルーターの電源が入っているか確認してください。
- コンピューターやその他の機器が無線LANルーターと正常に通信できているか確認してください。
- 無線LANルーターの電源を切れます。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。
- プリンターと無線LANルーターは近くに置き、間にある障害物は取り除いてください。
- SSIDを直接入力したときは、入力したSSIDが正しいかを確認してください。SSIDはネットワーク接続診断レポートの [ネットワーク設定情報] で確認できます。
- 1つの無線LANルーターに複数のSSIDが存在する場合、表示されたSSIDから選択してください。SSIDが非対応の周波数を使用していると、SSIDは表示されません。
- プッシュボタンを使った自動設定をする場合は、お使いの無線LANルーターがWPSに対応しているか確認してください。WPSに対応していないときは、プッシュボタンを使った自動設定はできません。
- SSIDにASCII文字（半角英数字、記号）以外の文字列が使われていないか確認してください。プリンターは、ASCII 文字以外の文字列が含まれたSSIDは表示できません。
- 無線LANルーターに接続する場合は、SSIDとパスワードを事前に確認してください。無線LANルーターをメーカー設定値のまま使用している場合は、ラベルなどに書かれているSSIDとパスワードが設定されています。SSIDとパスワードがわからない場合は、無線LANルーターを設定した人に確認するか、無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。
- スマートデバイスなどのテザリング機能で生成したSSIDに接続したい場合は、スマートデバイスのマニュアルなどでSSIDとパスワードを確認してください。
- 無線LAN (Wi-Fi) で突然接続できなくなった場合は、以下を確認してください。どれかに当てはまる場合は、以下のウェブサイトでインストーラーをダウンロードして、ネットワーク設定をやり直してください。

<https://epson.sn> > [セットアップ]

- お使いのネットワーク環境に、新たに別のスマートデバイスからプッシュボタン自動設定 (AOSS/WPS) で設定したか
- この無線LAN (Wi-Fi) ネットワークは、プッシュボタン自動設定以外の方法で設定されたか
- 株式会社バッファロー製の無線LANルーターで、プッシュボタンで設定 (AOSS) できるタイプを使っているか

関連情報

- ➔ 「コンピューターとの接続設定をする」 147ページ
- ➔ 「操作パネルから無線LAN（Wi-Fi）接続する」 149ページ

E-5

対処方法：

無線LANルーターが以下のいずれかのセキュリティ方式になっているかを確認してください。なっていない場合は、以下のセキュリティ方式を使用するよう無線LANルーターの設定を変更し、プリンターのネットワーク設定をし直してください。

- WEP-64 bit (40 bit)
- WEP-128 bit (104 bit)
- WPA PSK (TKIP/AES)*
- WPA2 PSK (TKIP/AES)*
- WPA (TKIP/AES)
- WPA2 (TKIP/AES)
- WPA3-SAE (AES)
- WPA2/WPA3-Enterprise

* WPA PSKはWPA Personal、WPA2 PSKはWPA2 Personalとも呼ばれます。

E-6

対処方法：

- MACアドレスフィルタリングが無効になっていることを確認してください。有効の場合は、プリンターのMACアドレスを登録して、フィルタリングされないようにしてください。詳しくは無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。プリンターのMACアドレスはネットワーク接続診断レポートの【ネットワーク設定情報】で確認できます。
- 無線LANルーターのWEPセキュリティ方式でShared認証が有効になっている場合は、認証キーおよびインデックスが正しいことを確認してください。
- 無線LANルーターに設定されている同時接続可能な機器数が、接続するネットワーク機器の台数より少ない場合は、接続できる数を増やしてください。設定方法は、無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。

関連情報

- ➔ 「コンピューターとの接続設定をする」 147ページ

E-8

対処方法：

- プリンターのTCP/IP設定を自動にしているときは、無線LANルーターのDHCPを有効にしてください。

- プリンターの TCP/IP 設定を手動設定にしているときは、手動で設定したIPアドレスが有効範囲外 (0.0.0.0 など) のため、無効になっています。有効なIPアドレスをプリンターの操作パネルから設定してください。

関連情報

➔ [「ネットワーク設定」 228ページ](#)

E-9

対処方法：

以下を確認してください。

- プリンターを利用する機器の電源が入っているか
- プリンターを利用する機器から、インターネットへのアクセスや同じネットワーク上の他のコンピューター、ネットワーク機器にアクセスできるか

上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、無線ルーターの電源を切れます。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。続いて、以下のウェブサイトでインストーラーをダウンロードして、ネットワーク設定をやり直してください。

<https://epson.sn> > [セットアップ]

関連情報

➔ [「コンピューターとの接続設定をする」 147ページ](#)

E-10

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか
- プリンターのTCP/IP設定を手動にしているときは、ネットワークアドレス (IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ) が正しいか

ネットワークアドレスが間違っている場合は、設定し直してください。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイはネットワーク接続診断レポートの [ネットワーク設定情報] で確認できます。

関連情報

➔ [「ネットワーク設定」 228ページ](#)

E-11

対処方法：

以下を確認してください。

- プリンターのTCP/IP設定を手動設定にしたときは、プリンターに設定されたデフォルトゲートウェイのアドレスが正しいか

- デフォルトゲートウェイに指定した機器の電源が入っているか

デフォルトゲートウェイのアドレスを正しく設定してください。プリンターのデフォルトゲートウェイのアドレスはネットワーク接続診断レポートの【ネットワーク設定情報】で確認できます。

関連情報

- ➔ [「ネットワーク設定」228ページ](#)

E-12

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか
- 手動で設定したプリンターのネットワークアドレス（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか
- 他の機器のネットワークアドレス（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が同一になっているか
- 他の機器のIPアドレスと重複していないか

上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、以下をお試しください。

- 無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れます。
- インストーラーを使って、ネットワーク設定をやり直してください。インストーラーは以下のウェブサイトから起動できます。

<https://epson.sn> > [セットアップ]

- セキュリティータイプ「WEP」は、無線LANルーターに複数のセキュリティキー登録できます。複数のキーが登録されているときは、最初（1番目）のインデックスのセキュリティキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

関連情報

- ➔ [「ネットワーク設定」228ページ](#)
- ➔ [「コンピューターとの接続設定をする」147ページ](#)

E-13

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク機器（無線LANルーター、ハブ、ルーターなど）の電源が入っているか
- プリンター以外のネットワーク機器が手動でTCP/IP設定されていないか（他のネットワーク機器のTCP/IP設定が固定で、プリンターのTCP/IP設定のみが自動になつていると、プリンターだけが異なるネットワークになつてしまふ可能性があります。）

問題がないときは、以下をお試しください。

- 無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れます。

- プリンターと同じネットワーク上のコンピューターで、インストーラーを使ってネットワーク設定をし直してください。インストーラーは以下のウェブサイトから起動できます。
<https://epson.sn> > [セットアップ]
- セキュリティータイプ「WEP」は、無線LANルーターに複数のセキュリティキー登録できます。複数のキーが登録されているときは、最初（1番目）のインデックスのセキュリティキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

関連情報

- ▶ 「ネットワーク設定」 228ページ
- ▶ 「コンピューターとの接続設定をする」 147ページ

ネットワーク環境に関するメッセージ

メッセージ	対処方法
*無線環境の改善が必要です。アクセスポイントの電源を入れ直してください。それでも解消しないときはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。	プリンターを無線LANルーターの近くに移動し、機器間にある障害物を取り除いてから無線LANルーターの電源を入れ直します。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。それでも接続できない場合は、無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。
*無線接続が可能な機器数の上限に達しています。機器を追加したいときは、他の機器の接続を解除してください。	Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続で同時接続できる無線機器が最大限接続されています。他のコンピューターやスマートデバイスを追加するには、プリンターを使用していないコンピューターやスマートデバイスの接続を解除するか他のネットワークに接続させてから追加してください。 同時接続できる無線機器の台数と接続されている台数は、プリンターの操作パネルまたはネットワークステータスシートで確認できます。
周囲にWi-Fi Directと重複するSSIDが存在します。スマートデバイス（無線機器）をプリンターに接続できないときは、Wi-Fi DirectのSSIDを変更してください。	プリンターの操作パネルからWi-Fi Direct設定の画面を表示し、設定を変更するメニューから接続名を変更してください。接続名はDIRECT-XX-の後に続く文字列を変更できます。半角22文字以内で入力します。

ネットワークステータスシートを印刷する

ネットワークステータスシートを印刷すると、プリンターのネットワーク情報や状態を確認できます。

- ホーム画面で【設定】を選択します。
項目を選択するには、▲▼◀▶ボタンで動かして、OKボタンを押してください。
- 【情報確認/印刷】 - 【ネットワーク】を選択します。
- 【ステータスシート印刷】を選択します。
- メッセージを確認して、ネットワークステータスシートを印刷します。

コンピューターのネットワークを確認する (Windowsのみ)

Windowsのコマンドプロンプトからコマンドを使って、コンピューターの接続情報やプリンターとの接続経路などを確認します。トラブル解決につながります。

- ipconfigコマンド

コンピューターが現在使用しているネットワークインターフェイスの接続状況を表示します。

実際に通信している情報と設定情報の差がないかを比較して、正常に接続されているかを確認できます。同じネットワークに複数のDHCPサーバーがあるような場合、コンピューターに割り当てられている実際のアドレスや、参照しているDNSサーバーなどを知ることができます。

- 書式 : ipconfig /all

- 例 :

```

C:\$ ipconfig /all

Windows IP 構成

ホスト名. . . . . : WIN2012R2
プライマリ DNS サフィックス . . . . . : pubs.net
ノード タイプ . . . . . : ハイブリッド
IP ルーティング有効 . . . . . : いいえ
WINS プロキシ有効 . . . . . : いいえ
DNS サフィックス検索一覧. . . . . : pubs.net

イーサネット アダプター イーサネット:

接続固有の DNS サフィックス . . . . . :
説明. . . . . : Gigabit Network Connection
物理アドレス. . . . . : xx-xx-xx-xx-xx-xx
DHCP 有効 . . . . . : いいえ
自動構成有効. . . . . : (はい)
リンクローカル IPv6 アドレス. . . . . : fe80::38fb:7546:18a8:d20e%13(優先)
IPv4 アドレス . . . . . : 192.168.111.10(優先)
サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.111.1
DHCPv6 IAID . . . . . : 283142549
DHCPv6 クライアント DUID. . . . . : 00-01-00-01-21-0A-D4-46-E0-69-95-3C-91-49
DNS サーバー. . . . . : 192.168.111.2
NetBIOS over TCP/IP . . . . . : 有効

Tunnel adapter isatap.{12345678-ABCD-EFGH-IJKL-MNOPQRSTUVWXYZ}:

メディアの状態. . . . . : メディアは接続されていません
接続固有の DNS サフィックス . . . . . :
説明. . . . . : Microsoft ISATAP Adapter #2
物理アドレス. . . . . : 00-00-00-00-00-00-E0
DHCP 有効 . . . . . : いいえ
自動構成有効. . . . . : (はい)

C:\$>■

```

- pathpingコマンド
宛先ホストまでに通過するルーターのリストや通信のルーティングを確認できます。
 - 書式 : pathping xxx.xxx.xxx.xxx
 - 例 : pathping 192.0.2.222



```
c:\>pathping 192.168.111.20
EPSONAB12AB [192.168.111.20]へのルートをトレースしています
経由するホップ数は最大 30 です:
 0  WIN2012R2.pubs.net [192.168.111.10]
 1  EPSONAB12AB [192.168.111.20]

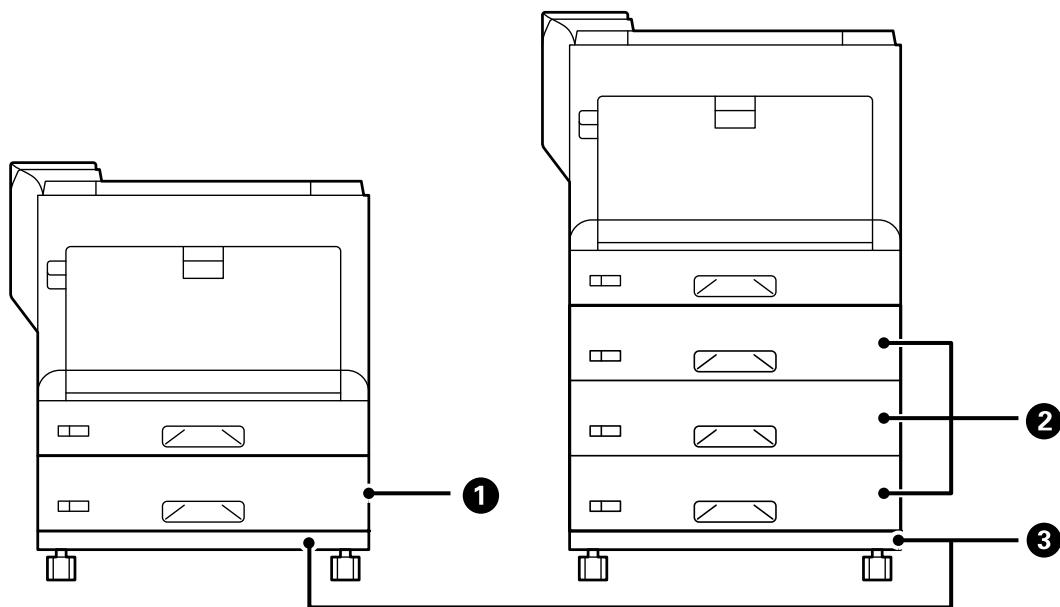
統計を 25 秒間計算しています...
  ソースからここまで このノード/リンク
ホップ  RTT    損失/送信 = Pct 損失/送信 = Pct アドレス
      0          WIN2012R2.pubs.net [192.168.111.10]
      1  62ms    3/ 100 = 3%    0/ 100 = 0%  EPSONAB12AB [192.168.111.20]

トレースを完了しました。
c:\>
```

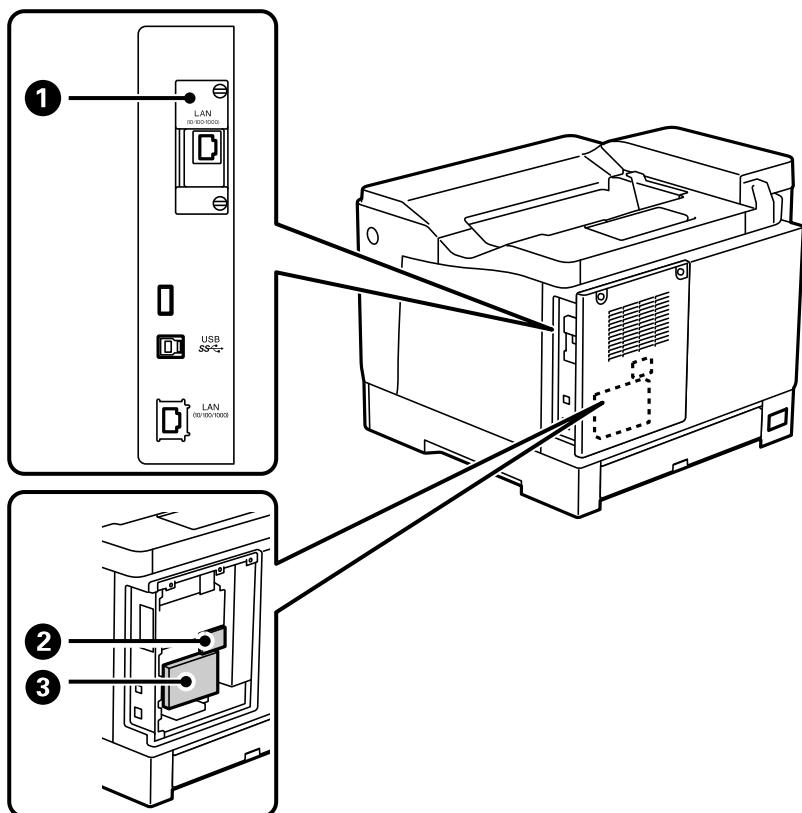
オプションの使い方

オプション一覧	173
オプションを取り付けるときのご注意	175
オプションの取り付け状態を確認する	175
専用プリンター台	175
増設カセットユニット	176
HDD (LP-S8180シリーズのみ)	178
PS3対応ROM (LP-S8180シリーズのみ)	181
増設ネットワークインターフェイスボード (LP-S8180シリーズのみ)	204

オプション一覧



No.	名称	型番	説明
①	増設1段力セットユニット	LPA3CZ1C14	増設1段力セットユニットは3段まで増設できます。増設1段力セットは各段に普通紙 (64g/m ²) を670枚セットできます。
②	増設3段力セットユニット	LPA3CZ3CU4	増設3段力セットユニットはLP-S8180シリーズのみ対応しています。増設3段力セットは各段に普通紙 (64g/m ²) を502枚セットできます。 「増設力セットユニット」 176ページ
③	専用プリンター台	CSCBN15B	キャスター付きのプリンター台です。 「専用プリンター台」 175ページ



N o.	名称	型番	説明
①	増設ネットワークインターフェイス ボード	PR3NW1	有線LANを2回線利用できるようになります。通信速度が1ギガビット/秒に対応する高速のインターフェイスです。 LP-S8180シリーズのみ対応しています。 「 増設ネットワークインターフェイスボード (LP-S8180シリーズのみ) 」204ページ
②	PS3対応ROM	LPPSRM06	オプションでPS3対応ROMを増設できます。 PS3対応ROMはPostScript対応プリンターとして使用するためのROMモジュールです。 LP-S8180シリーズのみ対応しています。 「 PS3対応ROM (LP-S8180シリーズのみ) 」181ページ
③	HDD	PR3HD6	オプションでHDDを増設できます。指定のHDD (型番: PR3HD6) をご使用ください。その他のHDDを接続した場合は動作の保証はできません。 LP-S8180シリーズのみ対応しています。 「 HDD (LP-S8180シリーズのみ) 」178ページ

オプションを取り付けるときのご注意

コインまたはプラスドライバーをあらかじめ用意してください。

オプションは取り付け前に損傷のないことを確認してください。万一、足りないものがある場合や損傷している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠ 警告 マニュアルで指示されている箇所以外の分解は行わないでください。安全装置が損傷し、レーザー光漏れ、定着ユニットの異常加熱、高圧部での感電など事故のおそれがあります。

⚠ 注意

- ・ プリンターを持ち上げるときは、無理のない姿勢で作業してください。無理な姿勢で持ち上げると、けがをすることがあります。
- ・ 各種ケーブルやオプションを取り付けるときは、取り付ける向きや手順を間違えないでください。火災やけがのおそれがあります。マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてください。

オプションの取り付け状態を確認する

オプションが正しく取り付けられているか「プリンター情報シート」を印刷して確認します。

1. プリンターの操作パネルで【設定】を選択します。

項目を選択するには、▲▼◀▶でフォーカスを動かして、OKボタンを押してください。



2. 【情報確認/印刷】 - 【本体ステータスシートの印刷】 - 【プリンター情報シート】の順に選択します。

3. 【印刷開始】を選択します。

両面で印刷するときは【両面印刷】を選択してください。

専用プリンタ一台

!重要

- ・ プリンターを持ち上げるときは、無理のない姿勢で作業してください。無理な姿勢で持ち上げると、けがをすることがあります。
- ・ プリンターは重いので、1人で運ばないでください。開梱や移動の際は2人以上で運んでください。

プリンタ一台に増設カセットユニットを取り付ける

プリンタ一台の取り付け方はセットアップガイドをご覧ください。

プリンタ一台付きのプリンターの移動

キャスターのストッパーを解除してください。プリンターに衝撃を与えるような段差のある場所を避けて移動してください。

関連情報

→ 「プリンターの持ち運びや輸送」100ページ

専用プリンタ一台の仕様

外形寸法*	<ul style="list-style-type: none">幅：512 mm奥行き：518 mm高さ：109 mm
質量：	約5.1kg

*：ピンの突起15mmを含む

増設カセットユニット

増設カセットユニットにプリンターを取り付ける

増設カセットユニットの取り付け方はセットアップガイドをご覧ください。

プリンタードライバーで増設カセットユニットを設定する

増設したカセットユニットは、プリンタードライバーに情報を取得させないと使用できません。

プリンタードライバーで増設カセットユニットを設定する - Windows

 管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログオンしてください。

1. コンピューターでプリンターの一覧を表示します。

- Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックし、[Windows システムツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [プリント] の順に選択します。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [プリントとその他のハードウェア] - [プリントと FAX] の順に選択します。

2. お使いのプリンターを右クリックまたは長押しし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] を選択して、[オプション設定] タブをクリックします。
3. [プリンターから取得] を選択して [取得] をクリックします。
[現在のプリンター情報] に [オプション給紙装置] が表示されます。
4. [OK] をクリックします。

プリンタードライバーで増設カセットユニットを設定する - Mac OS

1. アップルメニューの [システム環境設定] - [プリントとスキャナ] (または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]) の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。 [オプションとサプライ] - [オプション] (または [ドライバ]) の順にクリックします。
2. 用紙カセットの段数に合わせて [用紙カセット] を設定します。
3. [OK] をクリックします。

増設カセットユニット付きのプリンターの移動

プリンターを持ち上げて移動するときは、増設カセットユニットとプリンター本体を分けて運んでください。

関連情報

⇒ [「プリンターの持ち運びや輸送」100ページ](#)

増設カセットユニット使用時のトラブル

増設カセットユニットから給紙できない

カセットユニットを増設したときは、プリンタードライバーで給紙装置追加の設定をしてください。

増設カセットユニットの仕様

対応用紙	種類	普通紙、再生紙、厚紙
	サイズ	A5, A4, A3, B5, B4, Letter, Legal
	紙厚（坪量）	60~175 g/m ²
セット可能枚数	最大670枚	
外形寸法*	増設1段カセットユニット <ul style="list-style-type: none"> 幅：500 mm 奥行き：524 mm 高さ：164 mm 増設3段カセットユニット <ul style="list-style-type: none"> 幅：500 mm 奥行き：524 mm 高さ：375 mm 	
質量	増設1段カセットユニット 約9.6 kg 増設3段カセットユニット 約24.5 kg	

* : 凸部を含む

HDD (LP-S8180シリーズのみ)

HDDを増設すると試し印刷やプリンターに保存して印刷をすることができるようになります。
 このオプションはLP-S8180シリーズのみ対応しています。

HDDを取り付ける

HDDの取り付け方はセットアップガイドをご覧ください。

！重要 オプションでHDDを増設できます。指定のHDD（型番：PR3HD6）をご使用ください。その他のHDDを接続した場合は動作の保証はできません。

プリンタードライバーでHDDを設定する

設定方法は増設カセットユニットと同じです。

関連情報

→ 「[プリンタードライバーで増設カセットユニットを設定する](#)」 176ページ

保存データの処理設定

内蔵ハードディスクに保存されているデータの処理を設定します。

本機は認証印刷や大量の印刷などのデータを扱うために、一時的にハードディスクにこれらのジョブを保存しています。これらのデータを安全に消去する設定をします。

HDD逐次消去

有効にすると、印刷が終了した場合など、対象のデータが不要になったときに逐次消去されます。

ハードディスクへのアクセスが必要なので省電力モードに入る時間が遅くなります。

メモリー全消去

ハードディスク内の全データを消去します。実行中は他の操作や、プリンターの電源を切ることができません。

- 高速：専用の消去コマンドによって全データを消去します。
- 上書き：専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを上書きして全データを消去します。
- 3回上書き：専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを3回上書きして全データを消去します。

ハードディスクの逐次消去を設定する

参考 デバイスの操作パネルからも設定できます。

1. Web Configで [デバイス管理] タブ - [保存データの処理] を選択します。
2. [HDD逐次消去] を [オン] にします。
3. [設定] をクリックします。

内蔵ハードディスクをフォーマットする

1. プリンターの操作パネルのホーム画面から [設定] を選択します。

2. [本体設定] - [管理者用設定] - [HDD消去設定] の順に選択します。
3. [メモリー全消去] を選択します。
4. 目的に応じて [高速] 、 [上書き] 、 [3回上書き] を選択します。
5. 確認画面で [はい] を選択します。

プリンタードライバーメニューの説明 (HDD装着時)

HDDを使用する場合はプリンタードライバーの [プリンターのプロパティ] - [オプション設定] - [プリンター情報] - [手動設定] - [設定] - [ハードディスクユニット] でHDDが選択されている必要があります。
このオプションはLP-S8180シリーズのみ対応です。

応用設定タブ Windows (HDD装着時)

印刷方法：

- 試し印刷：複数部印刷するときに、最初の1部だけを印刷して内容を確認することができます。プリンターの操作パネルを操作することで、2部目以降を印刷します。
[設定] をクリックして、[ユーザー名] と [ジョブ名] を設定します。
- プリンターに保存して印刷：印刷したデータをプリンターのメモリーに保存できます。プリンターの操作パネルを操作して再印刷します。
[設定] をクリックして、[ユーザー名] と [ジョブ名] を設定します。

関連情報

- ➔ [「応用設定タブ」 39ページ](#)
- ➔ [「1部だけ印刷してから2部目以降を印刷する」 56ページ](#)
- ➔ [「プリンターのメモリーに印刷ジョブを保存して印刷する」 57ページ](#)

設定メニュー一覧 (HDD装着時)

HDD装着時には、プリンターの操作パネルに以下のメニューが表示されます。

[設定] - [本体設定] - [管理者用設定]

HDD消去設定：

内蔵ハードディスクに保存されているデータの処理を設定します。

本機は認証印刷や大量の印刷などのデータを扱うために、一時的にハードディスクにこれらのジョブを保存しています。これらのデータを安全に消去する設定をします。

メモリー自動消去設定：

有効にすると、印刷が終了した場合など、対象のデータが不要になったときに逐次消去されます。消去される対象のデータはこの機能が有効な間に書き込まれたデータです。

ハードディスクへのアクセスが必要なので省電力モードに入る時間が遅くなります。

メモリー全消去：

ハードディスク内の全データを消去します。実行中は他の操作をしたり、プリンターの電源を切らないでください。

- 高速：
専用の消去コマンドによって全データを消去します。
- 上書き：
専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを上書きして全データを消去します。
- 3回上書き：
専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを3回上書きして全データを消去します。

オプションHDD無効：

修理や輸送のときにやむを得ずHDDを取り外す場合に選択します。

！重要 HDD は取り外さないでください。再接続を行った場合、HDD に保存したデータの保証はできません。

PS3対応ROM (LP-S8180シリーズのみ)

このオプションはLP-S8180シリーズのみ対応しています。

PS3対応ROMを取り付ける

PS3対応ROMの取り付け方はセットアップガイドをご覧ください。

PostScriptプリンタードライバーをインストールする

PostScriptプリンタードライバーをインストールする - Windows

1. 以下のいずれかの方法でインストールを開始します。

- オプションのPS3対応ROMに付属のソフトウェアディスクを使用する
ソフトウェアディスクをコンピューターにセットし、画面の指示に従ってインストールします。

- ウェブサイトを使用する

以下からお使いの機種のページにアクセスし、PostScriptプリンタードライバー（またはクライアントPPDファイル）をダウンロードして、実行ファイルを起動してください。

www.epson.jp/support/

2. お使いの機種を選択します。

3. 画面の指示に従って操作します。

4. 接続方法を、ネットワーク接続またはUSB接続から選択します。

- ネットワーク接続の場合

同じネットワークに接続されているプリンターが表示されます。
使いたいプリンターを選択してください。

- USB接続の場合

画面の指示に従ってプリンターとコンピューターを接続してください。

5. 以降は画面の指示に従ってドライバーをインストールします。

PostScriptプリンタードライバーをインストールする - Mac OS

以下のウェブサイトからプリンタードライバーをダウンロードして、インストールします。

www.epson.jp/support/

インストール時にプリンターのIPアドレスが必要です。

ホーム画面でネットワークアイコンから接続済みのネットワークを選択し、IPアドレスを確認します。

PostScriptプリンタードライバーを使って文書を印刷する (Windows)

PostScriptプリンタードライバーはPostScript（ページ記述言語）を使って出力するドライバーです。

1. 印刷するファイルを開きます。

プリンターに用紙がセットされていなければセットしてください。

2. [ファイル] メニューの [プリント]（または [印刷設定] など）を選択してプリント画面を表示します。

3. プリンターを選択します。

4. [プロパティ] (または [詳細設定] など) をクリックして、プリンタードライバー (詳細な印刷設定) の画面を表示します。



5. 必要に応じて設定を変更します。

各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

6. [OK] をクリックしてプリンタードライバーの詳細画面を閉じます。

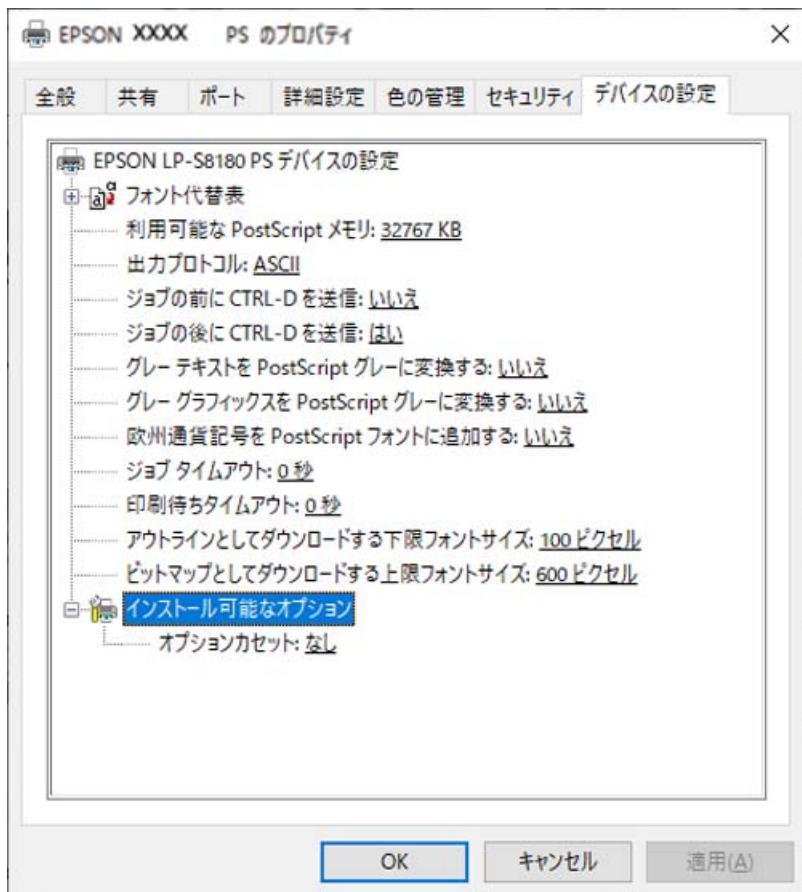
7. [印刷] をクリックします。

関連情報

- 「印刷できる用紙とセット枚数」 212ページ
- 「用紙のセット」 27ページ
- 「用紙/品質タブ」 185ページ
- 「レイアウトタブ」 186ページ

PostScriptプリンタードライバーでオプション装置を使用する

オプション装置を使用するには、デバイスの設定が必要です。



設定

- Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックして、[Windows システムツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しし、[プリンターのプロパティ] を選択します。 [デバイスの設定] タブの [インストール可能なオプション] でオプション装置を選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] を選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しし、[プリンターのプロパティ] を選択します。 [デバイスの設定] タブの [インストール可能なオプション] でオプション装置を選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックして [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] を選択します。お使いのプリンターを右クリックして [プリンターのプロパティ] を選択します。 [デバイスの設定] タブの [インストール可能なオプション] でオプション装置を選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックして [コントロールパネル] - [プリンター] - [ハードウェアとサウンド] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [プロパティ] を選択します。 [デバイスの設定] タブの [インストール可能なオプション] でオプション装置を選択します。

- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [プロパティ] を選択します。 [デバイスの設定] タブの [インストール可能なオプション] でオプション装置を選択します。

PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考 項目は選択した内容によって異なります。

用紙/品質タブ



トレイの選択：

給紙方法とメディアを選択します。

給紙方法：

どの給紙装置から給紙するかを選択します。

[自動選択] にしておくと、プリンターの [用紙設定] と一致する給紙装置を自動で選択します。

メディア：

印刷する用紙の種類を選択します。【指定しない】を選択すると、プリンターの給紙装置設定で、用紙種類を以下に設定した給紙装置から印刷されます。

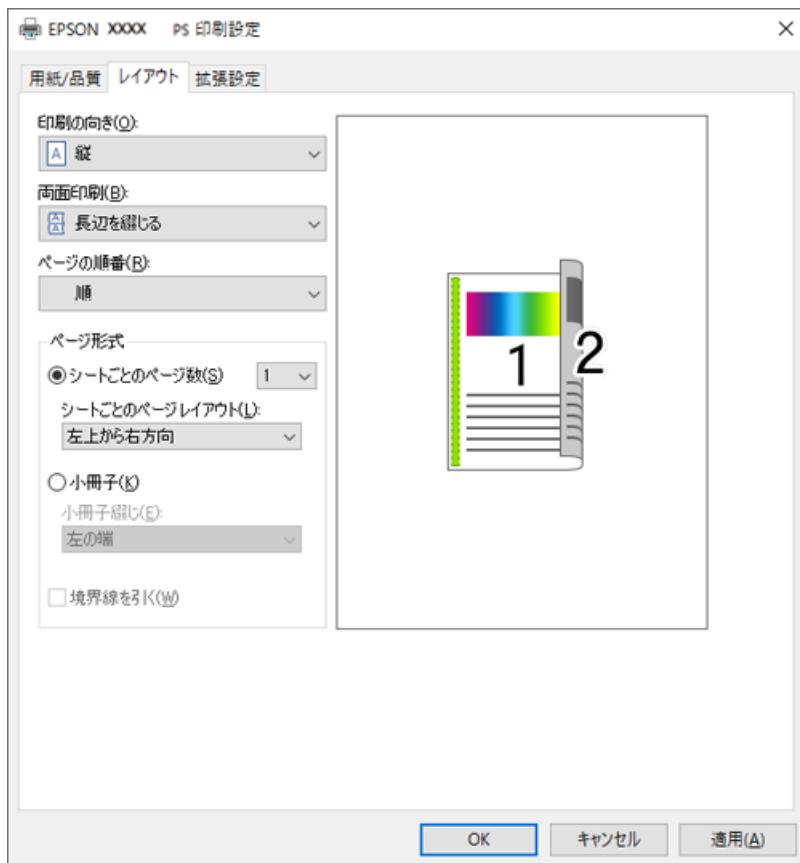
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、プレプリント、上質紙、厚紙1(106~163g/m²)、厚紙2(164~216g/m²)、ラベル、コート紙、ハガキ、封筒、ユーザー専用紙

ただし、プリンターの【給紙口自動選択】で給紙装置がオフになっている給紙装置からは給紙されません。

色：

印刷する色を選択します。

レイアウトタブ



印刷の向き：

データを印刷する向きを選択します。

両面印刷：

両面印刷を有効にします。

ページの順番：

複数ページのデータを、最初のページか最後のページから印刷するかを選択します。

ページ形式：

シートごとのページ数：

シートごとのページレイアウト：

割り付け印刷時のページの配置順が設定できます。

小冊子：

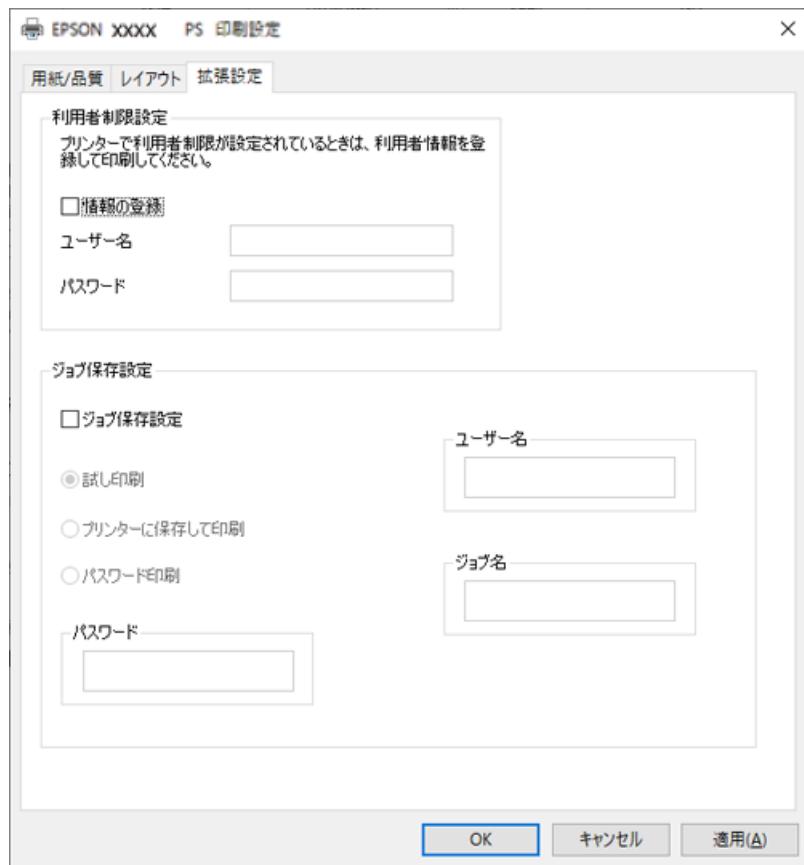
小冊子綴じ：

冊子を作成するときのとじる位置を選択します。

境界線を引く：

1枚の用紙に複数のページを印刷したり、冊子を作成したりする場合に、ページごとに枠線を入れたいときに選択します。

拡張設定タブ



利用者制限設定：

管理者によってプリンターの使用が制限されている場合は、プリンタードライバーに許可されているユーザー名とパスワードを登録すると印刷できます。ログオン情報はプリンターの管理者に確認してください。

情報の登録：

ユーザー名とパスワードの入力を有効にします。

ユーザー名：

ユーザー名を入力します。

パスワード：

ファイルに設定されているパスワードを入力します。

ジョブ保存設定：

印刷データをプリンターのメモリーに保存して印刷するかどうかを選択します。

ジョブ保存設定：

[ジョブ保存設定] と、 [試し印刷] 、 [プリンターに保存して印刷] 、 [パスワード印刷] の選択を有効にします。

試し印刷：

複数部印刷するときに、最初の1部だけを印刷して内容を確認することができます。プリンターの操作パネルを操作することで、2部目以降を印刷します。

プリンターに保存して印刷：

印刷したデータをプリンターのメモリーに保存できます。プリンターの操作パネルを操作して再印刷します。

パスワード印刷：

[パスワード印刷] を選択してパスワードを入力します。プリンターの操作パネルでパスワードを入力するまで印刷されません。

パスワード：

パスワード印刷のパスワードを入力します。

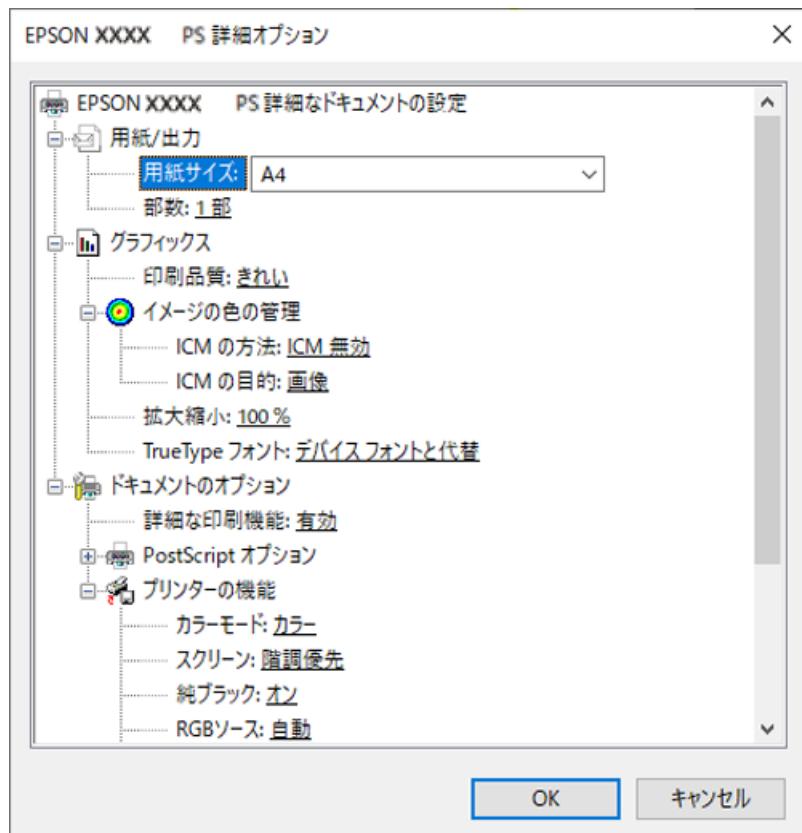
ユーザー名：

ユーザー名を入力します。

ジョブ名：

ジョブ名を入力します。

詳細設定メニュー



用紙/出力 :

用紙サイズと部数を選択します。

用紙サイズ :

出力する用紙サイズを選択します。

部数 :

印刷する部数を設定します。

グラフィックス :

次のメニューを設定します。

印刷品質 :

印刷したい品質を選択します。

イメージの色の管理 :

ICMの方法や目的を選択します。

拡大縮小 :

拡大、縮小印刷を有効にします。

TrueType フォント：

フォント代替処理をTrueTypeフォントに設定します。

ドキュメントのオプション：

詳細な印刷機能：

有効にすると詳細な印刷機能が設定できます。

PostScriptオプション：

オプションの設定ができます。

プリンターの機能：

次のメニューを設定します。

カラー モード：

カラー印刷かモノクロ印刷かを選択します。

スクリーン：

階調の再現性を優先するか、または解像度を上げることを優先するかを選択します。

純ブラック：

ブラックトナーのみで印刷するか、しないかの設定をします。

RGBソース：

RGB色空間をCMYK印刷でシミュレートする場合に、補正するRGB色を選択できます。

CMYKシミュレーション：

オフセット印刷機のCMYK色を再現して印刷する場合に、シミュレーションするCMYKの色を選択できます。

RIT：

斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷するエプソン独自の輪郭補正 (RIT) 機能です。大きな文字を印刷するときに、より効果が得られます。

トナーセーブ：

輪郭部分以外を薄くしてトナーを節約することができます。レイアウトを確認するときなど、階調性や印刷品質にこだわらないときにお使いください。

180度回転：

印刷データを180度回転して印刷します。

排紙方向：

給紙装置にセットした用紙の向きに合わせて、排紙方向を設定します。

Mac OSからPostScriptプリンタードライバーを使って印刷する

PostScriptプリンタードライバーはPostScript（ページ記述言語）を使って出力するドライバーです。

1. 印刷するファイルを開きます。
プリンターに用紙がセットされていなければセットしてください。
2. [ファイル] メニューの [プリント]（または [印刷] など）を選択してプリント画面を表示します。
必要であれば [詳細を表示]（または▼）をクリックして詳細設定画面を開きます。
3. お使いのプリンターを選択します。
4. ポップアップメニューの [プリンタの機能] を選択します。



5. 必要に応じて設定を変更します。
各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。
6. [プリント] をクリックします。

関連情報

- 「印刷できる用紙とセット枚数」212ページ
- 「用紙のセット」27ページ
- 「プリンタの機能メニュー」197ページ

PostScriptプリンタードライバーでオプション装置を使用する

オプション装置を使用するには、デバイスの設定が必要です。

アップルメニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択して、お使いのプリンターを選択します。 [オプションとサプライ] - [オプション]（または [ドライバ]）の順にクリックします。使用したいオプション装置に対して設定をします。

PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考 項目は選択した内容によって異なります。

レイアウトメニュー



ページ数/枚 :

用紙1枚に対し、印刷したいページ数を選択します。

レイアウト方向 :

ページの並べ方を選択します。

境界線 :

ページを区切る境界線の設定をします。

両面 :

両面印刷を有効にします。

ページの方向を反転 :

データを180度回転して印刷します。

左右反転：

データの左右を反転して印刷します。

カラー・マッチングメニュー



ColorSync/プリンタのカラー：

色補正の方法を選択します。プリンターで色の調整を行い、異なるデバイス間の色合いを近づけることができます。

用紙処理メニュー



丁合い：

部数に対して複数ページのデータをページごとではなく、部ごとに印刷します。

プリントするページ：

印刷するページを、奇数ページごとか偶数ページごとかを選択できます。

ページの順序：

複数ページのデータを、最初のページか最後のページから印刷するかを選択します。

用紙サイズに合わせる：

出力用紙サイズに合わせて自動で拡大縮小印刷します。

出力用紙サイズ：

出力する用紙サイズを選択します。

縮小のみ：

縮小印刷時に選択します。

給紙メニュー

どの給紙装置から給紙するかを選択します。



すべてのページ :

[自動選択] にしておくと、プリンターの [用紙設定] と一致する給紙装置を自動で選択します。

先頭ページのみ/残りのページ :

ページの給紙方法が選択できます。

表紙メニュー



表紙をプリント :

表紙を印刷するかどうかを選択します。裏表紙を付けるときは、[書類の後] を選択します。

表紙のタイプ :

表紙に印刷される内容を選択します。

ジョブ設定メニュー



パスワード印刷：

パスワード印刷をする場合はチェックボックスにチェックします。

ユーザー名：

パスワード印刷に設定するユーザー名を入力します。

ジョブ名：

パスワード印刷に設定するジョブ名を入力します。

パスワード：

パスワード印刷のパスワードを入力します。

プリンタの機能メニュー



機能セット：

印刷品質：

用紙種類：

印刷する用紙の種類を選択します。[指定しない]を選択すると、プリンターの給紙装置設定で用紙種類を以下に設定した給紙装置から印刷されます。

普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、プレプリント、上質紙、厚紙1(106~163g/m²)、厚紙2(164~216g/m²)、ラベル、コート紙、ハガキ、封筒、ユーザー専用紙

ただし、プリンターの[給紙口自動選択]で給紙装置がオフになっている給紙装置からは給紙されません。

解像度：

印刷したい品質を選択します。

スクリーン：

階調の再現性を優先するか、または解像度を上げることを優先するか選択します。

RIT :

斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷するエプソン独自の輪郭補正 (RIT) 機能です。大きな文字を印刷するときに、より効果が得られます。

カラー設定 :

カラー モード :

カラー印刷かモノクロ印刷かを選択します。

純ブラック :

ブラックトナーのみで印刷するか、しないかの設定をします。

RGBソース :

RGB色空間をCMYK印刷でシミュレートする場合に、補正するRGB色を選択できます。

CMYKシミュレーション :

オフセット印刷機のCMYK色を再現して印刷する場合に、シミュレーションするCMYKの色を選択できます。

その他の設定 :

トナーセーブ :

輪郭部分以外を薄くしてトナーを節約することができます。レイアウトを確認するときなど、階調性や印刷品質にこだわらないときにお使いください。

出力設定 :

排紙方向 :

給紙装置にセットした用紙の向きに合わせて、排紙方向を設定します。

PostScriptフォントなどが印刷できるソフトウェア (Windows PostScript プリンタードライバー)

PostScriptプリンタードライバーを使用すると、コンピューターから送られるページ記述言語による印刷指示をプリンターは解釈して適切に印刷できます。DTPに使用するPostScriptに準拠したアプリケーションからの印刷に適しています。

アプリケーションソフトからの表示方法

使用中のアプリケーションソフトだけに設定を反映したいときは、アプリケーションソフトから表示します。

[ファイル] メニューの [印刷] または [印刷設定] を選択します。お使いのプリンターを選択して [詳細設定] または [プロパティ] をクリックします。

 アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

コントロールパネルからの表示方法

全てのアプリケーションソフトに設定を反映したいときは、コントロールパネルから表示します。

- Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックし、[Windows システムツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押して [印刷設定] を選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押して [印刷設定] を選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックして、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして、[コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。

タスクバーのプリンターアイコンからの表示方法

デスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンは、プリンタードライバーに素早くアクセスするためのショートカットアイコンです。

プリンターアイコンをクリックして、[プリンターのプロパティ] を選択すると、コントロールパネルから表示させたときと同様の印刷設定画面が表示されます。ダブルクリックすると、プリンターの状態を確認する画面が表示されます。

関連情報

→ [「PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明」185ページ](#)

PostScriptフォントなどが印刷できるソフトウェア (Mac OS PostScript プリンタードライバー)

PostScriptプリンタードライバーを使用すると、コンピューターから送られるページ記述言語による印刷指示をプリンターは解釈して適切に印刷できます。DTPに使用するPostScriptに準拠したアプリケーションからの印刷に適しています。

アプリケーションソフトからの表示方法

[ファイル] メニューの [ページ設定] または [プリント] をクリックします。必要に応じて [詳細を表示] (または ▼) をクリックして詳細設定画面を開きます。

参考 アプリケーションソフトによっては [ファイル] メニューに [ページ設定] がなかったり、印刷画面を開く手順が異なったりすることがあります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

ユーティリティーの起動方法

アップルメニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン]、 [プリントとファクス]) の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。 [オプションとサプライ] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く] の順にクリックします。

関連情報

→ [「PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明」192ページ](#)

PostScriptプリンタードライバー使用時のトラブル

PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷できない (Windows)

以下の原因が考えられます。

■ 印刷言語の設定変更が必要です。

対処方法

操作パネルで [印刷言語] を [Auto] または [PS] に設定してください。

■ 大量のジョブを送信しました。

対処方法

Windowsの場合、大量のジョブを送信すると印刷できないことがあります。プリンターのプロパティの [詳細設定] タブで、 [プリンターに直接印刷データを送る] を選択してください。

PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷できない (Mac OS)

■ 印刷言語の設定変更が必要です。

対処方法

操作パネルで [印刷言語] を [Auto] または [PS] に設定してください。

PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷速度が遅い

■ 印刷品質が高く設定されています。

対処方法

プリンタードライバーで、 [印刷品質] を [はやい] に設定してください。

PostScriptプリンタードライバー使用時に正しく印刷できない

以下の原因が考えられます。

■ データに問題があります。

対処方法

- Adobe Photoshopなどのデータ形式を変更できるアプリケーションソフトでデータを作成したときは、プリンタードライバーの設定を作成したデータ形式と合わせてください。
- バイナリー形式で作成したEPSファイルは正常に印刷できないことがあります。アプリケーションソフトでEPSファイルを作成するときはASCII形式にしてください。
- Windowsの場合、USB接続時にはバイナリー形式のデータが印刷できません。プリンターのプロパティの [デバイスの設定] タブで、[出力プロトコル] を [ASCII] または [TBCP] に設定してください。
- Windowsの場合、プリンターのプロパティの [デバイスの設定] タブで、適切な代替フォントを選択してください。

PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷品質が悪い

■ カラーの設定がされていません。

対処方法

プリンタードライバーの [用紙/品質] タブでは色の設定ができません。 [詳細設定] をクリックして、 [カラー モード] を設定してください。

設定メニュー一覧 (PS3対応ROM装着時)

PS3対応ROM装着時には、プリンターの操作パネルに以下のメニューが表示されます。

プリンター設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [プリンター設定]

管理者によってロックされているメニューは、管理者以外は設定を変更できません。

PDL印刷設定：

PostScript印刷時の設定ができます。

共通設定:

共通設定については関連情報をご覧ください。

関連情報

➔ [「共通設定」 226ページ](#)

関連情報

➔ [「共通設定」 226ページ](#)

PS設定 :

- PSエラーシート
[オン] を選択すると、PostScript印刷またはPDF印刷時にエラーが発生したときに、エラー状態を記載したシートを印刷します。 (初期値は [オフ])
- Coloration
PostScript印刷のカラー モードを選択します。 (初期値は [カラー])
- Binary
バイナリーフォーマットの画像が含まれるデータの印刷時に [オン] を選択します。ドライバーの設定が ASCII になっていてもアプリケーションがバイナリーデータを送ってしまうことがあります。この設定を有効にすると印刷できます。 (初期値は [オフ])
- PDF印刷 用紙サイズ
PDFファイルを印刷するときの用紙サイズを選択します。 [自動] を選択すると、印刷データの最初のページの用紙サイズに合わせて印刷します。 (初期値は [自動])

情報確認/印刷

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [情報確認/印刷]

本体ステータスシートの印刷 :

PSフォントリスト :

PostScript印刷で使えるフォントリストを印刷します。

管理者用設定

システム管理者としてプリンターを管理するときに使用します。オフィスなどでプリンターを共有する際に、個人が使用できる機能を制限できます。

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [管理者用設定]

内部メモリーデータ削除:

プリンターの内蔵メモリーにダウンロードしたPostScript印刷用のフォントやマクロを削除します。

PostScript Level 3との互換性

このプリンターのPostScriptはPostScript Level 3の互換です。

対応フォント (PostScript 3対応)

フォント名	ファミリー	HP互換
Nimbus Mono	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Courier
Letter Gothic	Medium, Bold, Italic	Letter Gothic
Nimbus Mono PS	Regular, Bold, Oblique, Bold Oblique	CourierPS
Nimbus Roman No4	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	CG Times
URW Classico	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	CG Omega
URW Coronet	-	Coronet
URW Clarendon Condensed	-	Clarendon Condensed
URW Classic Sans	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Univers
URW Classic Sans Condensed	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Univers Condensed
Antique Olive	Medium, Bold, Italic	Antique Olive
Garamond	Antiqua, Halbfett, Kursiv, Kursiv Halbfett	Garamond
Mauritius	-	Marigold
Algiers	Medium, Extra Bold	Albertus
NimbusSansNo2	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Arial
Nimbus Roman No9	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Times New Roman
Nimbus Sans	Medium, Bold, Oblique, Bold Oblique	Helvetica
Nimbus Sans Narrow	Medium, Bold, Oblique, Bold Oblique	Helvetica Narrow
Palladio	Roman, Bold, Italic, Bold Italic	Palatino
URW Gothic	Book, Demi, Book Oblique, Demi Oblique	ITC Avant Garde
URW Bookman	Light, Demi, Light Italic, Demi Italic	ITC Bookman
URW Century Schoolbook	Roman, Bold, Italic, Bold Italic	New Century Schoolbook
Nimbus Roman	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Times
URW Chancery Medium Italic	-	ITC Zapf Chancery Italic
Symbol	-	Symbol
URW Dingbats	-	Wingdings
Dingbats	-	ITC Zapf Dingbats
Standard Symbol	-	SymbolPS

和文フォント

- 明朝体
- ゴシック体

増設ネットワークインターフェイスボード (LP-S8180シリーズのみ)

このオプションはLP-S8180シリーズのみ対応しています。

【重要】 増設ネットワークの設定時にファームウェア更新のメッセージが表示されたときは、増設ネットワークインターフェイスボードを装着した状態で、プリンターのファームウェアを更新してください。

関連情報

→ 「ソフトウェアやファームウェアを更新する」97ページ

ネットワーク増設時の機能一覧

機能		標準	増設	関連情報
印刷	コンピューターからの印刷	○	○	
Epson Connect		○	×	「クラウドサービスで印刷する」86ページ
EPSON Software Updater		○	×	「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア (Epson Software Updater)」223ページ
ファームウェアの更新		○	×	「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア (Epson Software Updater)」223ページ
ネットワーク設定	IPアドレスの設定	○*1	○*1	「IPアドレスを設定する (ネットワーク増設時)」206ページ
	プロキシサーバーの設定	○	×	「プロキシサーバーを設定する (ネットワーク増設時)」207ページ
Web Configからの設定		○*1	○*1	「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア (Web Config)」257ページ
メール通知		○*2	○*2	「メールサーバーを設定する」272ページ 「メール通知を設定する (ネットワーク増設時)」208ページ

機能	標準	増設	関連情報
管理者パスワードの設定	○*1	○*1	「操作パネルから管理者パスワードを設定する」 280ページ 「コンピューターから管理者パスワードを設定する」 281ページ 「増設ネットワーク用の管理者パスワードを設定する」 205ページ
高度なセキュリティー設定	IPsec/IPフィルタリング	○*1	「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」 304ページ
	IEEE802.1X	○*1	「IEEE802.1X環境にプリンターを接続する」 315ページ

○=利用できます。

×=利用できません。

*1 : ネットワーク回線ごとに設定が必要です。

*2 : 宛先ごとに、送信先のネットワーク回線を標準または増設から選択できます。

増設ネットワークインターフェイスボードを取り付ける

増設ネットワークインターフェイスボードの取り付け方はセットアップガイドをご覧ください。

ネットワーク増設時の設定

増設ネットワーク用の管理者パスワード設定

増設ネットワーク用の管理者パスワードを設定すると、プリンターのユーザーが増設ネットワーク回線の設定を変更することを防ぎます。増設ネットワーク用の管理者パスワードは、増設ネットワーク回線にあるコンピューターから、Web Configを使って設定、変更ができます。増設ネットワーク用の管理者パスワードとプリンターの管理者パスワードは異なります。

増設ネットワーク用の初期パスワードは、MACアドレスの下8桁です。MACアドレスは、プリンターの操作パネルで増設ネットワーク回線の【有線接続状態】を選択して、詳細を表示すると確認できます。増設ネットワークインターフェイスボードの貼付ラベルでも確認できます。

不正アクセスを防止するため、速やかに初期パスワードを変更することをお勧めします。増設ネットワーク回線を初期設定に戻すと、初期パスワードに戻ります。

関連情報

⇒ 「ネットワーク設定メニューの説明（ネットワーク増設時）」209ページ

増設ネットワーク用の管理者パスワードを設定する

増設ネットワーク回線にあるコンピューターから、Web Configを使って管理者パスワードを設定します。

1. ブラウザーに増設ネットワーク用のIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
2. [本体セキュリティー] タブ - [管理者パスワード変更] を選択します。
3. [新しいパスワード] と [新しいパスワードの確認] にパスワードを入力します。必要に応じてユーザー名を入力します。
パスワードを変更するには、現在のパスワードを入力します。
4. [設定] を選択します。

参考 ロックされている項目を設定、変更するには [管理者ログオン] をクリックして管理者パスワードを入力します。

関連情報

→ 「[ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア \(Web Config\)](#)」 257ページ

操作パネルでネットワークに接続する (ネットワーク増設時)

プリンターの操作パネルを使って、プリンターをネットワークに接続します。

IPアドレスを設定する (ネットワーク増設時)

ホストアドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど、基本的なIPアドレス設定をします。

標準ネットワーク回線、増設ネットワーク回線の両方を設定してください。

ここでは固定IPアドレスを設定する手順を説明します。

1. プリンターの電源を入れます。
2. 操作パネルのホーム画面で [設定] を選択します。
3. [本体設定] - [ネットワーク設定] の順に選択します。
4. 設定するネットワーク回線を [標準] または [増設] から選択します。
5. [詳細設定] - [TCP/IP] の順に選択します。

参考 [詳細設定] を選択したときに、増設ネットワーク用の管理者パスワード入力が必要になります。

6. [TCP/IP設定方法] を [手動設定] にします。
IPアドレスをルーターなどのDHCP機能で自動設定する場合は [自動設定] にします。この場合は、手順7、8の [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] も自動設定になるので入力できません。手順9へ進んでください。
7. IPアドレスを入力します。
◀または▶を選択すると、ピリオドで区切られた前後の区切りにフォーカスが移動します。
戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

8. 同様に【サブネットマスク】、【デフォルトゲートウェイ】を設定します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

！重要 IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの組み合わせが不正の場合、【設定を開始する】が有効にならず、設定を続けることができません。入力に間違いがないか確認してください。

9. プライマリDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

参考 IPアドレスを【自動設定】にすると、DNSサーバー設定は【手動設定】、【自動設定】を選択できます。DNSサーバーのアドレスを自動取得できない場合に【手動設定】を選択して、DNSサーバーのIPアドレスを入力してください。引き続き、セカンダリDNSサーバーのアドレスを直接入力します。【自動設定】を選択した場合は、手順11へ進んでください。

10. セカンダリDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

11. 【設定を開始する】を選択します。

プロキシサーバーを設定する（ネットワーク増設時）

以下の両方に当てはまる場合は、プロキシサーバーを設定してください。

- ・インターネット接続用にプロキシサーバーを構築している
- ・Epson Connect サービスや他社クラウドサービスなど、プリンターが直接インターネットに接続する機能を使用する

プロキシサーバーは標準ネットワーク回線のみで使用できます。

1. ホーム画面で【設定】を選択します。

IPアドレスの設定に続いて設定するときは、【詳細設定】画面が表示されています。手順3に進んでください。

2. 【本体設定】 - 【ネットワーク設定】 - 【標準】 - 【詳細設定】の順に選択します。

3. 【プロキシサーバー】を選択します。

4. 【プロキシサーバー使用設定】を【使用する】にします。

5. プロキシサーバーのアドレスを、IPv4アドレスまたはFQDN形式で入力します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

6. プロキシサーバーのポート番号を入力します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

7. 【設定を開始する】を選択します。

有線LANに接続する (ネットワーク増設時)

標準ネットワークの有線LANに接続する

LANケーブルで標準ネットワークに接続して、接続の確認をします。

1. プリンターとハブ (LANスイッチ) をLANケーブルで接続します。
2. ホーム画面で [設定] を選択します。
3. [本体設定] - [ネットワーク設定] - [標準] - [接続診断] を選択します。
接続診断の結果が表示されます。正常に接続されていることを確認してください。
4. [了解] を選択して終了します。
[接続診断結果を印刷する] を選択すると診断結果を印刷できます。画面の案内に従って印刷してください。

増設ネットワークの有線LANに接続する

LANケーブルで増設ネットワークに接続して、接続の確認をします。

1. プリンターとハブ (LANスイッチ) をLANケーブルで接続します。
2. 増設ネットワークのLANポートにあるランプが点滅していることを確認します。

イベント発生時にメール通知を受け取る (ネットワーク増設時)

メール通知の概要 (ネットワーク増設時)

印刷の停止やプリンターエラーなど、プリンターにイベントが発生したときに、指定したアドレスにメールで通知する機能です。

宛先は5つまで登録でき、それぞれに受け取りたい通知を設定できます。

この機能を使うには、設定前にメールサーバーの設定が必要です。宛先があるネットワーク回線（標準または増設）のメールサーバーを設定してください。

関連情報

➔ [「メールサーバーを設定する」272ページ](#)

メール通知を設定する (ネットワーク増設時)

標準ネットワーク回線にあるコンピューターから、Web Configを使ってメール通知の設定をします。

1. ブラウザーに標準ネットワーク用のIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
2. [デバイス管理] タブ - [メール通知] を選択します。

3. メール通知の件名を設定します。

2つのプルダウンメニューで件名に表示する内容を選択します。

- 選択された内容が [件名] の横に表示されます。
- 左右に同じ内容は設定できません。
- [ロケーション] の文字数が多い場合は、32バイト以降の文字が省略されます。

4. 通知メールを送信するメールアドレスを入力します。

A-Z a-z 0-9 ! # \$ % & ' * + - . / = ? ^ _ { } { } ^ @, を使用し、255文字以内で入力します。

5. 送信先のネットワーク回線を [標準] または [増設] から選択します。

6. メール通知の言語を選択します。

7. 通知を受け取りたいイベントの行で、通知する宛先番号と重なるチェックボックスにチェックを付けます。

[通知設定] の番号は [宛先設定] の宛先の番号に対応しています。

設定例：

用紙がなくなった場合の通知を [宛先設定] の1に設定したアドレスに送信したいときは、 [用紙なし] の行にある [1] の列のチェックボックスにチェックを付けます。

8. [設定] をクリックします。

何らかのイベントを作つて、メール通知が送信されることを確認してください。

例：用紙をセットしていない給紙方法を指定して印刷

関連情報

- 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア (Web Config)」 257ページ
- 「メールサーバーを設定する」 272ページ
- 「メール通知の設定項目」 289ページ

ネットワーク増設時のトラブル

コンピューターからの印刷ができない

標準ネットワークまたは増設ネットワークの設定が正しくない。

標準ネットワーク、増設ネットワークそれぞれの設定が必要です。両方の設定を確認してください。

関連情報

- 「操作パネルでネットワークに接続する (ネットワーク増設時)」 206ページ

ネットワーク設定メニューの説明 (ネットワーク増設時)

ここでは、ネットワーク増設時のネットワーク設定メニューについて説明します。

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定]

標準：

標準ネットワーク回線を設定します。以下の関連情報を参照してください。

関連情報

➔ [「ネットワーク設定」228ページ](#)

増設：

増設ネットワーク回線を設定します。

ネットワーク情報：

現在のネットワーク設定の内容を表示または印刷します。

- 有線接続状態
- ステータスシート印刷

詳細設定：

設定項目は次の通りです。

- TCP/IP
- IPv6アドレス (初期値は [有効])
- Link Speed & Duplex (初期値は [自動])
- HTTPをHTTPSにリダイレクト (初期値は [有効])
- IPsec/IPフィルタリングの無効化
- IEEE802.1Xの無効化

増設ネットワーク用の管理者パスワードの入力が必要です。

初期設定に戻す：

増設ネットワーク回線の設定を初期値に戻します。

増設ネットワーク用の管理者パスワードの入力が必要です。

ネットワーク送信経路：

このメニューは使用できません。

LDAPサーバー：

このメニューは使用できません。

製品情報

用紙情報	212
消耗品/定期交換部品の一覧	217
ソフトウェア情報	219
設定メニュー一覧	224
製品仕様	232
フォントの仕様	244
規格と規制	254

用紙情報

印刷できる用紙とセット枚数

以下は2020年6月現在の情報です。

これ以外の用紙を使うと、紙詰まりや故障の原因になります。再生紙や封筒など、品質のばらつきが大きい用紙は、必ず試し印刷をしてからお使いください。A4とLetterサイズは縦置きと横置きができます。

用紙の厚さ（坪量：1m²当たりの紙の重量をグラムで表示したもの）を満たしていても紙質（目の方向や硬さなど）によって印刷品質の低下や紙詰まりが起こることがあります。

- 参考** 両面印刷に対応している用紙は以下をご覧ください。
[「自動両面印刷ができる用紙」215ページ](#)

- 参考**
- 封筒の印刷速度は、普通紙に比べて遅くなります。良好な印刷結果が得られるようプリンター内部で印刷速度を調整しているためです。
 - プリンタードライバーの【給紙方法】を【自動選択】にすると、【用紙サイズ】で設定した用紙がセットされた給紙装置から自動的に給紙します。複数の給紙装置が対象になっている場合、最初の給紙装置の用紙がなくなると次の給紙装置から自動的に給紙します。例えば、オプションの増設1段力セット3段を含め、全ての給紙装置にA4普通紙(64g/m²)をセットすると、最大2505枚の連続印刷が可能になります。
 - 排紙トレイの保持容量はA4（横置き）普通紙で250枚です。

普通紙 (60~80g/m²)

普通紙はプレプリント（帳票など、あらかじめ定型書式が印刷された用紙）、レターヘッド、色つき用紙、再生紙を含みます。セット枚数は普通紙64g/m²の場合

用紙サイズ	セット可能枚数			
	用紙力セット1	増設1段力セット	増設3段力セット (LP-S8180シリーズのみ)	手差しトレイ
	C1	C2~C4	C2~C4	
A3、A4、A5、B4、 B5、Letter、Legal、 US B (11×17 in.)	305	670	502	190
8.5×13 in.、 Executive、A6、Half Letter、8×10.5 in.、8.27×13 in.	-	-	-	190
ユーザー定義サイズ* 幅：210~297mm 長さ：148~ 431.8mm	305	670	502	-

用紙サイズ	セット可能枚数			
	用紙カセット1	増設1段カセット	増設3段カセット (LP-S8180シ リーズのみ)	手差しトレイ
	C1	C2~C4	C2~C4	
ユーザー定義サイズ* 幅: 75~297mm 長さ: 98~431.8mm	-	-	-	190

*: 幅が279.4mmより広く、かつ、長さが420mmを超える用紙は手差しトレイにのみセット可能

上質紙 (81~105g/m²)

用紙サイズ	セット可能総厚			
	用紙カセット1	増設1段カセット	増設3段カセット (LP-S8180シ リーズのみ)	手差しトレイ
	C1	C2~C4	C2~C4	
A3、A4、A5、B4、 B5、Letter、Legal、 US B (11×17 in.)	27.6mm	59.4mm	44.4mm	17.5mm
8.5×13 in.、 Executive、A6、Half Letter、8×10.5 in.、8.27×13 in.	-	-	-	17.5mm
ユーザー定義サイズ* 幅: 210~297mm 長さ: 148~ 431.8mm	27.6mm	59.4mm	44.4mm	-
ユーザー定義サイズ* 幅: 75~297mm 長さ: 98~431.8mm	-	-	-	17.5mm

*: 幅が279.4mmより広く、かつ、長さが420mmを超える用紙は手差しトレイにのみセット可能

厚紙 (106~163g/m²)

用紙種類の設定で [厚紙1] を選択します。

用紙サイズ	セット可能総厚			
	用紙カセット1	増設1段カセット	増設3段カセット (LP-S8180シリーズのみ)	手差しトレイ
	C1	C2~C4	C2~C4	
A3、A4、A5、B4、 B5、Letter、Legal、 US B(11×17 in.)、 ユーザー定義サイズ*	27.6mm	59.4mm	44.4mm	17.5mm
A6、Half Letter、8.5 x 13 in、8 x 10.5 in.、Executive、8.27 x 13 in.	-	-	-	17.5mm

*： 対応サイズは、普通紙や上質紙の「ユーザー定義サイズ」を参照

厚紙 (164~216g/m²)

A4のみ220g/m²まで可能

用紙種類の設定で [厚紙2] を選択します。

用紙サイズ	セット可能総厚			
	用紙カセット1	増設1段カセット	増設3段カセット (LP-S8180シリーズのみ)	手差しトレイ
	C1	C2~C4	C2~C4	
A3、A4、A5、B4、 B5、Letter、Legal、 US B(11×17 in.)、 ユーザー定義サイズ*	27.6mm	-	-	17.5mm
A6、Half Letter、8.5 x 13 in、8 x 10.5 in.、Executive、8.27 x 13 in.	-	-	-	17.5mm

*： 対応サイズは、普通紙や上質紙の「ユーザー定義サイズ」を参照

ラベル紙 (台紙全体がラベルで覆われているもの)

用紙サイズ	セット可能総厚			
	用紙カセット1	増設1段カセット	増設3段カセット (LP-S8180シリーズのみ)	手差しトレイ
	C1	C2~C4	C2~C4	
A4	27.6mm	59.4mm	44.4mm	17.5mm

コート紙 (105~216g/m²)

用紙サイズ	セット可能枚数			
	用紙力セット1	増設1段力セット	増設3段力セット (LP-S8180シリーズのみ)	手差しトレイ
	C1	C2~C4	C2~C4	
A3、A4、A5、B4、 B5、Letter、Legal、 US B(11×17 in.)、 A6、Half Letter、8.5 x 13 in、8 x 10.5 in.、Executive、8.27 x 13 in.、ユーザー定 義サイズ*	-	-	-	1

* : 対応サイズは、普通紙や上質紙の「ユーザー定義サイズ」を参照

ハガキ (日本郵便株式会社製、190g/m²)

用紙サイズ	セット可能枚数			
	用紙力セット1	増設1段力セット	増設3段力セット (LP-S8180シリーズのみ)	手差しトレイ
	C1	C2~C4	C2~C4	
ハガキ、往復ハガキ、 四面連刷ハガキ	-	-	-	75

封筒

セット枚数は85g/m²の場合

用紙サイズ	セット可能枚数			
	用紙力セット1	増設1段力セット	増設3段力セット (LP-S8180シリーズのみ)	手差しトレイ
	C1	C2~C4	C2~C4	
長形3号 洋形0号、4号、6号 角形2号	-	-	-	20

自動両面印刷ができる用紙

- 用紙種類：普通紙、上質紙、コート紙*

- 用紙サイズ : A3、A4、A5、B4、B5、Letter、Legal、US B (11×17 in.)、8.5×13 in.、Executive

* : [プリンター調整機能] で [コート紙1] を選択したときのみ

関連情報

→ [「印刷できる用紙とセット枚数」212ページ](#)

印刷できない用紙

以下の用紙は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

- インクジェットプリンター用特殊紙（スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、インクジェット用郵便ハガキなど）
- アイロンプリント紙
- 他のページプリンター、熱転写プリンター、インクジェットプリンターなどのプリンターや、複写機で印刷したプレプリント紙
- 他のプリンターで一度印刷した後の裏紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、酸性紙、和紙
- のり、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- バインダー用の穴が開いている用紙
- 貼り合わせた用紙
- ページプリンター用またはコピー機用以外のラベル紙
- 薄すぎる用紙（59g/m² 以下）、厚すぎる用紙（221g/m² 以上）
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- 折り跡、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 吸湿して波打ちしている用紙
- 紙粉が発生しやすい用紙
- 約175 °Cで変質や変色する用紙

以下の封筒は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

- 封の部分にのり付け加工が施されている封筒
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒
- リボン、フックなどが付いている封筒
- 他のプリンターやコピー機で一度印刷した封筒
- 二重封筒や窓付きの封筒

以下のハガキには印刷しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。

- インクジェットプリンター用の専用ハガキ

- 表面に特殊コート、のり付けが施されたハガキ、圧着ハガキ
- 他のプリンターやコピー機で一度印刷したハガキ
- 私製ハガキ、絵ハガキ
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
- 中央に折り跡のある往復ハガキ

消耗品/定期交換部品の一覧

以下は2020年6月現在の情報です。

トナーカートリッジ

ETカートリッジの「ET」は「エプソントナー」の意味です。

商品名	サイズ *1	型番
ET カートリッジ ブラック	Sサイズ	LPC3T37K
	Mサイズ	LPC3T38K
	Lサイズ	LPC3T39K
ET カートリッジ シアン	Sサイズ	LPC3T37C
	Mサイズ	LPC3T38C
	Lサイズ	LPC3T39C
ET カートリッジ マゼンタ	Sサイズ	LPC3T37M
	Mサイズ	LPC3T38M
	Lサイズ	LPC3T39M
ET カートリッジ イエロー	Sサイズ	LPC3T37Y
	Mサイズ	LPC3T38Y
	Lサイズ	LPC3T39Y
環境推進トナー ブラック *2	Mサイズ	LPC3T38KV
	Lサイズ	LPC3T39KV
環境推進トナー シアン*2	Mサイズ	LPC3T38CV
	Lサイズ	LPC3T39CV
環境推進トナー マゼンタ *2	Mサイズ	LPC3T38MV
	Lサイズ	LPC3T39MV

商品名	サイズ *1	型番
環境推進トナー イエロー *2	Mサイズ	LPC3T38YV
	Lサイズ	LPC3T39YV

*1 サイズの違いはトナー容量の違い（カートリッジの大きさは同じ）です。L サイズはLP-S8180シリーズのみ対応しています。

*2 ET カートリッジと同じ品質のトナーですが、セイコーエプソン株式会社がトナーカートリッジ（容器）の所有権を保有し、「環境推進トナー使用許諾契約」に基づき、本製品に充填されているトナーを使い切るまでの間の使用権を許諾する消耗品です。使用後は、環境推進トナーに添付の案内書をご覧いただき、セイコーエプソン株式会社に必ずご返却ください（送料無料）。エプソンのホームページでもご確認いただけます。

<http://www.epson.jp/products/offirio/printer/kankyotoner/>

共通消耗品

商品名	型番	仕様
感光体ユニット	カラー	LPC3K17 印刷寿命 *1：約24,000 ページ
	ブラック	LPC3K17K 印刷寿命 *1：約24,000 ページ
廃トナーボックス	LPC3H17	印刷寿命 *1：約24,000 ページ
上質普通紙 *2	LPCPPA3	A3 サイズ
	LPCPPA4	A4 サイズ
	LPCPPB4	B4 サイズ
レーザーコート紙 *3	LPCCTA3	A3 サイズ
	LPCCTA4	A4 サイズ

*1 印刷寿命は、A4 横置き5%連続印刷時ですが、印刷ページ数は目安です。印刷の仕方により、印刷可能ページ数は異なります。間欠印刷（1 回あたりの印刷ページ数が1～数ページ程度の少ない印刷）、用紙サイズ、用紙方向、厚紙印刷、印刷原稿および電源の頻繁な入切などにより印刷可能ページ数は少なくなります。そのため印刷可能ページ数は、お客様の使用条件、使用環境によっては半分以下になる場合があります。

*2 普通紙への印刷で最良の印刷品質が得られます。両面に印刷するときは、包装紙の開封面（合わせ目のある面）から先に印刷してください。

*3 光沢のある質感で印刷できます。

定期交換部品

交換は、弊社の認定を受けたサービス実施店のサービスエンジニアまたは弊社のサービスエンジニアが実施します。交換時期を知らせるメッセージが表示されたら販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。交換に伴う出張基本料、技術料、部品料は保証期間内外を問わず、有料です。

商品名	印刷寿命*1
定着ユニット	100,000 ページ
転写ユニット	100,000 ページ
二次転写ユニット	100,000 ページ
カラー現像ユニット	100,000 ページ
白黒現像ユニット	100,000 ページ
給紙ローラーMP	100,000 ページ
給紙ローラーC1/C2/C3/C4	100,000 ページ
メンテナンスユニットA	300,000 ページ
メンテナンスユニットB	600,000 ページ

*1 印刷寿命は、A4 横置き5%連続印刷時。ただし、印刷ページ数は目安です。印刷の仕方により、印刷可能ページ数は異なります。間欠印刷（1回あたりの印刷ページ数が1～数ページ程度の少ない印刷）、用紙サイズ、用紙方向、厚紙印刷、印刷原稿および電源の頻繁な入切などにより印刷可能ページ数は少なくなります。そのため印刷可能ページ数は、お客様の使用条件、使用環境によっては半分以下になる場合があります。また、節電移行時間や節電移行時間（自動）、節電スケジュールの設定を変更すると、定着ユニットの寿命や消費電力に影響が出る場合があります。

ソフトウェア情報

プリンターが対応しているソフトウェアを紹介します。ソフトウェアはエプソンのウェブサイトからインストールできます。

印刷用ソフトウェア

コンピューターから印刷するためのソフトウェア（Windowsプリンタードライバー）

プリンタードライバーは、アプリケーションソフトの印刷指示に合わせてプリンターを制御するソフトウェアです。プリンタードライバーの画面で印刷設定すると、最適な印刷結果が得られます。また、ユーティリティーを使うとプリンターの状態を確認できます。

参考 プリンタードライバーの言語は変更できます。 [ユーティリティー] タブの [言語選択] から言語を選択してください。

アプリケーションソフトからの表示方法

使用中のアプリケーションソフトだけに設定を反映したいときは、アプリケーションソフトから表示します。

[ファイル] メニューの [印刷] または [印刷設定] を選択します。お使いのプリンターを選択して [詳細設定] または [プロパティ] をクリックします。

参考 アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

コントロールパネルからの表示方法

全てのアプリケーションソフトに設定を反映したいときは、コントロールパネルから表示します。

- Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックし、 [Windows システムツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押して [印刷設定] を選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押して [印刷設定] を選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックし、 [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックして、 [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして、 [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。

タスクバーのプリンターアイコンからの表示方法

デスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンは、プリンタードライバーに素早くアクセスするためのショートカットアイコンです。

プリンターアイコンをクリックして、 [プリンターのプロパティ] を選択すると、コントロールパネルから表示させたときと同様の印刷設定画面が表示されます。ダブルクリックすると、プリンターの状態を確認する画面が表示されます。

参考 タスクバーにプリンターアイコンが表示されないときは、プリンタードライバーの画面を表示させ、 [ユーティリティー] タブの [通知の設定] をクリックして、 [呼び出しアイコンをタスクバーに登録する] をチェックしてください。

ユーティリティーの起動方法

プリンタードライバーの画面を表示します。 [ユーティリティー] タブをクリックします。

関連情報

➔ [「プリンタードライバーのメニュー説明」36ページ](#)

Windowsプリンタードライバー画面の見方

EPSON ステータスモニタ

プリンターの状態を監視してエラーメッセージなどを表示できます。消耗品の状態、印刷の進行状況も確認できます。使用するには本ソフトウェアのインストールが必要です。

関連情報

➔ [「ソフトウェアを個別にインストールする」92ページ](#)

コンピューターから印刷するためのソフトウェア (Mac OSプリンタードライバー)

プリンタードライバーは、アプリケーションソフトの印刷指示に合わせてプリンターを制御するソフトウェアです。プリンタードライバーの画面で印刷設定すると、最適な印刷結果が得られます。また、ユーティリティーを使うとプリンターの状態を確認できます。

アプリケーションソフトからの表示方法

[ファイル] メニューの [ページ設定] または [プリント] をクリックします。必要に応じて [詳細を表示] (または ▼) をクリックして詳細設定画面を開きます。

参考 アプリケーションソフトによっては [ファイル] メニューに [ページ設定] がなかったり、印刷画面を開く手順が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

ユーティリティーの起動方法

アップルメニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン]、 [プリントとファクス]) の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。 [オプションとサプライ] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く] の順にクリックします。

関連情報

→ 「プリンタードライバーのメニュー説明」 63ページ

Mac OSプリンタードライバー画面の見方

Epson Printer Utility

EPSON ステータスマニタを起動して、プリンターの状態やエラーを確認できます。



Windowsに標準搭載されていない印刷方法で印刷するソフトウェア (EpsonNet Print)

TCP/IP上でネットワーク印刷するためのソフトウェアです。インストーラーからプリンタードライバーなどと共にインストールされます。ネットワーク印刷にはEpsonNet Printポートを作成します。以下のような機能や制限があります。

- スプーラー画面にプリンターのステータスが表示できます。
- DHCP機能によって変更されたIPアドレスを自動追従します。
- ルーターを越えた場所（別セグメント）のプリンターも使用できます。
- 印刷データの送信プロトコルが使い分けられます。
- IPv6アドレスには対応していません。

スマートデバイスから簡単に印刷するアプリ (Epson iPrint)

Epson iPrint（エプソン アイプリント）は、スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスから、写真やWebページ、文書などが印刷できるアプリケーションです。プリンターと同じ無線LANに接続したスマートデバイスから印刷するローカルプリントと、インターネット経由で外出先から印刷するリモートプリントがあります。リモートプリントを使うには、プリンターをEpson Connectサービスに登録してください。



Epson iPrintをインストールする

以下のURLまたはQRコードから、スマートデバイスにEpson iPrintをインストールできます。

<http://ipr.to/c>



Androidアプリから簡単に印刷するアプリ (Epson 印刷サービスプラグイン)

Epson 印刷サービスプラグイン（エプソン 印刷サービスプラグイン）は、文書やメール、写真、ウェブページなどを、Android 4.4以降のスマートデバイスからWi-Fiで印刷できるアプリケーションです。プリンターとデバイスが同じネットワークにつながっている場合は、このプラグインをインストールしておくと便利です。Google Playからエプソン 印刷サービスプラグインを検索してインストールしてください。

パッケージ作成用ソフトウェア

ドライバーのパッケージを一括作成するソフトウェア（EpsonNet SetupManager）

EpsonNet SetupManagerはネットワークプリンターのドライバーやEPSONステータスマニタのインストールから印刷ポートの設定までを自動で実行するパッケージを作成するソフトウェアです。環境の異なるドライバーのパッケージを一括して作成できるため、ドライバーの配布やインストール、設定など管理者が行う環境構築作業を大幅に軽減できます。

詳細はエプソンのウェブサイトをご覧ください。

www.epson.jp/support/

更新用ソフトウェア

ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア（Epson Software Updater）

Epson Software Updaterはインターネット上にある新しいソフトウェアのインストールやファームウェアを更新するソフトウェアです。定期的に更新情報を確認したい場合は、Epson Software Updaterの確認の間隔設定で更新を確認する間隔を設定できます。

 Windows Server OSは非対応です。

Windowsでの起動方法

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[EPSON Software] - [Epson Software Updater] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または[プログラム]） - [EPSON Software] - [Epson Software Updater] の順に選択します。

 Epson Software Updaterはデスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンをクリックして、[ソフトウェアアップデート]を選択しても起動できます。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Software Updater] の順に選択します。

関連情報

➔ [「ソフトウェアを個別にインストールする」92ページ](#)

設定メニュー一覧

操作パネルのホーム画面で [設定] を選択すると、プリンターのいろいろな設定ができます。

本体設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定]

基本設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [基本設定]

管理者によってロックされているメニューは、管理者以外は設定を変更できません。

画面の明るさ設定：

画面の明るさを調整します。 (初期値は [9])

音の設定：

音量を設定します。

- ミュート
有効にすると、[操作音]などの音を消音します。
- 通常時
[操作音]などの音量を選択します。

予熱モード：

- 予熱モード
有効にすると、プリンターは予熱モードとなり、消費電力は減ります。このモードでは、スリープモードまたはディープスリープモードの場合よりも早くレディー状態に戻りますが、より電力を使います。
- 予熱モード移行時間
[予熱モード]が有効な場合に、プリンターが予熱モードになるまでの時間を指定します。 [予熱モード移行時間] に指定された時間が [スリープ移行時間設定] の時間と同じか長い場合は、プリンターは予熱モードになりません。

スリープ移行時間設定：

プリンターが動作しない状態が続いたときに、自動でスリープ（省電力）モードに移行する時間を設定します。設定した時間が過ぎると画面が暗くなります。 (初期値は [5分])

日付/時刻設定：

- 日付/時刻
現在の日時を入力します。

- 時差
協定世界時 (UTC) との時差を設定します。

言語選択/Language :

画面に表示する言語を選択します。 (初期値は [日本語])

無操作タイマー設定 :

[オン] にすると、無操作状態が設定時間続いた場合にメッセージを表示して初期画面に戻ります。 (初期値は [オン])

関連情報

► [「文字入力の仕方」25ページ](#)

プリンター設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [プリンター設定]

管理者によってロックされているメニューは、管理者以外は設定を変更できません。

給紙装置設定 :

用紙設定 :

セットした印刷用紙のサイズと種類を設定します。 [用紙サイズの自動検知] を有効にすると、プリンターが自動的に、給紙装置にセットされた用紙サイズを判別します。 (初期値は各給紙装置とともに用紙サイズ [A4] 、用紙種類 [普通紙] 、用紙サイズの自動検知 [オン])

手差しトレイ優先 :

[オン] を選択すると、手差しトレイからの給紙を優先します。 (初期値は [オフ])

A4/Letter自動切替 :

有効にすると、A4サイズがないときにLetterサイズの給紙装置から給紙します。また、逆にLetterサイズがないときにA4サイズの給紙装置から給紙します。 (初期値は [オフ])

給紙口自動選択 :

印刷全般で使用する給紙装置を設定します。複数の給紙装置を有効にすると、印刷ジョブの用紙設定と同じ設定になっている給紙装置から自動的に給紙します。 (初期値は各給紙装置とともに [オン])

エラー音 :

[オン] にすると、印刷設定で指定したサイズや用紙種類と給紙した用紙設定が合致しないときに、エラー音とともにエラーメッセージを表示させます。 (初期値は用紙サイズエラー [オン] 、用紙種類エラー [オン])

設定画面自動表示 :

有効にすると、用紙カセットに用紙をセットしたときに [用紙設定] を表示します。（初期値は [オフ] ）この設定を無効にすると、iPhone、iPad、iPod touchからAirPrintを使った印刷ができません。

ユーザー定義サイズリスト :

ユーザー定義サイズの設定を変更できます。頻繁に使用する不定形の用紙サイズを設定しておくと便利です。

印刷言語 :

この機能はLP-S8180シリーズのみ対応です。

USBまたはネットワーク接続時の印刷言語を選択します。（初期値は [Auto] ）

外部機器(PC)印刷設定 :

外部機器からプリンタードライバーを経由せずに印刷したときの設定をします。印刷位置調整は、プリンタードライバーからの印刷でも有効にすることができます。

上印刷位置調整 :

用紙の上側の余白を設定します。（初期値は [0.0] ）

左印刷位置調整 :

用紙の左側の余白を設定します。（初期値は [0.0] ）

裏面上印刷位置調整 :

両面印刷するときの用紙裏側の上側の余白を設定します。（初期値は [0.0] ）

裏面左印刷位置調整 :

両面印刷するときの用紙裏側の左側の余白を設定します。（初期値は [0.0] ）

白紙節約モード :

印刷データ内の白紙ページを印刷しないことで、用紙を節約することができます。（初期値は [オフ] ）

モノクロに変換印刷 :

[オン] を選択すると、カラートナーがなくなったときに、モノクロに変換して印刷するかを確認するメッセージが表示されます。（初期値は [オン] ）

PDL印刷設定 :

この機能はLP-S8180シリーズのみ対応です。

印刷時の設定ができます。

共通設定 :

- 用紙サイズ
印刷時の用紙サイズを選択します。（初期値は [A4] ）
- 用紙種類
印刷時の用紙種類を選択します。（初期値は [普通紙] ）

- 用紙方向
印刷時の印刷方向を選択します。 (初期値は [縦])
- 印刷品質
印刷時の印刷品質を選択します。 (初期値は [標準])
- トナーセーブモード
[オン] を選択すると、印刷濃度を薄くしてトナーを節約します。 (初期値は [オフ])
- 印刷順序
正順印刷
1ページ目から印刷します。 (初期値は [正順印刷])
逆順印刷
最終ページから印刷します。
- コピー枚数設定
コピー枚数を選択します。 (初期値は [1])
- とじ位置
用紙のとじ位置を選択します。 (初期値は [左右開き])
- 自動排紙設定
[オン] を選択すると、途中で印刷が停止したページを自動で排紙します。 (初期値は [オフ])
- 両面印刷
[オン] を選択すると、用紙の表裏に印刷します。 (初期値は [オフ])
- 両面片面変換
奇数ページのジョブを両面印刷する際に、最終ページを片面印刷モードに変更して印刷するかどうかを指定します。最終ページを適切な面に印刷するためには [しない] を選択してください。
(初期値は [最終ページ(奇数)])
- 最終ページ(奇数): 1ページのジョブや、奇数ページのジョブの最終ページを片面印刷に変更します。
- 1ページのジョブ: 1ページのジョブに限り、片面印刷に変更します。
- しない: 全てのジョブの最終ページ(1ページのジョブまたは奇数ページのジョブを含む)が両面印刷モードで印刷されます。
- RIT
[オン] を選択すると、なめらかで鮮明なテキストやグラフィックスが生成されます。 (初期値は [オン])
- 印刷領域拡張
印刷するデータに合わせて、最大印刷領域を拡大します。
(初期値は [オフ])
- イメージ補正
[1] を選択すると、標準の方式でイメージデータを補正します。 (初期値は [1])
通常はこの設定で使用してください。
[2] は、ESC/Pageモードで、本機に対応していないドライバーを使用していて、複雑な図の印刷に問題があるときに選択してください。

自動エラー解除 :

両面印刷やメモリー不足のエラーが発生したときの動作を選択します。 (初期値は [オフ])

- オン

両面印刷でエラーが発生したときは、一定時間メッセージを表示してから自動で片面を印刷します。印刷中にプリンターのメモリー不足になったときは、メッセージを表示してからプリンターで処理できたところだけを印刷します。

- オフ
エラーメッセージを表示して印刷を中止します。

コンピューターのUSB接続：

【有効】にすると、USB接続されたコンピューターからのアクセスを許可します。【無効】にすると、ネットワークを経由しない印刷を禁止できます。（初期値は【有効】）

USB I/Fタイムアウト時間設定：

この機能はLP-S8180シリーズのみ対応です。

USB接続したコンピューターからPostScriptプリンタードライバーを経由した印刷で、ジョブを受信してからUSB接続を切断するまでの時間を指定します。PostScriptプリンタードライバーを経由したジョブは、データの終わりが不明瞭のため、送信が終了してもUSB接続が切断されないことがあります。そのため、指定した時間が経過した後に自動で通信を遮断してジョブを終了させます。0（ゼロ）に設定すると通信の切断は行いません。（初期値は【60秒】）

ネットワーク設定

操作パネルで以下の順に選択します。

【設定】 - 【本体設定】 - 【ネットワーク設定】

管理者によってロックされているメニューは、管理者以外は設定を変更できません。

無線LAN接続設定：

無線LANでプリンターをネットワークに接続します。接続方法を選択し、画面の指示に従って設定してください。

- ルーター
- Wi-Fi Direct

有線LAN接続設定：

LANケーブルでプリンターとハブを接続してネットワークに接続します。このとき、無線LAN接続は無効になります。

ネットワーク情報：

現在のネットワーク設定の内容を表示または印刷します。

- 有線・無線接続状態
- 有線接続状態
- Wi-Fi Direct接続状態
- ステータスシート印刷

接続診断：

プリンターのネットワーク接続状況を確認して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。接続に問題があるときは診断結果に従って対処してください。

詳細設定：

設定項目は次の通りです。

- デバイス名
- TCP/IP
- プロキシサーバー
- IPv6アドレス（初期値は【有効】）
- Link Speed & Duplex（初期値は【自動】）
- HTTPをHTTPSにリダイレクト（初期値は【有効】）
- IPsec/IPフィルタリングの無効化
- IEEE802.1Xの無効化
- iBeacon対応機器からの探索（初期値は【無効】）

関連情報

- ➔ 「プリンターにSSIDとパスワードを入力して設定する」 150ページ
- ➔ 「プッシュボタンで自動設定する（AOSS/WPS）」 151ページ
- ➔ 「PINコードで設定する（WPS）」 152ページ
- ➔ 「iPhone、iPad、iPod touchでWi-Fi Direct接続する」 153ページ
- ➔ 「AndroidデバイスでWi-Fi Direct接続する」 156ページ
- ➔ 「iOS、Android以外のデバイスとWi-Fi Direct接続する」 159ページ
- ➔ 「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」 163ページ
- ➔ 「ネットワーク接続状態の確認」 162ページ
- ➔ 「無線LAN接続から有線LAN接続に変更する」 147ページ

Webサービス設定

操作パネルで以下の順に選択します。

【設定】 - 【本体設定】 - 【Webサービス設定】

管理者によってロックされているメニューは、管理者以外は設定できません。

Epson Connect設定：

Epson Connectサービスへの登録状態を表示します。

【登録する】を選択すると表示される画面の指示に従って登録します。

登録すると以下の設定ができます。

- サービスの一時停止/再開
- 登録削除

詳細は、以下のサイトをご覧ください。

<https://www.epsonconnect.com/>

管理者用設定

システム管理者としてプリンターを管理するときに使用します。オフィスなどでプリンターを共有する際に、個人が使用できる機能を制限できます。

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [管理者用設定]

トナー消費本数のリセット：

この機能はLP-S8180シリーズのみ対応です。
トナー消費本数を初期化します。

セキュリティー設定：

以下の設定ができます。

本体メモリー内のジョブの全削除：

本体メモリー内のすべてのジョブを削除します。

管理者設定：

- 管理者パスワード
管理者パスワードの設定や変更、初期化します。
- 管理者ロック
操作パネルの設定を変更できないように [管理者パスワード] でロックします。 (初期値は [オフ])

パスワード暗号化：

有効にするとパスワードを暗号化します。再起動中に電源を切るとパスワードのデータが破損してプリンターの設定が初期化されるおそれがあります。その場合はパスワード情報を再設定してください。 (初期値は [オフ])

監査ログ：

有効にすると監査ログを保存します。 (初期値は [オフ])

起動時のプログラム検証：

有効にすると起動時にプリンターのプログラムを検証します。 (初期値は [オフ])

本体寿命の警告：

有効にすると、本体寿命が近づいているときにメッセージを表示します。 (初期値は [オン])

お客様利用情報：

[許可] を選択すると印刷枚数など製品の利用情報をセイコーエプソン株式会社に提供します。 (初期値は [拒否])

プリンター調整機能：

プリンターで特殊な設定ができます。詳しくは関連情報をご覧ください。

初期設定に戻す：

以下のメニューの設定値を初期値に戻します。

- ネットワーク設定
- ネットワーク設定以外
- 全ての設定

ファームウェアのアップデート：

プリンターのファームウェア情報を確認できます。

アップデート：

ネットワーク上に最新のファームウェアがあるか確認します。ファームウェアのアップデートが可能なときは、アップデートをするかどうか選択できます。

定期通知設定：

有効にすると、最新のファームウェアがあるかどうか定期的に確認してお知らせします。

プリンターモニタリングサービス設定：

有効にすると、[本体情報を送信] ボタンがホーム画面に表示され、本体情報をエプソンに送信できるようになります。（初期値は [オフ]）

[印刷ページ数の確認] メニュー

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [印刷ページ数の確認]

プリンター購入時からのステータスシートなどを含む総印刷ページ数、モノクロ印刷ページ数、カラー印刷ページ数を表示します。

[交換品情報] メニュー

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [交換品情報]

消耗品や交換部品の状態や型番を確認できます。

言語選択/Language

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [言語選択/Language]

画面に表示する言語を選択します。（初期値は [日本語]）

情報確認/印刷

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [情報確認/印刷]

本体ステータスシートの印刷 :

プリンター情報シート :

プリンターの状態や設定を印刷します。

消耗品情報シート :

消耗品の情報を印刷します。

使用履歴シート :

プリンターの使用履歴を印刷します。

ネットワーク :

現在のネットワーク設定の内容を表示します。またステータスシートを印刷することもできます。

[認証装置ステータス] メニュー

この機能はLP-S8180シリーズのみ対応です。

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [認証装置ステータス]

認証装置の状態を表示します。（初期値は [非接続] ）

[Epson Open Platform情報] メニュー

この機能はLP-S8180シリーズのみ対応です。

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [Epson Open Platform情報]

Epson Open Platformの情報を表示します。

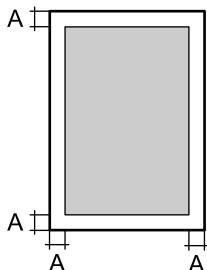
製品仕様

以下は2020年6月現在の情報です。

プリンター機能

モデル	LP-S8180	LP-S7180
形式	デスクトップ型カラーページプリンター	

モデル		LP-S8180	LP-S7180	
プリント方式		半導体レーザービーム走査+乾式二成分電子写真方式		
解像度		600×600 dpi, 1200×1200dpi		
プリント速度 ^{*1} (カラー/ モノクロ)	A4横片面印刷	35ページ/分	30ページ/分	
ファーストプリント時間 ^{*2}	カラー	9.1秒以下	9.9秒以下	
	モノクロ	7.9秒以下	8.3秒以下	
ウォームアップ時間	電源投入から	13秒以下	12秒以下	
	節電状態から	13秒以下	12秒以下	
自動両面印刷機能		標準		
ブザー機能		搭載		
コントロールコード体系	標準	ESC/PageS Printing system、 ESC/Page、ESC/Page-Color	ESC/PageS Printing system	
	PS3対応ROM装着時	PostScript3対応、PDF1.7	-	
文字コード		文字コードJIS90 (JIS X0208:1990) 準拠	-	
Scalable Font	標準	日本語2書体、欧文16書体	-	
	PS3対応ROM装着時	日本語2書体、欧文80書体	-	
Bitmap Font		欧文4書体、OCR/バーコード6書体	-	
RAM		3 GB		
対応プロトコル		TCP/IPv4, TCP/IPv6		
動作音 ^{*3} (本体のみ)	音圧 レベル	印刷時	53dB	
		レディー時	25dB	
	音響 パワー レベル	印刷時	7.13B	
		レディー時	5.3B	
エネルギー消費効率 (区分: プリンターA) ^{*4}		81kWh/年	70kWh/年	

モデル	LP-S8180	LP-S7180
印刷可能領域 *5	各辺の端から5mmを除く領域	
	 A : 5 mm	
耐久性 (製品寿命)	900,000 ページ*6または5年のいずれか早い方	600,000 ページ*6または5年のいずれか早い方

*1：印刷中に良好な画質を得るために画像調整を自動的に行うことがあります。また用紙サイズによっては、定着ユニットの安定性保持のために、印刷を一時停止することがあります。

*2：プリンター動作が始まってから1枚目の用紙が完全に排出されるまでの時間

*3：動作音が気になる場合は、違う場所に設置することをお勧めします。

*4：省エネ法（平成25年3月1日付）で定められたプリンターの測定方法による数値

*5：プリンタードライバーの設定やプリンター制御コードによって印刷できる領域が上記より小さくなることもあります。

*6：定期交換部品（メンテナンスユニット）の交換が必要

省資源機能

両面や割り付け、縮小などの印刷で、用紙の使用枚数が節約できます。

プリンターが使用するポート

プリンターは以下のポートを使用します。必要に応じてあらかじめネットワーク管理者にポート使用を許可してもらいます。

送信元（クライアント）がプリンターの場合

用途	送信先(サーバー)	プロトコル	ポート番号
メール送信（プリンター本体のメール通知機能利用時）	SMTPサーバー	SMTP (TCP)	25
		SMTP SSL/TLS (TCP)	465
		SMTP STARTTLS (TCP)	587
POP before SMTP接続（プリンター本体のメール通知機能利用時）	POPサーバー	POP3 (TCP)	110

用途	送信先(サーバー)	プロトコル	ポート番号
Epson Connectを利用した機能の利用	Epson Connectサーバー	HTTPS	443
		XMPP	5222
WSDの制御	クライアントコンピューター	WSD (TCP)	5357

送信元（クライアント）がクライアントコンピューターの場合

用途	送信先(サーバー)	プロトコル	ポート番号
ファイル送信（プリンター本体のFTP印刷利用時）	プリンター	FTP (TCP)	20
			21
EpsonNet Configなどのアプリケーションソフト、プリンタードライバーからのプリンター探索	プリンター	ENPC (UDP)	3289
EpsonNet Configなどのアプリケーションソフト、エプソンのプリンタードライバーからのプリンターMIB情報の取得と設定	プリンター	SNMP (UDP)	161
LPRデータの転送	プリンター	LPR (TCP)	515
RAWデータの転送	プリンター	RAW (Port9100) (TCP)	9100
AirPrint (IPP/IPPS印刷) のデータの転送	プリンター	IPP/IPPS (TCP)	631
WSDのプリンター探索	プリンター	WS-Discovery (UDP)	3702
Web Config	プリンター	HTTP(TCP)	80
		HTTPS(TCP)	443

インターフェイスの仕様

コンピューター接続用	SuperSpeed USB
------------	----------------

ネットワークの仕様

無線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.11a/b/g/n ^{＊1} /ac
------	-------------------------------------

周波数帯	IEEE802.11b/g/n : 2.4 GHz、 IEEE802.11a/n/ac : 5 GHz		
チャンネル	Wi-Fi	2.4 GHz	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13
		5 GHz	W52 (36/40/44/48) *2、 W53 (52/56/60/64) *2、 W56 (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140)
	Wi-Fi Direct	2.4 GHz	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13
		5 GHz	W52 (36/40/44/48) *2
接続モード	インフラストラクチャー、 Wi-Fi Direct (シンプル AP) *3*4		
無線セキュリティ*5	WEP (64/128bit)、 WPA2-PSK (AES) *6、 WPA3-SAE (AES)、 WPA2/WPA3-Enterprise		

*1 : IEEE802.11n (2.4GHz) はHT20のみ対応

*2 : 屋外使用不可

*3 : IEEE802.11bは非対応

*4 : シンプルAPモードは、無線LAN（インフラストラクチャー）または有線LANとの併用可能

*5 : Wi-Fi DirectはWPA2-PSK (AES) のみ対応

*6 : WPA2規格に準拠し、WPA/WPA2 Personal規格に対応

有線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.3i (10BASE-T) *1 IEEE802.3u (100BASE-TX) IEEE802.3ab (1000BASE-T) *1 IEEE802.3az (Energy Efficient Ethernet) *2
通信モード	Auto、 10 Mbps Full duplex、 10 Mbps Half duplex、 100 Mbps Full duplex、 100 Mbps Half duplex
コネクター	RJ-45

*1 : 社団法人 VCCI 協会の技術基準への適合および電磁障害のリスク低減のため、カテゴリー 5e 以上の STP (シールドツイストペア) ケーブルを使用すること

*2 : IEEE802.3azに対応した接続機器が必要

ネットワーク機能とIPv4/IPv6対応

機能		対応	備考
ネットワーク印刷機能	EpsonNet Print (Windows)	IPv4	○ -
	Standard TCP/IP (Windows)	IPv4、IPv6	○ -
	WSD印刷 (Windows)	IPv4、IPv6	○ Windows Vista以降
	Bonjour印刷 (Mac OS)	IPv4、IPv6	○ -
	IPP印刷 (Windows、Mac OS)	IPv4、IPv6	○ -
	PictBridge印刷 (無線LAN)	IPv4	- デジタルカメラ
	Epson Connect (メールプリント、リモートプリント)	IPv4	○ -
	AirPrint (iOS、Mac OS)	IPv4、IPv6	○ iOS 5以降、Mac OS X v10.7以降
ネットワークスキャン機能	Epson Scan 2	IPv4、IPv6	- -
	Event Manager	IPv4	- -
	Epson Connect (スキャン to クラウド機能/スキャンしてクラウドへ)	IPv4	- -
	AirPrint (スキャン機能)	IPv4、IPv6	- -
ファクス機能	PC送信	IPv4	- -
	PC受信	IPv4	- -
	AirPrint (ファクス機能)	IPv4、IPv6	- -

セキュリティーのプロトコル

IEEE802.1X*	
IPsec/IPフィルタリング	
SSL/TLS	HTTPS (サーバー/クライアント)
	IPPS
SMTS (STARTTLS、SSL/TLS)	

SNMPv3

* : IEEE802.1Xに対応した接続機器が必要

対応している他社サービス

AirPrint	iOS 5以降、Mac OS X v10.7.x以降
----------	----------------------------

外形寸法と質量の仕様

外形寸法 ^{*1}	<ul style="list-style-type: none"> 幅 : 555 mm 奥行き : 538 mm 高さ : 453 mm
質量 ^{*2}	約 45.9 kg

*1: 手差しトレイは閉じた状態。凸部含む。カセットはA4用に収縮した状態。

*2: 消耗品を含む

電気的仕様

モデル	LP-S8180	LP-S7180
定格電圧	AC 100 V	AC 100 V
定格周波数	50/60 Hz	50/60 Hz
定格最大電流	15.0 A	15.0 A
消費電力（本体のみ）	印刷時（カラー）：約555 W 印刷時（モノクロ）：約449 W 予熱モード時：約39 W レディー時：約62 W スリープモード時：約0.72 W 電源オフ時：約0 W 最大消費電力：約1140 W	印刷時（カラー）：約479 W 印刷時（モノクロ）：約357 W 予熱モード時：約42 W レディー時：約61 W スリープモード時：約0.64 W 電源オフ時：約0 W 最大消費電力：約1120 W

動作時と保管時の環境仕様

動作時	温度：5～32°C 湿度：15～85%（非結露） 高度（気圧）*：0～3100 m
-----	---

収納時	温度：0～35°C 湿度：15～80% (非結露) 高度（気圧）*：0～3100 m (空輸の場合は0～15000 m)
-----	---

*： 標高が高いところで使用する場合はプリンター調整機能 - 高地設定で標高に応じて設定を調整してください。プリンター調整機能については関連情報をご確認ください。

関連情報

→ 「プリンター調整機能」241ページ

設置場所と設置スペース

以下の条件を満たす場所に設置してお使いください。

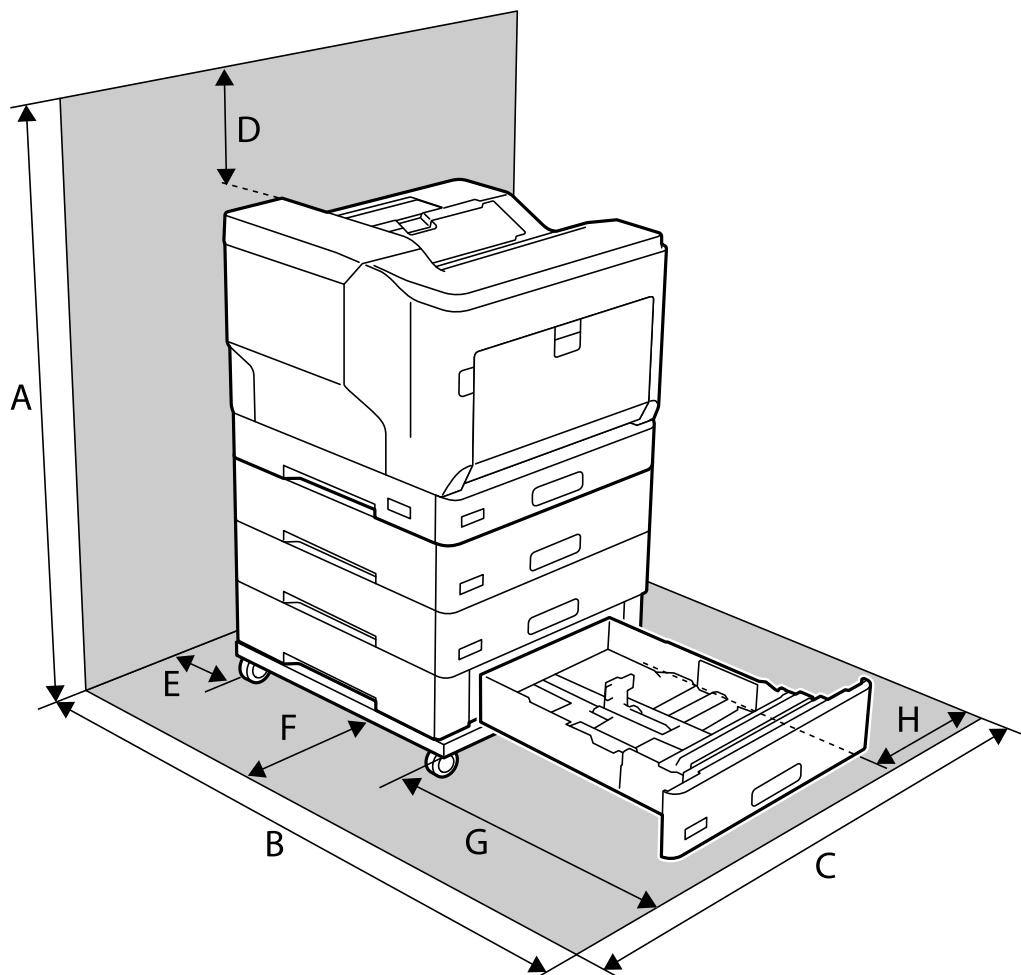
- ・ 本製品の質量に十分耐えられる、水平で安定した場所
- ・ 風通しのよい場所
- ・ 本製品の通気口を塞がない場所
- ・ 専用の電源コンセントが確保できる場所
- ・ 用紙のセットや印刷した用紙の取り出しが無理なく行える場所
- ・ 本書『動作時と保管時の環境仕様』を満たす場所

！重要 以下のような場所には設置しないでください。動作不良や故障の原因になります。

- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 温度変化の激しい場所
- ・ 火気のある場所
- ・ 振動性物質のある場所
- ・ 振動の多い場所
- ・ テレビ・ラジオに近い場所
- ・ ホコリや塵の多い場所
- ・ 湿度変化の激しい場所
- ・ 水に濡れやすい場所
- ・ 冷暖房器具に近い場所
- ・ 加湿器に近い場所

静電気の発生しやすい場所では、市販の静電防止マットなどを使用して静電気の発生を防いでください。

また、本製品をお使いいただくために必要なスペースを確保してください。



A*	1290mm
B	1470mm
C	760mm
D	330mm
E	150mm
F	100mm
G	590mm
H	100mm

* : 増設カセットユニットを3段装着した場合

関連情報

→ 「動作時と保管時の環境仕様」 238ページ

対応OS

最新のOS対応状況はエプソンのウェブサイトをご覧ください。

www.epson.jp/support/taiou/os/

- Windows

Windows Vista、Windows 7、Windows 8/8.1、Windows 10以降 (32-bit、64-bit)

Windows XP SP3 (32-bit)

Windows XP Professional x64 Edition SP2

Windows Server 2003 (SP2) 以降

- Mac OS

Mac OS X v10.6.8 以降



- Mac OSでは一部のアプリケーションソフトや機能が対応していないことがあります。
- Mac OS のUNIXファイルシステム (UFS形式) には非対応です。

プリンター調整機能

プリンターの操作パネルで特殊操作の設定ができます。通常はプリンター調整メニューは変更する必要はありません。設定を変更すると、消耗品や定期交換部品の寿命に影響することがあります。

プリンターの操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [管理者用設定] - [プリンター調整機能]

用紙種類の調整 :

普通紙

普通紙の印刷品質を調整します。

- 0 : 普通紙1 (初期値)
- 1 : 普通紙2
- 2 : 再生紙
- 3 : 上質紙

ラベル

ラベル紙の印刷品質を調整します。

- 0 : ラベル1 (初期値)
- 1 : ラベル2

コート紙

コート紙の印刷品質を調整します。

- 0 : コート紙1 (初期値)
- 1 : コート紙2 (この設定では両面印刷できません。)
- 2 : コート紙3 (この設定では両面印刷できません。)

ユーザー専用紙

ユーザー専用紙の印刷品質を調整します。

- 0 : 普通紙1 (初期値)
- 1 : 普通紙2
- 2 : ラベル1 (この設定では両面印刷できません。)
- 3 : ラベル2 (この設定では両面印刷できません。)

プリンターオフセット :

先端オフセット

印刷開始位置の縦位置を調整します。あらかじめ給紙口毎オフセットの先端オフセットを調整してください。設定値が大きいほど、印刷の開始位置が下に移動します。この設定は、片面印刷の全ページと両面印刷での裏面ページに対して有効です。

-3.5mm ~ 3.5mm (初期値は [0.0mm])

サイドオフセット

印刷開始位置の横位置を調整します。あらかじめ給紙口毎オフセットのサイドオフセットを調整してください。設定値が大きいほど、印刷の開始位置が右に移動します。この設定は、片面印刷の全ページと両面印刷での裏面ページに対して有効です。

-3.5mm ~ 3.5mm (初期値は [0.0mm])

先端オフセット 2面目

印刷開始位置の縦位置を調整します。あらかじめ給紙口毎オフセットの先端オフセット 2面目を調整してください。設定値が大きいほど、印刷の開始位置が下に移動します。この設定は、両面印刷でのおもて面ページに対して有効です。

-3.5mm ~ 3.5mm (初期値は [0.0mm])

サイドオフセット 2面目

印刷開始位置の横位置を調整します。あらかじめ給紙口毎オフセットのサイドオフセット 2面目を調整してください。設定値が大きいほど、印刷の開始位置が右に移動します。この設定は、両面印刷でのおもて面ページに対して有効です。

-3.5mm ~ 3.5mm (初期値は [0.0mm])

給紙口毎オフセット :

給紙装置ごとに印刷開始の位置を調整します。

先端オフセット

印刷開始位置の縦位置を調整します。設定値が大きいほど、印刷の開始位置が下に移動します。この設定は、片面印刷の全ページと両面印刷での裏面ページに対して有効です。

-3.5mm ~ 3.5mm (初期値は [0.0mm])

サイドオフセット

印刷開始位置の横位置を調整します。設定値が大きいほど、印刷の開始位置が右に移動します。この設定は、片面印刷の全ページと両面印刷での裏面ページに対して有効です。

-3.5mm ~ 3.5mm (初期値は [0.0mm])

先端オフセット 2面目

印刷開始位置の縦位置を調整します。設定値が大きいほど、印刷の開始位置が下に移動します。この設定は、両面印刷でのおもて面ページに対して有効です。
-3.5mm ~ 3.5mm (初期値は [0.0mm])

サイドオフセット 2面目

印刷開始位置の横位置を調整します。設定値が大きいほど、印刷の開始位置が右に移動します。この設定は、両面印刷でのおもて面ページに対して有効です。
-3.5mm ~ 3.5mm (初期値は [0.0mm])

二次転写電圧調整 :

用紙種類によって、印刷濃度や画質の粒度を調整します。設定値 (1 ~ 16) が大きいほど、濃く印刷されます。 (初期値は [6])

定着温度調整 :

用紙種類によって、定着温度を調整します。設定値 (-6 ~ 6) が大きいほど定着温度は高くなります。定着温度を高くするほど、出力紙のカールが大きくなる場合があります。 (初期値は [0])

高地設定 :

プリンターを標高の高い場所で使用すると、印刷面に汚れが出たり、印刷がかすれたりすることがあります。標高に応じて設定してください。
0 (低い) ~ 6 (高い) (初期値は [0])

ROS露光点補正 :

ROS 露光装置の露光点を補正します。操作パネルの「プリンター調整中」の表示が消えるまで、プリンターの電源を切らないでください。

ノイズレベル :

画像の階調性を調整します。設定値が大きいほど階調性は向上しますが、粒状性は低下します。
0 ~ 7 (初期値は [3])

カラー診断シート :

用紙全体をカラーのグラデーションで印刷するColor Diagnosis Sheetを印刷します。印刷面の色落ちや汚れが確認できます。

パターン印刷 :

濃度ムラなどの状態を確認するためのパターンを印刷します。

スクリーン 25%

濃度25% のハーフトーンパターンを印刷

スクリーン 50%

濃度50% のハーフトーンパターンを印刷

スクリーン 100%

濃度100% のハーフトーンパターンを印刷

カラーレジ補正：

カラー印刷時の色ズレをなくすように調整します。エラーが発生していない状態で実行してください。

フォントの仕様

次のフォントがウェブで配布されています。

- Epsonバーコードフォント
- Epson TrueTypeフォント
- OCR-B TrueTypeフォント

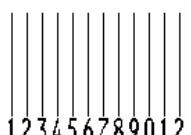
Epsonバーコードフォント

データキャラクター（バーコードに登録する文字列）を入力するだけで、簡単にバーコードシンボルを作成できるフォントです。通常必要な、データキャラクター以外のコードやマージン、OCR-Bフォント（バーコード下部の文字）などの入力が不要です。

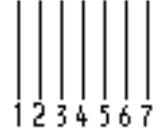
各バーコードの規格の詳細は、仕様書や市販の解説書などを参照してください。

JAN（標準バージョン）

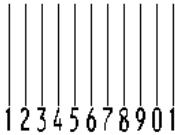
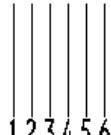
フォント名	EPSON JAN-13	EPSON JAN-13 Short
OCR-B	あり	
チェックデジット	あり	
キャラクター種類	数字（0～9）	
桁数	12	
入力可能サイズ	60～96 pt	36～90 pt
読み取り保証サイズ	60 pt、75 pt（標準）	36 pt、45 pt（標準）、67.5 pt、90 pt
自動設定される情報 (入力不要)	<ul style="list-style-type: none"> • レフト/ライトマージン • レフト/ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • センターバー 	

例	入力	123456789012	
	画面表示		123456789012
	印刷		
備考		JIS X 0501	<ul style="list-style-type: none"> JAN-13 のバーの高さを低くしたもの 日本国内でのみ使用可能

JAN (短縮バージョン)

フォント名	EPSON JAN-8	
OCR-B	あり	
チェックデジット	あり	
キャラクター種類	数字 (0~9)	
桁数	7	
入力可能サイズ	52~96 pt	36~90 pt
読み取り保証サイズ	52 pt、65 pt (標準)	36 pt、45 pt (標準)、67.5 pt、90 pt
自動設定される情報 (入力不要)	<ul style="list-style-type: none"> レフト/ライトマージン レフト/ライトガードバー チェックデジット OCR-B センターバー 	
例	入力	1234567
	画面表示	
	印刷	
備考		<ul style="list-style-type: none"> JAN-8 のバー高さを低くしたもの 日本国内でのみ使用可能

UPC

フォント名	EPSON UPC-A		EPSON UPC-E
OCR-B	あり		
チェックデジット	あり		
キャラクター種類	数字 (0~9)		
桁数	11		6
入力可能サイズ	60~96 pt		
入力可能サイズ	60 pt、75 pt (標準)		
自動設定される情報 (入力不要)	<ul style="list-style-type: none"> ・レフト/ライトマージン ・レフト/ライトガードバー ・チェックデジット ・OCR-B ・センターバー 		<ul style="list-style-type: none"> ・レフト/ライトマージン ・レフト/ライトガードバー ・チェックデジット ・OCR-B ・ナンバーシステムの「0」
例	入力	12345678901	123456
	画面表示		
	印刷		
備考	Regular タイプ。補足コードはサポートしていません。		Zero Suppression タイプ (余分な0を削除)

Code39

フォント名	EPSON Code39	EPSON Code39 CD	EPSON Code39 Num	EPSON Code39 CD Num
OCR-B	なし		あり	
チェックデジット	なし	あり	なし	あり
キャラクター種類	英数字 (A~Z, 0~9)、記号 (- . , \$ / + %)			
桁数	制限なし			
入力可能サイズ	26~96 pt		36~90 pt	
読み取り保証サイズ	26 pt、52 pt、78 pt		36 pt、72 pt	

自動設定される情報 (入力不要)		<ul style="list-style-type: none"> 左/右クワイエットゾーン スタート/ストップキャラクター チェックデジット 			
例	入力	1234567			
	画面表示	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7
	印刷				
備考		<ul style="list-style-type: none"> JIS X 0503 スペースを表すバーコードを入力したいときは、「_」(アンダーライン)を入力してください。 			

Code128

フォント名	EPSON Code128		
OCR-B	なし		
チェックデジット	あり		
キャラクター種類	全てのASCII文字(95文字)		
桁数	制限なし		
入力可能サイズ	26~96 pt		
読み取り保証サイズ	26 pt、52 pt、78 pt		
自動設定される情報 (入力不要)	<ul style="list-style-type: none"> 左/右クワイエットゾーン スタート/ストップキャラクター コードセットの変更キャラクター チェックデジット 		
例	入力	1234567	
	画面表示	1 2 3 4 5 6 7	
	印刷		
備考		<ul style="list-style-type: none"> JIS X 0504 コードセットA、B、Cをサポートしています。入力するキャラクターのコードセットが途中で変わったときに、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。 	

Interleaved 2 of 5

フォント名	EPSON ITF	EPSON ITF CD	EPSON ITF Num	EPSON ITF CD Num		
OCR-B	なし	あり				
チェックデジット	なし	あり	なし	あり		
キャラクター種類	数字 (0~9)					
桁数	制限なし					
入力可能サイズ	26~96 pt		36~96 pt			
読み取り保証サイズ	26 pt、52 pt、78 pt		36 pt、72 pt			
自動設定される情報 (入力不要)	<ul style="list-style-type: none"> ・左/右クワイエットゾーン ・スタート/ストップキャラクター ・チェックデジット ・文字列先頭の「0」(合計文字数が偶数でない場合のみ) 					
例	入力	1234567				
	画面表示					
	印刷					
備考	キャラクターを2個一組で扱います。キャラクターの合計数が奇数個の場合、Epson バーコードフォントは自動的にキャラクターの先頭に0を追加して偶数個になるようにします。					

NW-7

フォント名	EPSON NW-7	EPSON NW-7 CD	EPSON NW-7 Num	EPSON NW-7 CD Num
OCR-B	なし	あり		
チェックデジット	なし	あり	なし	あり
キャラクター種類	数字 (0~9)、記号 (- \$: / . +)			
桁数	制限なし			
入力可能サイズ	26~96 pt		36~96 pt	
読み取り保証サイズ	26 pt、52 pt、78 pt		36 pt、72 pt	
自動設定される情報 (入力不要)	<ul style="list-style-type: none"> ・左/右クワイエットゾーン ・スタート/ストップキャラクター(入力しない場合) ・チェックデジット 			

例	入力	1234567			
	画面表示	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7
	印刷				
備考		<ul style="list-style-type: none"> JIS X 0503 スタート/ストップキャラクターのどちらかを入力すると、もう一方も同じになるように自動的挿入されます。スタート/ストップキャラクターを入力しない場合は、両方に自動的に「A」が自動挿入されます。 			

郵便番号（カスタマーバーコード）

フォント名	EPSON J-Postal Code		
OCR-B	なし		
チェックデジット	あり		
キャラクター種類	数字（0~9）、英文字（A~Z）、記号（-）		
桁数	制限なし		
入力可能サイズ	8~11.5 pt		
読み取り保証サイズ	8 pt、9 pt、10 pt、11.5 pt		
自動設定される情報 (入力不要)	<ul style="list-style-type: none"> バーコードの上下左右2 mm の空白 入力時の-（ハイフン）の削除 スタート/ストップコード 住所表示番号の13桁調整 チェックデジット 		
例	入力	123-4567	
	画面表示	1 2 3 - 4 5 6 7	
	印刷		
備考		<ul style="list-style-type: none"> 郵便番号（3桁）-郵便番号（4桁）-住所表示番号（バーコードに変換後13桁まで）を入力します。住所表示番号は入力時の桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後13桁を超える部分は省略されます。また、住所表示番号が13桁に満たないときは、13桁になるように末尾にコードが挿入されます。 印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。 	

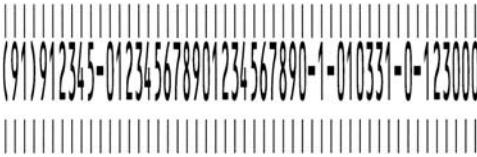
GS1-128 (EAN-128)

フォント名	EPSON EAN128		
OCR-B	あり		

チェックデジット	あり
キャラクター種類	数字（0～9）、英文字（A～Z） 括弧（ ）は、アプリケーション識別子(AI)を識別するためのみ使用します。英文字は大文字のみサポートしますが、入力は小文字で行います。
桁数	アプリケーション識別子(AI)により桁数が異なります。 01: GTIN (グローバルトレードアイテムナンバー) 4桁「(01)」+13桁（数字） 17: パッチ/ロットナンバー 4桁「(17)」+6桁（数字） 10: 保証期限日 4桁「(10)」+最大20桁（英数字） 30: 数量 4桁「(30)」+最大8桁（数字）
入力可能サイズ	36 pt 以上
読み取り保証サイズ	36 pt、72 pt
自動設定される情報 (入力不要)	・左／右クワイエットゾーン ・スタート／ストップキャラクター ・FNC1 キャラクター (Code128との識別、および可変長アプリケーション識別子用データの区切りのため) ・コードセットの変更キャラクター ・チェックデジット
例	入力 (01)1491234567890(17)990101(30)12(10)abc
	画面表示
	印刷
備考	コードセットA、B、Cをサポートしています。入力するキャラクターのコードセットが途中で変わったときは、自動的にコードセットの変換コードが挿入されます。

標準料金代理収納

フォント名	EPSON EAN128_AI91
OCR-B	あり
チェックデジット	あり
キャラクター種類	数字（0～9）、記号（-） 括弧（ ）は、アプリケーション識別子(AI)を識別するためのみ使用します。 ハイフンは、入力する数字間のセパレーターとして使用します。
桁数	4桁「(91)」+46桁（数字間の「-」を含む）
入力可能サイズ	48 pt 以上
読み取り保証サイズ	48 pt

自動設定される情報 (入力不要)		<ul style="list-style-type: none"> 左/右クワイエットゾーン スタート/ストップキャラクター FNC1 キャラクター (Code128との識別のために挿入します。) チェックデジット
例	入力	(91)912345-012345678901234567890-1-010331-0-123000
	画面表示	
	印刷	
備考		コンビニエンスストアなどで扱う請求書用シンボル

バーコード作成時と印刷時のご注意

作成時は以下に注意してください。

- 文字の装飾（ボールド/ イタリック/ アンダーラインなど）、網掛けはしないでください。
- 背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- 文字の回転は、90度、180度、270度以外は指定しないでください。
- 文字間隔は変更しないでください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大/縮小しないでください。
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。

例) 文字間隔の自動調整

行末に存在するスペース削除

連続する複数個のスペースをタブなどに変換

記号の変換

- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクターを自動的に追加するため、バーコードの長さが入力時よりも長くなることがあります。バーコードと周囲の文字が重ならないように注意してください。
- 一行に2つ以上のバーコードを入力するときは、バーコード間をタブで区切ってください。スペースで区切るときは、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。バーコードフォントでスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となってしまいます。
- 入力したキャラクターの桁数が大きい場合、バーコードの高さを、全長の15%以上になるように自動的に調整します。バーコードの周囲に文字が入っているときは、バーコードと重ならないように間隔を空けてください。
(Code39/Code128/Interleaved 2 of 5/NW-7/GS1-128、標準料金代理収納)
- アプリケーションソフトで、改行を示すマークの表示/非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定にしておくことをお勧めします。

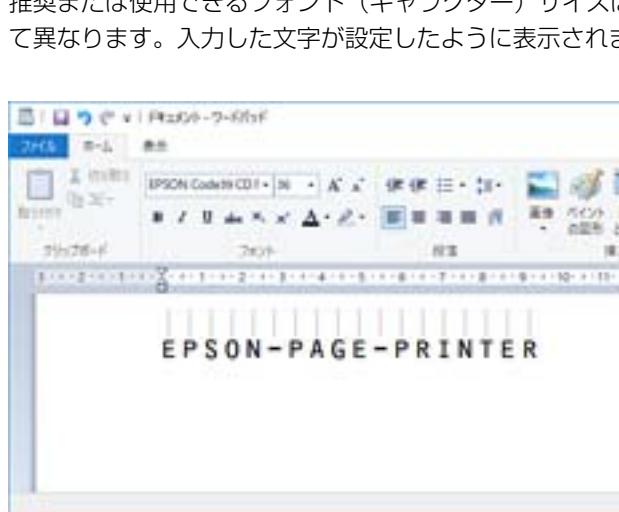
印刷時は以下に注意してください。

- トナーの濃度や紙質あるいは、お使いのアプリケーションソフトによっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れないことがあります。お使いの読み取り機で認識テストをしてからご利用いただくことをお勧めします。
- Epson バーコードフォントは、本機に付属しているプリンタードライバーでのみ印刷可能です。
- プリンタードライバーの設定は、[グレースケール]、[印刷設定] を [きれい] に設定してください。

バーコードの作成と印刷の手順

ここではWindows 10のワードパッドを例にEpsonバーコードフォントの作成と印刷の手順を説明します。

- ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字を全て半角（1Byte）で入力します。
- 入力した文字を選択します。
選択した範囲が反転表示になります。
- [ホーム] タブの [フォント] グループで、印刷したいEpson バーコードフォントを選択します。
- フォントサイズを変更します。



- 印刷を実行します。

入力したデータがバーコードとして印刷されます。

参考 入力したデータが不適当な場合などプリンタードライバーがエラーと判断すると、画面表示と同様のフォントが表示されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

Epson TrueType フォント

フォント名	印刷例
EPSON 行書体M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 教科書体M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 正楷書体M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 丸ゴシック体M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太角ゴシック体B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太明朝体B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太行書体B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太丸ゴシック体B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント

OCR-B TrueType フォント

OCR-Bは、光学文字認識に用いる目的で開発され、JISX9001に規定された書体の名称です。

フォント名	印刷例
OCR-B	1234567890

OCR-Bフォントセットには、OCR-Bの規格外の文字も含まれています。

読み取り用に使用するときは、事前に読み取り機で読み取れることを確認してください。トナー状況や用紙の種類によって読み取れないことがあります。OCR-Bフォントの保証サイズは12ポイントです。

規格と規制

電源高調波

この装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2に適合しています。

電波障害自主規制

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

著作権

写真、書籍、地図、図面、絵画、版画、音楽、映画、プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）刑法第148条、第149条、第162条 通貨及証券模造取締法第1条、第2条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

オゾン

ページプリンターの印刷原理上、印刷処理中には微量のオゾンが発生します（排気風にオゾン臭を感じることがあります）。印刷中に本機が発生するオゾンは微量であり、通常の作業環境における安全許容値（3.0mg/h）を上回ることはありません。ただし、オゾン濃度はプリンターの設置環境によって変わるため、下記のような条件での使用は避けてください。

- 製品の環境条件外での使用

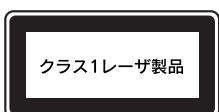
- 狹い部屋での複数ページプリンターの使用
- 換気が悪い場所での使用
- 上記条件下での長時間連続稼働
- 長時間印刷時や大量印刷時には、換気をするようにしてください。

揮発性物質の放散

本製品はエコマークの環境ラベルに定められた揮発性物質の放散基準を満たしています。ただし、使い始めなどに臭いが気になるときは換気してお使いください。

レーザー製品の表示

本プリンターは、レーザーの国際規格 IEC60825-1で定められた、クラス1レーザー製品です。識別のため、「クラス1レーザー製品」と書かれたラベルを製品に貼付しています。通常使用時には、レーザーは内部にありお客様が被ばくすることはありません。



内部のレーザー放射ユニット

本プリンターの内部には、レーザー国際規格IEC60825-1で定められた、クラス3B のレーザーダイオードを内蔵していますが、プリントヘッドのレーザー開口部においてはクラス1レベルに制御されています。レーザー放射ユニットは、内部の見えない場所にあります。指示以外の分解行為は行わないでください。指示以外の手順による制御や調整は危険なレーザー放射の被ばくをもたらすおそれがあります。

管理者向け情報

管理者向けソフトウェア情報	257
プリンターをネットワークに接続する	259
プリンターを使うための設定	264
プリンターの管理	279
高度なセキュリティー設定	291

管理者向けソフトウェア情報

設定または管理用のソフトウェアについて説明します。

ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア (Web Config)

Web Config (ウェブ コンフィグ) は、コンピューターやスマートデバイスなどの機器からInternet ExplorerやSafariなどのWebブラウザー上で起動できるソフトウェアです。プリンターの状態の確認やネットワークサービスの設定、プリンターの設定変更などができます。Web Configを使うには、プリンターと機器を同じネットワークに接続してください。

以下のブラウザーに対応しています。

Microsoft Edge、Internet Explorer 8以降、Firefox*、Chrome*、Safari*

* : 最新バージョンでお使いください。

参考 Web Configにアクセスした際に管理者パスワードが未設定の場合は、管理者パスワードの設定ページでパスワードの設定が必要です。

ユーザー名とパスワードを忘れないでください。忘れた場合はエプソンのサービスサポートに連絡する必要があります。

WebブラウザーからWeb Configを起動する

1. プリンターのIPアドレスを確認します。

ホーム画面のネットワークアイコンから接続済みのネットワークを選択し、IPアドレスを確認します。

項目を選択するには、▲▼◀▶ボタンで動かして、OKボタンを押してください。

参考 IPアドレスはネットワーク接続診断レポートを印刷することでも確認できます。

2. コンピューターやスマートデバイスでWebブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを入力します。

書式 :

IPv4 : http://プリンターのIPアドレス/

IPv6 : http://[プリンターのIPアドレス]/

例 :

IPv4 : http://192.168.100.201/

IPv6 : http://[2001:db8::1000:1]/

参考 スマートデバイスでは、Epson iPrintのプリンターのメンテナンス画面からもWeb Configを起動できます。

HTTPSアクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、Web Configを起動するとブラウザーに警告が表示されますが、問題ありません。

関連情報

- ➔ 「スマートデバイスから簡単に印刷するアプリ (Epson iPrint) 」 222ページ
- ➔ 「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」 163ページ

WindowsからWeb Configを起動する

プリンターとWSDで接続しているときは、以下の方法でWeb Configを起動できます。

1. コンピューターでプリンターの一覧を表示します。

- Windows 10
スタートボタンをクリックし、 [Windows システムツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] (または [ハードウェア]) の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
- Windows 7
スタートボタンをクリックし、 [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
- Windows Vista
スタートボタンをクリックして、 [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] の順に選択します。

2. プリンターのアイコンを右クリックして、 [プロパティ] をクリックします。

3. [Webサービス] タブを選択して、 URLをクリックします。

HTTPSアクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、 Web Configを起動するとブラウザに警告が表示されますが、問題ありません。

Mac OSからWeb Configを起動する

1. アップルメニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン] 、 [プリントとファクス]) の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。
2. [オプションとサプライ] - [プリンターのWebページを表示] をクリックします。

HTTPSアクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、 Web Configを起動するとブラウザに警告が表示されますが、問題ありません。

ネットワーク上のデバイスを設定するソフトウェア (EpsonNet Config)

EpsonNet Config (エプソンネット コンフィグ) は、ネットワークインターフェイスの各種アドレスやプロトコルなどが設定できるソフトウェアです。詳しくはEpsonNet Configのマニュアルやヘルプをご覧ください。

Windowsでの起動方法

- Windows 10/Windows Server 2019/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックして、 [EpsonNet] - [EpsonNet Config] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。

- Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして、【すべてのプログラム】（または【プログラム】）-【EpsonNet】-【EpsonNet Config SE】-【EpsonNet Config】の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

【移動】-【アプリケーション】-【Epson Software】-【EpsonNet】-【EpsonNet Config SE】-【EpsonNet Config】の順に選択します。

関連情報

➔ [「ソフトウェアを個別にインストールする」92ページ](#)

ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）

Epson Device Adminは、ネットワーク上のデバイスの管理を行う多機能なアプリケーションソフトです。以下のような機能があります。

- セグメントを越えて1台から2000台のプリンターの監視、管理
- 消耗品やステータスの詳細なレポート機能
- フームアップデート機能
- デバイスのネットワークへの導入
- 複数デバイスへの同じ設定値の適用

Epson Device Adminはエプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。詳細はEpson Device Adminのヘルプをご覧ください。

プリンターをネットワークに接続する

プリンターをネットワークに接続するには、以下の方法があります。

- 操作パネルで詳細設定して接続する
- ウェブサイトやソフトウェアディスクからインストーラーを起動して接続する

ここでは、プリンターの操作パネルを使って、プリンターをネットワークに接続する手順を説明します。

ネットワーク接続の前に

ネットワーク接続するには、接続方法と接続のための設定情報を事前に確認してください。

接続設定情報の収集

接続に必要な設定情報を用意します。事前に以下の情報を確認してください。

区分	項目	備考
デバイス接続方法	<ul style="list-style-type: none"> 有線LAN 無線LAN (Wi-Fi) 	プリンターをネットワークに接続する方法を決定します。 有線LANは、LANスイッチ（ハブ）に接続します。 無線LANはアクセスポイントのSSIDに接続します。
LAN接続情報	<ul style="list-style-type: none"> IPアドレス サブネットマスク デフォルトゲートウェイ 	プリンターに割り当てるIPアドレスを決定します。 静的にIPアドレスを割り当てる場合は、全ての項目の値が必要です。 DHCP機能で動的にIPアドレスを割り当てる場合は、自動設定されるのでLAN接続の情報は不要です。
無線LAN接続情報	<ul style="list-style-type: none"> SSID パスワード 	プリンターを接続するアクセスポイントのSSID（ネットワークの名称）、 パスワードです。 MACアドレスフィルタリング設定がされている場合は、プリンターを登 録できるように事前にMACアドレスの登録をしておいてください。 対応している規格は以下をご覧ください。 「無線LANの仕様」 235ページ
DNSサーバー情報	<ul style="list-style-type: none"> プライマリーDNSのIPアドレス セカンダリーDNSのIPアドレス 	DNSサーバーを指定する場合に必要です。セカンダリーDNSはシステムを冗長構成にしてセカンダリーDNSサーバーがある場合に設定します。 小規模なネットワークでDNSサーバーを構築していない場合は、ルーティングのIPアドレスを設定します。
プロキシサーバー情報	<ul style="list-style-type: none"> プロキシサーバー名 	インターネットからインターネットへの接続にプロキシサーバーを利用 しているネットワーク環境において、プリンターが直接インターネットに アクセスする機能を使用する場合は設定してください。 以下のような機能はプリンターが直接インターネットにアクセスしま す。 <ul style="list-style-type: none"> Epson Connectサービス 他社のクラウドサービス ファームウェア更新
ポート番号情報	<ul style="list-style-type: none"> 開放するポート番号 	プリンターやコンピューターが各機能で使用するポート番号を確認し て、ファイアウォールでブロックされているポートを、必要に応じて開放 してください。 プリンターが使用するポート番号の情報は以下をご覧ください。 「プリンターが使用するポート」 234ページ

IPアドレスの割り当て

IPアドレス (IPv4) の割り当てには、以下のタイプがあります。

固定IPアドレス：

あらかじめ決めたIPアドレスを手動でプリンター（ホスト）に割り当てます。

ネットワークに接続するための情報（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバー設定など）を手動で設定する必要があります。

デバイスの電源を切ってもIPアドレスは変更されないので、IPアドレスの変更を追従できない環境やIPアドレスでデバイスを管理したい場合に利用できます。多数のコンピューターがアクセスする、プリンターやサーバーなどへの設定をお勧めします。また、IPsec／IPフィルタリングなどのセキュリティー機能を利用する場合は、IPアドレスが変更されないよう固定IPアドレスを割り当ててください。

DHCP機能による自動割り当て（動的IPアドレス）：

DHCPサーバーやルーターのDHCP機能を使って自動でIPアドレスをプリンター（ホスト）に割り当てます。ネットワークに接続するための情報（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバー設定など）も自動で設定されるので、デバイスのネットワークへの接続が容易にできます。デバイスやルーターの電源を切る、または、DHCPサーバーの設定により、再接続の際にIPアドレスが変更になる場合があります。IPアドレス以外でのデバイス管理やIPアドレスを追従できるプロトコルでの通信をお勧めします。

 DHCPのIPアドレス予約機能を使用すると、常にデバイスに同じIPアドレスを割り当てるることができます。

DNSサーバー、プロキシサーバーについて

DNSサーバーは、ホスト名やメールアドレスのドメイン名などとIPアドレスの情報を関連付けて持っています。コンピューターやプリンターがIP通信をするときに、ホスト名やドメイン名などで相手先を記述すると通信ができません。

その情報をDNSサーバーに問い合わせ、相手先のIPアドレスを取得します。この処理を名前解決と言います。

これによりコンピューターやプリンターなどのデバイスは、IPアドレスを使って通信ができるようになります。

プリンターがメールを使ったり、インターネット接続をして通信したりするには、名前解決が必要です。

これらの機能を使用するには、DNSサーバーの設定をしてください。

プリンターのIPアドレスをDHCPサーバーやルーターのDHCP機能で割り当てる場合は自動設定されます。

プロキシサーバーはネットワークとインターネットとの出入り口に配置され、コンピューターやプリンターとインターネット（相手サーバー）の代理でそれぞれのデバイスと通信します。相手サーバーはプロキシサーバーとだけ通信しているように見えます。よって、プリンターに設定されているIPアドレスやポート番号などの情報を読み取れなくなり、セキュリティーの向上が期待できます。

プロキシサーバーを介してインターネット接続をしている場合は、プリンターにプロキシサーバーの設定をしてください。

操作パネルでネットワークに接続する

プリンターの操作パネルを使って、プリンターをネットワークに接続します。

IPアドレスを設定する

ホストアドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど、基本的なIPアドレス設定をします。ここでは固定IPアドレスを設定する手順を説明します。

1. プリンターの電源を入れます。
2. 操作パネルのホーム画面で【設定】を選択します。

3. [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [TCP/IP] の順に選択します。

4. [TCP/IP設定方法] を [手動設定] にします。

IPアドレスをルーターなどのDHCP機能で自動設定する場合は [自動設定] にします。この場合は、手順5、6の [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] も自動設定になるので入力できません。手順7へ進んでください。

5. IPアドレスを入力します。

◀または▶を選択すると、ピリオドで区切られた前後の区切りにフォーカスが移動します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

6. 同様に [サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] を設定します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

！重要 IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの組み合わせが不正の場合、[設定を開始する] が有効にならず、設定を続けることができません。入力に間違いがないか確認してください。

7. プライマリDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

参考 IPアドレスを [自動設定] にすると、DNSサーバー設定は [手動設定]、[自動設定] を選択できます。DNSサーバーのアドレスを自動取得できない場合に [手動設定] を選択して、DNSサーバーのIPアドレスを入力してください。引き続き、セカンダリDNSサーバーのアドレスを直接入力します。[自動設定] を選択した場合は、手順9へ進んでください。

8. セカンダリDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

9. [設定を開始する] を選択します。

プロキシサーバーを設定する

以下の両方に当てはまる場合は、プロキシサーバーを設定してください。

- インターネット接続用にプロキシサーバーを構築している
- Epson Connect サービスや他社クラウドサービスなど、プリンターが直接インターネットに接続する機能を使用する

1. ホーム画面で [設定] を選択します。

IPアドレスの設定に続いて設定するときは、[詳細設定] 画面が表示されています。手順3に進んでください。

2. [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] の順に選択します。

3. [プロキシサーバー] を選択します。

4. [プロキシサーバー使用設定] を [使用する] にします。

5. プロキシサーバーのアドレスを、IPv4アドレスまたはFQDN形式で入力します。
戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。
6. プロキシサーバーのポート番号を入力します。
戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。
7. [設定を開始する] を選択します。

LANに接続する

プリンターを有線LANまたは無線LANに接続します。

有線LANに接続する

LANケーブルでネットワークに接続して、接続の確認をします。

1. プリンターとハブ（LANスイッチ）をLANケーブルで接続します。
2. ホーム画面で [設定] を選択します。
3. [本体設定] - [ネットワーク設定] - [接続診断] を選択します。
接続診断の結果が表示されます。正常に接続されていることを確認してください。
4. [了解] を選択して終了します。
[接続診断結果を印刷する] を選択すると診断結果を印刷できます。画面の案内に従って印刷してください。

関連情報

→ 「無線LAN接続から有線LAN接続に変更する」 147ページ

無線LAN（Wi-Fi）に接続する

プリンターを無線LAN（Wi-Fi）に接続する方法はいくつかあります。お使いの環境や条件に合わせて接続方法を選択してください。

無線LANルーター（アクセスポイント）の情報（SSID、パスワード）がわかれば、手動で設定するのが確実です。
AOSSやWPS対応の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、プッシュボタンで自動設定ができます。

プリンターがネットワークに接続できたら、使用する機器（コンピューターやスマートデバイスなど）をプリンターに接続してください。

関連情報

→ 「プリンターにSSIDとパスワードを入力して設定する」 150ページ
→ 「プッシュボタンで自動設定する（AOSS/WPS）」 151ページ
→ 「PINコードで設定する（WPS）」 152ページ

プリンターを使うための設定

印刷できるようにする

ネットワーク接続でプリンターから印刷できるようにします。

ネットワークでプリンターを使用するには、プリンターのネットワーク接続以外に、コンピューターにネットワーク用のポート設定が必要です。

プリンター接続のタイプ

プリンターのネットワーク接続は主に以下の2つのタイプがあります。

- ピアツーピア型接続（直接印刷）
- サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）

ピアツーピア型接続設定

プリンターとネットワーク上のコンピューターが直接通信する接続です。ネットワーク対応プリンターのみ接続できます。

接続方法：

プリンターをハブやアクセスポイントを介して直接ネットワークに接続します。

プリンタードライバー：

プリンタードライバーをコンピューターにインストールします。

EpsonNet SetupManagerを使うと、プリンター設定を含んだドライバーのパッケージを配布できます。

特徴：

- プリンターに直接印刷データを送るので、印刷開始までに時間がかかりません。
- プリンターが稼働していれば印刷できます。

サーバークライアント型接続設定

サーバーになるコンピューターがプリンターを共有する接続です。プリンターにサーバー経由以外の通信を遮断すると、セキュリティーを強化できます。

USBで接続するとネットワーク機能がないプリンターも共有できます。

接続方法：

プリンターをLANスイッチやアクセスポイントを介して直接ネットワークに接続します。

プリンターとサーバーをUSBケーブルで直接接続することもできます。

プリンタードライバー：

Windowsサーバー上に、クライアントコンピューターのOSにおけるシステムの種類に対応したドライバーをインストールします。

Windowsサーバーにアクセスしてプリンターをリンクすると、クライアントコンピューターにインストールされて使用できるようになります。

特徴：

- プリンターやプリンタードライバーを一括管理できます。
- 全ての印刷データはサーバーを経由するため、サーバーの能力によっては印刷開始までに時間がかかることがあります。
- Windowsサーバーが停止していると印刷できません。

ピアツーピア型接続での印刷設定

ピアツーピア型接続（直接印刷）の場合、プリンターとクライアントコンピューターは一対一の関係になります。プリンターを使用するそれぞれのコンピューターにプリンタードライバーをインストールします。

サーバークライアント型接続での印刷設定

サーバークライアント型で接続したプリンターから印刷できるようにします。

サーバークライアント型の接続では、先にプリントサーバーのコンピューターから印刷できるように設定してから、プリンターをネットワークで共有してプリントサーバー経由で印刷できるようにします。

USBケーブルでサーバーに接続した場合も同様に、コンピューターからプリンターに印刷できるように設定してからプリンターをネットワークで共有します。

ネットワークポートを設定する

一般的なStandard TCP/IPを使用してプリントサーバーのコンピューターにネットワーク印刷用のプリントキューを作成し、ネットワークポートを設定します。

ここではWindows Server 2012 R2を代表例として説明します。

1. デバイスとプリンターの画面を開きます。

[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド]（または [ハードウェア]）- [デバイスとプリンター] の順に選択します。

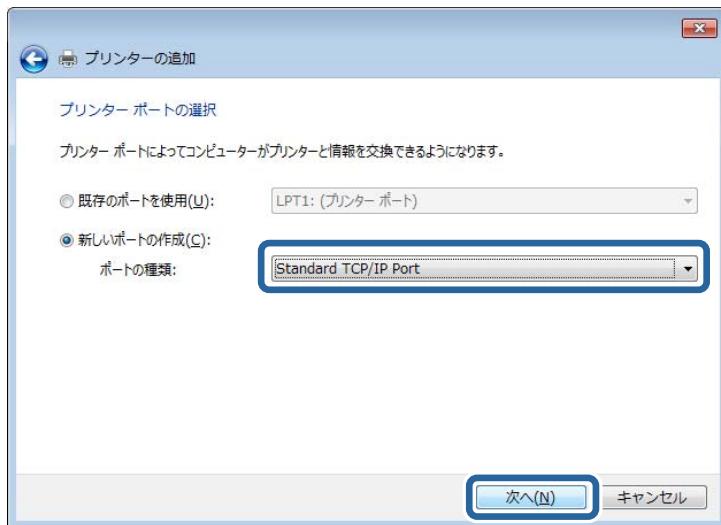
2. プリンターを追加します。

[プリンターの追加] をクリックして、表示される画面で [探しているプリンターはこの一覧にはありません] を選択します。

3. ローカルプリンターを追加します。

[ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する] を選択して、[次へ] をクリックします。

4. [新しいポートの作成] を選択し、ポートの種類から [Standard TCP/IP Port] を選択して、[次へ] をクリックします。



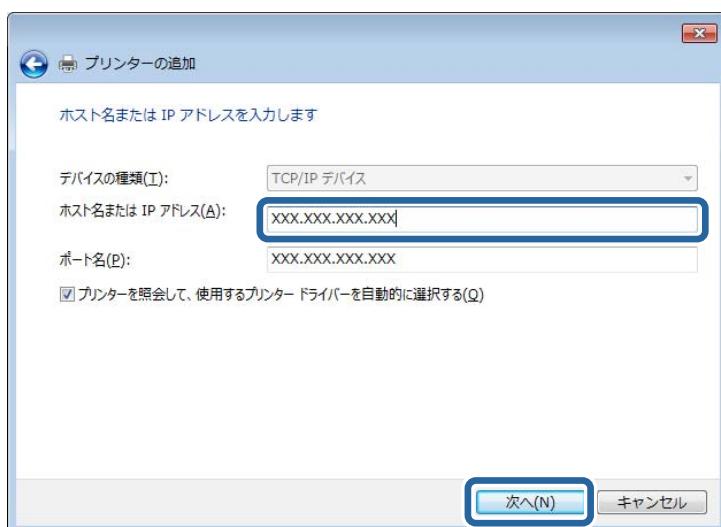
5. [ホスト名またはIP アドレス] (または [プリンターナー名またはIP アドレス]) にプリンターナー名、またはプリンターナーのIP アドレスを入力して、[次へ] をクリックします。

記入例：

- プリンターナー名：EPSONA1A2B3C
- IPアドレス：192.0.2.111

[ポート名] は変更しないでください。

[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたときは [続行] をクリックします。



参考

名前で検索が可能なネットワークでプリンターナー名を指定した場合は、DHCPによってプリンターナーのIPアドレスが変更になっても追従ができます。プリンターナー名は、操作パネルのネットワーク情報表示またはネットワークステータスシートで確認できます。

6. プリンタードライバーを設定します。

- プリンタードライバーがインストールされている場合
[製造元] - [プリンター] を選択します。 [次へ] をクリックします。

7. この後は、画面の指示に従って操作します。

サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）でプリンターを使用する場合は、続いてプリンターを共有設定します。

ポート構成を確認する - Windows

プリントキューに適切なポートが設定されているか確認します。

1. デバイスとプリンターの画面を開きます。

[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド]（または [ハードウェア]）- [デバイスとプリンター] の順に選択します。

2. プリンターのプロパティ画面を開きます。

対象プリンターのアイコンを右クリックして、 [プリンターのプロパティ] をクリックします。

3. [ポート] タブをクリックし、 [標準のTCP/IPポート] を選択して、 [ポートの構成] をクリックします。

4. ポートの構成を確認します。

- RAWの場合
[プロトコル] で [Raw] が選択されていることを確認して、 [OK] をクリックします。
- LPRの場合
[プロトコル] で [LPR] が選択されていることを確認します。 [LPR 設定] の [キュー名] に「PASSTHRU」と入力します。 [LPRバイトカウントを有効にする] をチェックして、 [OK] をクリックします。

プリンターを共有する（Windowsのみ）

サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）でプリンターを使用する場合は、プリントサーバーからプリンターを共有設定します。

1. プリントサーバーのコンピューターで [コントロールパネル] - [デバイスとプリンター] の順に選択します。

2. 共有したいプリンターアイコン（プリントキュー）を右クリックして、 [プリンターのプロパティ] - [共有] タブを選択します。

3. [このプリンターを共有する] を選択して、 [共有名] を入力します。

Windows Server 2012をお使いの場合は、 [共有オプションの変更] をクリックしてから設定してください。

追加ドライバーをインストールする（Windowsのみ）

プリントサーバーのコンピューターとクライアントコンピューターが異なるバージョンのWindowsで動作している場合、それぞれのバージョンのプリンタードライバーをプリントサーバーにインストールしておくことをお勧めします。

1. プリントサーバーのコンピューターで [コントロールパネル] - [デバイスとプリンター] の順に選択します。
2. 共有したいプリンターアイコン（プリントキュー）を右クリックして、[プリンターのプロパティ] - [共有] タブを選択します。
3. [追加ドライバー] をクリックします。
Windows Server 2012をお使いの場合は、共有オプションの変更をクリックしてから設定してください。
4. クライアントコンピューターのWindowsバージョン（プロセッサーティプ）を選択して、OKをクリックします。
5. プリンタードライバーの情報ファイル（*.inf）を指定してドライバーをインストールします。

共有プリンターを使う - Windows

プリンターの管理者は、クライアントコンピューターへのプリンター追加手順としてプリントサーバーに設定したコンピューター名をクライアントに連絡してください。追加ドライバーが設定されていない環境では、[デバイスとプリンター] からプリンターを追加する手順を案内してください。

以下は、プリントサーバーに追加ドライバーが設定されている場合の手順です。

1. プリントサーバーのコンピューター名を [エクスプローラー] で開きます。
2. 利用したいプリンターをダブルクリックします。

印刷の基本設定

用紙サイズや印刷エラーの表示など、プリンターの印刷に関する設定をします。

給紙装置の設定をする

各給紙装置にセットする用紙のサイズや種類などを設定します。

1. Web Configで [印刷] タブ- [給紙装置設定] を選択します。
2. 各項目を設定します。

ご使用の環境によっては表示項目が異なります。

- 紙装置名称
[手差しトレイ]、[用紙カセット1] など、設定対象の給紙装置名が表示されます。
- [用紙サイズ]
プルダウンメニューから設定する用紙のサイズを選択します。
- [単位]
ユーザー定義サイズの単位を選択します。 [用紙サイズ] が [ユーザー定義サイズ] の場合に選択できます。

- [横の長さ]

ユーザー定義サイズの横の長さを設定します。

入力できる範囲は給紙装置に依存し、[横の長さ] の横に示されています。

[単位] で [mm] を選択した場合、小数点第1位まで入力できます。

[単位] で [inch] を選択した場合、小数点第2位まで入力できます。

- [縦の長さ]

ユーザー定義サイズの縦の長さを設定します。

入力できる範囲は給紙装置に依存し、[縦の長さ] の横に示されています。

[単位] で [mm] を選択した場合、小数点第1位まで入力できます。

[単位] で [inch] を選択した場合、小数点第2位まで入力できます。

- [用紙種類]

プルダウンメニューから設定する用紙の種類を選択します。

3. 設定内容を確認して、[設定] をクリックします。

インターフェイスの設定をする

印刷ジョブのタイムアウト時間や各インターフェイスに割り当てる印刷言語を設定します。

この項目はPostScript対応のプリンターのみ表示されます。

1. Web Configで [印刷] タブ- [インターフェイス設定] を選択します。

2. 各項目を設定します。

- [タイムアウト設定]

USB経由の印刷ジョブのタイムアウト時間を設定します。

1秒単位で5秒～300秒で設定できます。

タイムアウトしたくない場合は0を入力します。

- [印刷言語]

USBインターフェイス、ネットワークインターフェイスそれぞれの印刷言語を選択します。

[自動] を選択すると送られた印刷ジョブから判断されます。

3. 設定内容を確認して、[設定] をクリックします。

エラーの設定をする

デバイス本体のエラー表示に関する設定をします。

1. Web Configで [印刷] タブ- [エラー設定] を選択します。

2. 各項目を設定します。

- 用紙サイズエラー

指定された給紙装置の用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なる場合に、操作パネルにエラーを表示するかどうか設定します。

- 用紙種類エラー

指定された給紙装置の用紙タイプと、印刷データの用紙タイプが異なる場合に、操作パネルにエラーを表示するかどうか設定します。

- 自動エラー解除
エラーを表示してから5秒間操作パネルの操作がなかった場合に、自動でエラーを解除するかどうか設定します。

3. 設定内容を確認して、[設定] をクリックします。

外部機器(PC)の設定をする

外部機器からプリンタードライバーを経由しない印刷をするときの設定をします。
お使いのプリンターの対応印刷言語によって表示されない項目があります。

- Web Configで [印刷] タブ- [外部機器(PC)印刷設定] を選択します。
- 各項目を設定します。
- 設定内容を確認して、[設定] をクリックします。

基本設定

項目	説明
上印刷位置調整 (-30.0-30.0mm)	印刷を開始する用紙の垂直位置を設定します。
左印刷位置調整 (-30.0-30.0mm)	印刷を開始する用紙の水平位置を設定します。
裏面上印刷位置調整 (-30.0-30.0mm)	両面印刷時の用紙裏面の印刷を開始する用紙の垂直位置を設定します。
裏面左印刷位置調整 (-30.0-30.0mm)	両面印刷時の用紙裏面の印刷を開始する用紙の水平位置を設定します。
白紙節約モード	印刷データに白紙ページがあった場合、白紙を出さないように設定します。

PDL印刷設定

PostScript印刷時の設定ができます。

共通設定

項目	説明
用紙サイズ	印刷するデータのサイズを選択します。
用紙種類	印刷する用紙の種類を選択します。
用紙方向	印刷する用紙の方向を選択します。
印刷品質	印刷品質を選択します。
トナーセーブモード	トナーの消費量を抑えた印刷をするか設定します。
印刷順序	印刷する順序を選択します。

項目	説明
コピー枚数設定(1-999)	印刷部数を設定します。
とじ位置	両面印刷時のとじ位置を選択します。
自動排紙設定	データ受信のタイムアウトが発生した場合、自動で排紙するか設定します。
両面印刷	両面で印刷するか設定します。

PS設定

項目	説明
PSエラーシート	PS3印刷のエラー時にエラーシートを印刷するか設定します。
Coloration	カラー印刷かモノクロ印刷かを設定します。
Binary	バイナリーデータを受け付けるかどうか設定します。
PDF印刷 用紙サイズ	PDF印刷時の用紙サイズを設定します。

AirPrintを使えるようにする

印刷をAirPrintで行うための設定をします。

Web Configで [ネットワーク] タブ- [AirPrint設定] を選択します。

項目	説明
Bonjourサービス名	Bonjourのサービス名をASCII (0x20-0x7E)で表せる41文字以内で入力します。
ロケーション	プリンターの設定場所など任意のロケーション情報を、UTF-8で表せる127バイト以内の文字列で入力します。
位置情報 緯度、経度 (WGS84)	プリンターの位置情報を入力します。入力は任意です。 WGS-84測地系の値を使用し、緯度と経度を「.」で区切れます。 緯度は-90～+90、経度は-180～+180の範囲で入力できます。また、小数点以下は6位まで入力でき、+は省略できます。
最優先プロトコル	優先するプロトコルを、IPPとPort9100から選択します。
Wide-Area Bonjour	Wide-Area Bonjourを使用するかどうか設定します。使用する場合、セグメントを越えた検索ができるように、プリンターがDNSサーバーに登録されている必要があります。
iBeacon対応機器からの探索	iBeacon対応機器からの探索の有効、無効を設定します。有効にするとiBeacon対応機器からの探索ができるようになります。
IPP印刷時にPINコードを必須とする	IPP印刷時にPINコードの設定を必須にするかどうか設定します。 [はい] を選択すると、PINコードが設定されていないIPP印刷ジョブはプリンターに保存されません。
AirPrintを有効にする	IPP、Bonjour、AirPrintが有効になり、IPPはセキュア通信のみになります。

メールサーバーを設定する

Web Configを使ってメールサーバーを設定します。

設定の前に以下を確認してください。

- ・プリンターがメールサーバーにアクセスできるネットワークに接続されているか
- ・プリンターと同じメールサーバーを使用するコンピューターのメール設定情報

参考 インターネット上のメールサーバーを利用する場合は、サービスを提供しているプロバイダーやウェブサイトから設定情報を確認してください。

1. Web Configで [ネットワーク] タブ - [メールサーバー] - [基本] を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. [設定] を選択します。

設定結果が表示されます。

設定が終了したら、接続確認をしてください。

メールサーバー設定項目

項目	設定値と説明	
認証方式	プリンターがメールサーバーにアクセスする際の認証方式を指定します。	
	認証しない	メールサーバーが認証を必要としない場合に設定します。
	SMTP認証	メール送信時にSMTPサーバー（メール送信サーバー）で認証をします。メールサーバーがSMTP認証に対応している必要があります。
	POP before SMTP	メール送信する前にPOP3サーバー（メール受信サーバー）で認証をします。選択した場合はPOP3サーバーの設定をしてください。
認証用アカウント	<p>[認証方式] に [SMTP認証] または [POP before SMTP] を選択した場合、認証用のアカウント名を入力します。入力できる文字は、ASCII (0x20-0x7E) の255文字以内です。</p> <p>[SMTP認証] を選択した場合、SMTPサーバーの認証用アカウントを入力してください。[POP before SMTP] を選択した場合、POP3サーバーの認証用アカウントを入力してください。</p>	
認証用パスワード	<p>[認証方式] に [SMTP認証] または [POP before SMTP] を選択した場合、認証用のパスワードを入力します。入力できる文字はASCII (0x20-0x7E) の20文字以内です。</p> <p>[SMTP認証] を選択した場合、SMTPサーバーの認証アカウントのパスワードを入力してください。[POP before SMTP] を選択した場合、POP3サーバーの認証アカウントのパスワードを入力してください。</p>	
送信元アドレス	システム管理者のアドレスなど送信元のメールアドレスを入力します。認証にも使用されるため、お使いのメールサーバーに登録されていて実際に送信できるアドレスを入力してください。入力できる文字は、:()<>[];¥を除くASCII (0x20-0x7E)で表せる255文字以内です。ただし、ピリオド(.)は先頭文字にできません。	

項目	設定値と説明	
SMTPサーバーアドレス	A～Z a～z 0～9 . - を使用し、255文字以内で入力します。IPv4形式とFQDN形式での入力が可能です。	
SMTPサーバー ポート番号	1～65535までの範囲で、半角数字で入力します。	
セキュア接続	メールサーバーとの通信の暗号化方式を選択します。	
	なし	【認証方式】で【POP before SMTP】を選択した場合は暗号化しません。
	SSL/TLS	【認証方式】で【認証しない】または【SMTP認証】を選択したときに選択できます。通信の開始から暗号化します。
証明書の検証	【認証方式】で【認証しない】または【SMTP認証】を選択したときに選択できます。通信の開始は暗号化せず、受信環境によってその後の通信を暗号化するかが変わります。	
	有効になるとメールサーバーの証明書の正当性をチェックします。【有効】にすることをお勧めします。設定するには、相手サーバー検証用CA証明書をプリンターにインポートする必要があります。	
	【認証方式】に【POP before SMTP】を選択した場合、POP3サーバーアドレスを入力します。入力できる文字は、A～Z a～z 0～9 . - で、255文字以内です。IPv4形式とFQDN形式での入力が可能です。	
POP3サーバー ポート番号	【認証方式】で【POP before SMTP】を選択した場合にポート番号を指定します。入力できる文字は、1～65535の範囲で、半角数字で入力します。	

メールサーバーとの接続を確認する

メールサーバーとの接続確認ができます。

1. Web Configで【ネットワーク】タブ - 【メールサーバー】 - 【接続確認】を選択します。
2. 【確認開始】を選択します。

メールサーバーとの接続診断が開始されます。接続テストが終了すると結果が表示されます。

メールサーバー接続確認結果

メッセージ	原因
接続に成功しました。	サーバーとの接続に成功した場合に表示されます。
SMTPサーバーとの通信でエラーが発生しました。以下を確認してください。 ・ネットワーク設定	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・プリンターがネットワークに接続されていない ・SMTPサーバーがダウンしている ・通信中にネットワークが切断された ・異常なデータを受信した

メッセージ	原因
POP3サーバーとの通信でエラーが発生しました。以下を確認してください。 · ネットワーク設定	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・プリンターがネットワークに接続されていない ・POP3サーバーがダウンしている ・通信中にネットワークが切断された ・異常なデータを受信した
SMTPサーバーとの接続に問題があります。以下を確認してください。 · SMTPサーバーアドレス · DNSサーバー	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・DNSサーバーとの接続に失敗した ・SMTPサーバーアドレスの名前解決に失敗した
POP3サーバーとの接続に問題があります。以下を確認してください。 · POP3サーバーアドレス · DNSサーバー	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・DNSサーバーとの接続に失敗した ・POP3サーバーアドレスの名前解決に失敗した
SMTPサーバーの認証に失敗しました。以下を確認してください。 · 認証方式 · 認証用アカウント · 認証用パスワード	SMTPサーバーでの認証処理に失敗したときに表示されます。
POP3サーバーの認証に失敗しました。以下を確認してください。 · 認証方式 · 認証用アカウント · 認証用パスワード	POP3サーバーでの認証処理に失敗したときに表示されます。
サポートしていない通信方式です。以下を確認してください。 · SMTPサーバーアドレス · SMTPサーバーポート番号	プリンターがサポートしていないプロトコルで通信しようとした場合に表示されます。
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をなしに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続(SSL接続)をサポートしていない場合に表示されます。
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をSSL/TLSに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続にSSL/TLS接続することを要求している場合に表示されます。
サーバーの安全性が確認できませんでした。以下を確認してください。 · 日付/時刻	プリンターの日時設定が正しくない、またはサーバーに対応するルート証明書は保有しているが、期限切れの場合に表示されます。
サーバーの安全性が確認できませんでした。以下を確認してください。 · 相手サーバー検証用CA証明書	サーバーに対応するルート証明書をプリンターが保有していない、または相手サーバー検証用CA証明書がインポートされていない場合に表示されます。
サーバーの安全性が確認できませんでした。	サーバーから取得した証明書が壊れている場合などに表示されます。
SMTPサーバーの認証に失敗しました。認証方式をSMTP認証に変更してください。	サーバーとクライアントで認証方式が一致していない場合に表示されます。サーバーはSMTP認証をサポートしているのに、プリンターはSMTP認証を実行していません。

メッセージ	原因
SMTPサーバーの認証に失敗しました。認証方式をPOP before SMTPに変更してください。	サーバーとクライアントで認証方式が一致していない場合に表示されます。サーバーはSMTP認証をしていないのに、プリンターはSMTP認証を実行しようとしています。
送信元アドレスが正しくありません。お使いのメールサービスで取得したアドレスに変更してください。	送信元アドレスの指定が間違っていた場合に表示されます。
プリンターが処理動作中のためアクセスできません。	プリンターが動作中で接続設定ができなかったときに表示されます。

プリンターの基本動作を設定する

操作パネルの動作を設定する

プリンターの操作パネルに関する設定をします。以下の設定ができます。

1. Web Configで [デバイス管理] タブ - [パネル] を選択します。
2. 必要に応じて以下の項目を設定します。
 - 表示言語
操作パネルの表示言語を選択します。
 - パネルロック
[オン] にすると、操作パネルでシステム管理者権限が必要な操作をするときに管理者パスワードが必要になります。管理者パスワードを設定していないとパネルロックは無効になります。
 - 無操作タイマー設定
[オン] にすると、利用者制限の利用者またはシステム管理者としてログオンしている場合、設定した時間内に操作パネルの操作がなかったときに、自動でログオフして初期画面に移行します。
10秒～240分まで1秒単位で設定できます。

参考

プリンターの操作パネルからも設定できます。

- 表示言語： [設定] - [本体設定] - [基本設定] - [言語選択/Language]
- パネルロック： [設定] - [本体設定] - [管理者用設定] - [セキュリティー設定] - [管理者設定] - [管理者ロック]
- 無操作タイマー設定： [設定] - [本体設定] - [基本設定] - [無操作タイマー設定]（オン/オフのみ設定できます。）

3. [設定] をクリックします。

省電力設定をする

プリンターの操作パネルが一定時間操作されなかった場合に、節電モードへ移行する時間を設定できます。使用する環境に合わせて時間を設定してください。

節電移行時間を設定する

操作パネル無操作時に節電モードへ移行する時間を設定できます。

1. Web Configで [デバイス管理] タブ - [省電力] を選択します。
2. [節電移行時間] に操作パネル無操作時に節電モードへ移行する時間を設定します。
1分単位で60分まで設定できます。
3. [設定] をクリックします。

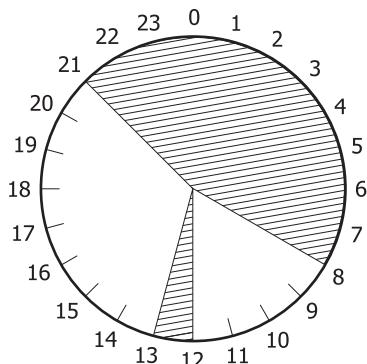
参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。
[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [スリープ移行時間設定]

スリープスケジュール設定をする

利用状況に応じて、スリープパターンを設定できます。Web Configを使って設定します。

1日のスリープスケジュールの例:

設定した時間帯(斜線部)でスリープモードに移行する。



1. Web Configで [デバイス管理] タブ - [省電力] - [スリープスケジュール設定] を選択します。
2. 5つの時間ごとに分けて [開始時刻] と [節電モード] を設定します。

スリープスケジュール設定											
パターン		時間帯1		時間帯2		時間帯3		時間帯4		時間帯5	
月曜日	火曜日	開始時刻	節電モード								
0:00	0:00	する	24:00								
1:00	1:00	する	24:00								
2:00	2:00	する	24:00								
3:00	3:00	する	24:00								
4:00	4:00	する	24:00								
5:00	5:00	する	24:00								
6:00	6:00	する	24:00								
7:00	7:00	する	24:00								
8:00	8:00	する	24:00								
9:00	9:00	する	24:00								
10:00	10:00	する	24:00								
11:00	11:00	する	24:00								
12:00	12:00	する	24:00								
13:00	13:00	する	24:00								
14:00	14:00	する	24:00								
15:00	15:00	する	24:00								
16:00	16:00	する	24:00								
17:00	17:00	する	24:00								
18:00	18:00	する	24:00								
19:00	19:00	する	24:00								
20:00	20:00	する	24:00								
21:00	21:00	する	24:00								
22:00	22:00	する	24:00								
23:00	23:00	する	24:00								

[節電モード] の設定値は以下です。

- [する]
[節電移行時間] に応じて、スリープモードに移行します。
- [すぐに]
無操作時にすぐにスリープモードに移行する。

3. [設定] をクリックします。

予熱モードを設定する

予熱モードに移行して、消費電力を削減する設定をします。

1. Web Configで [デバイス管理] タブ - [省電力] を選択します。
2. [予熱モード] を [設定する] にします。
3. [予熱モード移行時間] に予熱モードに移行するまでの時間を入力します。
4. [設定] をクリックします。

 プリンターの操作パネルからも設定できます。

- 予熱モード：
[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [予熱モード] - [予熱モード]
- 予熱モード移行時間：
[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [予熱モード] - [予熱モード移行時間]

タイムサーバーと日付/時刻を同期する

タイムサーバー（NTPサーバー）と連携すると、プリンターとネットワーク上のコンピューターとの時刻を同期できます。タイムサーバーは、組織内で運用している場合やインターネット上に公開している場合があります。CA証明書やKerberos認証を使っている場合、連携すると時間に関するトラブルを防ぐことができます。

1. Web Configで [デバイス管理] タブ - [日付/時刻] - [タイムサーバー] を選択します。
2. [タイムサーバーを使用する] を [使用する] にします。
3. [タイムサーバーアドレス] にタイムサーバーのアドレスを入力します。
IPv4、IPv6アドレスまたはFQDNが使用できます。252文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
4. [更新間隔 (分)] を入力します。
1分単位で10,080分まで設定できます。
5. [設定] をクリックします。

 [タイムサーバーステータス] でサーバーとの接続状態を確認できます。

設定時のトラブルを解決する

トラブルを解決するための糸口

- エラーメッセージの確認
何らかのトラブルが発生した場合、始めにプリンターの操作パネルやドライバーの画面などにメッセージが出ていないか確認してください。通知メールを送信するように設定してあると、イベントが発生した場合に素早く状態を把握できます。
- ネットワーク接続診断レポート
ネットワークとプリンターの状況を診断して、結果がレポートされます。
プリンター側から判別できるエラーを見つけることができます。
- 通信状態の確認
サーバーやクライアントコンピューターの通信状態をpingやipconfigなどのコマンドを使って確認します。
- 接続テスト
メールサーバーとの接続は、プリンターから接続テストをすることで確認できます。また、クライアントコンピューターからサーバーへの接続テストをして通信状態を確認します。
- 設定の初期化
設定や通信状態に問題がない場合、プリンターのネットワーク設定を無効にしたり、初期状態に戻して設定をやり直したりすると、トラブルが解消する場合があります。

Web Configにアクセスできない

プリンターのIPアドレスが設定されていない

プリンターに有効なIPアドレスが設定されていない可能性があります。プリンターの操作パネルでIPアドレスを設定してください。現在の設定は、ネットワークステータスシートやプリンターの操作パネルで確認できます。

WebブラウザーがSSL/TLSの暗号強度に対応していない

SSL/TLSには暗号強度があります。Web Configは以下のメッセージ暗号化をサポートしているブラウザーで起動できます。使用しているブラウザーが対応しているか確認してください。

- 80bit : AES256/AES128/3DES
- 112bit : AES256/AES128/3DES
- 128bit : AES256/AES128
- 192bit : AES256
- 256bit : AES256

CA署名証明書の有効期限が切れた

証明書の有効期限に問題がある場合、Web ConfigにSSL/TLS通信（https）で接続したときに「有効期限が切れている」と表示されます。証明書の有効期限内に表示されるときは、プリンターの時刻が正しく設定されているか確認してください。

証明書とプリンターのコモンネームが一致していない

コモンネームの不一致が起こると、Web ConfigにSSL/TLS通信（https）で接続したときに「セキュリティ証明書の名前が一致しません...」と表示されます。これは以下のIPアドレスが一致していないために発生します。

- 自己署名証明書の作成や更新時、CSRの作成時にコモンネームで記述したIPアドレス
- Web Configの起動時にブラウザーに入力したIPアドレス

自己署名証明書の場合は証明書を更新してください。

CA署名証明書の場合は該当のプリンター用に証明書を取得し直してください。

ブラウザーにローカルアドレスのプロキシサーバー設定がされていない

プリンターでプロキシサーバーを使用する設定にしている場合、ブラウザーでローカルアドレスへの接続にプロキシサーバーを経由しないよう設定します。

- Windows：
[コントロールパネル] – [ネットワークとインターネット] – [インターネットオプション] – [接続] – [LANの設定] の [プロキシ サーバー] で、LAN（ローカルアドレス）にプロキシサーバーを使わない設定にします。
- Mac OS：
[システム環境設定] – [ネットワーク] – [詳細] – [プロキシ] で [プロキシ設定を使用しないホストとドメイン] にローカルアドレスを登録します。

記入例：

192.168.1.* : ローカルアドレス 192.168.1.XXX、サブネットマスク 255.255.255.0の場合

192.168.*.* : ローカルアドレス 192.168.XXX.XXX、サブネットマスク 255.255.0.0の場合

プリンターの管理

本体のセキュリティ機能の紹介

エプソンデバイスのセキュリティ機能を紹介します。

機能名	どんな機能か	何を設定するのか	何を防止できるのか
管理者パスワードの設定	ネットワークやUSBの接続設定など、システムに関わる設定をロックし、管理者以外は変更ができないようにします。	システム管理者がデバイスにパスワードを設定します。 Web Config、操作パネルのどちらからも設定や変更ができます。	デバイスに保持されているIDやパスワード、ネットワーク設定などの情報が不正に参照または変更されるのを防ぎます。また、ネットワーク環境やセキュリティーポリシー、またはそれに類する情報の漏えいなど、広範囲のセキュリティリスクにつながる危険性を低減します。

機能名	どんな機能か	何を設定するのか	何を防止できるのか
利用者制限設定	あらかじめ登録したユーザー アカウントでプリンターにログオンした場合に、プリンターの使用を許可します。 認証システムを利用する場合、認証システム以外からの不正アクセスを防ぐことにも使用されます。	任意のユーザー アカウントを登録します。 ユーザー アカウントは10件まで登録できます。	利用者の業務内容や役割に応じた最小限の機能を許可することで、文書データの漏えいや不正閲覧のリスクが低減できます。
外部インターフェイス設定	デバイスへ接続するインターフェイスを制御できます。	コンピューターとのUSB接続の有効、無効を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> コンピューターのUSB接続：ネットワークを経由しない印刷を禁止することで、デバイスの不正使用を防止できます。

関連情報

- 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」257ページ
- 「管理者パスワードの設定」280ページ
- 「利用できる機能を制限する」285ページ
- 「外部インターフェイスを無効にする」287ページ

管理者設定

管理者パスワードの設定

管理者パスワードを設定すると、プリンターのユーザーがシステム管理に関する設定を変更することを防ぎます。管理者パスワードはWeb Config、操作パネル、Epson Device Adminのいずれからも設定、変更ができます。Epson Device Adminの操作方法については、Epson Device Adminのヘルプやマニュアルをご覧ください。

関連情報

- 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」257ページ
- 「ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）」259ページ

操作パネルから管理者パスワードを設定する

プリンターの操作パネルから管理者パスワードを設定します。

1. プリンターの操作パネルで【設定】を選択します。
2. 【本体設定】 - 【管理者用設定】 - 【セキュリティー設定】 - 【管理者設定】の順に選択します。
3. 【管理者パスワード】 - 【新規設定】の順に選択します。
4. 管理者パスワードを入力します。

5. パスワードを再入力します。

参考 管理者パスワードは、[管理者パスワード] から [変更] または [初期設定に戻す] を選択して、管理者パスワードを入力すると変更や削除ができます。

コンピューターから管理者パスワードを設定する

Web Configを使って管理者パスワードを設定します。

1. Web Configで [本体セキュリティー] タブ - [管理者パスワード変更] を選択します。
2. [新しいパスワード] と [新しいパスワードの確認] にパスワードを入力します。必要に応じてユーザー名を入力します。
パスワードを変更するには、現在のパスワードを入力します。
3. [設定] を選択します。

参考

- ロックされている項目を設定、変更するには [管理者ログオン] をクリックして管理者パスワードを入力します。
- 管理者パスワードを削除するには、[本体セキュリティー] タブ - [管理者パスワード削除] をクリックして管理者パスワードを入力します。

関連情報

→ 「[ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）](#)」 257ページ

パネル操作を制限する

管理者パスワードを設定してパネルの管理者ロックを有効にすると、プリンターのシステム設定に関する項目をユーザーが変更できないようにロックできます。

ロックされた機能を操作するには管理者パスワードが必要です。

管理者ロックを有効にする

パスワード設定したプリンターの管理者ロックを有効にします。

先に管理者パスワードを設定してください。

操作パネルから管理者ロックを有効にする

1. プリンターの操作パネルで [設定] を選択します。
2. [本体設定] - [管理者用設定] - [セキュリティー設定] - [管理者設定] の順に選択します。
3. [管理者ロック] から [オン] を選択します。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] を選択し、パスワード入力を求められるか確認してください。

コンピューターから管理者ロックを有効にする

1. Web Configで [管理者ログオン] をクリックします。
2. ユーザー名（設定している場合）とパスワードを入力して [確認] をクリックします。
3. [デバイス管理] タブ - [パネル] の順に選択します。
4. [パネルロック] から [オン] を選択します。
5. [設定] をクリックします。
6. プリンターの操作パネルで [設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] を選択し、パスワード入力を求められるか確認してください。

関連情報

→ 「[ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）](#)」257ページ

本体設定メニューの管理者ロック項目

管理者ロックによって操作パネルの [設定] - [本体設定] メニュー内でパネルロックされる項目一覧です。

本体設定 メニュー		パネルロック
基本設定		×
	画面の明るさ設定	×
	音の設定	×
	予熱モード	○
	スリープ移行時間設定	○
	日付/時刻設定	○
	言語選択/Language	○
	無操作タイマー設定	○
本体設定 メニュー		パネルロック
プリンター設定		×

本体設定 メニュー		パネルロック
給紙装置設定	給紙装置設定	×
	印刷言語	○
	外部機器(PC)印刷設定	○
	PDL印刷設定	○*1
	自動エラー解除	○*1
	コンピューターのUSB接続	○
	USB I/Fタイムアウト時間設定	○*1
本体設定 メニュー		パネルロック
ネットワーク設定		○
無線LAN接続設定	無線LAN接続設定	○
	有線LAN接続設定	○
	ネットワーク情報	○
	有線・無線接続状態	○*2
	Wi-Fi Direct接続状態	○*2
	ステータスシート印刷	○*2
	接続診断	○*3
	詳細設定	○
	デバイス名	○
TCP/IP	TCP/IP	○
	プロキシサーバー	○
	IPv6アドレス	○
	Link Speed & Duplex	○
	HTTPをHTTPSにリダイレクト	○
	IPsec/IP フィルタリングの無効化	○
	IEEE802.1Xの無効化	○
	iBeacon対応機器からの探索	○
	Webサービス設定	○

本体設定 メニュー		パネルロック
	Epson Connect設定	<input type="radio"/>
本体設定 メニュー		パネルロック
管理者用設定		<input type="radio"/>
管理者用設定	トナー消費本数のリセット	<input type="radio"/>
	内部メモリーデータ削除	<input type="radio"/> *4
	HDD消去設定	<input type="radio"/> *5
	オプションHDD無効	<input type="radio"/> *5
	セキュリティー設定	<input type="radio"/>
	本体メモリー内のジョブの全削除	<input type="radio"/>
	管理者設定	<input type="radio"/>
	管理者パスワード	<input type="radio"/>
		<input type="radio"/>
	パスワード暗号化	<input type="radio"/>
	監査ログ	<input type="radio"/>
	起動時のプログラム検証	<input type="radio"/>
	本体寿命の警告	<input type="radio"/>
	お客様利用情報	<input type="radio"/>
	プリンター調整機能	<input type="radio"/>
	初期設定に戻す	<input type="radio"/>
	ファームウェアのアップデート	<input type="radio"/>
	プリンターモニタリングサービス設定	<input type="radio"/>

○=ロックされます。

×=ロックされません。

*1 : LP-S8180シリーズのみ対応。

*2 : 管理者ロックで上位階層がロックされますが、[設定] - [情報確認/印刷] - [ネットワーク] 内の同名メニューから操作できます。

*3 : 管理者ロックで上位階層がロックされますが、ホーム画面 -  - [ネットワークにつながらないときは] 内の同名メニューから操作できます。

*4 : この項目はオプションの PS3 対応 ROM を装着しているときに表示されます。

*5 : この項目はオプションのハードディスクを搭載しているときに表示されます。

管理者としてプリンターにログオンする

プリンターに管理者パスワードを設定している場合、Web Configでロックされている項目を操作するには管理者としてプリンターにログオンする必要があります。

操作パネルでロックされている項目を操作するには、パスワードを入力します。

コンピューターからプリンターにログオンする

管理者としてWeb Configにログオンすると、管理者ロックされている項目を操作できます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
2. [管理者ログオン] をクリックします。
3. [ユーザー名] と [現在のパスワード] にユーザー名と管理者パスワードを入力します。
4. [確認] をクリックします。

認証されるとロックされている項目が表示され、[管理者ログオフ] が表示されます。

ログオフするには [管理者ログオフ] をクリックします。

参考 [デバイス管理] タブ - [パネル] - [無操作タイマー設定] を [オン] にすると、一定時間操作パネルを操作しない場合に自動でログオフします。

関連情報

→ 「[ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）](#)」 257ページ

利用できる機能を制限する

プリンターにユーザー アカウントを登録して機能と紐付け、ユーザーが利用できる機能を制御できます。

コンピューターからは、プリンタードライバーに認証情報を登録すると印刷ができるようになります。ドライバーの設定方法はドライバーのヘルプやマニュアルをご覧ください。

ユーザー アカウントを作成する

利用者制限のアカウントを作成します。

1. Web Configで [本体セキュリティー] タブ - [利用者制限設定] - [ユーザー設定] を選択します。
2. 登録する番号の [登録] をクリックします。

！重要 エプソン製や他社製の認証システムでプリンターを利用する場合、利用者制限設定のユーザー名は2番～10番に登録してください。
1番は認証システムなどアプリケーションソフトが使用するので、プリンターのパネルにユーザー名が表示されません。

3. 各項目を設定します。

- ユーザー名：
ユーザー名一覧への表示名を1～14文字以内の半角英数字を使って入力します。
- パスワード：
ASCII (0x20-0x7E)の20文字以内で入力します。パスワードを初期化する場合は空白にします。
- 以下の機能の使用を許可する。
使用を許可する機能にチェックを付けます。

4. [適用] をクリックします。

一定時間経過するとユーザー設定の一覧へ戻ります。

[ユーザー名] に登録したユーザー名が表示されていて、[登録] が [編集] に変わったことを確認してください。

関連情報

➔ 「[ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア \(Web Config\)](#)」257ページ

ユーザー アカウントを編集する

登録した利用者制限のアカウントを編集します。

1. Web Configで [本体セキュリティー] タブ - [利用者制限設定] - [ユーザー設定] を選択します。
2. 編集する番号の [編集] をクリックします。
3. 内容を変更します。
4. [適用] をクリックします。

一定時間経過するとユーザー設定の一覧へ戻ります。

関連情報

➔ 「[ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア \(Web Config\)](#)」257ページ

ユーザー アカウントを削除する

登録した利用者制限のアカウントを削除します。

1. Web Configで [本体セキュリティー] タブ - [利用者制限設定] - [ユーザー設定] を選択します。
2. 削除する番号の [編集] をクリックします。
3. [削除] をクリックします。

【重要】 [削除] をクリックすると、確認メッセージなしでユーザー アカウントが削除されます。削除は慎重に行ってください。

一定時間経過するとユーザー設定の一覧へ戻ります。

関連情報

→ 「[「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」257ページ](#)

利用者制限を有効にする

利用者制限を有効にすると設定したユーザーアカウント以外でプリンターを使用できなくなります。

1. Web Configで [本体セキュリティ] タブ - [利用者制限設定] - [基本] を選択します。
2. [利用者制限を有効にする] を選択します。
[コンピューターからの認証情報を持たない印刷/スキャンを許可する] にチェックを付けると、認証情報を設定できない、または設定していないドライバーからの印刷ができるようになります。
3. [設定] をクリックします。

関連情報

→ 「[「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」257ページ](#)

外部インターフェイスを無効にする

プリンターにデバイスを接続するインターフェイスを無効にできます。ネットワーク経由以外の印刷を制限する場合に設定します。

 プリンターの操作パネルからも設定できます。

- コンピューターのUSB接続 : [設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [コンピューターのUSB接続]

1. Web Configで [本体セキュリティ] タブ - [外部インターフェイス] を選択します。
2. 制限したい機能で [無効] を選択します。
制限を解除する場合は [有効] を選択してください。
コンピューターのUSB接続
コンピューターからのUSB接続を制限できます。制限する場合は [無効] に設定します。
3. [設定] をクリックします。
4. 無効にしたポートが使用できなくなっているか確認します。
コンピューターのUSB接続
確認するコンピューターにドライバーがインストールされている場合：
プリンターとコンピューターをUSBケーブルで接続し、印刷ができないことを確認します。
確認するコンピューターにドライバーがインストールされていない場合：
Windows)
デバイスマネージャーを表示したままプリンターをコンピューターにUSBケーブルで接続し、デバイスマネージャーの表示内容が変化しないことを確認します。
Mac OS)

プリンターをコンピューターにUSBケーブルで接続し、[プリンターとスキャナ] からプリンターを追加しようと/or/てもプリンターがリストに表示されないことを確認します。

関連情報

→ 「[ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）](#)」257ページ

遠隔地にあるプリンターを監視する

遠隔地にあるプリンターの情報を確認する

Web Configの[情報確認]から、以下の情報を確認できます。

- **製品情報**
ステータス、クラウドサービス、製造番号、MACアドレスなどが確認できます。
- **ネットワーク情報**
ネットワーク接続状態、IPアドレス、DNSなどネットワークに関する情報が確認できます。
- **使用状況**
初回印刷日、印刷面数、言語別印刷数などを確認できます。
- **ハードウェア情報**
プリンターの各機能のステータスを確認できます。
- **パネルのスナップショット**
デバイスの操作パネルに表示されている画面イメージのスナップショットを表示します。

関連情報

→ 「[ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）](#)」257ページ

イベント発生時にメール通知を受け取る

メール通知の概要

印刷の停止やプリンターエラーなど、プリンターにイベントが発生したときに、指定したアドレスにメールで通知する機能です。

宛先は5つまで登録でき、それぞれに受け取りたい通知を設定できます。

この機能を使うには、設定前にメールサーバーの設定が必要です。

関連情報

→ 「[メールサーバーを設定する](#)」272ページ

メール通知を設定する

Web Configを使ってメール通知の設定をします。

1. Web Configで [デバイス管理] タブ - [メール通知] を選択します。

2. メール通知の件名を設定します。

2つのプルダウンメニューで件名に表示する内容を選択します。

- 選択された内容が [件名] の横に表示されます。
- 左右に同じ内容は設定できません。
- [ロケーション] の文字数が多い場合は、32バイト以降の文字が省略されます。

3. 通知メールを送信するメールアドレスを入力します。

A-Z a-z 0-9 ! # \$ % & ' * + - . / = ? ^ _ { } ^ @ , を使用し、255文字以内で入力します。

4. メール通知の言語を選択します。

5. 通知を受け取りたいイベントの行で、通知する宛先番号と重なるチェックボックスにチェックを付けます。

[通知設定] の番号は [宛先設定] の宛先の番号に対応しています。

設定例：

用紙がなくなった場合の通知を [宛先設定] の1に設定したアドレスに送信したいときは、 [用紙なし] の行にある [1] の列のチェックボックスにチェックを付けます。

6. [設定] をクリックします。

何らかのイベントを作つて、メール通知が送信されることを確認してください。

例：用紙をセットしていない給紙方法を指定して印刷

関連情報

- 「[ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）](#)」257ページ
- 「[メールサーバーを設定する](#)」272ページ

メール通知の設定項目

項目	設定値と説明
トナー残量限界値以下	トナー残量が限界値以下になった場合に通知します。
トナー残量少	トナー残量が限界値に近づいた場合に通知します。
廃トナーボックス空き容量なし	廃トナーボックスがいっぱいになった場合に通知します。
廃トナーボックス空き容量少	廃トナーボックスがいっぱいになる手前で通知します。
感光体ユニット印刷寿命	感光体ユニットの交換時期になった場合に通知します。
感光体ユニット印刷寿命間近	感光体ユニットの交換時期が近づいた場合に通知します。
転写ユニット印刷寿命	転写ユニットの交換時期になった場合に通知します。
転写ユニット印刷寿命間近	転写ユニットの交換時期が近づいた場合に通知します。
管理者パスワード変更	管理者パスワードが変更された場合に通知します。
用紙なし	印刷指定の給紙装置で用紙なしエラーが発生した場合に通知します。

項目	設定値と説明
印刷停止	紙詰まり、用紙カセットがセットされていない場合など、印刷が停止したときに通知します。
プリンターエラー	プリンターエラーが発生した場合に通知します。
無線LAN故障	無線LANインターフェイスにエラーが発生した場合に通知します。
ハードディスクユニットエラー	内蔵ハードディスクにエラーが発生した場合に通知します。この項目はオプションのハードディスクを装着しているときに表示されます。
増設ネットワーク故障	増設ネットワークインターフェイスボードにエラーが発生した場合に通知します。この項目は増設ネットワークインターフェイスボードを装着しているときに表示されます。

関連情報

➔ 「[メール通知を設定する](#)」 288ページ

設定のバックアップ

Web Configで設定した設定値をファイルにエクスポートできます。設定値のバックアップ、プリンターの置き換え時などに利用できます。

バイナリーファイルでエクスポートされるので編集できません。

設定をエクスポートする

プリンターの設定値をエクスポートします。

1. Web Configで [デバイス管理] タブ - [設定のエクスポート/インポート] - [エクスポート] を選択します。
2. エクスポートしたい設定を選択します。
チェックが付いた項目の設定値がエクスポートされます。親のカテゴリーを選択すると、子のカテゴリーが同時に選択されます。ただし、IPアドレスなどネットワーク内に同じ設定値が複数あるとエラーになる項目は選択できないようになっています。
3. エクスポートファイルを暗号化するために任意のパスワードを入力します。
ここで指定したパスワードはインポートするときに必要になります。パスワードを指定しない場合は空白にします。
4. [エクスポート] をクリックします。

!重要 デバイス名やIPv6アドレスなどのネットワーク情報を含めてエクスポートしたいときは「[本体ごとの個別設定を選択可能にする]」にチェックを付けて、項目を選択してください。なお、この項目をチェックしてから選択した設定値は、プリンターの置き換え時のみにお使いください。

関連情報

→ 「[ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）](#)」257ページ

設定をインポートする

Web Configの設定ファイルをプリンターにインポートします。

！重要 プリンターネームやIPアドレスなどの個別情報を含む設定値をインポートするときは、同一のネットワーク内に同じIPアドレスを持つプリンターが存在しないことを確認してください。

1. Web Configで [デバイス管理] タブ - [設定のエクスポート/インポート] - [インポート] を選択します。
2. エクスポートされたファイルを選択し、暗号化パスワードを入力します。
3. [次へ] をクリックします。
4. インポートする設定を選択して [次へ] をクリックします。
5. [設定] をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

→ 「[ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）](#)」257ページ

高度なセキュリティー設定

ここでは、高度なセキュリティー機能を説明しています。

セキュリティー設定と防止できる脅威

ネットワークにプリンターを接続すると、離れた場所からアクセスして使用できます。また、プリンターを共有してたくさん的人が使用でき、業務効率や利便性の向上に役立ちます。反面、不正アクセスや不正使用、データの改ざんなどのリスクも高くなります。インターネットにアクセスできる環境の場合はさらにリスクが高まります。

外部からのアクセスの保護を施していないプリンターは、本体に記憶している印刷履歴などをインターネットから読み取ることができてしまいます。

リスクを回避するため、エプソン製プリンターにはさまざまなセキュリティー技術を搭載しています。

お客様の情報環境での条件に合わせて、必要なセキュリティー設定をしてください。

機能名	どんな機能か	何を設定するのか	何を防止できるのか
プロトコルの制御	プリンターやコンピューター間の通信で使用するプロトコルやサービスを制御して、機能を有効、無効にします。	機能に対応したプロトコルやサービスを個別に許可、禁止します。	不要な機能を使用できなくなることで、意図されない利用によるセキュリティリスクを軽減できます。
SSL/TLS通信	ブラウザー経由でのコンピューターとの通信やEpson Connect、ファームウェアアップデートなどプリンターからインターネット上のエプソンサーバーにアクセスするような場合に通信内容がSSL/TLS通信で暗号化されます。	CA署名証明書をCA局から取得し、プリンターにインポートします。	CA署名証明書によってプリンターの身分が明確になることで、なりすましや不正アクセスを防げます。また、通信内容がSSL/TLSによって保護されるため、設定情報や印刷データ内容の漏えいが防げます。
IPsec/IPフィルタリング	特定のクライアントからのデータや、特定の種類のデータだけを通過、遮断する設定ができます。IPsecはIP パケット単位で保護（暗号化および認証）するため、セキュアでないプロトコルも安全に通信できます。	基本ポリシー、個別ポリシーを作成し、プリンターにアクセスできるクライアントやデータの種類を設定します。	プリンターへの不正アクセス、通信データの傍受や改ざんを防止できます。
IEEE802.1X	認証された利用者だけにネットワーク接続を許可します。許可された利用者だけがプリンターを使用できるようにします。	RADIUS サーバー（認証サーバー）への認証設定をします。	不正なプリンターへのアクセスや使用を防止できます。

関連情報

- 「利用するプロトコルを制御する」 292ページ
- 「プリンターとのSSL/TLS通信」 303ページ
- 「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」 304ページ
- 「IEEE802.1X環境にプリンターを接続する」 315ページ

セキュリティ機能の設定

IPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xなどの設定は、改ざん、傍受などセキュリティのリスク低減のために、SSL/TLS通信でWeb Configにアクセスして設定することをお勧めします。

必ず管理者パスワードを設定してから、IPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xの設定をしてください。

また、設定に使うコンピューターは、プリンターとLANケーブルで直結し、ブラウザーでIPアドレスを入力してWeb Configを起動して設定できます。セキュリティ設定が完了してからプリンターをセキュアな環境へ接続できます。

利用するプロトコルを制御する

プリンターに印刷する場合、いろいろな経路やプロトコルから印刷できます。

使わない機能やプロトコル、サービスを無効にすることで意図しない経路からの不正なアクセスや印刷などのセキュリティリスクを軽減できます。

プロトコルを制御する

プリンターが対応している制御可能なプロトコルの設定をします。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティ] タブ - [プロトコル] を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. [次へ] をクリックします。
4. [設定] をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

- 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア (Web Config)」257ページ
- 「有効・無効が設定可能なプロトコル」293ページ
- 「プロトコルの設定項目」294ページ

有効・無効が設定可能なプロトコル

プロトコル	説明
Bonjour設定	Bonjourを使用するかを指定できます。Bonjourは機器の検索や印刷などに使われます。
iBeacon設定	iBeacon対応機器からの探索の有効・無効が設定できます。有効にするとiBeacon対応機器からの探索ができるようになります。
SLP設定	SLP機能の有効・無効が設定できます。SLPはエプソンプリンターではプッシュスキャン機能やEpsonNet Configでのネットワーク探索に使われます。
WSD設定	WSD機能の有効・無効が設定できます。WSDデバイスの追加やWSDポートからの印刷ができるようになります。
LLTD設定	LLTDの有効・無効が設定できます。有効にするとWindowsのネットワークマップに表示されるようになります。
LLMNR設定	LLMNRの有効・無効が設定できます。有効にするとDNSが使えない状況でもNetBIOSを使用せずに名前解決ができるようになります。
LPR設定	LPR印刷を許可するかを指定できます。有効にするとLPRポートからの印刷ができるようになります。
RAW (Port9100) 設定	RAWポート (Port9100) からの印刷を許可するかを指定できます。有効にするとRAWポート (Port9100) からの印刷ができるようになります。
RAW(任意ポート)設定	RAWポート (任意ポート) からの印刷を許可するかを指定できます。有効にするとRAWポート (任意ポート) からの印刷ができるようになります。
IPP設定	IPPからの印刷を許可するかを指定できます。有効にするとインターネット経由の印刷ができるようになります。

プロトコル	説明
FTP設定	FTP印刷を許可するかを指定できます。有効にするとFTPサーバーからの印刷ができるようになります。
SNMPv1/v2c設定	SNMPv1/v2cの有効・無効を指定できます。エプソンプリンターでは機器の設定や監視などに使われます。
SNMPv3設定	SNMPv3の有効・無効を指定できます。エプソンプリンターでは暗号化した機器の設定や監視などの通信で使われます。

関連情報

- ➔ 「プロトコルを制御する」 293ページ
- ➔ 「プロトコルの設定項目」 294ページ

プロトコルの設定項目

Bonjour設定

項目	設定値と説明
Bonjourを使用する	チェックを入れるとBonjourで機器を検索または使用することを許可します。
Bonjour名	Bonjour名が表示されます。
Bonjourサービス名	Bonjourサービス名が表示されます。
ロケーション	Bonjourのロケーションが表示されます。
最優先プロトコル	Bonjour印刷の最優先プロトコルを選択します。
Wide-Area Bonjour	Wide-Area Bonjourを使用するかどうか設定します。

iBeacon設定

項目	設定値と説明
iBeacon対応機器からの探索を有効にする	チェックを入れるとiBeacon対応機器からの探索が有効になります。

SLP設定

項目	設定値と説明
SLP機能を有効にする	チェックを入れるとSLP機能が有効になります。 EpsonNet Configでのネットワーク探索に使われます。

WSD設定

項目	設定値と説明
WSDを有効にする	チェックを入れるとWSDによるデバイス追加が有効になります。
印刷タイムアウト (秒)	WSD印刷の通信タイムアウト時間を3~3600秒の範囲で入力します。
デバイス名	WSDのデバイス名が表示されます。
ロケーション	WSDのロケーションが表示されます。

LLTD設定

項目	設定値と説明
LLTDを有効にする	チェックを入れるとLLTDが有効になります。有効にするとWindowsのネットワークマップに表示されるようになります。
デバイス名	LLTDのデバイス名が表示されます。

LLMNR設定

項目	設定値と説明
LLMNRを有効にする	チェックを入れるとLLMNRが有効になります。有効にするとDNSが使えない状況でもNetBIOSを使用せずに名前解決ができるようになります。

LPR設定

項目	設定値と説明
LPRポートからの印刷を許可する	チェックを入れるとLPRポートからの印刷を許可します。
印刷タイムアウト (秒)	LPR印刷の通信のタイムアウト時間を0~3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。

RAW (Port9100) 設定

項目	設定値と説明
RAWポート(Port9100)からの印刷を許可する	チェックを入れるとRAWポート (Port9100) からの印刷を許可します。
印刷タイムアウト (秒)	RAW (Port9100) 印刷の通信タイムアウト時間を0~3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。

RAW(任意ポート)設定

項目	設定値と説明
RAW(任意ポート)からの印刷を許可する	チェックを入れるとRAWポート(任意ポート)からの印刷を許可します。
ポート番号	RAW印刷のポート番号を1024～65535以内の数字(9100、1865、2968を除く)で入力します。
印刷タイムアウト(秒)	RAW(任意ポート)印刷の通信タイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。

IPP設定

項目	設定値と説明
IPPを有効にする	チェックを入れるとIPP通信が有効になります。IPPをサポートしているプリンターのみ表示されます。
非セキュア通信を許可する	【許可する】を選択すると非セキュア(IPP)で通信します。
通信タイムアウト(秒)	IPP印刷の通信のタイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。
IPP印刷時にPINコードを必須とする	IPP印刷時にPINコードの設定を必須にするかどうか設定します。【はい】を選択すると、PINコードが設定されていないIPP印刷ジョブはプリンターに保存されません。
URL(ネットワーク)	ネットワークに接続されている場合にIPPのURL(httpとhttps)が併記されます。URLはプリンターのIPアドレスとポート番号とIPPのプリンターナー名が組み合わされた値です。
URL(Wi-Fi Direct)	Wi-Fi Directで接続されている場合にIPPのURL(httpとhttps)が併記されます。URLはプリンターのIPアドレスとポート番号とIPPのプリンターナー名が組み合わされた値です。
プリンターナー名	IPPのプリンターナー名が表示されます。
ロケーション	IPPのロケーションが表示されます。

FTP設定

項目	設定値と説明
FTPサーバーを有効にする	チェックを入れるとFTP通信が有効になります。FTP印刷をサポートしているプリンターのみ表示されます。
通信タイムアウト(秒)	FTP印刷の通信のタイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。

SNMPv1/v2c設定

項目	設定値と説明
SNMPv1/v2cを有効にする	チェックを入れるとSNMPv1/v2cを有効にします。

項目	設定値と説明
アクセス権限	SNMPv1/v2cを有効にした場合にアクセス権限を設定します。【読み込み専用】または【読み書き可能】を選択します。
コミュニティ名(読み込み専用)	ASCII(0x20~0x7E)で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
コミュニティ名(読み書き可能)	ASCII(0x20~0x7E)で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。

SNMPv3設定

項目	設定値と説明
SNMPv3を有効にする	チェックを入れるとSNMPv3が有効になります。
ユーザー名	1バイト文字を使って1~32文字内で入力します。
認証設定	
アルゴリズム	SNMPv3の認証用のアルゴリズムを選択します。
パスワード	SNMPv3の認証パスワードを入力します。 ASCII(0x20~0x7E)で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。
暗号化設定	
アルゴリズム	暗号化アルゴリズムを選択します。
パスワード	暗号化パスワードを入力します。 ASCII(0x20~0x7E)で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。
コンテキスト名	Unicode (UTF-8)で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。言語によって扱える文字数は異なります。

関連情報

- ➔ [「プロトコルを制御する」293ページ](#)
- ➔ [「有効・無効が設定可能なプロトコル」293ページ](#)

電子証明書を使う

使用できる電子証明書

• CA署名証明書

認証機関（CA局）によって署名された証明書です。CA局に申請して取得します。この証明書はプリンターの実在性を証明し、SSL/TLS通信に使用されるため、データ通信の安全が確保できます。

SSL/TLS通信に使用する場合は、サーバー証明書として利用されます。

IPsec/IPフィルタリング、IEEE802.1Xに設定する場合は、クライアント証明書として利用されます。

• CA証明書

CA署名証明書のチェーン内の証明書で、中間CA証明書とも呼ばれます。相手サーバーまたはWeb Configにアクセスするブラウザーが、プリンターの証明書パスを検証するために使用されます。

相手サーバー検証用のCA証明書は、プリンターからアクセスするサーバーの証明書パスを検証する場合に設定します。プリンターでは、SSL/TLS通信用のCA署名証明書の証明書パスを証明するために設定します。

プリンターのCA証明書は、CA署名証明書を発行したCA局から入手できます。

また、相手サーバー検証に使用するCA署名証明書は、相手サーバーのCA署名証明書を発行したCA局から入手できます。

• 自己署名証明書

プリンター自らが署名し、発行した証明書です。ルート証明書とも呼ばれます。発行者が自分自身を証明しているので、証明書として信頼性がなく、なりすましは防げません。

セキュリティ設定をする際にCA署名証明書なしで簡易的にSSL/TLS通信を行う場合に使用してください。

ブラウザーに証明書の登録がないために、SSL/TLS通信でプリンターにアクセスするとセキュリティ警告が出ることがあります。自己署名証明書はSSL通信のみで使用できます。

関連情報

- ➔ [「CA署名証明書を設定する」 298ページ](#)
- ➔ [「自己署名証明書を更新する」 301ページ](#)
- ➔ [「相手サーバー検証用CA証明書を設定する」 302ページ](#)

CA署名証明書を設定する

CA署名証明書を取得する

CA署名証明書を取得するにはCSR（証明書発行要求）を生成し、CA局に申請します。CSRはWeb Configかコンピューターで生成してください。

ここではWeb Configから取得する方法を説明します。Web Configで生成したCSRの証明書はPEM/DER形式です。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティ] タブを選択し、 [SSL/TLS] - [証明書] または [IPsec/IPフィルタリング] - [クライアント証明書] または [IEEE802.1X] - [クライアント証明書] を選択します。
どれを選択しても同じ証明書が取得でき、共通で使用できます。

2. [CSR] の [生成] をクリックします。

CSR生成画面が開きます。

3. 各項目を設定します。

参考

対応している公開鍵長や省略の可否はCA局によって異なる場合があります。申請するCA局のルールに従って記載してください。

4. [設定] をクリックします。

生成されると完了メッセージが表示されます。

5. [ネットワークセキュリティ] タブを選択し、[SSL/TLS] - [証明書] または [IPsec/IPフィルタリング] - [クライアント証明書] または [IEEE802.1X] - [クライアント証明書] を選択します。

6. CA局規定のファイル形式に従い [CSR] のダウンロードボタンをクリックして、CSRをコンピューターにダウンロードします。

！重要 再度CSRを生成しないでください。交付されたCA署名証明書がインポートできなくなります。

7. 保存したCSRをCA局に送付し、CA署名証明書を入手します。

送付方法や送付形態は、CA局の規定に従ってください。

8. 入手したCA署名証明書を、プリンターに接続しているコンピューターに保存します。

指定場所にCA署名証明書ファイルが保存されたら完了です。

関連情報

→ 「[ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）](#)」257ページ

CSRの設定項目

項目	設定値と説明
公開鍵長	CSRに使用する公開鍵長を選択します。
コモンネーム	1~128文字以内で入力できます。IPアドレスを指定するときは、固定のIPアドレスを設定します。IPv4アドレス、IPv6アドレス、ホスト名、FQDNを「.」カンマで区切って1~5個入力できます。 先頭の要素がコモンネームに格納され、その他の要素は証明書のサブジェクトの別名フィールドに格納されます。 記入例： プリンターのIPアドレス：192.0.2.123、プリンターナンバー：EPSONA1B2C3 コモンネーム：EPSONA1B2C3,EPSONA1B2C3.local,192.0.2.123
組織名/部署名/市町村名/都道府県名	ASCII (0x20-0x7E)で表せる0~64文字以内で入力できます。識別名 (CN) はカンマで分割できます。
国コード	ISO-3166で規定している2文字の国コードを入力します。
送信元アドレス	メールサーバー設定の送信元アドレスを入力できます。[ネットワーク] タブ - [メールサーバー] - [基本] の [送信元アドレス] と同じメールアドレスを入力してください。

関連情報

→ 「CA署名証明書を取得する」 298ページ

CA署名証明書をインポートする

取得したCA署名証明書をプリンターにインポートします。

- ！重要**
- ・ プリンターの日付と時刻が正しく設定されていることを確認してください。証明書が無効になる場合があります。
 - ・ Web Configで生成したCSRで証明書を取得した場合、証明書をインポートできるのは一度だけです。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティ] タブを選択し、 [SSL/TLS] - [証明書] または [IPsec/IPフィルタリング] - [クライアント証明書] または [IEEE802.1X] - [クライアント証明書] を選択します。
2. [インポート] をクリックします。
証明書インポート設定画面が開きます。
3. 各項目を設定します。 [CA証明書1] 、 [CA証明書2] はプリンターにアクセスするブラウザーで証明書のパスを検証する場合に設定してください。
インポートの設定内容は、CSRの生成場所や証明書のファイル形式によって異なります。以下を参考にして入力が必要な項目を設定してください。
 - ・ Web Configから取得したPEM/DER形式の証明書
 - ・ [秘密鍵] : プリンターで保持しているため設定しない
 - ・ [パスワード] : 設定しない
 - ・ [CA証明書1] / [CA証明書2] : 任意
 - ・ コンピューターから取得したPEM/DER形式の証明書
 - ・ [秘密鍵] : 設定する
 - ・ [パスワード] : 設定しない
 - ・ [CA証明書1] / [CA証明書2] : 任意
 - ・ コンピューターから取得したPKCS#12形式の証明書
 - ・ [秘密鍵] : 設定しない
 - ・ [パスワード] : 任意
 - ・ [CA証明書1] / [CA証明書2] : 設定しない
4. [設定] をクリックします。
インポートされると完了メッセージが表示されます。

参考 [表示] をクリックするとインポートした証明書の情報が確認できます。

関連情報

→ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア (Web Config) 」 257ページ

CA署名証明書のインポート設定項目

項目	設定値と説明
サーバー証明書 または クライアント証明書	取得したCA署名証明書のファイル形式を選択し、ファイルを指定します。 SSL/TLSの場合、サーバー証明書になります。 IPsec/IP フィルタリング、IEEE802.1Xの場合はクライアント証明書になります。
秘密鍵	コンピューターで生成したCSRでPEM/DER形式の証明書を取得した場合、証明書と対になった秘密鍵ファイルを指定します。
パスワード	ファイル形式が [秘密鍵付き証明書 (PKCS#12)] の場合、証明書取得時に設定した秘密鍵暗号化のパスワードを入力します。
CA証明書1	ファイル形式が [証明書 (PEM/DER)] の場合、サーバー証明書として使うCA署名証明書を発行したCA局の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。
CA証明書2	ファイル形式が [証明書 (PEM/DER)] の場合、CA証明書1を発行した機関の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。

関連情報

⇒ [「CA署名証明書をインポートする」300ページ](#)

CA署名証明書を削除する

サービスが無効になった証明書や使用していない証明書は削除できます。

!重要 Web Configで生成したCSRで取得した証明書は、一度削除すると再インポートができません。必要な場合はCSRを再生成して取得し直してください。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティ] タブを選択します。 [SSL/TLS] - [証明書] または [IPsec/IPフィルタリング] - [クライアント証明書] または [IEEE802.1X] - [クライアント証明書] を選択します。
2. [削除] をクリックします。
3. 確認のメッセージを確認して、削除します。

関連情報

⇒ [「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア \(Web Config\)」257ページ](#)

自己署名証明書を更新する

自己署名証明書はプリンターが発行しているので、有効期限が切れた場合や記載している内容に変更があった場合などに更新できます。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティ] タブ - [SSL/TLS] - [証明書] を選択します。

2. [更新] をクリックします。

3. [コモンネーム] を入力します。

IPv4アドレス、IPv6アドレス、ホスト名、FQDNを「.」カンマで区切って5個まで、1~128文字以内で入力できます。先頭の要素がコモンネームに格納され、その他の要素は証明書のサブジェクトの別名フィールドに格納されます。

記入例：

プリンターのIPアドレス：192.0.2.123、プリンターナンバー：EPSONA1B2C3

コモンネーム：EPSONA1B2C3,EPSONA1B2C3.local,192.0.2.123

4. 証明書の有効期間を選択します。

5. [次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。

6. [設定] をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

 [ネットワークセキュリティ] タブ - [SSL/TLS] - [証明書] - [自己署名証明書] にある [表示] をクリックすると証明書の情報が確認できます。

関連情報

→ 「[ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）](#)」 257ページ

相手サーバー検証用CA証明書を設定する

相手サーバー検証用CA証明書を設定すると、プリンターがアクセスするサーバーのCA証明書のパスを検証できます。これによってなりすましを防止できます。

相手サーバー検証用CA証明書は相手サーバーのCA署名証明書を発行したCA局から入手できます。

相手サーバー検証用CA証明書をインポートする

相手サーバー検証用CA証明書をプリンターにインポートします。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティ] タブ - [相手サーバー検証用CA証明書] を選択します。

2. [インポート] をクリックします。

3. インポートする相手サーバー検証用CA証明書ファイルを指定します。

4. [設定] をクリックします。

インポートされると [相手サーバー検証用CA証明書] に戻り、インポートされた相手サーバー検証用CA証明書の情報が表示されます。

関連情報

→ 「[ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）](#)」 257ページ

相手サーバー検証用CA証明書を削除する

インポート済みの相手サーバー検証用CA証明書を削除します。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティ] タブ - [相手サーバー検証用CA証明書] を選択します。
2. 削除したい相手サーバー検証用CA証明書の [削除] をクリックします。
3. 確認のメッセージを確認して、削除します。
4. [ネットワーク再起動] をクリックし、更新された画面で削除したCA証明書が一覧にないことを確認してください。

関連情報

→ 「[ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）](#)」 257ページ

プリンターとのSSL/TLS通信

SSL/TLS (Secure Sockets Layer/Transport Layer Security) 通信でプリンターにサーバー証明書を設定して、コンピューターとの通信経路を暗号化できます。なりすましや不正アクセスを防ぎたいときに設定してください。

SSL/TLS通信の基本設定をする

HTTPSサーバーに対応しているプリンターはSSL/TLSで通信できます。Web Configを使ったプリンターの設定や管理のための通信を安全に行えます。

基本設定では暗号強度とリダイレクト機能を設定します。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティ] タブ - [SSL/TLS] - [基本] を選択します。
2. 各項目を設定します。
 - 暗号強度
暗号の強度を選択できます。
 - HTTPをHTTPSにリダイレクト
HTTPでのアクセス時に、HTTPSにリダイレクトをします。
3. [次へ] をクリックします。
確認画面が表示されます。
4. [設定] をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

関連情報

→ 「[ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）](#)」 257ページ

プリンターのサーバー証明書を設定する

1. Web Configで [ネットワークセキュリティ] タブ - [SSL/TLS] - [証明書] を選択します。
2. [使用するサーバー証明書] に使用する電子証明書を選択します。
 - 自己署名証明書
プリンターに内蔵されている自己署名証明書です。CA署名証明書を取得していない場合は選択してください。
 - CA署名証明書
プリンターにCA署名証明書をインポートすると選択できます。
3. [次へ] をクリックします。
確認画面が表示されます。
4. [設定] をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

関連情報

- 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア (Web Config)」 257ページ
- 「CA署名証明書を設定する」 298ページ
- 「自己署名証明書を更新する」 301ページ

IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する

IPsec/IPフィルタリングの概要

IPsec/IPフィルタリング機能を使用すると、IPアドレス、サービスの種類、受信や送信ポートなどをフィルタリングできます。これらを組み合わせることによって、特定のクライアントからのデータや特定の種類のデータを通過させたり、遮断したりできます。IPsecと組み合わせることによってさらに強固なセキュリティー通信ができます。

 Windows Vista以降またはWindows Server 2008以降のWindowsは、IPsecに対応しています。

基本ポリシーを設定する

フィルタリングのために基本ポリシーを設定します。基本ポリシーはプリンターにアクセスする全てのクライアントに影響します。より細かくアクセスを制御するには、個別ポリシーを設定します。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティ] タブ - [IPsec/IPフィルタリング] - [基本] を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. [次へ] をクリックします。
確認画面が表示されます。

4. [設定] をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

→ 「[ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）](#)」 257ページ

基本ポリシーの設定項目

[基本ポリシー]

項目	設定値と説明
IPsec/IPフィルタリング	IPsec/IPフィルタリング機能を有効または無効にします。

- [通信処理]
IP通信の制御方法を設定します。

項目	設定値と説明
通信を通過	IPパケットの通過を許可するときに選択します。
通信を遮断	IPパケットを遮断したいときに選択します。
IPsecの使用	IPsecで送られたパケットの通過を許可するときに選択します。

- [IKEバージョン]

[IKEバージョン] で [IKEv1] または [IKEv2] を選択します。プリンターを接続する機器に合わせて選択してください。

 - [IKEv1]

[IKEバージョン] で [IKEv1] を選択すると表示されます。

項目	設定値と説明
認証方式	CA署名証明書をインポートすると [証明書] が選択できるようになります。
事前共有キー	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1~127文字以内で事前共有キーを設定します。
事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

- [IKEv2]

[IKEバージョン] で [IKEv2] を選択すると表示されます。

項目	設定値と説明
ローカル認証	認証方式 CA署名証明書をインポートすると [証明書] が選択できるようになります。
	IDの種類 [認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、プリンターを何のIDで認証させるか選択します。
	ID IDの種類に合わせてプリンターのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 [識別名] : ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で0~255文字以内で入力します。=を含めてください。 [IPアドレス] : IPv4またはIPv6形式で入力します。 [FQDN] : 半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1~255文字以内で入力します。 [メールアドレス] : ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で0~255文字以内で入力します。@を含めてください。 [任意の文字列] : ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で0~255文字以内で入力します。
	事前共有キー [認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1~127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力 確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

項目	設定値と説明
リモート認証	認証方式 CA署名証明書をインポートすると【証明書】が選択できるようになります。
	IDの種類 【認証方式】で【事前共有キー】を選択した場合、認証相手を表すIDの種類を選択します。
	ID IDの種類に合わせてプリンターのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 【識別名】: ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で0~255文字以内で入力します。=を含めてください。 【IPアドレス】: IPv4またはIPv6形式で入力します。 【FQDN】: 半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1~255文字以内で入力します。 【メールアドレス】: ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で0~255文字以内で入力します。@を含めてください。 【任意の文字列】: ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で0~255文字以内で入力します。
	事前共有キー 【認証方式】で【事前共有キー】を選択した場合、1~127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力 確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

- 【カプセル化】
【通信処理】で【IPsecの使用】を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。

項目	設定値と説明
トランスポートモード	主に同じLAN内だけでプリンターとIPsec通信をする場合に選択します。IPパケットのレイヤー4以上のデータ部のみが暗号化されます。
トンネルモード	主にIPsec-VPNのようなインターネットが有効なネットワークでプリンターを接続するときに選択します。IPパケットのヘッダーとデータが暗号化されます。 【リモートゲートウェイアドレス(トンネルモード)】: 【カプセル化】で【トンネルモード】を選択した場合、1~39文字以内でゲートウェイアドレスを設定します。

- 【セキュリティープロトコル】
【通信処理】で【IPsecの使用】を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。

項目	設定値と説明
ESP	認証とデータの完全性の保証に加えてデータ全体を暗号化します。
AH	認証とデータの完全性の保証をします。データの暗号化が禁止されていてもIPsec通信ができます。

- [アルゴリズム設定]

全ての設定で [任意] を選択するか、全て個別に選択することをお勧めします。一部のアルゴリズム設定を [任意] にして一部を選択した場合、相手の設定によっては通信ができない場合があります。

項目		設定値と説明
IKE	暗号化アルゴリズム	IKEで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
	認証アルゴリズム	IKEで利用する認証アルゴリズムを選択します。
	鍵交換アルゴリズム	IKEで利用する鍵交換アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
ESP	暗号化アルゴリズム	ESPで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 [セキュリティープロトコル] が [ESP] のときに選択できます。
	認証アルゴリズム	ESPで利用する認証アルゴリズムを選択します。 [セキュリティープロトコル] が [ESP] のときに選択できます。
AH	認証アルゴリズム	AHで利用する認証アルゴリズムを選択します。 [セキュリティープロトコル] が [AH] のときに選択できます。

関連情報

➔ 「[基本ポリシーを設定する](#)」 304ページ

個別ポリシーを設定する

個別ポリシーは、プリンターへの各アクセスに適用されるルールです。IPパケットを受け取ったプリンターはポリシーを参照し、IPパケットを制御します。ポリシーは、個別ポリシー1、個別ポリシー2と順に適用され、最後に基本ポリシーが適用されます。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティ] タブ - [IPsec/IPフィルタリング] - [基本] を選択します。
2. 設定したい番号のタブをクリックします。
3. 各項目を設定します。
4. [次へ] をクリックします。
確認画面が表示されます。
5. [設定] をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➔ 「[ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア \(Web Config\)](#)」 257ページ

個別ポリシーの設定項目

項目	設定値と説明
この個別ポリシーを有効にする	選択している個別ポリシーを有効または無効にします。

[通信処理]

IP通信の制御方法を設定します。

項目	設定値と説明
通信を通過	IPパケットの通過を許可するときに選択します。
通信を遮断	IPパケットを遮断したいときに選択します。
IPsecの使用	IPsecで送られたパケットの通過を許可するときに選択します。

[ローカルアドレス（プリンター）]

お使いの環境に合ったIPv4アドレスまたはIPv6アドレスを選択します。IPアドレスの取得方法が自動の場合は、[自動取得したIPv4アドレスを使用する] が選択できます。

参考 IPv6アドレスが自動取得の場合、リースや有効期限切れで通信できなくなることがあります。固定のIPv6アドレスを設定してください。

[リモートアドレス（ホスト）]

通信を制御する機器のIPアドレスを入力します。IPアドレスは43文字以内で入力してください。何も入力しないと、全てのIPアドレスが制御の対象になります。

参考 IPアドレスがDHCPや自動取得（IPv6）の場合、リースや有効期限切れで通信できなくなることがあります。固定のIPアドレスを設定してください。

[ポート指定方法]

ポートの指定方法を設定します。

- サービス名
[ポート指定方法] で [サービス名] を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。
- トランスポートプロトコル
[ポート指定方法] で [ポート番号] を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。

項目	設定値と説明
全てのプロトコル	全てのプロトコルタイプを制御したい場合に選択します。
TCP	ユニキャストのデータを制御したい場合などに選択します。
UDP	ブロードキャストやマルチキャストのデータを制御したい場合などに選択します。
ICMPv4	pingコマンドを制御したい場合などに選択します。

• ローカルポート番号

[ポート指定方法] で [ポート番号] を選択し、かつ [トランスポートプロトコル] で [TCP] または [UDP] を選択した場合は、受信パケットを制御するポート番号をカンマで区切って記述します。最大10個指定できます。

記入例：20,80,119,5220

何も記述しないと、全てのポートが制御の対象になります。

- リモートポート番号

[ポート指定方法] で [ポート番号] を選択し、かつ [トランスポートプロトコル] で [TCP] または [UDP] を選択した場合は、送信パケットを制御するポート番号をカンマで区切って記述します。最大10個指定できます。

記入例：25,80,143,5220

何も記述しないと、全てのポートが制御の対象になります。

[IKEバージョン]

[IKEバージョン] で [IKEv1] または [IKEv2] を選択します。プリンターを接続する機器に合わせて選択してください。

- IKEv1

[IKEバージョン] で [IKEv1] を選択すると表示されます。

項目	設定値と説明
認証方式	[通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共通です。
事前共有キー	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1~127文字以内で事前共有キーを設定します。
事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

- IKEv2
[IKEバージョン] で [IKEv2] を選択すると表示されます。

項目	設定値と説明
ローカル認証	認証方式 [通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共に通します。
	IDの種類 [認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、プリンターを何のIDで認証させるか選択します。
	ID IDの種類に合わせてプリンターのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 [識別名] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。=を含めてください。 [IPアドレス] : IPv4またはIPv6形式で入力します。 [FQDN] : 半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 [メールアドレス] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。@を含めてください。 [任意の文字列] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。
	事前共有キー [認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力 確認のため、設定したキーをもう一度入力します。
リモート認証	認証方式 [通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共に通します。
	IDの種類 [認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、認証相手を表すIDの種類を選択します。
	ID IDの種類に合わせてプリンターのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 [識別名] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。=を含めてください。 [IPアドレス] : IPv4またはIPv6形式で入力します。 [FQDN] : 半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 [メールアドレス] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。@を含めてください。 [任意の文字列] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で0～255文字以内で入力します。
	事前共有キー [認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力 確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

[カプセル化]

[通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。

項目	設定値と説明
トランsportモード	主に同じLAN内だけでプリンターとIPsec通信をする場合に選択します。IPパケットのレイヤー4以上のデータ部のみが暗号化されます。
トンネルモード	主にIPsec-VPNのようなインターネットが有効なネットワークでプリンターを接続するときに選択します。IPパケットのヘッダーとデータが暗号化されます。 [リモートゲートウェイアドレス(トンネルモード)] : [カプセル化] で [トンネルモード]を選択した場合、1~39文字以内でゲートウェイアドレスを設定します。

[セキュリティープロトコル]

[通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。

項目	設定値と説明
ESP	認証とデータの完全性の保証に加えてデータ全体を暗号化します。
AH	認証とデータの完全性の保証をします。データの暗号化が禁止されていてもIPsec通信ができます。

[アルゴリズム設定]

全ての設定で [任意] を選択するか、全て個別に選択することをお勧めします。一部のアルゴリズム設定を [任意] にして一部を選択した場合、相手の設定によっては通信ができない場合があります。

項目	設定値と説明	
IKE	暗号化アルゴリズム	IKEで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
	認証アルゴリズム	IKEで利用する認証アルゴリズムを選択します。
	鍵交換アルゴリズム	IKEで利用する鍵交換アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
ESP	暗号化アルゴリズム	ESPで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 [セキュリティープロトコル] が [ESP] のときに選択できます。
	認証アルゴリズム	ESPで利用する認証アルゴリズムを選択します。 [セキュリティープロトコル] が [ESP] のときに選択できます。
AH	認証アルゴリズム	AHで利用する認証アルゴリズムを選択します。 [セキュリティープロトコル] が [AH] のときに選択できます。

関連情報

- ➔ 「個別ポリシーを設定する」 308ページ
- ➔ 「ローカルアドレス（プリンター）とリモートアドレス（ホスト）の組み合わせ」 313ページ
- ➔ 「個別ポリシーのサービス名一覧」 313ページ

ローカルアドレス（プリンター）とリモートアドレス（ホスト）の組み合わせ

		ローカルアドレス（プリンター）の設定値		
		IPv4	IPv6*2	使用可能な全てのアドレス*3
リモートアドレス（ホスト）の設定値	IPv4*1	○	×	○
	IPv6*1*2	×	○	○
	空白	○	○	○

*1 : [通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、範囲指定はできません。

*2 : [通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合リンクローカルアドレス (fe80::) は選択できますが、個別ポリシーは無効になります。

*3 : IPv6リンクローカルアドレスは除きます。

個別ポリシーのサービス名一覧

参考 非対応のサービスは表示されますが、選択できません。

サービス名	プロトコルタイプ	ローカルポート番号	リモートポート番号	制御できる機能
全て	-	-	-	全てのサービス
ENPC	UDP	3289	任意	Epson Device Adminなどのアプリケーションソフト、プリンタードライバーからのプリンター探索
SNMP	UDP	161	任意	Epson Device Adminなどのアプリケーションソフト、エプソンのプリンタードライバーからのプリンター-MIB情報の取得と設定
LPR	TCP	515	任意	LPRデータの転送
RAW (Port9100)	TCP	9100	任意	RAWデータの転送
IPP/IPPS	TCP	631	任意	IPP/IPPS印刷のデータ転送
WSD	TCP	任意	5357	WSDの制御
WS-Discovery	UDP	3702	任意	WSDのプリンター探索
FTP データ (ローカル)	TCP	20	任意	FTPサーバー (FTP印刷のデータ転送)
FTP 制御 (ローカル)	TCP	21	任意	FTPサーバー (FTP印刷の制御)

サービス名	プロトコルタイプ	ローカルポート番号	リモートポート番号	制御できる機能
HTTP (ローカル)	TCP	80	任意	HTTP(S)サーバー (Web ConfigやWSDのデータ転送)
HTTPS (ローカル)	TCP	443	任意	
HTTP (リモート)	TCP	任意	80	HTTP(S)クライアント (Epson Connectの通信、ファームウェアアップデータやルート証明書の更新)
HTTPS (リモート)	TCP	任意	443	

IPsec/IPフィルタリングの設定例

IPsecで保護されたパケットだけを受け付ける

個別ポリシーを設定しない場合は、基本ポリシーのみ使われます。

[基本ポリシー] :

- [IPsec/IPフィルタリング] : [有効]
- [通信処理] : [IPsecの使用]
- [認証方式] : [事前共有キー]
- [事前共有キー] : 1~127文字以内の任意文字

[個別ポリシー] : 設定しない

印刷データとプリンター設定を受け付ける

指定したサービスからの印刷データとプリンター設定の通信を受け付ける場合の例です。

[基本ポリシー] :

- [IPsec/IPフィルタリング] : [有効]
- [通信処理] : [通信を遮断]

[個別ポリシー] :

- [この個別ポリシーを有効にする] : チェックを入れる
- [通信処理] : [通信を通過]
- [リモートアドレス (ホスト)] : 印刷クライアントのIPアドレス
- [ポート指定方法] : [サービス名]
- [サービス名] : [ENPC]、[SNMP]、[HTTP (ローカル)]、[HTTPS (ローカル)]、[RAW (Port9100)] にチェックを入れる

参考 HTTP (ローカル)、HTTPS (ローカル)を受け付けないためには、[個別ポリシー]でチェックを外します。その場合、プリンター設定を変更するには、プリンターの操作パネルで一時的にIPsec/IPフィルタリングを無効にしてください。

特定のIPアドレスからの通信のみ受け付ける

管理者など特定のコンピューターからの通信のみを受け付ける場合の例です。

[基本ポリシー] :

- [IPsec/IPフィルタリング] : [有効]
- [通信処理] : [通信を遮断]

[個別ポリシー] :

- [この個別ポリシーを有効にする] : チェックを入れる
- [通信処理] : [通信を通過]
- [リモートアドレス (ホスト)] : 管理者用クライアントのIPアドレス

 ポリシーの設定に関わらず、プリンターの検索や設定を行うためのプロトコルは使用できます。

IPsec/IPフィルタリングで使用する証明書を設定する

IPsec/IPフィルタリングで使用するクライアント証明書を設定します。設定すると、IPsec/IPフィルタリングの認証方式で証明書を使用できるようになります。なお、相手サーバー検証用の証明書を設定する場合は、「相手サーバー検証用CA証明書」で行います。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティ] タブ - [IPsec/IPフィルタリング] - [クライアント証明書] を選択します。

2. [クライアント証明書] 画面で証明書をインポートします。

CA局が発行した証明書をインポートしている場合は、証明書をコピーしてIPsec/IPフィルタリングで使用できます。コピーする場合は、[コピー元] からの証明書を使うか選択して [コピー] をクリックしてください。

関連情報

- 「[「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア \(Web Config\)」](#) 257ページ
- 「[「CA署名証明書を設定する」](#) 298ページ
- 「[「相手サーバー検証用CA証明書を設定する」](#) 302ページ

IEEE802.1X環境にプリンターを接続する

IEEE802.1Xを設定する

プリンターにIEEE802.1Xを設定すると、RADIUSサーバーと認証機能を持ったLANスイッチやアクセスポイントに接続されたネットワークで使用できます。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティ] タブ - [IEEE802.1X] - [基本] を選択します。

2. 各項目を設定します。

無線LANを使う場合は [無線LAN設定] をクリックしてSSIDを選択するか、入力してください。

 ここで設定値は有線LANと無線LANで共通に使えます。

3. [次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。

4. [設定] をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

→ 「[ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）](#)」257ページ

IEEE802.1Xの設定項目

項目	設定値と説明	
IEEE802.1X (有線LAN)	[IEEE802.1X] - [基本] 画面で設定した値をIEEE802.1X (有線LAN) に対して有効または無効にするかを選択します。	
IEEE802.1X (無線LAN)	IEEE802.1X (無線LAN) の接続状態が表示されます。	
接続方法	現在のネットワーク接続方法が表示されます。	
認証方式	プリンターとRADIUSサーバーとの認証方式を設定します。	
	EAP-TLS	CA署名証明書を取得してインポートする必要があります。
	PEAP-TLS	
	EAP-TTLS	パスワードを設定する必要があります。
	PEAP/MSCHAPv2	
ユーザーID	RADIUSサーバーの認証に使うIDを設定します。 ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で0~128文字以内で入力します。	
パスワード	プリンターを認証するためのパスワードを設定します。 ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で0~128文字以内で入力します。WindowsサーバーをRADIUSサーバーとして使用する場合は、最大127文字になります。	
パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。	
サーバーID	特定のRADIUSサーバーで認証したいときに使用します。設定した文字列が、RADIUSサーバーから送信されるサーバー証明書のsubjectフィールドまたはsubjectAltNameフィールドに含まれているかを検証します。 ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で0~128文字以内で入力します。	
証明書の検証	相手サーバー証明書の検証を設定します。認証方式に関わらず設定ができます。[相手サーバー検証用CA証明書] 画面で証明書をインポートします。	
Anonymous名	[認証方式] が [PEAP-TLS] 、 [EAP-TTLS] 、 [PEAP/MSCHAPv2] の場合、PEAP認証のフェーズ1において、ユーザーIDの代わりに匿名を使用したいときに設定します。 ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で0~128文字以内で入力します。	
暗号強度	以下のいずれかを選択します。	
	高い	AES256/3DES
	標準	AES256/3DES/AES128/RC4

関連情報

→ 「IEEE802.1Xを設定する」 315ページ

IEEE802.1Xで使用する証明書を設定する

IEEE802.1Xで使用するクライアント証明書を設定します。設定すると、IEEE802.1Xの認証方式で [EAP-TLS] と [PEAP-TLS] が使用できるようになります。なお、相手サーバー検証用の証明書を設定する場合は、[相手サーバー検証用CA証明書] で行います。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティ] タブ - [IEEE802.1X] - [クライアント証明書] を選択します。
2. [クライアント証明書] に使用する電子証明書を設定します。

CA局が発行した証明書をインポートしている場合は、証明書をコピーしてIEEE802.1Xで使用できます。コピーする場合は、[コピー元] からどの証明書を使うか選択して [コピー] をクリックしてください。

関連情報

→ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア (Web Config)」 257ページ
 → 「CA署名証明書を設定する」 298ページ
 → 「相手サーバー検証用CA証明書を設定する」 302ページ

プリンターのIEEE802.1X状態表示

IEEE802.1Xの動作状態はネットワークステータスシートを印刷し、「IEEE802.1X」の項目で確認できます。

ステータス表示	IEEE802.1Xの動作状態
Disable	IEEE802.1X機能が無効になっています。
EAP Success	IEEE802.1X認証が成功し、ネットワークに接続されています。
Authenticating	IEEE802.1Xの認証中です。
Config Error	ユーザーIDが設定されていないため、認証に失敗しました。
Client Certificate Error	クライアント証明書の有効期限が切れているため、認証に失敗しました。
Timeout Error	RADIUSサーバーや認証ハブからの応答がないため、認証に失敗しました。
User ID Error	プリンターのユーザーIDまたは認証プロトコルに不備があるため、認証に失敗しました。
Server ID Error	サーバーの証明書に記載されているサーバーIDと通信しているサーバーIDが一致しないため、認証に失敗しました。
Server Certificate Error	サーバーの証明書に以下の不備があるため、認証に失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> 証明書の有効期限切れ 証明書のチェーンの異常

ステータス表示	IEEE802.1Xの動作状態
CA Certificate Error	CA証明書に以下の不備があるため、認証に失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> CA証明書の指定が間違っている 正しいCA証明書がインポートされていない CA証明書の有効期限切れ
EAP Failure	プリンターの設定に以下の不備があるため、認証に失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> クライアント証明書に何らかの不備がある（[認証方式] が [EAP-TLS] または [PEAP-TLS] の場合） ユーザーIDまたはパスワードの間違い（[認証方式] が [EAP-TTLS] または [PEAP/MSCHAPv2] の場合）

関連情報

→ 「ネットワークステータスシートを印刷する」 169ページ

トラブルを解決する

セキュリティ設定の初期化

IPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xなど高度なセキュア環境を構築している場合、設定ミスや機器、サーバーのトラブルなどでデバイスと通信できなくなる可能性があります。この場合、セキュリティ機能を初期化してデバイスの設定をやり直したり、一時的に使用できるようにしたりします。

操作パネルからセキュリティ機能を無効にする

操作パネルを使ってIPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xを無効に設定します。

- [設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] の順に選択します。
- [詳細設定] を選択します。
- 無効にしたい機能を選択します。
 - [IPsec/IPフィルタリングの無効化]
 - [IEEE802.1Xの無効化]
- 確認画面で [設定開始] を選択します。

セキュア環境への接続時のトラブル

事前共有キーを忘れてしまった

事前共有キーを再設定する

Web Configの [ネットワークセキュリティ] タブ - [IPsec/IPフィルタリング] - [基本] - [基本ポリシー] または [個別ポリシー] の画面でキーを変更します。

事前共有キーを変更したら、相手先コンピューターの事前共有キーの設定もやり直してください。

関連情報

- ➔ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア (Web Config)」 257ページ
- ➔ 「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」 304ページ

IPsec通信ができない

プリンターまたはコンピューターがサポートしていないアルゴリズムを指定している

プリンターがサポートするアルゴリズムは以下の通りです。コンピューターの設定を確認してください。

セキュリティーメソッド	アルゴリズム
IKE暗号化アルゴリズム	AES-CBC-128、AES-CBC-192、AES-CBC-256、AES-GCM-128*、AES-GCM-192*、AES-GCM-256*、3DES
IKE認証アルゴリズム	SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512、MD5
IKE鍵交換アルゴリズム	DH Group1、DH Group2、DH Group5、DH Group14、DH Group15、DH Group16、DH Group17、DH Group18、DH Group19、DH Group20、DH Group21、DH Group22、DH Group23、DH Group24、DH Group25、DH Group26、DH Group27*、DH Group28*、DH Group29*、DH Group30*
ESP暗号化アルゴリズム	AES-CBC-128、AES-CBC-192、AES-CBC-256、AES-GCM-128、AES-GCM-192、AES-GCM-256、3DES
ESP認証アルゴリズム	SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512、MD5
AH認証アルゴリズム	SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512、MD5

* : IKEv2のみ対応

関連情報

- ➔ 「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」 304ページ

突然通信ができなくなった

プリンターのIPアドレスが変更された、または使用できなくなった

個別ポリシーのローカルアドレスに登録されているIPアドレスが変更や使用できなくなった場合、IPsecでは通信できなくなります。プリンターの操作パネルでIPsecを無効にしてください。

Web Configの [ネットワークセキュリティ] タブー [IPsec/IPフィルタリング] – [基本] – [個別ポリシー] – [ローカルアドレス (プリンター)] に設定したIPアドレスが、DHCPのリース切れや再起動、IPv6アドレスの有効期限切れや再取得失敗によって見つからない可能性があります。

IPアドレスは、固定のIPアドレスを使用してください。

コンピューターのIPアドレスが変更された、または使用できなくなった

個別ポリシーのリモートアドレスに登録されているIPアドレスが変更や使用できなくなった場合、IPsecでは通信できなくなります。

プリンターの操作パネルでIPsecを無効にしてください。

Web Configの [ネットワークセキュリティ] タブー [IPsec/IPフィルタリング] – [基本] – [個別ポリシー] – [リモートアドレス (ホスト)] に設定したIPアドレスが、DHCPのリース切れや再起動、IPv6アドレスの有効期限切れや再取得失敗によって見つからない可能性があります。

IPアドレスは、固定のIPアドレスを使用してください。

関連情報

- ➔ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア (Web Config)」 257ページ
- ➔ 「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」 304ページ

セキュアIPP印刷のポートが作成できない

SSL/TLS通信のサーバー証明書に正しい証明書が指定されていない

正しい証明書が指定されていないとポート作成に失敗する場合があります。証明書が正しいか確認してください。

プリンターを使用するコンピューターにCA証明書がインポートされていない

コンピューターにCA証明書がインポートされていないと、ポート作成に失敗する場合があります。CA証明書がインポートされているか確認してください。

関連情報

- ➔ 「プリンターのサーバー証明書を設定する」 304ページ

IPsec/IPフィルタリング設定したのにつながらない

IPsec/IPフィルタリングの設定が間違っている

プリンターの操作パネルからIPsec/IPフィルタリングを無効にしてください。プリンターとコンピューターを接続して、IPsec/IPフィルタリングの設定をやり直してください。

関連情報

- ➔ 「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」 304ページ

IEEE802.1Xを設定したのにつながらない

IEEE802.1Xの設定が間違っている

プリンターの操作パネルから無線LANとIEEE802.1Xを無効にしてください。プリンターとコンピューターを接続して、IEEE802.1Xの設定をやり直してください。

関連情報

➔ [「IEEE802.1Xを設定する」315ページ](#)

電子証明書使用時のトラブル

CA署名証明書のインポートができない

入手したCA署名証明書と作成したCSRの情報が一致していない

CA署名証明書とCSRは、同一の情報である必要があります。以下の点を確認してください。

- 同時に複数の機器でCSRを作成した場合、一致しない機器に証明書をインポートしようとしたか情報を確認して、一致する機器にインポートしてください。
- CA局にCSRを送付した後、プリンターに保存されているCSRを再生成したか
再生成したCSRでCA署名証明書を取得し直してください。

入手したCA署名証明書のファイル容量が5KBを超える

5KBを超えるCA署名証明書は、インポートできません。

証明書をインポートする際のパスワードが正しくない

正しいパスワードを入力してください。パスワードを忘れた場合、証明書をインポートできません。CA署名証明書を取得し直してください。

関連情報

➔ [「CA署名証明書をインポートする」300ページ](#)

自己署名証明書が更新できない

コモンネームが入力されていない

[コモンネーム] は必ず入力してください。

コモンネームに不正な文字が使用されている

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式をASCII (0x20-0x7E)で表せる1~128文字以内で指定します。

[コモンネーム] にカンマやスペースが使われている

カンマが入力されると [コモンネーム] はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

関連情報

➔ 「自己署名証明書を更新する」301ページ

CSRが作成できない

コモンネームが入力されていない

[コモンネーム] は必ず入力してください。

コモンネーム、組織名、部署名、市町村名、都道府県名に不正な文字が使用されている

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式をASCII (0x20-0x7E)で表せる文字で指定します。

コモンネームにカンマやスペースが使われている

カンマが入力されると [コモンネーム] はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

関連情報

➔ 「CA署名証明書を取得する」298ページ

証明書に関する警告が表示された

メッセージ	原因と対処
サーバー証明書を指定してください。	<p>原因 : インポートするファイルが指定されていません。</p> <p>対処 : ファイルを選択してから [インポート] をクリックしてください。</p>
CA証明書1の参照先を入力してください。	<p>原因 : CA証明書1が未入力で、CA証明書2が入力されています。</p> <p>対処 : 先にCA証明書1をインポートしてください。</p>
以下の入力値が正しくありません。	<p>原因 : ファイルパスやパスワードに不正な文字が含まれています。</p> <p>対処 : 表示された項目に入力した文字が正しいか確認してください。</p>
日付/時刻が設定されていません。	<p>原因 : プリンターに日付や時刻が設定されていません。</p> <p>対処 : Web ConfigやEpsonNet Configまたはプリンターの操作パネルから日付や時刻を設定してください。</p>
パスワードが正しくありません。	<p>原因 : CA証明書に設定されているパスワードと入力したパスワードが一致しません。</p> <p>対処 : 正しいパスワードを入力してください。</p>

メッセージ	原因と対処
不正なファイルです。	<p>原因 : インポートしようとしたファイルがX509形式の証明書ではありません。</p> <p>対処 : 信頼されたCA局から送付された証明書ファイルを選択しているか確認してください。</p>
	<p>原因 : インポートできるファイルサイズを超えてます。インポートできるファイルサイズは5KBです。</p> <p>対処 : ファイルが正しい場合、証明書が破損していたり改ざんされていたりする可能性があります。</p>
	<p>原因 : 証明書に含まれるチェーンが不正です。</p> <p>対処 : 証明書の詳細はCA局のWebサイトをご覧ください。</p>
3つ以上のCA証明書が含まれたサーバー証明書は使用できません。	<p>原因 : PKCS#12形式の証明書ファイルに3つ以上のCA証明書が含まれています。</p> <p>対処 : PKCS#12形式から複数のPEM形式に変換して個別にインポートするか、2つ以下のCA証明書でPKCS#12形式ファイルを再作成してインポートしてください。</p>
有効期間外の証明書です。証明書の有効期間、またはプリンターの日付/時刻設定を確認してください。	<p>原因 : 証明書の有効期限が切れています。</p> <p>対処 :</p> <ul style="list-style-type: none"> 証明書の有効期限が切れている場合、新しい証明書をCA局から取得してインポートしてください。 証明書の有効期限が切れていない場合、プリンターの日付や時刻の設定が正しいか確認してください。
秘密鍵が必要な証明書ファイルです。	<p>原因 : 証明書と対になった秘密鍵がありません。</p> <p>対処 :</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピューターで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書の場合、秘密鍵ファイルを指定してください。 コンピューターで生成したCSRで取得したPKCS#12形式の証明書の場合、秘密鍵を含めたファイルを作成してください。
	<p>原因 : Web Configで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書を再度インポートしようしました。</p> <p>対処 : Web Configで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書は、一度しかインポートできません。</p>
設定に失敗しました。	<p>原因 : プリンターとコンピューターの通信が遮断された、何らかの原因でファイルが読み取りできない、などの原因で正しく設定できませんでした。</p> <p>対処 : 指定しているファイルや通信状況を確認して、再度インポートしてください。</p>

関連情報

- ➔ [「使用できる電子証明書」 298ページ](#)

CA署名証明書を誤って削除した

CA署名証明書をバックアップ保存したファイルがない

CA署名証明書をバックアップ保存したファイルがあれば、それを使って再度インポートしてください。
Web Configで生成したCSRで取得した証明書は、一度削除してしまうと再インポートができません。CSRを再生成して証明書を取得し直してください。

関連情報

- ➔ [「CA署名証明書をインポートする」 300ページ](#)
- ➔ [「CA署名証明書を削除する」 301ページ](#)

サービスとサポートのご案内

エプソンサービスパック	326
保守サービスのご案内	326
保守サービスの種類	327
アフターサポート・サービスのご案内	328

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年等）、出張修理いたします。また、修理のご依頼や故障かどうかわからない場合のご相談等の受付窓口として、専用のヘルプデスクをご用意いたします。

- スピーディーな対応 – スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心 – 万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣して修理いたします。
- 手続きが簡単 – ウェブサイトで必要事項を登録、またはエプソンサービスパック登録書をファックスするだけで、契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化 – エプソンサービスパック規約内・期間内であれば都度修理費用がかからず、維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、まず本書の「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことをご確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

関連情報

➔ 「困ったときは」 102ページ

保証書について

保証期間中に故障した場合には、保証書の記載内容に基づき修理いたします。保証期間や保証事項については、保証書をご覧ください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後6年間です。
改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- 修理のお申し込み窓口

関連情報

→ 「アフターサポート・サービスのご案内」328ページ

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細は、お買い求めの販売店またはエプソン修理のお申し込み窓口までお問い合わせください。

- 定期交換部品の寿命による交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
- 年間保守契約をされている場合は、定期交換部品代のみ有償（お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・技術料も有償）です。
- 本機は、専門業者による輸送対象製品のため、持込保守および持込修理はご遠慮ください。

種類	概要	修理代金と支払方法		
		保証期間内	保証期間外	
年間保守契約	出張修理	<ul style="list-style-type: none"> 優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化が容易です。 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		お客様からご連絡いただいた数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。	無償 (出張料+技術料+部品代) 修理完了後、その都度お支払ください	

* : 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外です。

！重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

アフターサポート・サービスのご案内

●お問い合わせの前に

- サポート情報サイト
最新ソフトウェア、製品マニュアルなど、製品のサポート情報満載のサイトです。
epson.jp/support/
- FAQ（よくあるご質問）
困ったときの対処方法を分かり易く説明しています。
epson.jp/faq/

●製品に関するご質問・ご相談/運用支援

営業日、営業時間の詳細はサポート情報サイトでご確認ください。

- メールで相談する
epson.jp/mail/
- 電話で相談する（エプソンインフォメーションセンター）
050-3155-8055

●修理のお申し込み

対象製品など修理メニューの詳細はウェブサイトでご確認ください。

epson.jp/shuri/

- 出張修理サービス
ご指定の場所へサービスエンジニアを派遣し、その場で修理するサービスです。
 - Webで申し込む
epson.jp/119/
 - 電話で申し込む
050-3155-8600
- 引取修理サービス
ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです（有償）。
 - Webで申し込む
epson.jp/door/
 - 電話で申し込む
050-3155-7150

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店またはエプソンダイレクトショップでお買い求めください。

- エプソンダイレクトショップ
epson.jp/shop/
- ご購入相談・ご注文窓口
0120-956-285

●会員制情報提供サイト（MyEPSON）

ユーザー登録していただくと、お客様に商品の最新情報や活用のためのヒントをお届けいたします。

myepson.jp/

●ショールーム

最新のエプソン商品を実際にお試しいただけます。

epson.jp/showall/

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

エプソン販売株式会社

〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

ビジネス (LP) 2022.03